

# HD ビジュアル コミュニケーション システム

---

## 取扱説明書（バージョン 1.6）

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の  
取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読み**  
**のうえ、製品を安全にお使いください。**お読みになったあとは、い  
つでも見られるところに必ず保管してください。

# IPELA

**PCS-XG100/XG77**  
**PCS-XG100S/XG77S**

# 目次

本機の性能を維持するために .....	10
---------------------	----

## 1 章 設置と準備

この取扱説明書の使いかた .....	12
本機の特長 .....	13
システムの構成 .....	16
基本システムを構成する機器 .....	16
別売機器の一覧 .....	20
システムの構成例 .....	22
構成例（LAN 接続） .....	22
構成例（ISDN 接続） .....	23
構成例（SIP 接続） .....	24
構成例（2本のLANを使った接続）（PCS-XG100/XG100Sのみ） .....	25
構成例—多地点接続（LAN 接続） .....	26
構成例—多地点接続（LANとISDNの混在接続） .....	28
システムの接続 .....	30
接続例（LAN 接続） .....	31
接続例（ISDN 接続） .....	32
接続例（SIP 接続） .....	33
カメラユニットを三脚に取り付ける .....	34
システムの準備 .....	35
リモコンに乾電池を入れる .....	35
リモコンとシステム本体のペアリングを行う .....	37
電源を入れる / 切る .....	39
電源を入れる .....	39
スタンバイモードについて .....	40
システムをスタンバイ状態にする .....	41
電源を切る .....	41
モニター用テレビの音量を調節する .....	42
設置直後の設定—初期設定ウィザード .....	43
メニューの基本操作 .....	46
ホームメニューの見かた .....	46
メニューを操作する .....	53
リモコンで文字や数字を入力する .....	56
ソフトキーボードで文字や数字を入力する .....	58

## 2章 登録と設定 – 管理者用

システムを設定する .....	60
設定メニューを表示する .....	60
通信回線設定メニュー .....	64
発信設定メニュー .....	64
着信設定メニュー .....	65
多地点設定メニュー .....	66
通信モード設定メニュー .....	67
音声設定メニュー .....	72
映像設定メニュー .....	76
LAN 設定メニュー .....	80
QoS 設定メニュー .....	85
TOS 設定メニュー .....	86
SIP 設定メニュー .....	87
ISDN 設定メニュー .....	88
アノテーション設定メニュー .....	89
カメラ設定メニュー .....	89
一般設定メニュー .....	89
ホーム画面設定メニュー .....	93
管理者設定メニュー .....	94
暗号化設定メニュー .....	101
共有アドレス帳設定メニュー .....	101
機器状態を表示する .....	102
機器状態を表示する .....	102
端末の情報 .....	104
周辺機器の状態 .....	104
通信モードの状態 .....	105
LAN 回線の状態 .....	106
ネットワーク導通確認 .....	106
LAN2 使用時の制限 (PCS-XG100/XG100S のみ) .....	108
IPv6 使用時の制限 .....	109
ネットワーク構成ごとの設定方法 .....	110
LAN—DHCP を使用しての接続 (LAN1/LAN2) .....	110
LAN—ルーターを介しての接続 (LAN1/LAN2) .....	111
LAN—ゲートキーパーを介しての接続 (LAN1 のみ) .....	112

## 目次

LAN—NAT 環境での接続 (LAN1 のみ) .....	113
LAN—H.460 を使用したファイアウォール越えでの接続 (LAN1 のみ) .....	114
LAN—PPPoE による接続 (LAN1/LAN2) .....	116
ISDN による接続 .....	117
ネットワーク導通確認について .....	119

## 3 章 基本的な接続

自分側から接続を始める .....	120
電源を入れる .....	121
接続メニューで相手呼び出す .....	121
直接、相手の番号を入力して呼び出す (ダイレクトダイヤル) .....	123
ワンタッチダイヤルボタンから相手呼び出す .....	124
通信履歴から相手呼び出す .....	125
アドレス帳に登録している相手呼び出す .....	127
アドレス帳に登録していない相手呼び出す .....	129
相手から接続される .....	133
呼び出しの受け方 (手動着信 / 自動着信) .....	133
相手から呼び出される .....	133
接続を終了する .....	135
アドレス帳に相手を登録する .....	136
新しい相手を登録する .....	136
アドレス帳を編集する .....	140
アドレス帳を 1 件コピーする .....	140
登録した相手を削除する .....	141
アドレス帳にグループを作る (グループ編集) .....	141
プライベートアドレス帳を作成する .....	143
共有アドレス帳を使用する .....	145
音声を調節する .....	148
受信音量を調節する .....	148
音声の送信を一時的にカットする - マイクミュート機能 .....	148
着信時の音声の送信をカットする - 着信時マイクオフ .....	149
送信する映像と音声の時間差を調整する - リップシンク機能 .....	149
エコーを軽減する - エコーキャンセラー .....	149

---

## 目次

カメラを調節する .....	151
アングルとズームを調整する .....	151
画像の明るさ（輝度）を調整する .....	152
プリセット機能を使う .....	154
カメラ機能の詳細を設定する .....	157
映像と音声を切り換える .....	160
相手側と自分側の映像を切り換える .....	160
入力される映像を切り換える .....	160
リモコンのファンクションボタン（F1～F4）で入力映像を 切り換える .....	161
相手側に送る音声を切り換える .....	161
リモコンのファンクションボタン（F1～F4）で音声入力を 切り換える .....	161
映像と音声を同時に切り換える .....	162
相手側の映像を切り換える .....	162
モニター映像を切り換える .....	163
画像をキャプチャーする .....	165

---

## 4章 いろいろな機器を使った接続

ツールメニューを使う .....	167
コンピューターの画像をプレゼンテーションに使う .....	170
コンピューターを接続する .....	170
プレゼンテーションを行う .....	170
レコーディングする .....	172
アノテーション機能を使う .....	174
ペンタブレットを接続する .....	174
通信中にアノテーションを使う .....	175
マイクを使う .....	179
セカンドカメラを使う .....	182
コミュニケーションを記録する .....	184
外部映像機器からの映像・音声を扱う .....	185
モニターやプロジェクターに映像を出力する .....	188
音声のみのコミュニケーションをする－ボイスミーティング .....	190
トーン信号で相手のシステムを制御する－DTMFの送信 .....	191
外部から本機にアクセスする .....	192

---

## 目次

Web ブラウザを使用する .....	192
Telnet を使用する .....	192
SSH を使用する .....	192

---

## 5 章 暗号化接続

暗号化接続の準備 .....	194
暗号化接続を始める .....	196

---

## 6 章 多地点接続

多地点接続の例 .....	200
LAN 接続の場合 (最大 9 地点) .....	200
LAN カスケード接続の場合 (最大 16 地点) .....	201
LAN と ISDN 混在の場合 .....	202
LAN カスケードと ISDN 混在の場合 .....	203
ソフトウェアオプションを追加する .....	205
ソフトウェアオプションが正しくインストールされたことを 確認するには .....	207
多地点接続の設定をする .....	208
多地点接続の設定をする .....	208
多地点接続の相手をマルチポイント接続リストに登録する .....	209
多地点接続を始める .....	213
相手を呼び出す .....	213
相手から呼び出しを受ける .....	217
画面制御を行う .....	218
放送モードの種類 .....	218
放送モードと画面表示 .....	221
通信中に放送モードを切り換える .....	222
他の端末から送信要求を受ける .....	225
多地点接続を終了する .....	226
二次端末の取り扱い .....	227
マルチポイントの属性表 .....	228

---

## 目次

---

### 7章 Web 機能

Web ページへのアクセス方法 .....	231
認証ページの入力方法 .....	232
メニューの選択 .....	234
Home メニューの使いかた .....	235
Download メニューの使いかた .....	236
Remote Commander メニューの使いかた .....	237
機能ボタンの選択 .....	238
KIOSK Mode の設定方法 .....	239
Version Up ページの使いかた .....	241
Monitor ページの使いかた .....	242

---

### 8章 カメラユニットについて

HD カメラユニットの特長 .....	244
SRG-120DH .....	244
PCSA-CXG100 .....	244
EVI-H100V .....	244
EVI-HD7V/HD3V .....	245
HD カメラユニット SRG-120DH を設置する .....	246
デスクトップへ設置する .....	246
三脚に取り付ける .....	246
固定用ネジを使って取り付ける .....	247
付属の固定テープで固定する .....	247
HD カメラユニットの各部の名称と働き .....	248
SRG-120DH .....	248
PCSA-CXG100 .....	249
EVI-H100V .....	252
EVI-HD7V/HD3V .....	255
パン・チルト範囲 .....	258
CMOS 特有の現象 .....	260

## 目次

### 付録

各部の名称と働き .....	261
HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100S/XG77S .....	261
RF リモコン PCS-RFZ1 (付属) .....	263
ISDN ユニット PCSA-B384S (別売) .....	265
ISDN ユニット PCSA-B768S (別売) .....	265
インジケータ一覽 .....	267
メッセージ一覽 .....	270
故障かな? .....	273
仕様 .....	278
HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG77/XG100S/ XG77S .....	278
HD カメラユニット SRG-120DH (PCS-XG100/XG77 に付属) .....	279
リモコン PCS-RFZ1 (付属) .....	280
マイクロホン PCS-A1 (PCS-XG100/XG100S に 2 個 / PCS-XG77/XG77S に 1 個付属) .....	280
ISDN ユニット PCSA-B384S (別売) .....	280
ISDN ユニット PCSA-B768S (別売) .....	280
HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106 (別売) .....	281
HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG109 (別売) .....	281
HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXG77 (別売) .....	281
モバイルアクセスソフトウェア PCSA-SAG8 (別売) .....	281
モバイルアクセスソフトウェア PCSA-SAG1 (別売) .....	281
DVI-I 出力仕様 .....	283
CAMERA/DVI-I 入力仕様 .....	284
HDMI 出力仕様 .....	285
HDMI 入力仕様 .....	286
端子のピン配列 .....	286
別売機器の端子のピン配列 .....	287
PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S 使用ポート一覽 .....	289
ミーティングスペースのレイアウト .....	291
USB メモリーについてのご注意 .....	291
保証書とアフターサービス .....	292
保証書 .....	292
アフターサービス .....	292



---

## 目次

用語解説 .....	293
メニューの構成 .....	297
索引 .....	310
五十音順 .....	310
アルファベット順 .....	314

# 本機の性能を維持するため

## 取り扱い上のご注意

### 使用・保管場所

次のような場所での使用および保管は避けてください。

- ・ 極端に寒いところや暑いところ。
- ・ 湿気、ほこりの多いところ。
- ・ 激しく振動するところ。
- ・ 強い磁気を発生するものの近く。
- ・ 強力な電波を発生する機器やラジオの送信所の近く。
- ・ 雑音が多いところ。

### お手入れ

キャビネットやパネルの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふきとってください。

汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など、揮発性のものをかけると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。

### レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOS撮像素子に損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOS撮像素子表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

## 結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

## 有寿命部品について

ファンは有寿命部品として定期的な交換が必要です。

常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。

ACアダプターと電解コンデンサの寿命は約5年です。

(常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合) したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

## セキュリティについて

通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残

りますので、意図しない第三者の使用  
や悪意のあるプログラムの実行を防ぐ  
ために、設定作業が完了したら必ずブ  
라우저を終了してください。

# 1 章

## 設置と準備

### この取扱説明書の使 いかた

各章には以下の内容を記載しています。  
必要に応じてお読みください。

#### 1 章 設置と準備

システムの構成や接続、設置のしかたをはじめ、電源の入れかたやメニューの基本操作など、はじめてお使いになる前に必要な情報を記載しています。システムの全体を把握するためにお読みください。

#### 2 章 登録と設定—管理者用

本機のメニューを使った登録や設定をすべて説明しています。システムを管理する方がお読みください。

#### 3 章 基本的な接続

日常のコミュニケーションをするための基本的な操作や設定を記載しています。この章を読むだけで、接続を始めるところから終わるところまでがわかります。コミュニケーションを行う方がお読みください。

#### 4 章 いろいろな機器を使った接続

別売の機器やレコーディング、プレゼンテーション、アノテーションなどの

機能を使った様々なコミュニケーションのしかたを紹介しています。

#### 5 章 暗号化接続

映像、音声データを暗号化して接続を行う方法を説明しています。

#### 6 章 多地点接続

多地点に接続する方法を説明しています。

多地点接続には、別売の HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 が必要です。

#### ご注意

PCS-XG77/XG77S を親機とした多地点接続は、バージョン 1.41 以降で対応しました。ただし、PCS-XG77/XG77S にインストールできる HD MCU ソフトウェアは PCSA-MCG106 のみです。

#### 7 章 Web 機能

Web 経由で本機の操作、設定をする方法を説明しています。

#### 8 章 カメラユニットについて

PCS-XG100/XG77 に付属のカメラユニットと、本システムで使用を推奨するカメラユニットについて説明しています。

#### 付録

システムの各機器の各部の名称やメッセージ一覧、故障かな?、主な仕様、用語集などを記載しています。困ったときにお読みください。

---

## 本機の特長

HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S は、離れたところにいるグループを LAN（ローカルエリアネットワーク）や ISDN（デジタル公衆通信網）で結び、映像と音声を送受信することにより、相手側と同席しているかのようにコミュニケーションができるシステムです。

---

### 世界標準方式を採用

WTSC（世界電気通信標準化会議）が定めた ITU-T 勧告に準拠、日本国内だけでなく、海外とも簡単に接続することができます。

---

### HD（ハイディフィニション）映像の送受信が可能

ITU-T H.264 Baseline Profile および High Profile 映像符号化方式に対応し、1080p60（フルハイディフィニション）プログレッシブ形式の解像度 1920 × 1080 または 1280 × 720 の映像を毎秒 60 フレームで送受信できます。

#### ご注意

PCS-XG77/XG77S は、プログレッシブ形式の解像度 1920 × 1080 の映像には対応しておりません。ただし、別売の HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXG77 をインストールすると、プログレッシブ形式の解像度 1920 × 1080 の映像を毎秒最大 60 フレームで送受信できます。

---

### 広帯域ステレオ音声の送受信が可能

音声圧縮方式は、MPEG4 AAC（Advanced Audio Coding）ステレオ / モノラル 22 kHz に対応し、高音質の音声送受信が可能です。

また、内蔵のエコーキャンセラーは 16 kHz まで対応しています。

---

### データを使ったコミュニケーションに対応

カメラの映像と同時にコンピューターの出力画面を送信できます。

---

### 高速、高画質の送受信が可能

LAN による通信ビットレートは、最大 16 Mbps（PCS-XG77/XG77S は最大 4 Mbps）まで対応しています。また、ISDN 回線の場合、別売の ISDN ユニット PCSA-B384S を使うと最大で ISDN3 回線、6B チャンネル、PCSA-B768S を使うと、最大で ISDN6 回線、12B チャンネルの使用が可能です。

#### ご注意

PCS-XG100/XG100S とほかの機種（PCS-XG80/XG80S/XA80 を除く）との接続時には、通信ビットレートは最大 4 Mbps となります。

---

### 幅広い映像圧縮方式・音声圧縮方式に対応

映像圧縮方式は、H.264、H.263+、H.261、MPEG4\* 方式に対応、音声圧縮方式は、MPEG4 AAC\*\*、G.722、G.728、G.711 方式に対応しています。

\* MPEG4 は SIP 接続の場合のみ対応。

\*\* MPEG4 AAC は IP 接続と ISDN 接続の場合のみ対応。

#### **ご注意**

「H.261」はバージョン 2.0 で対応予定です。

---

### **アノテーションが可能**

別売のペンタブレットを使って、コミュニケーション中の映像に文字や画を描き加えたり、ポインターで指し示したりして送信できます。

---

### **100 地点までのカメラ位置をプリセット登録可能**

カメラの角度とズーム位置を最大 100 地点までプリセット登録できます。プリセット登録を呼び出すことにより、簡単にカメラの撮影範囲を切り換えることができます。

---

### **RF（無線）リモコンを採用**

付属のリモコンは、無線方式（2.4 GHz 帯）でコミュニケーションシステムをコントロールします。システム本体とリモコンは 1 対 1 の関係で認識されるように設定でき、近くに別のシステムがあっても混信が防げます。

---

### **ソフトキーボード**

モニター画面上に表示するソフトキーボードを使って入力が可能です。画面を見ながら視線を動かさずに入力することができます。

---

### **ネットワークの状態に応じて最適化できる QoS（Quality of Service）機能搭載**

パケット再送要求機能、最適レート制御機能および前方誤り訂正機能を搭載。ネットワークの状況に応じてこれらの機能をハイブリッドに使用し、常に高品質な通信を確保できます。

---

### **HDMI 端子を搭載**

HDMI 対応のディスプレイ機器との接続が容易です。PCS-XG100/XG100S は 2 台まで接続できます。また、PCS-XG100/XG100S のみ HDMI IN 端子を使って外部機器からの映像を入力することができます。

---

### **USB メモリーをサポート**

USB 端子を装備しており、USB メモリーにプライベートアドレス帳の作成や設定の保存が可能です。

#### **ご注意**

対応している USB メモリーについては、別途販売店にお問い合わせください。

---

### **HD のレコーディングが可能**

映像と音声を USB メモリーにレコーディングし、後にコンピューターで見ることができます。

---

### **SIP 対応**

IP 電話などの端末と SIP（Session Initiation Protocol）を使った接続ができます。

### **ご注意**

SIP 接続時には、通信ビットレートは最大 4 Mbps となります。

---

### **暗号化接続に対応**

本機は、ITU-T で規定された H.233、H.234、H.235 に準拠した標準暗号化方式に対応しており、機密性の高い通信を行うことが可能です。

---

### **多地点接続に対応**

別売の HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 をインストールすると、LAN および ISDN 回線を介して多地点間のコミュニケーションが可能です。

### **ご注意**

PCS-XG77/XG77S を親機とした多地点接続は、バージョン 1.41 以降で対応しました。ただし、PCS-XG77/XG77S にインストールできる HD MCU ソフトウェアは PCSA-MCG106 のみです。

---

### **KIOSK Mode に対応**

ワンタッチダイヤルからの発信のみのシンプルな操作にすることができます。

# システムの構成

HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S は、コミュニケーションをするために必要な基本システムと、より充実したコミュニケーションを行うための別売機器で構成されます。


## 基本システムを構成する機器

### ご注意


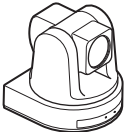

この説明書では、以下の機器について説明しています。

- ・ PCS-XG100  
システム本体に HD カメラユニット SRG-120DH を 1 台と、マイクロホン PCS-A1 を 2 個パッケージした HD ビジュアルコミュニケーションシステムパッケージ
- ・ PCS-XG77  
システム本体に HD カメラユニット SRG-120DH を 1 台と、マイクロホン PCS-A1 を 1 個パッケージした HD ビジュアルコミュニケーションシステムパッケージ
- ・ PCS-XG100S  
システム本体にマイクロホン PCS-A1 を 2 個パッケージした HD ビジュアルコミュニケーションシステムパッケージ
- ・ PCS-XG77S  
システム本体にマイクロホン PCS-A1 を 1 個パッケージした HD ビジュアルコミュニケーションシステムパッケージ


## PCS-XG100 の同梱品

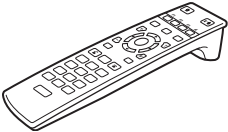

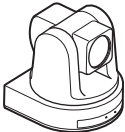

機器	説明
HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100S 	映像、音声信号を処理して送受信するコーデック部、音声のエコーをカットするエコーキャンセラーおよび通信回線とのインターフェース部、システム制御部からなります。




機器	説明
リモコン PCS-RFZ1 	HD ビジュアルコミュニケーションシステムとペアリングしてシステムをコントロールします。
AC アダプター 	コミュニケーションシステムに電源を供給します。
HD カメラユニット SRG-120DH 	ビデオ会議用のリモートカメラとして、中規模までの会議室での使用に適した広角ズームレンズ（ワイド画角71度）を搭載したフルHD 旋回型カメラです。
マイクロホン PCS-A1 	どの方向からの音でも拾える無指向性のマイクです。静かな部屋でのコミュニケーションにおすすめします。（2個付属）

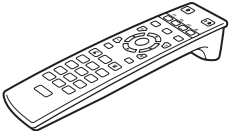

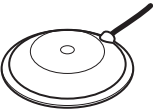
## PCS-XG77 の同梱品

機器	説明
HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG77S 	映像、音声信号を処理して送受信するコーデック部、音声のエコーをカットするエコーキャンセラーおよび通信回線とのインターフェース部、システム制御部からなります。


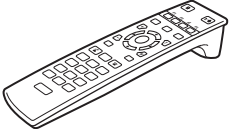
機器	説明
リモコン PCS-RFZ1 	HD ビジュアルコミュニケーションシステムとペアリングしてシステムをコントロールします。
AC アダプター 	コミュニケーションシステムに電源を供給します。
HD カメラユニット SRG-120DH 	ビデオ会議用のリモートカメラとして、中規模までの会議室での使用に適した広角ズームレンズ（ワイド画角 71 度）を搭載したフル HD 旋回型カメラです。
マイクホン PCS-A1 	どの方向からの音でも拾える無指向性のマイクです。静かな部屋でのコミュニケーションにおすすめします。（1 個付属）

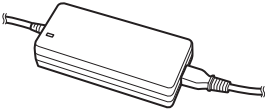

## PCS-XG100S の同梱品

機器	説明
HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100S 	映像、音声信号を処理して送受信するコーデック部、音声のエコーをカットするエコーキャンセラーおよび通信回線とのインターフェース部、システム制御部からなります。

機器	説明
リモコン PCS-RFZ1 	HD ビジュアルコミュニケーションシステムとペアリングしてシステムをコントロールします。
AC アダプター 	コミュニケーションシステムに電源を供給します。
マイクロホン PCS-A1 	どの方向からの音でも拾える無指向性のマイクです。静かな部屋でのコミュニケーションにおすすめします。(2 個付属)

## PCS-XG77S の同梱品


機器	説明
HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG77S 	映像、音声信号を処理して送受信するコーデック部、音声のエコーをカットするエコーキャンセラーおよび通信回線とのインターフェース部、システム制御部からなります。
リモコン PCS-RFZ1 	HD ビジュアルコミュニケーションシステムとペアリングしてシステムをコントロールします。

機器	説明
AC アダプター 	コミュニケーションシステムに電源を供給します。
マイクロホン PCS-A1 	どの方向からの音でも拾える無指向性のマイクです。静かな部屋でのコミュニケーションにおすすめます。(1 個付属)

## 別売機器の一覧

### 専用別売機器

以下の別売機器が用意されています。

機器	説明
ISDN ユニット PCSA-B384S 	ISDN 回線に接続します。最大 3 回線、6B チャンネルでの接続が可能です。 <b>ご注意</b> ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。
ISDN ユニット PCSA-B768S 	ISDN 回線に接続します。最大 6 回線、12B チャンネルでの接続が可能です。 <b>ご注意</b> ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。
HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106 PCSA-MCG109	LAN や ISDN 回線を使って多地点接続をするためのソフトウェアです。 <b>ご注意</b> PCS-XG77/XG77S を親機とした多地点接続は、バージョン 1.41 以降で対応しました。ただし、PCS-XG77/XG77S にインストールできる HD MCU ソフトウェアは PCSA-MCG106 のみです。

機器	説明
HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXG77	<p>PCS-XG77/XG77S で、プログレッシブ形式の解像度 1920 × 1080 の映像を送受信するためのソフトウェアです。インストールすると、毎秒最大 60 フレーム送受信できます。</p> <p><b>ご注意</b></p> <p>PCS-XG100/XG100S には、インストールできません。</p>
モバイルアクセスソフトウェア PCSA-SAG8 (PCS-XG100/ XG100S 用) PCSA-SAG1 (PCS-XG77/ XG77S 用)	<p>PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S とモバイル端末を直接接続するためのソフトウェアです。</p>

# システムの構成例

HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG77/  
XG100S/XG77S は、基本システムと別売機器の組み合わせにより、  
さまざまなシステムを構成できます。ここでは、代表的な例をあげ  
て、システムの構成に必要な機器とそのシステムでどんなことができ  
るかを説明します。

## ご注意

- ・システム構成図などではカメラユニットとして、PCS-XG100/XG77 に付属  
の HD カメラユニット SRG-120DH のイラストを使用しています。
- ・システム構成図にはマイクロホン PCS-A1 が 2 個描かれていますが、  
PCS-XG77/XG77S には 1 個のみ同梱されます。

## 構成例 (LAN 接続)

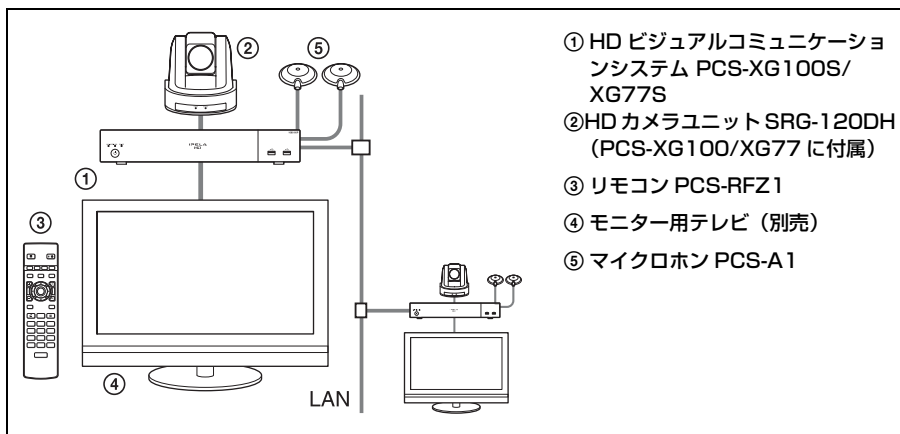
### このシステムのできること

- ・LAN を介した 2 地点間の HD ビジュアルコミュニケーションがで  
きます。
- ・外部マイクを 2 本接続して、音声をステレオで収録することができ  
ます。

## ご注意

音声をステレオで収録できるのは、対向接続時のみです。

### システム構成図



## 構成例 (ISDN 接続)

ISDN 回線に接続するには、専用別売機器の ISDN ユニット PCSA-B384S または PCSA-B768S が必要です。

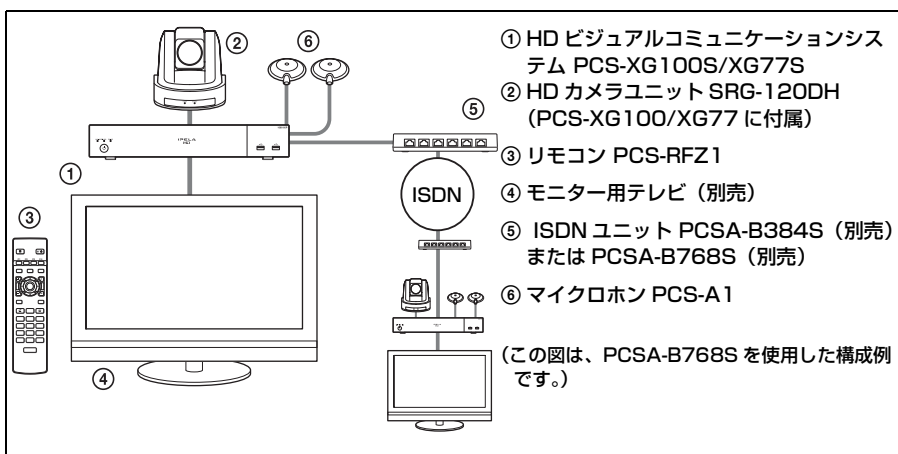
### ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。

### このシステムでできること

- ・ ISDN 回線を介した 2 地点間の HD ビジュアルコミュニケーションができます。
- ・ 外部マイクを 2 本接続して、音声をステレオで収録することができます。
- ・ PCSA-B384S 使用時は ISDN 回線を最大 3 回線、PCSA-B768S 使用時は最大 6 回線で接続して高速・高画質のコミュニケーションができます。

### システム構成図



### ISDN の回線数と B チャンネルについて

本機は、PCSA-B384S を介して最大 3 回線 (6B チャンネル)、PCSA-B768S を介して最大 6 回線 (12B チャンネル) の ISDN 回線を使用することができます。同一の通信に使うチャンネル数が多い程、高速・高画質の通信ができます。

## ご注意

ISDN ユニットのポートは、番号が若い順に使用してください。

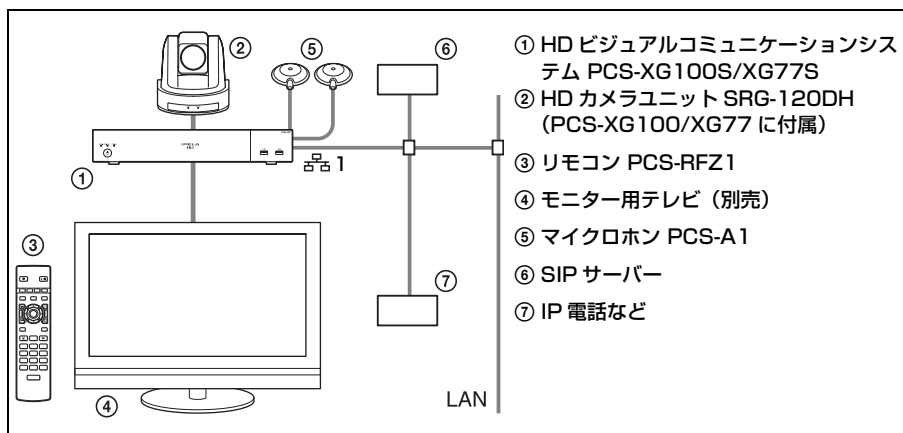
○：1、2、3…

×：1、6、5…

## 構成例 (SIP 接続)

### このシステムでできること

- ・SIP サーバーを介して IP 電話などの端末と HD ビジュアルコミュニケーションができます。
- ・外部マイクを 2 本接続して、音声をステレオで収録することができます。



## ご注意

SIP 接続をする場合は、本機の品1 (LAN1) 端子 (PCS-XG77/XG77S では品 (LAN) 端子) をご使用ください。品2 (LAN2) 端子へ接続すると SIP サーバーはご使用になれません。



## 構成例 (2本のLANを使った接続) (PCS-XG100/XG100Sのみ)

### このシステムでできること

品1 (LAN1) 端子と品2 (LAN2) 端子を使って2本のLANを本機に接続しておくことができます。

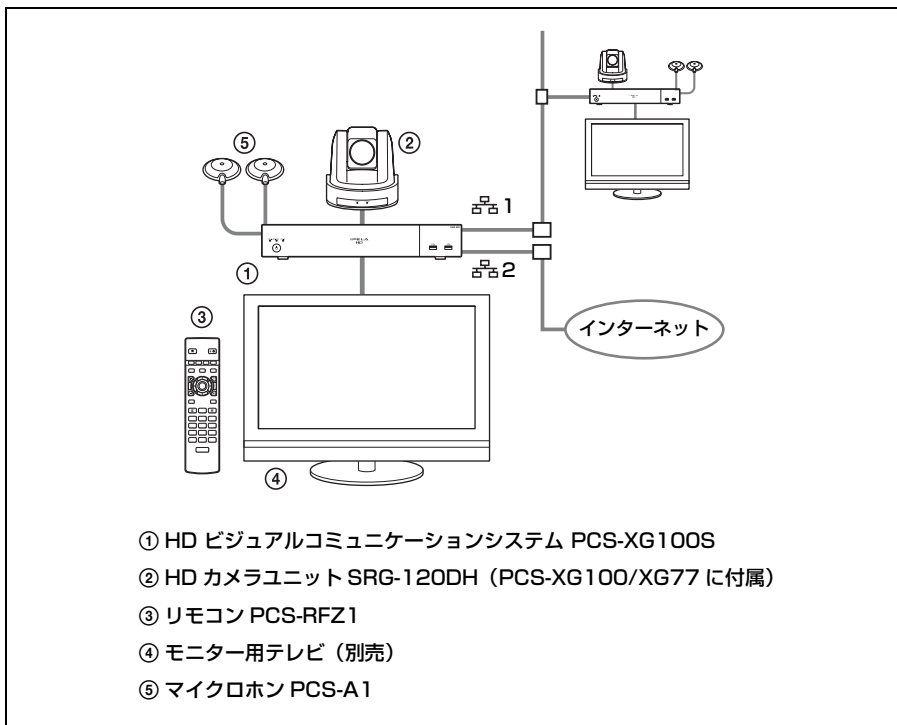
品1端子を社内のネットワークなどへの接続、品2端子をインターネットなど社外への接続にご使用ください。

### ご注意

- ・ PCS-XG77/XG77Sには、品2端子はありません。
- ・ 品2端子へ接続した場合、SIPサーバー、ゲートキーパー、Telnet、Webアクセスなど、ネットワークを使用しての本機の機能が一部使用できません。LANを1本だけ使用する場合は、品1端子へ接続してください。

◆詳しくは、「LAN2使用時の制限 (PCS-XG100/XG100Sのみ)」(108ページ)をご覧ください。

### システム構成図



## 構成例—多地点接続 (LAN 接続)

別売の HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 が必要です。

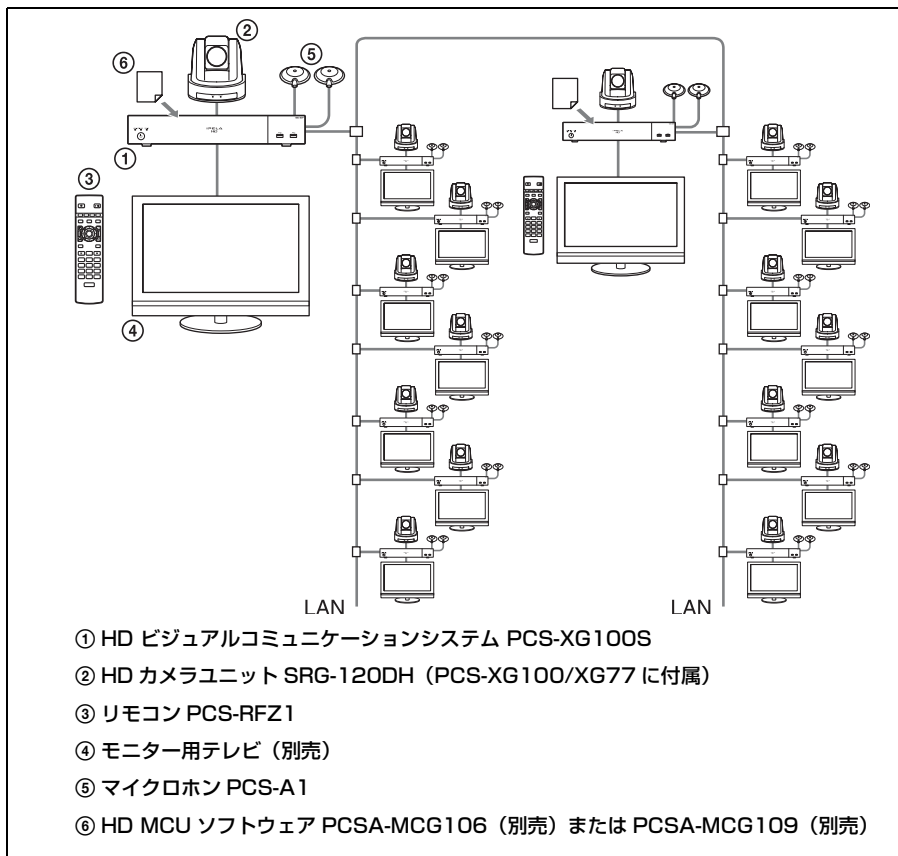
### で注意

- ・ PCS-XG77/XG77S を親機とした多地点接続は、バージョン 1.41 以降で対応しました。ただし、PCS-XG77/XG77S にインストールできる HD MCU ソフトウェアは PCSA-MCG106 のみです。
  - ・ HD MCU ソフトウェアを使用するには、ライセンスキーの購入とインストールが必要です。ライセンスキーの購入方法については、販売店にお問い合わせください。
- ◆ライセンスキーのインストール方法について詳しくは、「ソフトウェアオプションを追加する」(205 ページ) をご覧ください。

### このシステムでできること

LAN を介した最大 16 地点間の HD ビジュアルコミュニケーションができます。

## システム構成図



## 構成例—多地点接続（LAN と ISDN の混在接続）

別売の HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 を 2 台の HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG100S/XG77/XG77S にインストールすることにより、LAN および ISDN 回線が混在した最大 10 地点間の多地点接続が可能です。

### ご注意

- ・ ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。
  - ・ PCS-XG77/XG77S を親機とした多地点接続は、バージョン 1.41 以降で対応しました。ただし、PCS-XG77/XG77S にインストールできる HD MCU ソフトウェアは PCSA-MCG106 のみです。
  - ・ HD MCU ソフトウェアを使用するには、ライセンスキーの購入とインストールが必要です。ライセンスキーの購入方法については、販売店にお問い合わせください。
- ◆ライセンスキーのインストール方法について詳しくは、「ソフトウェアオプションを追加する」（205 ページ）をご覧ください。

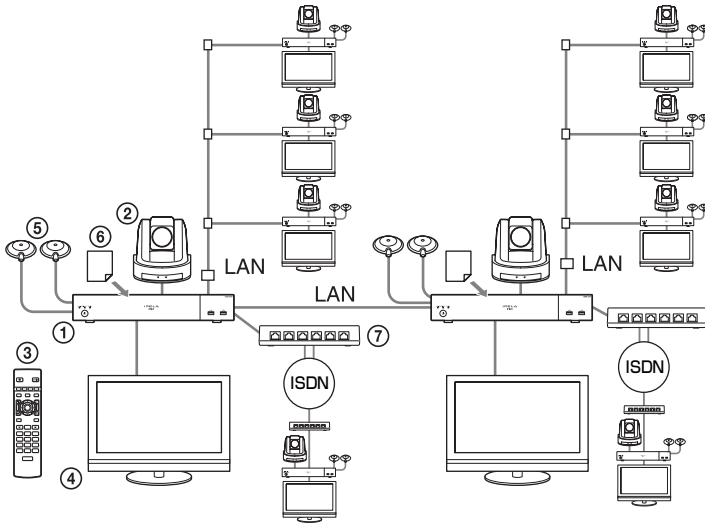
### このシステムでできること

LAN および ISDN 回線を介した最大 10 地点間の HD ビジュアルコミュニケーションができます。

### ご注意

- ・ HD MCU ソフトウェアをインストールした 2 台のコミュニケーションシステムは、必ず LAN を介して接続してください。
- ・ HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 をインストールした端末 1 台につき、ISDN 接続できるのは 1 台のみです。

## システム構成図



(この図は、PCSA-B768S  
を使用した構成例です。)

- ① HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100S
- ② HD カメラユニット SRG-120DH (PCS-XG100/XG77 に付属)
- ③ リモコン PCS-RFZ1
- ④ モニター用テレビ (別売)
- ⑤ マイクホン PCS-A1
- ⑥ HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106 (別売) または PCSA-MCG109 (別売)
- ⑦ ISDN ユニット PCSA-B384S (別売) または PCSA-B768S (別売)

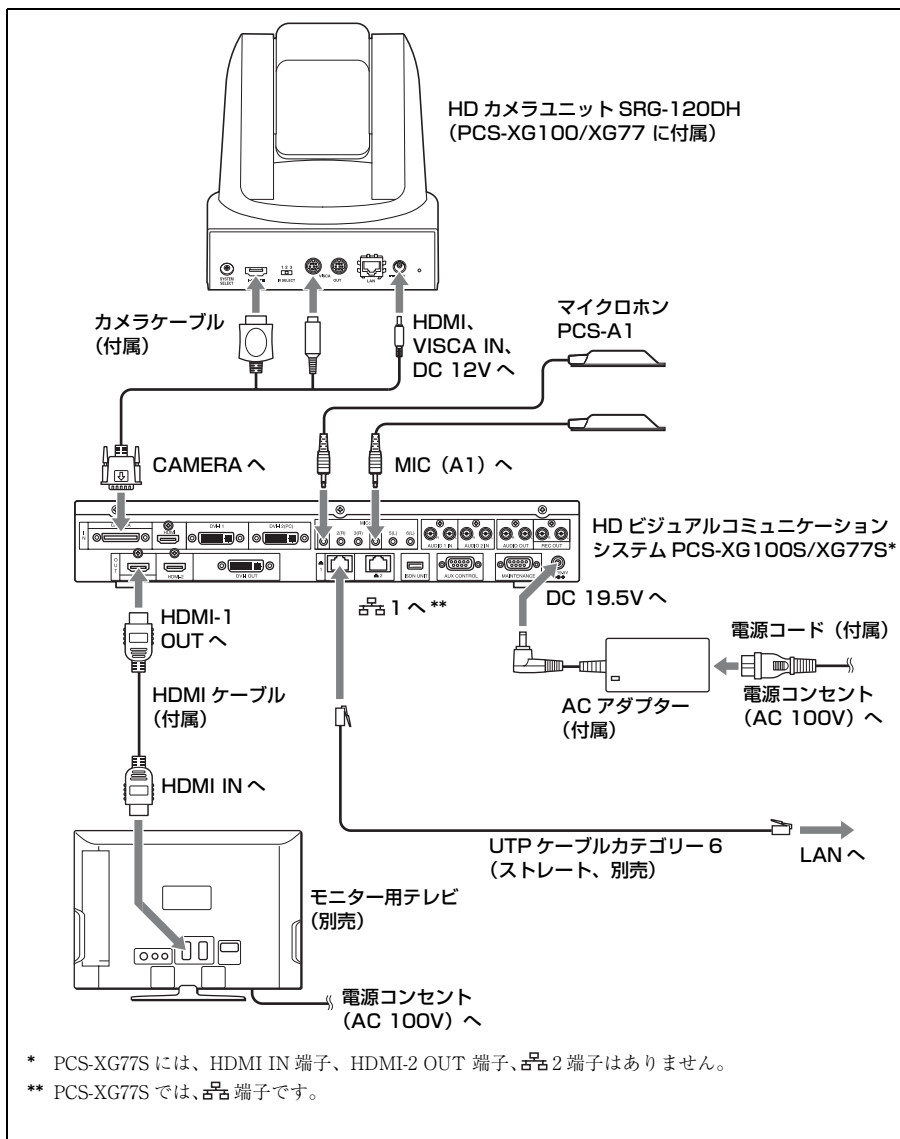
## システムの接続

ここでは、代表的なシステムの接続のしかたを説明します。

### 注意

- ・接続するときは、必ず各機器の電源を切ってから行ってください。
- ・カメラユニットやシステム本体、ISDN ユニットが壊れますので、電源を入れたままカメラケーブルやインターフェースケーブル、ペンタブレットを抜き差ししないでください。
- ・安全のために、1000BASE-T 端子を過電圧が加わるおそれのあるネットワークなどに接続しないでください。
- ・**ISDN ユニットの初めてシステムに接続して使用する**とき、システムが自動的に接続した機器のソフトウェアをバージョンアップすることがあります。モニター画面のメッセージに従ってバージョンアップを行ってください。なお、バージョンアップ中は故障の原因となりますので、絶対に電源を切ったりケーブルを抜いたりしないでください。
- ・ソニー製 HDMI ケーブルの使用を推奨します。

## 接続例 (LAN 接続)



### ご注意

- ・ UTP ケーブルは、通常は品番1 端子 (緑の表示) へ接続してください。品番2 端子へ接続した場合、本機の機能が一部制限されます。

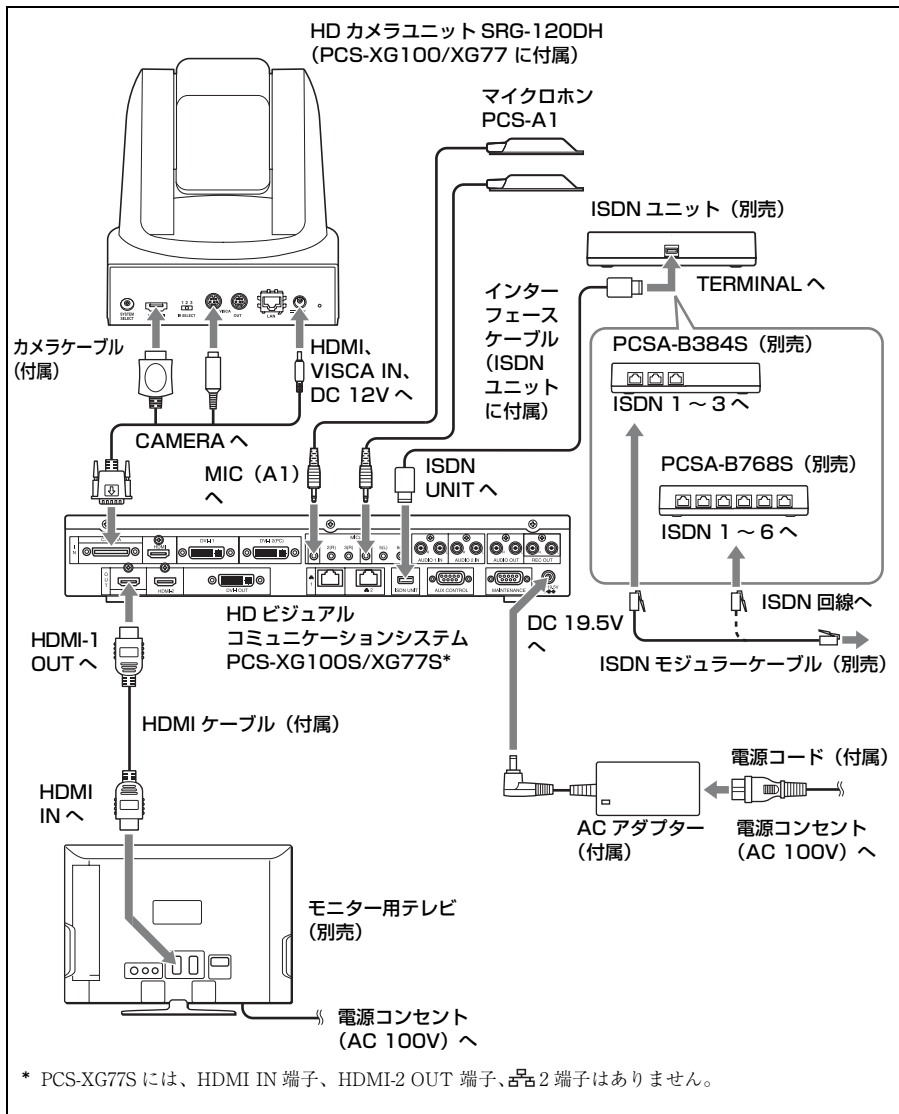
◆ 詳しくは、「LAN2 使用時の制限 (PCS-XG100/XG100S のみ)」(108 ページ) をご覧ください。

- ・ REC OUT 端子は、議事録として音声を録音するときなどに使用します。通常は使用しません。

## 接続例 (ISDN 接続)

### ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。



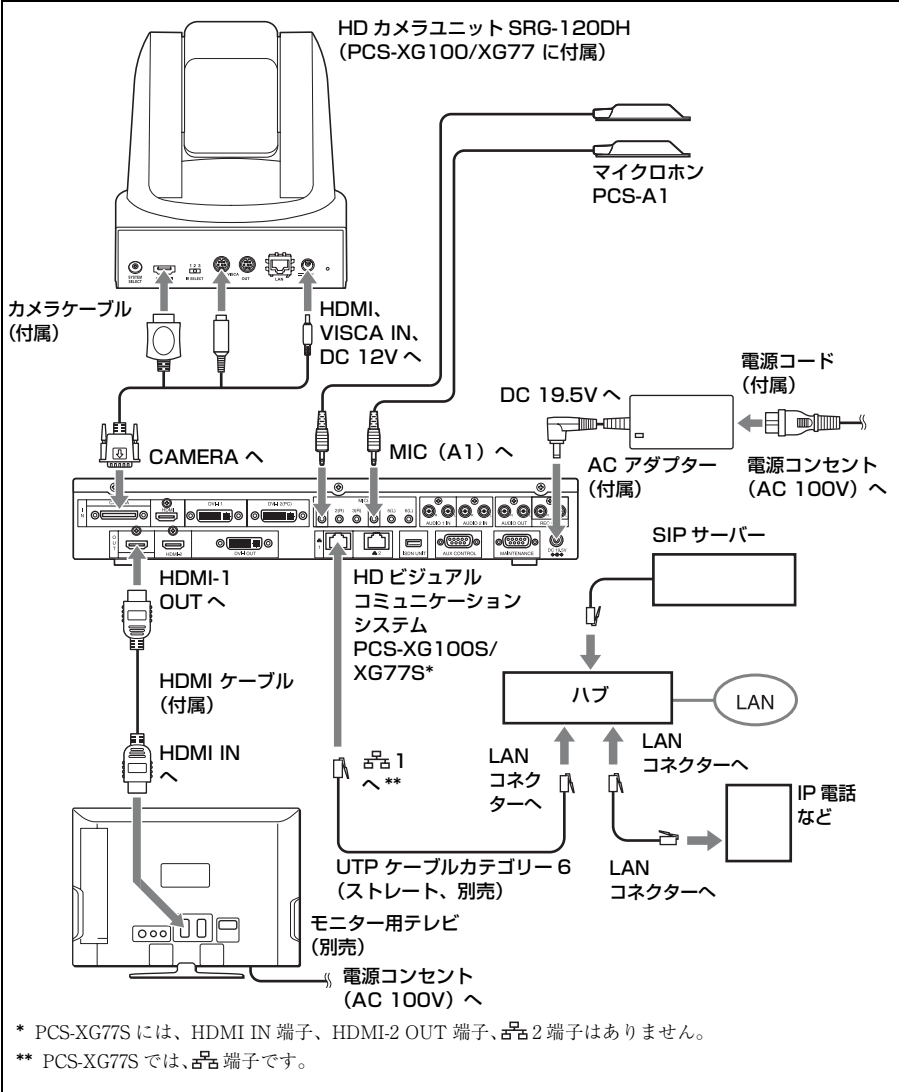
\* PCS-XG77S には、HDMI IN 端子、HDMI-2 OUT 端子、品番 2 端子はありません。



**ご注意**

REC OUT 端子は、議事録として音声を録音するときなどに使用します。通常は使用しません。

**接続例 (SIP 接続)**



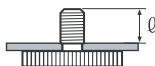
## で注意

- ・ UTP ケーブルは、通常は品1 端子（緑の表示）へ接続してください。品2 端子へ接続した場合、本機の機能が一部制限されます。
  - ◆詳しくは、「LAN2 使用時の制限（PCS-XG100/XG100S のみ）」（108 ページ）をご覧ください。
- ・ REC OUT 端子は、議事録として音声を録音するときなどに使用します。通常は使用しません。

## カメラユニットを三脚に取り付ける

### 三脚に取り付けるには

底面の三脚取り付け部のネジ穴に三脚を取り付けます。  
三脚取り付け部のネジは、カメラユニットの規格に応じて、取り付け面からの飛び出し量（ $\ell$ ）が下記のものを使用し、ハンドドライバーで締めこんでください。



飛び出し量（ $\ell$ ）	カメラユニット
$\ell = 4.5 \sim 7 \text{ mm}$	PCS-XG100/XG77 に付属のカメラユニット SRG-120DH
$\ell = 4.3 \sim 5 \text{ mm}$	別売の推奨カメラユニット PCSA-CXG100/EVI-H100V
$\ell = 5.5 \text{ mm}$	別売の推奨カメラユニット EVI-HD7V/EVI-HD3V

# システムの準備

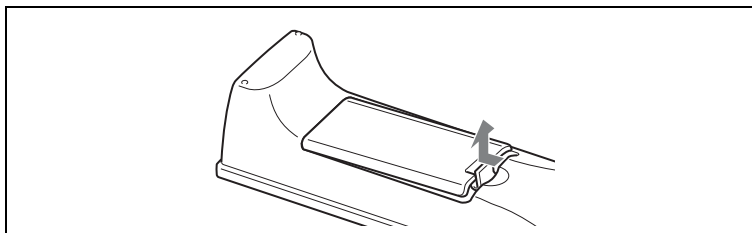
## リモコンに乾電池を入れる

### 注意

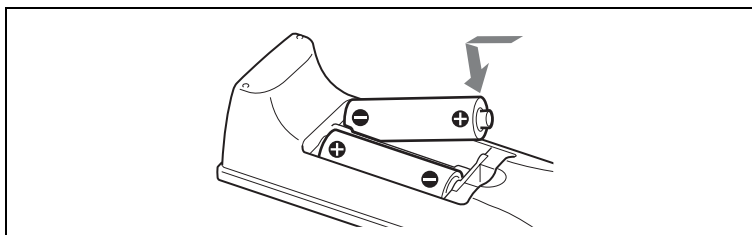
指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。  
必ず指定の電池に交換してください。  
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

HD ビジュアルコミュニケーションシステムでは、操作のほとんどを付属のリモコンで行います。ここでは、リモコンへの電池の入れかたを説明します。

### 1 電池ぶたを取り外す。



### 2 単3形乾電池を2本、⊕ ⊖ の向きを正しく入れる。



### ⚠ 注意

リモコンに乾電池を入れるときは、⊖ 極側から入れてください。⊕ 極側から乱暴に入れようとすると、乾電池の絶縁被膜が破れてショートすることがあります。

### 3 電池ぶたを取り付ける。



#### 乾電池の寿命

乾電池が消耗すると、接続しているモニター画面上に「リモコンの電池が減っています」と表示され、リモコンのボタンを押してもLEDが点滅せず、リモコンで操作ができなくなります。この場合、2本とも新しい乾電池と交換してください。



#### 乾電池についてのご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ・ ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れてください。
- ・ 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 乾電池は充電できません。
- ・ 長い間乾電池を使わないときは、取り出しておいてください。
- ・ 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。

#### 電池の使用について

リモートコマンダー PCS-RFZ1 には、単 3 形乾電池が 2 個必要です。破裂の原因となりますので、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池以外は使わないでください。

## リモコンとシステム本体のペアリングを行う

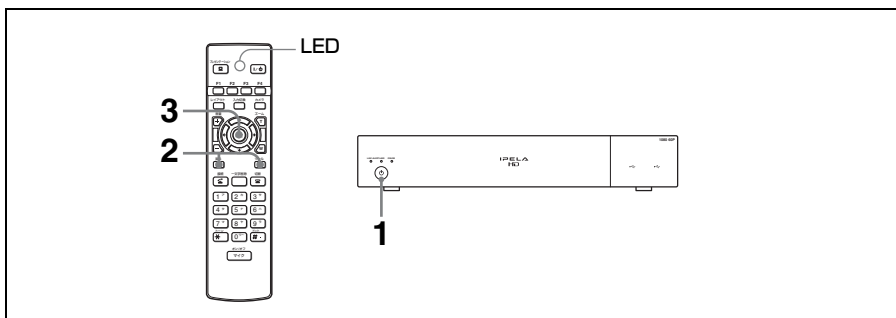
付属のリモコンは、無線方式（24 GHz 帯）で HD ビジュアルコミュニケーションシステムをコントロールします。リモコンとシステム本体は、1 対 1 の関係として認識され（ペアリング）、別のリモコンや別のシステムとの混信を防いでいます。

リモコンとシステム本体は出荷時にペアリング済みです。次の方法でシステム本体に再度ペアリングさせることができます。

### ご注意

近くに複数台の HD ビジュアルコミュニケーションシステムがある場合は、ペアリングの対象でない機器の電源を切ってください。複数の機器の電源が入っていると、希望の機器以外とペアリングされてしまう場合があります。

## リモコンとシステム本体をペアリングするには



### 1 システム本体の $\odot$ （電源）スイッチを押して電源を入れる。

システム本体の  $\odot$ （電源）スイッチ外側の LED が点滅を始めます。電源が入ると LED の点滅が緑色の点灯に変わります。

### 2 ホーム画面が表示されてから 5 分以内に、リモコンをシステム本体にできるだけ近づけ、ツールボタンを押しながら、戻るボタンを 3 秒間以上押し続ける。

リモコンの LED が早く点滅します。


### 3 リモコンの決定ボタンを押す。

リモコンの LED が 2 回遅く点滅すれば、リモコンとシステム本体のペアリングが成功です。

## ペアリングに失敗すると

リモコンの LED が約 30 秒後に 5 回遅く点滅し、その後早く点滅します。この場合は、再度リモコンの決定ボタンを押してください。

## 途中でペアリングを中止するときは

リモコンの  (電源) ボタンを押してください。リモコンの LED が早い点滅から消灯に変わります。

### ヒント


- ・リモコンのボタンを押しても LED がまったく点滅しない場合は、リモコンの乾電池が寿命の可能性があります。新しい乾電池と交換してみてください。
- ・いったんペアリングが成功すると、リモコンの乾電池を交換してもペアリングは解消されません。
- ・リモコンの操作範囲は約 10 m です。条件により、それ以上の距離でも操作可能な場合があります。

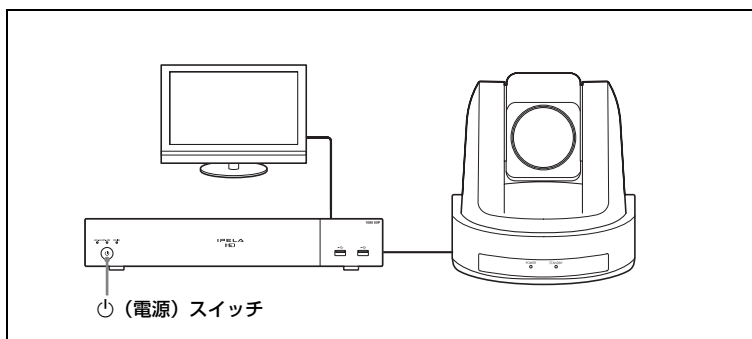
# 電源を入れる / 切る


ここでは、HD ビジュアルコミュニケーションシステムの電源を入れる手順や切る手順など、電源に関する説明をします。

## 電源を入れる

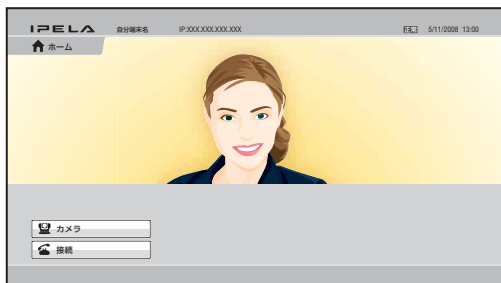
システムの電源を入れる手順は以下のとおりです。

- 1 モニター用テレビの電源を入れる。
- 2 使用するその他の機器の電源を入れる。
- 3 システム本体の  (電源) スイッチを押して電源を入れる。



システム本体の  (電源) スイッチ外側のLEDが点滅を始めます。電源が入るとランプの点滅が緑色の点灯に変わります。モニター用テレビにはホームメニューが表示され、自分側のカメラが写している映像も表示されます。

## ホームメニュー




## ご注意

- ・電源が入ると、カメラが動作テストを行います。指を挟まないようにしてください。
- ・カメラが移動中に無理に動きをさえぎると、カメラの動きが止まり、カメラの映像が出なくなります。この場合は、システムの電源を入れ直してください。

## ヒント

- ・設置後に初めて電源を入れたときは、自己診断が終了すると、初期設定用のウィザードが表示されます。ウィザードに従って設定を行ってください。
  - ◆ウィザードを使った設定については、「設置直後の設定－初期設定ウィザード」(43 ページ)をご覧ください。
- ・ISDN ユニットなど別売の専用機器を初めてシステムに接続して使用するとき、システムが接続した機器のソフトウェアを自動的にバージョンアップすることがあります。モニター画面のメッセージに従ってバージョンアップを行ってください。なお、バージョンアップ中は故障の原因となりますので、絶対に電源を切ったりケーブルを抜いたりしないでください。また、バージョンアップ中に停電などでシステムの電源がオフになった場合も正常に動作しないことがあります。電源がオフになり、再び電源が入ったあと、カメラユニットや ISDN ユニットなどが認識されない場合は、サービス窓口にご連絡ください。
- ・システムのバージョンや接続されている専用別売機器のバージョン、使用しているソフトウェアオプションなどを機器状態メニュー画面で確認できます。
  - ◆機器状態メニューについて詳しくは、「機器状態を表示する」(102 ページ)をご覧ください。

## スタンバイモードについて

一定時間システムを操作しないと、システムは節電のため、スタンバイモードに入ります。スタンバイモードに入ると、システム本体の  (電源) スイッチ外側の LED はオレンジ色に点灯します。完全に電源を切らずスタンバイモードにしておくと、リモコンのボタンで電源を入れることができます。相手から呼び出しを受けると、スタンバイモードは解除されます。



## システムをスタンバイ状態にする

### 1 ホームメニューを表示し、リモコンの I/⏻ ボタンを押す。

モニター画面に「電源を切りますか?」という確認のメッセージが表示されます。

### 2 リモコンの ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンを押して「スタンバイ」を選び、決定ボタンを押す。またはリモコンの I/⏻ ボタンを押す。

システムがスタンバイモードになり、システム本体の ⏻ (電源) スイッチ外側の LED がオレンジ色に点灯します。

### スタンバイモードにするのを中止するには

手順2でリモコンの ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンを押して「キャンセル」を選び、決定ボタンを押してください。

### スタンバイモードを解除するには

リモコンのボタンを押してください。

### スタンバイモードに入るまでの時間を設定するには

一般設定メニューの「機器設定」ページ、「スタンバイ時間」でスタンバイモードに入るまでの時間 (1～99分) を設定してください。スタンバイモードにしたくないときは、同じページの「スタンバイモード」を「切」に設定してください。

◆設定については、一般設定メニューの「スタンバイモード」と「スタンバイ時間」(89ページ) をご覧ください。

## 電源を切る

### 1 システム本体の ⏻ (電源) スイッチを押す。

モニター画面に「電源を切りますか?」と表示されます。

### 2 リモコンの ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンを押して「電源オフ」を選び、決定ボタンを押す。またはリモコンの I/⏻ ボタンを押す。

システムの電源が切れます。

### 3 使用したその他の機器の電源を切る。

#### ご注意

・長期間システムを使わないときは、電源を切ってください。ただし、電源が切れていると、相手から呼び出しが受けられません。

- ・電源コードは、電源を完全に切ってからコンセントから抜いてください。
- ・電源コードをコンセントから抜いたまま放置すると、約 10 日後に日時設定がリセットされます。この場合、一般設定メニューの「日時設定」ページで日時を再設定してください。

## モニター用テレビの音量を調節する

音量の調節のしかたは、システムの設置時と通信時とで異なります。システムの設置時にはモニター用テレビ側、通信時にはシステム側で音量の調節を行います。

---

### システム設置時の音量調節

システム側で主音量を調節してから、モニター用テレビ側で音量調節してください。

- 1 リモコンの音量+ / - ボタンを押して、モニター画面の音量調節バーが真ん中になるようにする。



- 2 モニター用テレビの音量を相手の声がよく聞きとれる音量に調節する。

#### **ご注意**

接続しているモニター用テレビのサラウンド機能などは使用しないでください。システムのエコーキャンセラーが正しく動作しなくなり、音がおかしくなります。

---

### 通信中の音量調節

通信中は、リモコンの音量+ / - ボタンを押して、システム側で音量を調節してください。

# 設置直後の設定－初期設定ウィザード

設置後に初めて電源を入れたときは、自己診断が終わると、初期設定用のウィザードが表示されます。ウィザードに従って登録を行ってください。

ここで設定した項目は、あとで設定メニューを使って変更することもできます。

## ご注意

システムを設置後に ISDN ユニット PCSA-B384S または PCSA-B768S を新たに取り付けた場合にも初期設定用ウィザードが表示されます。この場合も登録を行ってください。



## 表示言語を選ぶ

- 1 ウィザード画面でリモコンの  $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$  ボタンを押して「言語を選ぶ」を選び、決定ボタンを押す。



## 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押してメニューやメッセージの言語を選ぶ。

英語、フランス語、ドイツ語、日本語、スペイン語、イタリア語、簡体中国語、ポルトガル語、繁体中国語、韓国語、オランダ語、デンマーク語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、ロシア語、アラビア語、タイ語、トルコ語、ノルウェー語、ウェールズ語、チェコ語、ハンガリー語から選択します。

## 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押して「保存」を選び、決定ボタンを押す。

ウィザード画面に戻ります。

---

### 時間と地域を設定する

## 1 ウィザード画面でリモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押して「時間と地域を合わせる」を選び、決定ボタンを押す。

## 2 時間と地域に関する設定をする。

The screenshot shows the IPELA Wizard interface. At the top, it says 'IPELA' and 'ウィザード 時間と地域を合わせる'. On the left, there is a sidebar with '時間と地域' selected. The main area is titled '地域を選択します' and contains several input fields: a dropdown menu for '地域を選択します', a dropdown menu for '表示形式を選択します' with '年/月/日' selected, and text input fields for '年を入力します', '月を入力します', '日を入力します', and '時間を入力します'. At the bottom, there are two buttons: '保存' and 'キャンセル'.

**地域を選択します**：本機を使う国／地域を選びます。

**表示形式を選択します**：年、月、日の表示形式を選びます。

**年、月、日、時間を入力します**：リモコンの数字キーを使って入力します。

◆リモコンを使った入力方法は、「リモコンで文字や数字を入力する」(56ページ)をご覧ください。

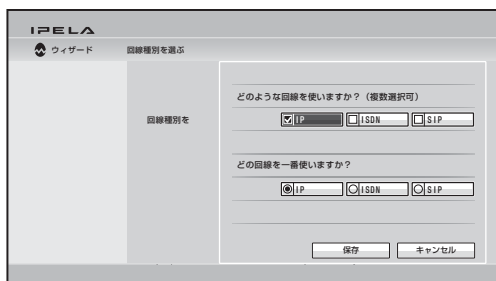
## 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押して「保存」を選び、決定ボタンを押す。

ウィザード画面に戻ります。

---

## 通信回線を設定する

- 1 ウィザード画面でリモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押して「回線種別を選ぶ」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 使用する回線を設定する。



どのような回線を使いますか？：IP、ISDN、SIP から選択できます。  
どの回線を一番使いますか？：「どのような回線を使いますか？」で複数の回線を選んだ場合は、ここで一番よく使う回線を選択します。IP、ISDN、SIP から選択できます。

- 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押して「保存」を選び、決定ボタンを押す。  
ウィザード画面に戻ります。

---

## LAN を設定する

ウィザード画面で「LAN 設定の設定を行う」を選び、LAN 接続のための設定を行います。

---

## ISDN を設定する

ウィザード画面で「ISDN の設定を行う」を選び、ISDN 接続のための設定を行います。

---

## SIP を設定する

ウィザード画面で「SIP の設定を行う」を選び、SIP 接続のための設定を行います。

# メニューの基本操作

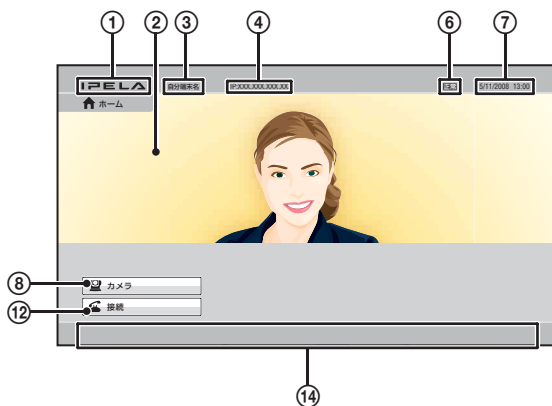
本機では、モニター画面に表示されるメニューを使って各種調整や設定を行います。ここではメニューの基本的な操作のしかたと表示されるメニューの種類を簡単に説明します。

## ホームメニューの見かた

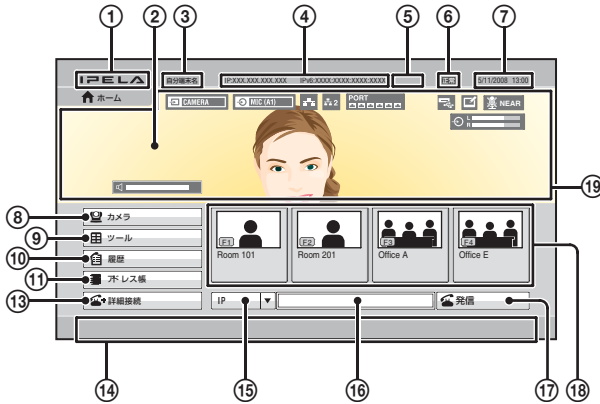
電源を入れたときなど通信中でないときは、通常、ホームメニューが画面に表示されます。ホームメニューには、自分側のカメラの映像や自分の端末名、日時、メニュー操作用のボタンなどが表示できます。ホームメニューに表示させる項目は、ホーム画面設定メニューの「ホーム画面1」～「ホーム画面3」ページで選択できます。出荷時と最大表示時のホームメニューを例に、ホームメニューに表示される項目を説明します。

◆ホーム画面設定メニューについて詳しくは、93ページをご覧ください。

## 出荷時のホームメニュー



## 最大表示時のホームメニュー



### ① IPELA ロゴ

### ② 背景

カメラの映像が表示されます。

### ③ 自端末名

設定してある自分の端末名が表示されます。

### ④ 自分の IP アドレス

自分の端末の IP アドレスが表示されます。

管理者設定メニューの「インターネットプロトコル」が「IPv4/IPv6」に設定されている場合は、IPv6 の IP アドレスも表示されます。

#### 【注意】

- ・「インターネットプロトコル」の「IPv4/IPv6」はバージョン 2.0 で対応予定です。
- ・ IPv6 の IP アドレスの上位数桁は表示されません。

一般設定メニューの「ホーム画面 1」ページ、「番号表示」(93 ページ) の設定により、IP アドレスの代わりに、ゲートキーパーのユーザー名やユーザー番号、NAT アドレスなどを表示することもできます。

### ⑤ ISDN 回線番号

自分の端末の ISDN 回線番号が表示されます。

## ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。

### ⑥ 端末状態

自分の端末の状態が表示されます。

### ⑦ 日時表示

現在の日時が表示されます。

### ⑧ カメラボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、カメラメニューが表示されます。

カメラメニューは、カメラのアンクル調整や輝度調整、カメラ調整状態のプリセット登録、プリセット移動などをするときに使います。

#### カメラメニュー



◆カメラメニューについて詳しくは、151 ページをご覧ください。

### ⑨ ツールボタン

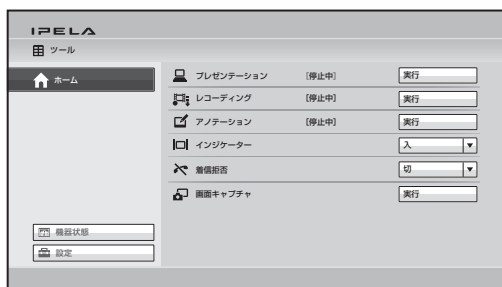
このボタンを選択して決定ボタンを押すと、ツールメニューが表示されます。

ツールメニューは、プレゼンテーションやレコーディング、アノテーションなどの操作を実行するときに使います。

また、ツールメニューから、機器状態メニューや設定メニューを表示させることができます。



## ツールメニュー



- ◆ ツールメニューについて詳しくは、167 ページをご覧ください。
- ◆ 機器状態メニューについて詳しくは、102 ページをご覧ください。
- ◆ 設定メニューについて詳しくは、60 ページをご覧ください。

### ⑩ 履歴ボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、履歴メニューが表示されます。

履歴メニューは、今までのコミュニケーションの履歴を確認したり、履歴から相手を呼び出すときに使います。

## 履歴メニュー



- ◆ 履歴メニューについて詳しくは、125 ページをご覧ください。

### ⑪ アドレス帳ボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、アドレス帳が表示されます。

アドレス帳は、相手を登録したり、登録した相手を呼び出すときに使います。

## アドレス帳



◆アドレス帳について詳しくは、136 ページをご覧ください。

### ⑫ 接続ボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、接続メニューが表示されます。

接続メニューは、相手を呼び出すときに使います。

### 接続メニュー



◆接続メニューについて詳しくは、121 ページをご覧ください。

### ⑬ 詳細接続ボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、詳細接続メニューが表示され、相手先への接続方法を詳細に設定して呼び出すことができます。

## 詳細接続メニュー



◆ 詳細接続メニューについて詳しくは、129 ページをご覧ください。

### ⑭ ガイダンス

ホームメニューの操作説明などが表示されます。

### ⑮ 回線種別選択ボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、回線種別の選択項目が表示されます。使用する回線を選び、決定ボタンを押します。

### ⑯ 番号入力欄

アドレス帳に登録されていない相手呼び出すとき、この欄を選択し、相手の IP アドレスやドメイン名、ISDN 回線番号などを入力します。

### ⑰ 発信ボタン

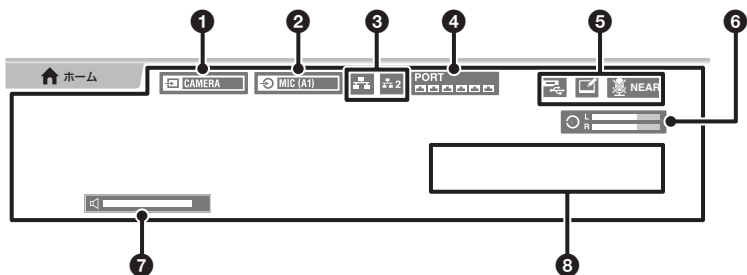
このボタンを選択して決定ボタンを押すと、番号入力欄に入力した相手呼び出します。

### ⑱ ワンタッチダイヤルボタン

呼び出したい相手のボタンを選択して決定ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。サブメニューから相手呼び出すことができます。

リモコンの F1～F4 ボタンを押してもワンタッチダイヤルボタンに登録した相手呼び出すことができます。

## ⑱ 表示部



### ① ビデオ入力表示

現在選択されているビデオ入力が表示されます。

表示されるビデオ入力名は、映像設定メニューの「ビデオ入力選択名」で設定した名前です。

### ② オーディオ入力表示

現在選択されているオーディオ入力が表示されます。

### ③ LAN 状態表示

LAN の状態が表示されます。LAN が使用可能の場合は白く表示され、使用不可能の場合は灰色で表示されます。

### ④ ISDN 状態表示

ISDN ユニットのポートの状態が表示されます。使用可能なポートは白く表示され、使用不可能なポートは灰色で表示されます。

### ⑤ インジケーター表示

マイクオフ、USB メモリー挿入、タブレット接続、レコーディング中などの状態が表示されます。

### ⑥ オーディオレベルメーター

現在のオーディオ入力レベルが表示されます。

## 7 ボリューム表示

音量調節をしたとき、一定時間表示されます。

## 8 異常時メッセージ

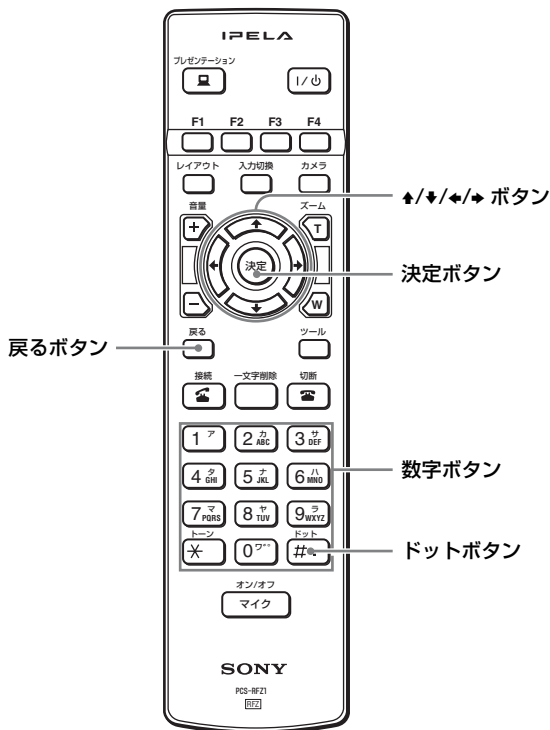
システムに異常があったとき、警告やガイダンスなどが表示されます。

## メニューを操作する

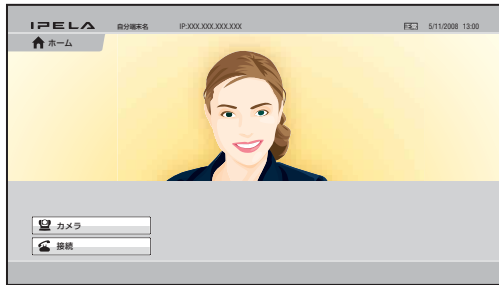
ホームメニューからカメラメニューを呼び出して、手動で輝度調整を行う場合を例として、メニューの基本操作を説明します。

### メニュー操作に使うボタン

メニュー操作には、リモコンの次のボタンを使います。



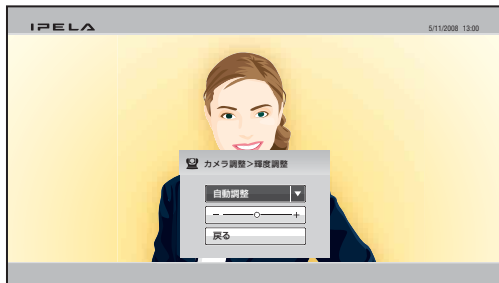
## 1 ホームメニューを表示する。



- 2 **↑/↓/←/→** ボタンで「カメラ」を選び、決定ボタンを押す。  
カメラメニューが表示されます。



- 3 **↑/↓/←/→** ボタンで「輝度調整」を選び、決定ボタンを押す。  
輝度調整メニューが表示されます。



## 4 決定ボタンを押す。

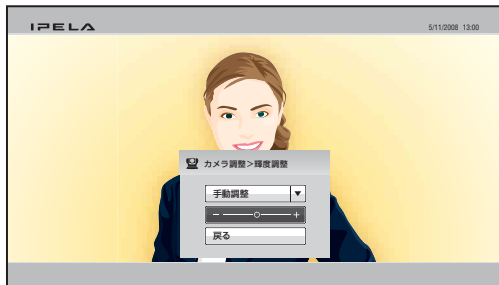
輝度調整の調整モードを選択できるようになります。

- 5 **↑/↓/←/→** ボタンでドロップダウンリストから設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

「手動調整」モードになります。



- 6 **↑/↓/←/→** ボタンで輝度調整バーを選び、決定ボタンを押す。



- 7 **↑/↓/←/→** ボタンで映像の明るさを調整し、決定ボタンを押す。

- 8 調整が終わったら、**↑/↓/←/→** ボタンで「戻る」を選び、決定ボタンを押す。または、リモコンの戻るボタンを押す。

輝度調整メニューに戻ります。

- 9 **↑/↓/←/→** ボタンで「戻る」を選び、決定ボタンを押す。または、リモコンの戻るボタンを押す。

カメラメニューに戻ります。

**メニュー画面に「登録」や「保存」があるときは**

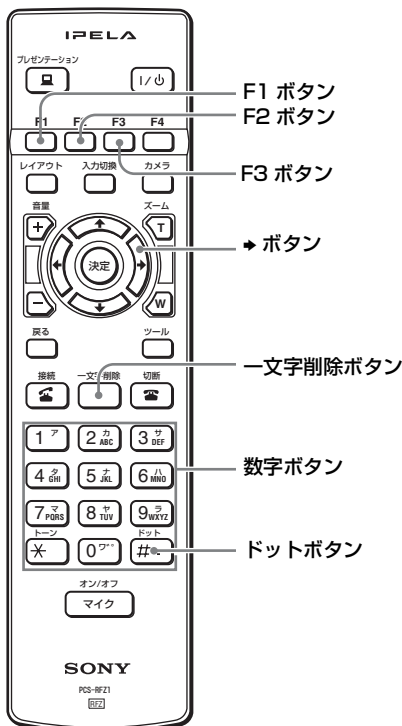
設定や調整後に**↑/↓/←/→** ボタンで「登録」や「保存」を選び、決定ボタンを押してください。これで新しい設定や調整が有効になります。

**メニュー画面に「キャンセル」があるときは**

**↑/↓/←/→** ボタンで「キャンセル」を選び、決定ボタンを押すと、新しい設定や調整がキャンセルされ、元の状態に戻ります。

## リモコンで文字や数字を入力する

リモコンを使ってメニュー上に文字や数字などを入力する方法を説明します。



文字や数字を入力するには

### 1 F1 ボタンを繰り返し押し押して入力モードを切り換える。

カナ、英、数が選べます。

### 2 数字ボタンを押して、文字や数字を入力する。

**カナのとき：**ボタンを繰り返し押すと、ボタンに表示された行のカナ文字が選べます。

**英のとき：**ボタンを繰り返し押すと、ボタンに表示されたアルファベットが選べます。

**数のとき：**ボタンに表示された数字が選べます。



## 記号を入力するには

F2 ボタンを繰り返し押し、入力したい記号を選びます。

「-」と「`」、「°」の記号は0 ボタンを押しても入力できます。

また、入力モードが「英」のときは0 ボタンを繰り返し押し、記号を入力することもできます。

## IP アドレス入力時にドットを入力するには

➡ ボタン、またはドットボタンを押します。

### ご注意

- ・管理者設定メニューの「インターネットプロトコル」が「IPv6」または「IPv4/IPv6」に設定されている場合は、「:」（コロン）が入力できます。「IPv4/IPv6」に設定されている場合、➡ ボタンで入力できるのはコロンのみです。「IPv4/IPv6」に設定されていて IPv4 で発信する場合は、ドットを入力する際にドットボタンを2回押ししてください。
- ・「インターネットプロトコル」の「IPv4/IPv6」はバージョン 2.0 で対応予定です。

## 入力をまちがえたら

一文字削除ボタンを押します。最後に入力した文字や数字、記号が消えます。

## 入力中の文字をすべて削除するには

F3 ボタンを押します。何も入力されていない状態に戻ります。

## ソフトキーボードで文字や数字を入力する

画面に表示されるソフトキーボードを使って、メニュー上に文字や数字を入力する方法を説明します。

一般設定メニューの「メニュー画面」ページ、「ソフトキーボード表示」(91 ページ)を「入」に設定すると、入力する必要があるとき、画面にソフトキーボードが自動的に表示されます。

### ヒント

ソフトキーボードが表示された状態でもリモコンからの入力は可能です。

### 文字や数字を入力するには



#### 1 リモコンの $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンでソフトキーボードの数、英、カナボタンを選択し、決定ボタンを押す。

**数ボタン**：数字を入力するとき。

**英ボタン**：アルファベットを入力するとき。

**カナボタン**：カタカナを入力するとき。(カタカナが入力できる場合のみ表示されます。)

#### 2 $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンで入力したい文字(カナのときは文字行)が表示されたボタンを選び、決定ボタンを押す。

**数のとき**：選んだ数字が画面上に入力されます。

**英またはカナのとき**：入力できる文字が画面に表示されますので、希望の文字を選び、決定ボタンを押します。選んだ文字が画面上に入力されます。



**3** 手順 2 を繰り返し、入力する。

**4** 入力が終わったら「完了」を選び、決定ボタンを押す。

記号を入力するには

**1** キーボードの記号ボタンを選択し、決定ボタンを押す。

入力できる記号が表示されます。

**2**  $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$  ボタンで希望の記号を選び、決定ボタンを押す。

選んだ記号が入力されます。

**3** 手順 1、2 を繰り返し、入力する。

**4** 入力が終わったら「完了」を選び、決定ボタンを押す。

IP アドレス入力時にドットを入力するには

▶ ボタン、またはドットボタンを選んで決定ボタンを押します。

**1** 文字分のあきを作るには

空白ボタンを選んで決定ボタンを押します。

入力をまちがえたら

最後に入力した文字や数字を消すには、一文字削除ボタンを選んで決定ボタンを押します。

入力した文字をすべて消すには

中止ボタンを選んで決定ボタンを押します。

リモコンの F3 ボタンを押しても、すべての文字を消すことができます。

# 2 章

## 登録と設定 — 管理者用

この章では、システムの管理者が行う登録と設定の全般について説明しています。管理者の方がお読みください。

### システムを設定する

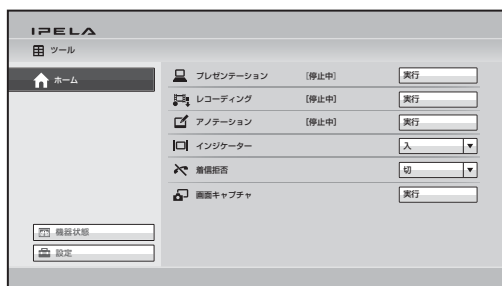
接続をする前に、設定メニューを使って自分側の端末をあらかじめ設定しておいてください。

ここでは、設定メニューの表示のしかたと、どんなメニューがあるかを紹介します。

#### 設定メニューを表示する

- 1 リモコンのツールボタンを押す。または、**↑/↓/←/→** ボタンでホームメニューの「ツール」を選び、決定ボタンを押す。

ツールメニューが表示されます。



## 2 リモコンの $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンで「設定」を選び、決定ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

### 設定メニューから選べるメニュー

設定メニューは、設定内容により、以下のような設定メニューに分類されています。設定項目が多いメニューは、複数のページに分かれている場合もあります。該当するメニューボタンを選んで設定を行ってください。

工場出荷時は、よく使われる設定のメニューボタンが表示されています。リモコンの F4 ボタンを押すとすべての設定メニューボタンが表示されます。もう一度 F4 ボタンを押すと、よく使われる設定の表示に戻ります。



各設定メニューの説明は、以下のページをご覧ください。

通信回線設定メニュー (64 ページ)

発信設定メニュー (64 ページ)

着信設定メニュー (65 ページ)

多地点設定メニュー (66 ページ)

通信モード設定メニュー (67 ページ)

音声設定メニュー (72 ページ)

映像設定メニュー (76 ページ)

LAN 設定メニュー (80 ページ)

QoS 設定メニュー (85 ページ)

TOS 設定メニュー (86 ページ)

SIP 設定メニュー (87 ページ)

ISDN 設定メニュー (88 ページ)

アノテーション設定メニュー (89 ページ)

カメラ設定メニュー (89 ページ)

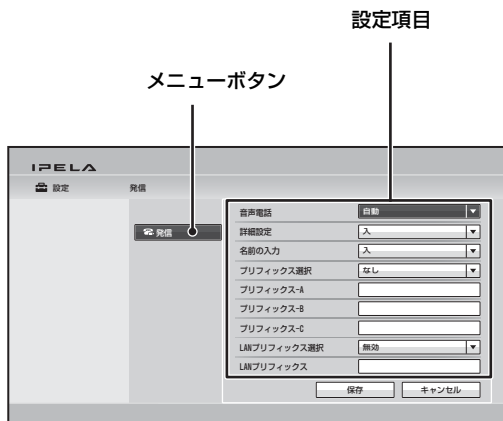
- 一般設定メニュー (89 ページ)
- ホーム画面設定メニュー (93 ページ)
- 管理者設定メニュー (94 ページ)
- 暗号化設定メニュー (101 ページ)
- 共有アドレス帳設定メニュー (101 ページ)

### ご注意

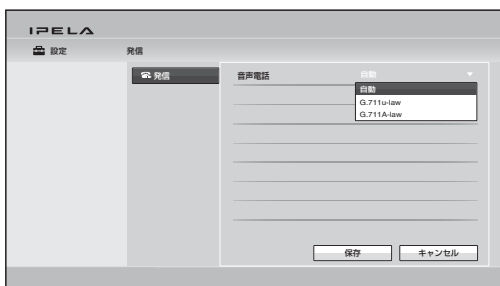
多地点設定メニューはHD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 をインストールしているときのみ表示されます。

## 3 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで設定したいメニューボタンを選び、決定ボタンまたは $\rightarrow$ ボタンを押す。

選んだメニューの設定ができるようになります。



## 4 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで設定項目を選び、決定ボタンを押す。



## 5 リストから項目を選択する、または入力欄に入力する。

◆各設定項目については、64 ページ～ 101 ページをご覧ください。

## 6 選択または入力が終わったら、リモコンの **▲/▼/◀/▶** ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。

設定が保存され、設定メニューに戻ります。

### 設定を中止するには

リモコンの **▲/▼/◀/▶** ボタンで「キャンセル」を選び、決定ボタンを押してください。または、リモコンの戻るボタンを押してください。

### 左側の階層に戻るには

リモコンの **◀** ボタン、または戻るボタンを押してください。

## 通信回線設定メニュー

相手との接続に使用する回線インターフェースを設定します。

通信回線

### 通信回線

#### 通信回線

使用する回線インターフェースを IP、ISDN、SIP から選びます。複数の回線インターフェースを選択できます。

#### ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。

#### 主に使用する回線

主に使用する回線インターフェースを 1 つ、IP、ISDN、SIP から選びます。

#### ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。

#### LAN2 を使用する (PCS-XG100/XG100S のみ)

システム本体裏面の品2 (LAN2) 端子を使用するかどうかを選びます。

**切:** 品2 端子を使用しない場合。

**入:** 品2 端子を使用する場合。

#### ご注意

「LAN2 を使用する」を「入」に設定すると、品2 端子を使った本機の機能が一部制限されます。

◆ 詳しくは、「LAN2 使用時の制限 (PCS-XG100/XG100S のみ)」(108 ページ) をご覧ください。

## 発信設定メニュー

発信時の属性などを設定します。

発信

### 発信

#### 音声電話

ボイスミーティングのとき、電話と通信する音声圧縮方式を選びます。

**自動:** 自動的に選ぶ場合。

**G.711  $\mu$ -law:** G.711  $\mu$ -law に準拠した圧縮方式を選ぶ場合。

**G.711A-law:** G.711A-law に準拠した圧縮方式を選ぶ場合。

#### 詳細設定

アドレス帳のリスト編集メニューに「詳細設定」ボタンを表示するかどうかを選びます。

「詳細設定」ボタンを選択すると、リスト編集メニューから発信の詳細を設定することができます。

**切:** 「詳細設定」ボタンを表示しない場合。

**入:** 「詳細設定」ボタンを表示する場合。

#### 名前を入力

接続を始めるときに、使用者の名前を通信ログに記録するかどうかを選びます。

**切:** 使用者の名前を記録しない場合。

**入:** 使用者の名前を記録する場合。発信するたびに名前入力用のメニューが表示されます。



## プリフィックス選択

通常使用するプリフィックス（回線番号の前につける発信番号）の設定を選びます。

**なし**：プリフィックスを使用しない場合。

**プリフィックス-A**：「プリフィックス-A」で設定したプリフィックスを使用する場合。

**プリフィックス-B**：「プリフィックス-B」で設定したプリフィックスを使用する場合。

**プリフィックス-C**：「プリフィックス-C」で設定したプリフィックスを使用する場合。

## プリフィックス-A

「プリフィックス選択」を「プリフィックス-A」にしたとき、この欄に登録されたプリフィックス（発信番号）が回線番号の前に付加されてダイヤルされます。

## プリフィックス-B

「プリフィックス選択」を「プリフィックス-B」にしたとき、この欄に登録されたプリフィックス（発信番号）が回線番号の前に付加されてダイヤルされます。

## プリフィックス-C

「プリフィックス選択」を「プリフィックス-C」にしたとき、この欄に登録されたプリフィックス（発信番号）が回線番号の前に付加されてダイヤルされます。

## ご注意

0（ゼロ）発信の場合は、「0」と入力してください。

## LAN プリフィックス選択

IP 接続による発信時に LAN プリフィックスを有効にするか無効にするかを選びます。

**無効**：プリフィックスを無効にします。

**有効**：プリフィックスを有効にします。

## LAN プリフィックス

IP 接続による発信時に、この欄に入力した内容が IP アドレスの前に付加されます。LAN プリフィックス選択の設定で使用するかしないかを選択します。

## 着信設定メニュー

着信時の設定をします。

 着信

着信

## 自動着信

自動着信するかどうかを選びます。

**入**：自動着信するとき。相手から呼び出しを受けると、自動的に回線がつながります。

**切**：手動着信するとき。相手から呼び出しを受けると、呼び出し音が鳴ります。「応答しますか？」のメッセージ画面で「OK」を選ぶと、回線につながります。

## ISDN ダイヤルイン

複数加入者番号を使用しているかどうかを選びます。

**切**：複数加入者番号を使用していないとき。

入：複数加入者番号を使用しているとき。

#### ご注意

「ISDN ダイアルイン」はバージョン 1.41 以降で対応しました。

### 着信時マイク

相手から呼び出しを受けて接続したとき、相手にこちらの音声を送信するかどうかを選びます。

入：着信時、こちらの音声を送信する場合。

切：着信時、こちらの音声を送信しない場合。

◆詳しくは、「着信時の音声の送信をカットする—着信時マイクオフ」(149 ページ)をご覧ください。

### 通信中の着信拒否

通信中に他の端末からの呼び出しを受けたときに、接続するかどうかを選びます。

入：接続しない場合。

切：接続する場合。

### 不明着信拒否

アドレス帳に登録されていない相手からの着信を拒否するかどうかを選びます。

切：着信を拒否しない場合。

LAN1：LAN1 からの着信を拒否する場合。

LAN2：LAN2 からの着信を拒否する場合。

LAN1+LAN2：LAN1 と LAN2 両方からの着信を拒否する場合。

#### ご注意

- ・ PCS-XG77/XG77S では、「LAN1」ではなく「LAN」となります。
- ・ PCS-XG77/XG77S では、「LAN2」「LAN1+LAN2」は選択できません。

### 多地点設定メニュー

自端末が親機になったときの多地点接続の設定をします。

このメニューは HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 をインストールしている場合のみ表示されます。

◆PCSA-MCG106/MCG109 のインストールのしかたは、205 ページをご覧ください。

#### ご注意

- ・ PCS-XG77/XG77S を親機とした多地点接続は、バージョン 1.41 以降で対応しました。ただし、PCS-XG77/XG77S にインストールできる HD MCU ソフトウェアは PCSA-MCG106 のみです。
- ・ 本機を親機とした場合、接続する子機の種類によっては最大使用帯域が 4 Mbps に制限されます。

◆詳しくは、「6章 多地点接続」(198 ページ)をご覧ください。

#### 多地点

#### 多地点

### マルチポイントモード

自動：対向接続 (1 対 1 の接続) から多地点接続へと、自動的に移行する場合。

入：常に多地点接続を行う場合。

### 放送モード

放送モードを選びます。

**分割**：接続している各端末の映像を分割した画面に映す場合。

**音声検出**：接続中のすべての端末の中で音量の一番大きい端末を検出し、その端末の映像を他のすべての端末へ自動的に送信する場合。

**音声検出 (1080P)**：音声検出モード時に、H.264、1080 (1920 × 1080 画素) の映像方式での送信を可能にする場合。

#### ご注意

- ・「音声検出 (1080P)」は ISDN 接続や SIP 接続には使用できません。また、IP 接続の場合でも、H.264 映像方式に対応していない相手端末とは接続できません。
- ・「音声検出 (1080P)」を選択した場合、通信中に放送モードを切り換えることができません。通信を始める前に放送モードを設定してください。
- ・PCS-XG77/XG77S では、HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXG77 をインストールしていない場合、「音声検出 (1080P)」は「音声検出 (720P)」と表示されます。

#### 画面分割

多地点接続中は、自分側の映像と接続している端末の映像が 1 台のモニターに分割して表示されます。分割する方法を選びます。

**自動分割**：接続している端末数が 2 のときは 3 分割、3 のときは 4 分割、4 か 5 のときは 6 分割、6 ~ 8 のときは 9 分割で表示する場合。

**6 分割固定**：接続している端末の数に関わりなく 6 分割で表示する場合。

**9 分割固定**：接続している端末の数に関わりなく 9 分割で表示する場合。

#### ご注意

接続している端末数が 1 の場合は、設定にかかわらず、全画面表示になります。

#### 音声検出枠

音声検出した地点の画像に枠をつけるかどうかを選択します。

**入**：枠をつける場合。

**切**：枠をつけない場合。

### 通信モード設定メニュー

通信モードの設定をします。

#### ご注意

通信モード設定メニューで設定できる項目は、通信回線設定メニューの回線インターフェースの設定や、通信モード設定メニューの「送信／受信 個別設定」や「対向／多地点 個別設定」の設定によって異なります。設定できる項目のみが画面に表示されます。

また、「通信モード 2」ページ以降のページ数も、設定項目の増減に伴って変化します。



IP

IP 接続時の通信モードを設定します。

#### 送信／受信 個別設定

送信時と受信時の IP 接続の設定を個別にするかどうかを選びます。

**切**：送信時、受信時とも同じ設定で通信する場合。

**入**：送信／受信のそれぞれに異なる設定をする場合。

## 対向／多地点 個別設定


対向接続（1対1の接続）と多地点接続で、IP接続の設定を個別にするかどうかを選びます。

**切**：対向接続時、多地点接続時とも同じ設定で通信する場合。

**入**：対向接続と多地点接続のそれぞれに異なる設定をする場合。

### ご注意

このページの「個別設定」の設定に応じて、「IP：モード」設定ページの設定項目とページ数が変わります。

 通信モード

IP：モード

## 全使用帯域

システムが使用する全体の帯域を選択します。

多地点接続時は全地点合計のビットレートになります。

128Kbps、384Kbps、512Kbps、768Kbps、1Mbps、2Mbps、3Mbps、4Mbps、5Mbps、6Mbps、7Mbps、8Mbps、9Mbps、10Mbps、11Mbps、12Mbps、13Mbps、14Mbps、15Mbps、16Mbps、その他を選択できます。

### ご注意

- ・多地点接続時、各地点との実際の通信ビットレートは「全使用帯域」を超えないように自動調整されます。
- ・PCS-XG77/XG77Sでは、「5Mbps」、「6Mbps」、「7Mbps」、「8Mbps」、「9Mbps」、「10Mbps」、「11Mbps」、「12Mbps」、「13Mbps」、「14Mbps」、「15Mbps」、「16Mbps」は選択できません。ただし、HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106 および HD アップゲ

レードソフトウェア PCSA-RXG77 をインストールしている場合は「5Mbps」を選択できます。

## 通信ビットレート

1地点あたりの通信ビットレートを選択します。

IPの「送信／受信 個別設定」や「対向／多地点 個別設定」を「入」にしてあるときは、送信／受信、対向／多地点のそれぞれに異なった設定ができます。128Kbps、384Kbps、512Kbps、768Kbps、1Mbps、2Mbps、3Mbps、4Mbps、5Mbps、6Mbps、7Mbps、8Mbps、9Mbps、10Mbps、11Mbps、12Mbps、13Mbps、14Mbps、15Mbps、16Mbps、その他を選択できます。

### ご注意

- ・PCS-XG100/XG100Sを親機とした多地点接続の場合、接続地点数によって通信ビットレートの上限があります。（ただし、「放送モード」が「音声検出（1080P）」に設定されている場合は除きます。）
  - 3～4地点（親機含む）：送受信とも4Mbpsまで
  - 5～6地点（親機含む）：送受信とも2Mbpsまで
  - 7～9地点（親機含む）：送受信1Mbpsまで（1080p時は送信ビットレートのみ2Mbpsまで）
- ・PCS-XG77/XG77Sでは、「5Mbps」、「6Mbps」、「7Mbps」、「8Mbps」、「9Mbps」、「10Mbps」、「11Mbps」、「12Mbps」、「13Mbps」、「14Mbps」、「15Mbps」、「16Mbps」は選択できません。

## 音声方式

音声の圧縮方式を選びます。

IPの「送信／受信 個別設定」や「対向／多地点 個別設定」を「入」にしてあるときは、送信／受信、対向／多地点のそれぞれに異なった設定ができます。

G.711、G.722、G.728、MPEG4 (MPEG4 AAC) から複数の方式を選択できます。

### ご注意

相手側のシステムが本機で選んだ音声方式をサポートしていない場合は、自動的にG.711方式に切り換わります。

## 遠隔カメラ制御

自分側と相手側でお互いのカメラを操作するかどうかを選びます。

IPの「対向／多地点 個別設定」を「入」にしてあるときは、対向／多地点のそれぞれに異なった設定ができます。

**入**：双方のカメラを操作したい場合。

通常は「入」にしておきます。

**切**：相手に自分側のカメラを操作されたくない場合。

## H.239

H.239に準拠したプレゼンテーションモードを使用すると、カメラ映像とプレゼンテーション用データを同時に送信できます。

H.239に準拠したプレゼンテーションモードを使用するかどうかを選びます。

**入**：H.239に準拠したプレゼンテーションモードを使用する場合。

**切**：H.239に準拠したプレゼンテーションモードを使用しない場合。

## H.239 レート割合

本機でH.239プレゼンテーション送信をする際は、カメラ映像とH.239プレゼンテーションデータで送信に使用する帯域幅を分け合っています。この項目では、全帯域幅のうち、H.239プレゼンテーションデータの送信に使用する帯域の割合を選びます。

**2/3**：全帯域幅のうち、2/3をH.239プレゼンテーションデータの送信に使用する場合。

**1/2**：全帯域幅のうち、1/2をH.239プレゼンテーションデータの送信に使用する場合。

**1/3**：全帯域幅のうち、1/3をH.239プレゼンテーションデータの送信に使用する場合。

## 映像サイズ

送受信する映像サイズを選択します。

IPの「送信／受信 個別設定」や「対向／多地点 個別設定」を「入」にしてあるときは、送信／受信、対向／多地点のそれぞれに異なった設定ができます。1080、720、W4CIF、W432P、WCIF、4CIF、CIF、QCIF、自動が選択できます。

### ご注意

PCS-XG77/XG77Sでは、HDアップグレードソフトウェアPCSA-RXG77をインストールしている場合のみ「1080」を選択できます。「映像サイズ」を「1080」にすると、プログレッシブ形式の解像度1920×1080の映像を毎秒最大60フレームで送受信できます。

## 映像方式

送受信する映像の圧縮方式を選びます。

IPの「送信／受信 個別設定」や「対向／多地点 個別設定」を「入」にしてあるときは、送信／受信、対向／多地点のそれぞれに異なった設定ができます。H.261、H.263+、H.264 を選択できます。

#### ご注意

「H.261」はバージョン 2.0 で対応予定です。

### 映像フレーム数

送受信する映像のフレーム数を選びます。

IPの「送信／受信 個別設定」や「対向／多地点 個別設定」を「入」にしてあるときは、送信／受信、対向／多地点のそれぞれに異なった設定ができます。

**15fps**：最大 15 フレーム／秒で送信する場合。

**30fps**：最大 30 フレーム／秒で送信する場合。

**60fps**：最大 60 フレーム／秒で送信する場合。

**自動**：自動的にフレーム数を切り換える場合。

#### ご注意

- ・HD カメラユニット PCSA-CXG100 または EVI-H100V を使用している場合、「映像フレーム数」で「60fps」または「自動」を選択していても、毎秒最大 30 フレームでの送信になります。
- ・PCSA-XG77/XG77S に HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXG77 をインストールし、プログレッシブ形式の解像度 1920 × 1080 の映像を送受信している場合は、毎秒最大 60 フレームでの送受信になります。

通信モード

ISDN：モード

#### ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。

### ISDN 使用帯域（発信）

発信時に使用する ISDN 回線の本数を選択します。

1B (64K)、2B (128K)、3B (192K)、4B (256K)、5B (320K)、6B (384K)、8B (512K)、12B (768K) を選択できます。

### ISDN 使用帯域（着信）

着信時に使用する ISDN 回線の本数を選択します。

1B (64K)、2B (128K)、3B (192K)、4B (256K)、5B (320K)、6B (384K)、8B (512K)、12B (768K) を選択できます。

### 音声方式

音声の圧縮方式を選びます。

G.711、G.722、G.728、MPEG4 (MPEG4 AAC) を選択できます。

#### ご注意

相手側のシステムが本機で選んだ音声方式をサポートしていない場合は、自動的に G.711 方式に切り換わります。

### 遠隔カメラ制御

自分側と相手側でお互いのカメラを操作するかどうかを選びます。

**入**：双方のカメラを操作したい場合。通常は「入」にしておきます。

**切**：相手側のカメラを操作しない場合。

### H.239

H.239 に準拠したプレゼンテーションモードを使用するかどうかを選びます。

**入**：H.239 に準拠したプレゼンテーションモードを使用する場合。

**切**：H.239 に準拠したプレゼンテーションモードを使用しない場合。

## H.239 レート割合

本機で H.239 プレゼンテーション送信をする際は、カメラ映像と H.239 プレゼンテーションデータで送信に使用する帯域幅を分け合っています。この項目では、全帯域幅のうち、H.239 プレゼンテーションデータの送信に使用する帯域の割合を選びます。

**2/3**：全帯域幅のうち、2/3 を H.239 プレゼンテーションデータの送信に使用する場合。

**1/2**：全帯域幅のうち、1/2 を H.239 プレゼンテーションデータの送信に使用する場合。

**1/3**：全帯域幅のうち、1/3 を H.239 プレゼンテーションデータの送信に使用する場合。

## 制限網

ISDN 通信網速度を選びます。

**自動**：通常の ISDN 回線を使用して、相手と接続する場合。

**56K**：ISDN 回線の通信速度が 56 Kbps の国や地域と接続する場合。

### ご注意

出荷時の設定では ISDN 回線に 64 Kbps で接続するようになっています。通常はこの設定でお使いいただけますが、アメリカなど一部の国、地域によっては、ISDN の通信速度として 64 Kbps と 56 Kbps の 2 種類が使用されています。このような国、地域の相手と 64 Kbps でコミュニケーションを開始しようとするとうまくつながらないことがあります。

この場合は、「制限網」を「56K」に切り換えてください。

## 映像サイズ

送受信する映像サイズを選択します。W4CIF、W432P、WCIF、4CIF、CIF、自動が選択できます。

## 映像方式

送受信する映像の圧縮方式を選びます。H.263+、H.264 を選択できます。

## 映像フレーム数

送受信する映像のフレーム数を選びます。

**15fps**：最大 15 フレーム／秒で送信する場合。

**30fps**：最大 30 フレーム／秒で送信する場合。

**自動**：自動的にフレーム数を切り換える場合。

 通信モード

SIP：モード

SIP 接続時の通信モードを設定します。

## 通信ビットレート

1 地点あたりの通信ビットレートを選択します。

128Kbps、384Kbps、512Kbps、768Kbps、1Mbps、2Mbps、3Mbps、4Mbps、その他を選択できます。

## 音声方式

音声の圧縮方式を選びます。G.728、G.722、G.711 を選択できます。

### ご注意

相手側のシステムが本機で選んだ音声方式をサポートしていない場合は、自動的に G.711 方式に切り換わります。

## 遠隔カメラ制御

自分側と相手側でお互いのカメラを操作するかどうかを選びます。

**入**：双方のカメラを操作したい場合。

通常は「入」にしておきます。

**切**：相手側のカメラを操作しない場合。

## 映像サイズ

送受信する映像サイズを選択します。

720、W4CIF、W432P、WCIF、4CIF、CIF、QCIF、自動が選択できます。

## 映像方式

送受信する映像の圧縮方式を選びます。

H.261、H.263+、H.264、MPEG4 を選択できます。

### ご注意

「H.261」はバージョン 2.0 で対応予定です。

## 映像フレーム数

送受信する映像のフレーム数を選びます。

**15fps**：最大 15 フレーム／秒で送信する場合。

**30fps**：最大 30 フレーム／秒で送信する場合。

**60fps**：最大 60 フレーム／秒で送信する場合。

**自動**：自動的にフレーム数を切り換える場合。

### ご注意

HD カメラユニット PCSA-CXG100 または EVI-H100V を使用している場合、「映像フレーム数」で「60fps」または「自動」を選択していても、毎秒最大 30 フレームでの送信になります。

## 音声設定メニュー

音声に関する設定をします。

音声

### 基本設定 1

## 音声入力

どこから音声を入力するかを選びます。

**MIC**：マイクの音声を入力する場合。

**AUX**：外部機器の音声を入力する場合。

**MIC + AUX**：マイクと外部機器の両方の音声を入力する場合。

**USB**：USB 音声機器からの音声を入力する場合。USB 音声機器が接続されている場合のみ選択できます。

**USB+AUX**：USB 音声機器と外部機器の両方の音声を入力する場合。

USB 音声機器が接続されている場合のみ選択できます。

### ご注意

映像設定メニューの「オーディオ入力とのリンク」が「入」のときは、「音声入力」と「入力選択 (MIC 系)」、「入力選択 (AUX 系)」は設定できません。

**入力選択 (MIC 系) /**

**入力選択 (AUX 系)**

入力するマイクや外部機器を選びます。

## PCS-XG100/XG100S の場合

「音声入力」の設定により、選択できる項目が変わります。

「MIC」のときは、3 項目のうち 1 つを選べます。「AUX」のときは「AUDIO 1」か「AUDIO 2」を選べます。

「MIC+AUX」のときは、MIC 系として「MIC (A1)」、「AUDIO 1」、



「AUDIO 2」から1つと、AUX 系として「AUDIO 1」または「AUDIO 2」のどちらか1つを選択できます。「USB」のときは、選択できません。

「USB+AUX」のときは、AUX 系のみ「AUDIO 1」または「AUDIO 2」のどちらか1つを選択できます。

#### ご注意

映像設定メニューの「ビデオ入力」を「HDMI」に設定している場合、AUX 系の音声は自動的に HDMI IN 端子からの入力に設定されます。

**MIC (A1) :** MIC (A1) 端子に接続したマイク PCS-A1 (付属) を使用する場合。

**AUDIO 1 :** AUDIO 1 IN 端子に接続した外部機器の音声を入力する場合。

**AUDIO 2 :** AUDIO 2 IN 端子に接続した外部機器の音声を入力する場合。

#### PCS-XG77/XG77S の場合

「音声入力」の設定により、選択できる項目が変わります。

「MIC」のときは、3項目のうち1つを選べます。「AUX」のときは「AUDIO 1」か「AUDIO 2」を選べます。

「MIC+AUX」のときは、MIC 系として「MIC (A1)」、**「AUDIO 1」**、**「AUDIO 2」**から1つと、AUX 系として「AUDIO 1」または「AUDIO 2」のどちらか1つを選択できます。「USB」のときは、選択できません。

「USB+AUX」のときは、AUX 系のみ「AUDIO 1」または「AUDIO 2」のどちらか1つを選択できます。

**MIC (A1) :** MIC (A1) 端子に接続したマイク PCS-A1 (付属) を使用する場合。

**AUDIO 1 :** AUDIO 1 IN 端子に接続した外部機器の音声を入力する場合。

**AUDIO 2 :** AUDIO 2 IN 端子に接続した外部機器の音声を入力する場合。

#### エコーキャンセラー

内部のエコーキャンセラーを使用するかどうかを選びます。

**入 :** 内部のエコーキャンセラーを使用する場合。

**切 :** 内部のエコーキャンセラーを使用しない場合。

#### ご注意

「音声入力」が「AUX」のときは、エコーキャンセラーは機能しません。

#### 音声出力

利用する音声の出力先に合わせて、エコーキャンセラーを十分に機能させるための設定です。

**HDMI :** HDMI-1 OUT 端子から音声を出力する場合。

**AUDIO :** AUDIO OUT 端子から音声を出力する場合。

**USB :** USB 音声機器からの音声を出力する場合。USB 音声機器が接続されている場合のみ選択できます。

#### ご注意

- ・この項目の設定にかかわらず、音声は各端子から出力されます。ただし、実際に使用できるのはどれかひとつの出力のみです。
- ・「音声出力」を誤って設定すると、エコーキャンセラーが正しく機能しない場合があります。

## リップシンク

発言者の唇の動きと音声を同期させるリップシンク機能を使用するかどうかを選びます。

**自動**：リップシンク機能を使用する場合。

**切**：リップシンク機能を使用しない場合。

### ご注意

- ・ QoS 設定メニューの「最適レート制御 (ARC)」、「パケット再送要求 (ARQ)」または「前方誤り訂正 (FEC)」が「入」のときは、「リップシンク」を「切」にできません。
- ・ 「リップシンク」が「切」のときは、QoS 設定メニューの「最適レート制御 (ARC)」、「パケット再送要求 (ARQ)」または「前方誤り訂正 (FEC)」は切り換えができません。

## 録音ミュート

AUDIO 1 IN または AUDIO 2 IN 端子と REC OUT 端子に 1 台の録音機器を接続し、その録音機器で音声を録音するときに、本機能を使用することにより録音機器内部でのループバックが原因で音が異常発振するのを防ぎます (録音ミュート)。

**切**：録音ミュートを使用しない場合。

**入**：録音ミュートを使用する場合。

### ご注意

- ・ 録音ミュートを「入」にした場合にミュートされるのは外部機器からの信号のみです。マイクからの信号および相手側からの信号はミュートされません。したがって、「音声入力」が「AUX」または「MIC + AUX」のときのみ録音ミュートが機能します。
- ・ AUDIO 1 IN または AUDIO 2 IN 端子と REC OUT 端子に 1 台の録音機器を接続したとき、録音ミュートして録音機器か

らの音だけを録音するか自分側の音声も録音したい場合には、録音機器とは別にマイク入力機器をご使用ください。

## 入力モード

音声入力の入力モードを選びます。

**ステレオ**：それぞれの音声入力端子の R 端子と L 端子に入力する音声を、ステレオ音声の右、左として入力する場合。

**モノラル**：それぞれの音声入力端子の R 端子と L 端子に入力する音声を、モノラル音声として入力する場合。

## 出力モード

音声出力の出力モードを選びます。

**ステレオ**：AUDIO OUT 端子の R 端子と L 端子および HDMI OUT 端子から出力する音声を、ステレオ音声の右、左として出力する場合。

**モノラル**：AUDIO OUT 端子の R 端子と L 端子および HDMI OUT 端子から出力する音声を、2 チャンネルのモノラル音声として出力する場合。

音声2

## 基本設定 2

### AUX 入力のローカルモニター出力

AUDIO 1 IN または AUDIO 2 IN 端子から入力した音声を、システムの音声出力から出力するかどうかを選びます。

**入**：音声出力から出力する場合。

**切**：音声出力から出力しない場合。

### MIC 入力左右反転

マイク入力した音声を左右反転して相手に送信するかどうかを選びます。左右反転すると、カメラ映像と音声の左右を合わせる事が可能です。

**切**：音声を左右反転しないで送信する場合。

**入**：音声を左右反転して送信する場合。

### 音声入力遅延設定

映像と音声を合わせるために音声入力の遅延量を設定します。

**既定値－ 100ms**：デフォルト－ 100msの遅延量を使用する場合。

**既定値－ 50ms**：デフォルト－ 50msの遅延量を使用する場合。

**既定値**：デフォルトの遅延量を使用する場合。

**既定値＋ 50ms**：デフォルト＋ 50msの遅延量を使用する場合。

**既定値＋ 100ms**：デフォルト＋ 100msの遅延量を使用する場合。

**ユーザー設定**：ユーザーが設定した遅延量を使用する場合。

### 音声入力遅延量

「音声入力遅延設定」が「ユーザー設定」のとき、映像と音声を合わせるために音声入力の遅延量を設定します。

### 音声出力遅延設定

映像と音声を合わせるために音声出力の遅延量を設定します。

**既定値－ 100ms**：デフォルト－ 100msの遅延量を使用する場合。

**既定値－ 50ms**：デフォルト－ 50msの遅延量を使用する場合。

**既定値**：デフォルトの遅延量を使用する場合。

**既定値＋ 50ms**：デフォルト＋ 50msの遅延量を使用する場合。

**既定値＋ 100ms**：デフォルト＋ 100msの遅延量を使用する場合。

**ユーザー設定**：ユーザーが設定した遅延量を使用する場合。

### 音声出力遅延量

「音声出力遅延設定」が「ユーザー設定」のとき、映像と音声を合わせるために音声出力の遅延量を設定します。

### REC OUT（録音出力）モード

**ステレオ**：REC OUT 端子の R 端子と L 端子から出力する音声を、ステレオのまま、相手側と自分側の音声をミックスして出力する場合。

**モノラル 2ch**：REC OUT 端子の R 端子と L 端子から出力する音声を、相手側の音声と自分側の音声を独立させて出力する場合。

### マイク收音範囲・音質

使用環境に応じたマイクの收音範囲と音声の設定ができます。

#### ご注意

各設定の收音範囲は目安であり、マイクの設置位置や設置環境により、異なります。

**近距離・自然**：マイクから近距離（半径 1.5 m 未満）の音声を收音する場合に選択します。收音される音質はより自然な音質となります。

**バランス**：マイクから中距離（半径 3 m 未満）の音質を收音する場合に選択します。收音範囲と音質のバランスを取った調整です。

**広範囲・クリア**：「バランス」より收音範囲を広げたい場合に選択します。收音される音質はよりクリアな音質となります。

**手動設定**：「マイクノイズ抑圧」と「マイクゲイン自動調整」を手動で設定する場合に選択します。

## マイクノイズ抑圧

「マイク收音範囲・音質」が「手動設定」にされている場合のみ、マイクノイズ抑圧を設定します。

「強」、「中」、「弱」から選択できます。「強」を選択すると、ノイズの抑圧量を強くすることにより、よりクリアな音質となります。「弱」を選択すると、ノイズの抑圧量を抑えることにより、より自然な音質となります。

## マイクゲイン自動調整

「マイク收音範囲・音質」が「手動設定」にされている場合のみ、マイクゲイン自動調整を設定します。

「強」、「中」、「弱」から選択できます。「強」を選択すると、收音範囲を広げる効果があります。「弱」を選択すると、近距離重視の收音範囲となります。

🔊 音声3

## 効果音

### ビープ音

リモコンのボタンを押したときに出るビープ音の音量と、ビープ音を出力するかどうかを選びます。

大、中、小、切から選択できます。

### 効果音

システム起動時や接続開始時または切断時に出る効果音の音量と、効果音を出力するかどうかを選びます。

大、中、小、切から選択できます。

### 発信音

発信時のリングバックトーンや話し中のビジートーンの音量と、これらを出力するかどうかを選びます。

大、中、小、切から選択できます。

## 着信音

着信時のリンガートーンの音量と、リンガートーンを出力するかどうかを選びます。

大、中、小、切から選択できます。

## 映像設定メニュー

映像の入出力に関する設定をします。

☞ 映像1

## 基本設定

### ビデオ入力

入力する映像を選びます。

**カメラ**：CAMERA 端子に接続したカメラの映像を入力する場合。

**DVI-I 1**：DVI-I 1 IN 端子に接続した外部機器の映像を入力する場合。

**DVI-I 2**：DVI-I 2 (PC) IN 端子に接続した外部機器の映像を入力する場合。

**HDMI**：HDMI IN 端子に接続した外部機器の映像を入力する場合。

### ご注意

PCS-XG77/XG77S では、「HDMI」は選択できません。

### プレゼンテーション画面

プレゼンテーション画面の画面パターンを選びます。

「プレゼンテーション画面」の設定は、「H.239」がOFFで接続されている場合に有効になります。

H.239 に対応していない端末でプレゼンテーションを使用する場合に設定してください。

**1 画面**：DVI-I 1 IN 端子に接続した外部機器からの映像（コンピューター画像）を全画面送信する場合。

## モニター出力

システムから出力する映像を選びます。

**HDMI 1** : HDMI-1 OUT 端子に接続した外部機器に映像を出力する場合。

**DVI-I OUT** : DVI-I OUT 端子に接続した外部機器に映像を出力する場合。

**HDMI 1 + DVI-I OUT** : HDMI-1 OUT 端子と DVI-I OUT 端子の両方に接続した外部機器に映像を出力する場合。

**HDMI 1 + HDMI 2** : HDMI-1 OUT 端子と HDMI-2 OUT 端子の両方に接続した外部機器に映像を出力する場合。


**Triple monitors** : HDMI-1 OUT 端子と DVI-I OUT 端子、HDMI-2 OUT 端子に接続した外部機器に映像を出力する場合。


### ご注意

- ・「モニター出力」で「HDMI 1 + DVI-I OUT」、「HDMI 1 + HDMI 2」、「Triple monitors」を選択したとき HDMI モニターが接続されていないと、メニューを見ることができません。必ず HDMI モニターを接続してください。
- ・PCS-XG77/XG77S では、「HDMI 1 + HDMI 2」および「Triple monitors」は選択できません。

### ヒント

「モニター出力」を誤って設定すると、モニターに映像が表示されなくなります。この場合は、本体の電源スイッチとリモコンのボタンを使って正しい「モニター出力」に設定し直してください。

本体の  (電源) スwitchの外側の LED が点灯していることを確認後、

- 1 本体の  (電源) スwitchを押す。

- 2 5秒以内に、設定したい「モニター出力」に応じ、リモコンのボタンを次のように押す。

**HDMI 1** : 入力切換ボタン (1回) → 3ボタン (3回)

**DVI-I OUT** : 入力切換ボタン (1回) → 4ボタン (3回)

これで設定が変更され、本機に接続されたモニターに映像が表示されます。

## DVI-I モニター出力フォーマット

DVI-I OUT 端子から出力される映像フォーマットを SXGA、XGA、720p、1080p から選択します。

### ご注意

- ・「モニター出力」で「HDMI 1 + HDMI 2」を選択している場合は、DVI-I モニター出力フォーマットの設定によって、HDMI-2 OUT 端子に接続されたモニターに出力される映像フォーマットが設定されます。
- ・「モニター出力」で「Triple monitors」を選択している場合は、入力された映像フォーマットのまま HDMI-2 OUT 端子から映像が出力されます。

## ブランキング時間

HDMI OUT 端子へ接続したモニターを使用時、映像入力を切り換えたときに一時的に生ずるブラックアウト期間の長さを選択します。

大、中、小を選択できます。

## 周波数

映像入出力の周波数「50 Hz」または「60 Hz」を選びます。

## で注意

工場出荷時は、「周波数」は「60Hz」に設定されています。映像入出力機器が「50Hz」の周波数に対応していない場合に「50Hz」に設定すると、映像が出力されなかったり、モニターにメニューが表示されなくなりますのでご注意ください。

## ヒント

「周波数」の設定変更を有効にするには、本機を再起動する必要があります。手動で再起動を行ってください。誤って設定すると、再起動後、モニターに映像が表示されなくなります。この場合は、本体の電源スイッチとリモコンのボタンを使って正しい「周波数」に設定し直してください。

本機の再起動が完了し、本体の  $\odot$  (電源) ランプが点滅から点灯に変わったら、

- 1 本体の  $\odot$  (電源) スイッチを押す。
- 2 5秒以内に、設定したい「周波数」に応じ、リモコンのボタンを次のように押す。

**60 Hz** : 入力切換ボタン (1回)

→ 1 ボタン (3回)

**50 Hz** : 入力切換ボタン (1回)

→ 2 ボタン (3回)

これで「周波数」の設定が変更され、本機がシャットダウンします。再度本体の  $\odot$  (電源) スイッチを押して起動してください。

## DVI-I 2 (PC) 固定モード

プレゼンテーション機能を使ってコンピュータ画像を相手端末に送信する場合に、相手側の有効な表示エリアが小さくなることを防ぐために、コンピューターから DVI-I 2 (PC) IN 端子に入力され

る画面サイズを XGA に限定するかどうかを選択します。

**入** : 入力される画面サイズを XGA に限定します。

**切** : 画面サイズを限定せず、1920 × 1080 までの画像サイズを入力できます。

## で注意

この設定を変更した場合、本機がシャットダウンします。再度本体の  $\odot$  (電源) スイッチを押して起動してください。

## 映像2

## ビデオ入力選択名

選択したビデオ入力を表わす名前を 12 文字以内で設定します。

## ビデオ入力選択名 (カメラ)

「ビデオ入力」で「カメラ」を選択した場合の名前。

## ビデオ入力選択名 (DVI-I 1)

「ビデオ入力」で「DVI-I 1」を選択した場合の名前。

## ビデオ入力選択名 (DVI-I 2)

「ビデオ入力」で「DVI-I 2」を選択した場合の名前。

## ビデオ入力選択名 (HDMI)

(PCS-XG100/XG100S のみ)

「ビデオ入力」で「HDMI」を選択した場合の名前。

映像と音声のリンクを設定します。

### オーディオ入力とのリンク

それぞれのビデオ入力を特定のマイク入力やその他のオーディオ入力とリンクさせ、ビデオ入力を切り換えるとき同時にオーディオ入力を切り換えることができます。

**切：**ビデオ入力とマイク入力やその他のオーディオ入力を別々に切り換える場合。

**入：**ビデオ入力とマイク入力やその他のオーディオ入力の切り換えをリンクさせる場合。

### ご注意

「オーディオ入力とのリンク」を「入」に設定した場合、音声設定メニューの「基本設定1」ページ、「音声入力」と「入力選択 (MIC系)」、「入力選択 (AUX系)」は選択できません。

### ビデオ入力

入力する映像を選びます。

**カメラ：**CAMERA 端子に接続したカメラの映像を選ぶ場合。

**DVI-I 1：**DVI-I 1 IN 端子に接続した外部機器の映像を選ぶ場合。

**DVI-I 2：**DVI-I 2 (PC) IN 端子に接続した外部機器の映像を選ぶ場合。

### 音声入力

「オーディオ入力とのリンク」を「入」にしたとき、「ビデオ入力」で選択されている映像入力とリンクさせる音声入力を選びます。

**MIC：**マイクの音声を入力する場合。

**AUX：**外部機器の音声を入力する場合。

**MIC + AUX：**マイクと外部機器の両方の音声を入力する場合。

**USB：**USB 音声機器からの音声を入力する場合。USB 音声機器が接続されている場合のみ選択できます。

**USB+AUX：**USB 音声機器と外部機器の両方の音声を入力する場合。

USB 音声機器が接続されている場合のみ選択できます。

### 入力選択 (MIC系) /

### 入力選択 (AUX系)

「オーディオ入力とのリンク」を「入」にしたとき、入力するマイクや外部入力の音声を選びます。

### PCS-XG100/XG100S の場合

「音声入力」の設定により、選択できる項目が変わります。

「MIC」のときは、3項目のうち1つを選びます。「AUX」のときは「AUDIO 1」か「AUDIO 2」を選びます。

「MIC+AUX」のときは、MIC系として「MIC (A1)」、「AUDIO 1」、「AUDIO 2」から1つと、AUX系として「AUDIO 1」または「AUDIO 2」のどちらか1つを選択できます。「USB」のときは、選択できません。

「USB+AUX」のときは、AUX系のみ「AUDIO 1」または「AUDIO 2」のどちらか1つを選択できます。

**MIC (A1)：**MIC (A1) 端子に接続したマイク PCS-A1 (付属) を使用する場合。

**AUDIO 1：**AUDIO 1 IN 端子に接続した外部機器の音声を入力する場合。

**AUDIO 2：**AUDIO 2 IN 端子に接続した外部機器の音声を入力する場合。

## PCS-XG77/XG77S の場合

「音声入力」の設定により、選択できる項目が変わります。

「MIC」のときは、3項目のうち1つを選べます。「AUX」のときは「AUDIO 1」か「AUDIO 2」を選べます。

「MIC+AUX」のときは、MIC系として「MIC (A1)」、「AUDIO 1」、「AUDIO 2」から1つと、AUX系として「AUDIO 1」または「AUDIO 2」のどちらか1つを選択できます。「USB」のときは、選択できません。

「USB+AUX」のときは、AUX系のみ「AUDIO 1」または「AUDIO 2」のどちらか1つを選択できます。

**MIC (A1) :** MIC (A1) 端子に接続したマイク PCS-A1 (付属) を使用する場合。

**AUDIO 1 :** AUDIO 1 IN 端子に接続した外部機器の音声を入力する場合。

**AUDIO 2 :** AUDIO 2 IN 端子に接続した外部機器の音声を入力する場合。

## LAN 設定メニュー

LAN に関する設定をします。

- ◆ 詳しい設定については、ネットワーク担当者などにご相談ください。

### ご注意

- LAN 設定メニューで設定できる項目は、通信回線設定メニューの「LAN2 を使用する」の設定や管理者設定メニューの「インターネットプロトコル」の設定によって異なります。また、「LAN2」ページ以降のページ数は、設定項目の増減に伴って変化します。
- メニューなどの表記で「LAN1」となっている箇所は、PCS-XG77/XG77S では「LAN」となります。

LAN

基本設定 :

## LAN1

### ホストネーム

ホスト名を 30 文字以内で入力します。

### DHCP モード

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol、動的ホスト構成プロトコル) を使用するかどうかを設定します。

**自動 :** IP アドレスとネットワークマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレスを自動的に取得する場合。

**切 :** DHCP を「切」に設定する場合。この場合は、IP アドレスとネットワークマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレスを入力してください。

### プリフィックス長

IPv6 の IP アドレスのプリフィックス長を 0 ~ 128 の範囲で設定します。

### IP アドレス

IP アドレスを入力します。

### ネットワークマスク

ネットワークマスクを入力します。

### ゲートウェイアドレス

デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。

### DNS プライマリ

DNS (Domain Name System) プライマリサーバーのアドレスを入力します。

### DNS セカンダリ

DNS セカンダリサーバーのアドレスを入力します。



## LAN モード

LAN 接続時のインターフェースのタイプと通信モードを選びます。

**自動**：インターフェースのタイプと通信モードを自動的に認識させる場合。

**1000Mbps**：1000BASE-T で接続する場合。

**100Mbps Full Duplex**：100BASE-TX、全二重モードで接続する場合。

**100Mbps Half Duplex**：100BASE-TX、半二重モードで接続する場合。

**10Mbps Full Duplex**：10BASE-T、全二重モードで接続する場合。

**10Mbps Half Duplex**：10BASE-T、半二重モードで接続する場合。



基本設定：

## LAN1：IPv6

### ご注意

- ・管理者設定メニューの「インターネットプロトコル」が「IPv4/IPv6」に設定されている場合には、IPv6 用の設定画面が表示されます。この場合、LAN モードは IPv6 の設定画面で設定してください。
- ・「インターネットプロトコル」の「IPv4/IPv6」はバージョン 2.0 で対応予定です。

## DHCP モード

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol、動的ホスト構成プロトコル) を使用するかどうかを設定します。

**自動**：IP アドレスとネットワークマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレスを自動的に取得する場合。

**切**：DHCP を「切」に設定する場合。  
この場合は、IP アドレスとネット

ワークマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレスを入力してください。

## プリフィックス長

IPv6 の IP アドレスのプリフィックス長を 0～128 の範囲で設定します。

## IP アドレス

IP アドレスを入力します。

## ゲートウェイアドレス

デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。

## DNS プライマリ

DNS (Domain Name System) プライマリサーバーのアドレスを入力します。

## DNS セカンダリ

DNS セカンダリサーバーのアドレスを入力します。

## LAN モード

LAN 接続時のインターフェースのタイプと通信モードを選びます。

**自動**：インターフェースのタイプと通信モードを自動的に認識させる場合。

**1000Mbps**：1000BASE-T で接続する場合。

**100Mbps Full Duplex**：100BASE-TX、全二重モードで接続する場合。

**100Mbps Half Duplex**：100BASE-TX、半二重モードで接続する場合。

**10Mbps Full Duplex**：10BASE-T、全二重モードで接続する場合。

**10Mbps Half Duplex**：10BASE-T、半二重モードで接続する場合。



## PPPoE

### PPPoE

PPPoE を使用して LAN 接続するかどうかを選択します。

**切**：PPPoE を使用しない場合。

**LAN1**：PPPoE を使用して品1

(LAN1) 端子 (PCS-XG77/XG77S では品(LAN) 端子) 経由で LAN 接続をする場合。

**LAN2**：PPPoE を使用して品2

(LAN2) 端子経由で LAN 接続をする場合。

### で注意

- ・ PCS-XG77/XG77S では、「LAN1」ではなく「入」となります。
- ・ PCS-XG77/XG77S では、「LAN2」は選択できません。
- ・ 各ページの画面下部に PPPoE の登録状況が表示されます。

### ユーザー名

PPPoE を使用して LAN 接続するときのユーザー名を入力します。

### パスワード

PPPoE を使用して LAN 接続するときのパスワードを入力します。

### 固定 IP

固定 IP アドレスを使用して PPPoE 接続するかどうかを選択します。

**切**：固定 IP アドレスを使用しない場合。

**入**：固定 IP アドレスを使用して PPPoE 接続する場合。

### 固定 IP アドレス

「固定 IP」が「入」のとき、固定 IP アドレスを入力します。

### DNS

PPPoE 接続する場合、DNS サーバーを自分で設定するか自動取得するかを選びます。

**自動取得**：DNS サーバーを自動取得する場合。

**設定する**：DNS サーバーを自分で設定する場合。

### DNS プライマリ

DNS プライマリアドレスを入力します。

### DNS セカンダリ

DNS セカンダリアドレスを入力します。



## NAT 設定

### NAT モード

LAN 上の複数のコンピューターがひとつの IP アドレスを共有できる NAT (Network Address Translation) を使用したローカルネットワークに本機を接続するかどうかを選びます。

**自動**：NAT を使用しているかどうかを自動判別して設定を自動で行う場合。UPnP ルーターを使用している場合のみ有効です。

**入**：NAT のネットワークで使用する場合。

**切**：NAT を使用しない場合。

### WAN IP アドレス

WAN (Wide Area Network) の IP アドレスを入力します。

**ご注意**

- ・管理者設定メニューの「インターネットプロトコル」が「IPv4/IPv6」に設定されている場合には、「ゲートキーパー：IPv6」画面で設定を行ってください。
- ・「インターネットプロトコル」の「IPv4/IPv6」はバージョン 2.0 で対応予定です。

**使用**

アクセスをコントロールするゲートキーパーを使用するかどうかを設定します。ゲートキーパーを使用すると、IP アドレスを使った発信の他に、ユーザー名やユーザー番号を使った発信が可能になります。

**自動：**自動的にゲートキーパーを探し、使用する場合。

**入：**ゲートキーパーを使用する場合。

**切：**ゲートキーパーを使用しない場合。

**ゲートキーパーアドレス**

「ゲートキーパー使用」を「入」にしたときに使用するゲートキーパーのアドレスを入力します。

**ユーザー名**

ゲートキーパーに登録するユーザー名 (H.323 エイリアス) を入力します。

**ユーザー番号**

ゲートキーパーに登録するユーザー番号 (E.164 ナンバー) を入力します。

**H.460**

H.460 を使用してファイアウォールを越え、別のネットワーク上にある端末と接続するかどうかを選びます。

**入：**H.460 に準拠したファイアウォールを越える接続を行う場合。

**切：**ファイアウォールを越える接続を行わない場合。

**認証**

ゲートキーパーの認証機能を使用するかどうかを選択します。

**入：**ゲートキーパーの認証を使用する場合。

**切：**ゲートキーパーの認証を使用しない場合。

**ご注意**

認証機能を使用しない場合、ゲートキーパーによっては登録できないことがあります。

**ログイン名**

「認証」を「入」にした場合に、ゲートキーパーの管理者から指定されたログイン名を入力する。

**パスワード**

「認証」を「入」にした場合に、ゲートキーパーの管理者から指定されたパスワードを入力する。

**ご注意**

- ・管理者設定メニューの「インターネットプロトコル」が「IPv4/IPv6」に設定されている場合に表示されます。

- ・「インターネットプロトコル」の「IPv4/IPv6」はバージョン 2.0 で対応予定です。

## 使用

アクセスをコントロールするゲートキーパーを使用するかどうかを設定します。ゲートキーパーを使用すると、IP アドレスを使った発信の他に、ユーザー名やユーザー番号を使った発信が可能になります。

**自動**：自動的にゲートキーパーを探し、使用する場合。

**入**：ゲートキーパーを使用する場合。

**切**：ゲートキーパーを使用しない場合。

## ゲートキーパーアドレス

「ゲートキーパー使用」を「入」にしたときに使用するゲートキーパーのアドレスを入力します。

## ユーザー名

ゲートキーパーに登録するユーザー名 (H.323 エイリアス) を入力します。

## ユーザー番号

ゲートキーパーに登録するユーザー番号 (E.164 ナンバー) を入力します。

## 認証

ゲートキーパーの認証機能を使用するかどうかを選択します。

**入**：ゲートキーパーの認証を使用する場合。

**切**：ゲートキーパーの認証を使用しない場合。

## で注意

認証機能を使用しない場合、ゲートキーパーによっては登録できないことがあります。

## ログイン名

「認証」を「入」にした場合に、ゲートキーパーの管理者から指定されたログイン名を入力する。

## パスワード

「認証」を「入」にした場合に、ゲートキーパーの管理者から指定されたパスワードを入力する。

---

## LAN

使用ポート番号、

## RTP/RTCP 設定

### Q.931

Q.931 ポート番号を入力します。

### H.245

H.245 ポート番号を入力します。

## RTP/RTCP

RTP/RTCP ポート番号を入力します。

## MTU サイズ

MTU のサイズを入力します。

---

## LAN

SNMP

## SNMP サービス

SNMP (Simple Network Management Protocol) エージェントのサービスを有効にするかどうかを設定します。

**入**：SNMP エージェントのサービスを有効にする場合。

**切**：SNMP エージェントのサービスを無効にする場合。

## トラップ送信先

トラップを送信する SNMP マネージャのアドレスを入力します。

## コミュニティ名

SNMP マネージャが管理するコミュニティ名を 24 文字以内の英数字と記号で入力します。デフォルトでは、「public」と入力されています。

### ご注意

「コミュニティ名」はデフォルト値から変更して使用してください。また、「public」「private」などの一般的な名称は使わず、推測されにくい名称にしてください。

## 機器の説明

この機器についての説明を入力します。デフォルトでは、「Videoconference Device」と入力されています。この項目は変更できません。

## 設置場所

この機器を設置している場所を 30 文字以内の英数字と記号で入力します。

## 管理者名

この機器の管理者についての情報を 30 文字以内で入力します。

## QoS 設定メニュー

通信の状態を最適に保つための機能を設定します。

### ご注意

- 音声設定メニューの「リップシンク」が「切」に設定されているときは、QoS 設定メニューの「最適レート制御 (ARC)」、「パケット再送要求

(ARQ)」、「前方誤り訂正 (FEC)」は切り換えができません。

- QoS 設定メニューの「最適レート制御 (ARC)」、「パケット再送要求 (ARQ)」、「前方誤り訂正 (FEC)」のいずれかが「入」のときは、音声設定メニューの「リップシンク」を「切」にできません。
- SIP 接続時は、QoS 機能はご利用できません。

## QoS QoS1

## 基本設定

### 最適レート制御 (ARC)

LAN の使用帯域を常に最適化するかどうかを選びます。

**入**：最適化する場合。

**切**：最適化しない場合。

### 自動帯域検出

自動帯域検出機能を使用するかどうかを選びます。

**入**：自動帯域検出機能を使用する場合。

**切**：自動帯域検出機能を使用しない場合。

### TCP ポート番号

固定で使用する TCP ポート番号を入力します。

### UDP ポート番号

固定で使用する UDP ポート番号を入力します。

- ◆使用ポート番号について詳しくは、「PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S 使用ポート一覧」(289 ページ)をご覧ください。

### パケット再送要求 (ARQ)

通信中にパケットをロスした場合に、再送要求するかどうかを選びます。

**入**：パケット再送を要求する場合。

**切**：パケット再送を要求しない場合。

### ARQ バッファリング時間

パケット再送要求（ARQ）に使用するバッファのサイズを設定します。

300ms、150ms、80ms、自動、指定値を選択できます。

「指定値」を選択すると、任意のバッファリング時間を入力できます。

### ARQ バッファリング時間

「ARQ バッファリング時間」で「指定値」を選択したとき、任意のバッファリング時間（50ms～999ms）を入力します。

### 前方誤り訂正（FEC）

誤り訂正符号をつけるかどうかを選びます。

**入**：誤り訂正符号をつける場合。

**切**：誤り訂正符号をつけない場合。

**自動**：通信相手の前方誤り訂正（FEC）の設定に応じて、誤り訂正符号をつけるかつかないかを自動的に切り換える場合。

### ご注意

「前方誤り訂正（FEC）」が「入」のとき、最大使用帯域は 8 Mbps に制限されます。

### 前方誤り訂正冗長度

前方誤り訂正（FEC）時に使用するパケットの冗長度を設定します。

8、4、2、自動を選択できます。

「自動」以外を設定した場合、通信レートが守られないことがあります。

### 音声 2 重送信

ネットワークの状況により音声途切れた場合に、自動的に音声を二重送信するかどうかを選びます。

**入**：音声二重送信する場合。

**切**：音声二重送信をしない場合。

QoS QoS2

リオーダー・

### シェーピング

#### リオーダー

パケットロスの原因となるリオーダー（パケット着順不正）を補正するかどうかを選びます。リオーダーを補正するとなめらかな映像・音声が得られます。

**入**：リオーダーを補正する場合。

**切**：リオーダーを補正しない場合。

#### リオーダー・バッファ

リオーダー・バッファを設定します。自動、1、2、指定値を選択できます。

#### リオーダー・バッファ値

リオーダー・バッファの値を入力します。1～5の値を指定できます。

### シェーピング

IP パケットの転送速度を調整するシェーピングを使用するかどうかを選びます。

**入**：シェーピングを使用する場合。

**切**：シェーピングを使用しない場合。

### TOS 設定メニュー

TOS TOS

TOS

### TOS 種別

TOS（Type of Service）Field の設定を行うデータの種別を選びます。

**ビデオ**：映像データの TOS Field を設定する場合。

**オーディオ**：音声データの TOS Field を設定する場合。

**データ**：カメラコントロール信号などの TOS Field を設定する場合。

**プレゼンテーション**：プレゼンテーション用の DVI-I データの TOS Field を設定する場合。

## TOS

「TOS 種別」で選択したデータの TOS (Type of Service) Field の定義方法を選びます。

**切**：TOS Field の定義をしない場合。

**IP Precedence**：TOS Field を IP Precedence に定義する場合。

**DSCP**：TOS Field を DSCP (Differentiated Services Code Point) に定義する場合。  
0～63 を入力します。

## Precedence

IP Precedence 値 (0～7) を入力します。

## 遅延

TOS Field の Low Delay のビットを指定するかどうかを選択します。

**入**：TOS Field の Low Delay のビットを指定する場合。

**切**：TOS Field の Low Delay のビットを指定しない場合。

## スループット

TOS Field の High Throughput のビットを指定するかどうかを選択します。

**入**：TOS Field の High Throughput のビットを指定する場合。

**切**：TOS Field の High Throughput のビットを指定しない場合。

## 信頼性

TOS Field の Reliability のビットを指定するかどうかを選択します。

**入**：TOS Field の Reliability のビットを指定する場合。

**切**：TOS Field の Reliability のビットを指定しない場合。

## コスト

TOS Field の Minimum Cost のビットを指定するかどうかを選択します。

**入**：TOS Field の Minimum Cost のビットを指定する場合。

**切**：TOS Field の Minimum Cost のビットを指定しない場合。

## DSCP

DSCP 値を入力します。

「TOS」が「DSCP」の場合のみ表示されます。

## SIP 設定メニュー

IP 電話などを接続し、SIP (Session Initiation Protocol) を利用して接続を行うときに設定します。



### 基本設定

## SIP サーバー使用

SIP サーバーを使用するかどうかを選びます。

**入**：SIP サーバーを使用する場合。

**切**：SIP サーバーを使用しない場合。

## トランスポートプロトコル

SIP で使用するプロトコルを選択します。

**TCP** : TCP (Transmission Control Protocol) を使用する場合。

**UDP** : UDP (User Datagram Protocol) を使用する場合。工場出荷時はこちらが選択されています。

## ポート番号

SIP で使用するポート番号を入力します。

## SIP ドメイン

SIP ドメイン名を入力します。

## 登録ユーザー名

SIP サーバーに登録する端末のユーザー名を 39 文字以内の半角英数字と記号で入力します。

## パスワード

SIP サーバーに登録する端末のパスワードを 39 文字以内の半角英数字と記号で入力します。

## SIP サーバーアドレス

SIP サーバーのアドレスを入力します。

## SIP サーバーポート

SIP サーバーと通信するとき使用するポート番号を入力します。

## ISDN 設定メニュー

ISDN 回線の設定に関するメニューです。

### ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。

## ISDN1

### 基本設定

## 国 / 地域名

システムを使用する国 / 地域を選びます。(日本国内で使用する場合は、「Japan」を選んでください。)

## プロトコル

使用する ISDN 回線のプロトコルを選びます。(日本国内で使用する場合は、「NTT」を選んでください。)

## ISDN2

### 番号

ISDN ユニットのポート番号と対応している欄に、市外局番号、市内番号をそれぞれ入力してください。

ISDN ユニットのポート番号と、入力欄の対応は以下のとおりです。

**A1** : ISDN ユニットのポート 1

**A2** : ISDN ユニットのポート 1

**B1** : ISDN ユニットのポート 2

**B2** : ISDN ユニットのポート 2

**C1** : ISDN ユニットのポート 3

**C2** : ISDN ユニットのポート 3

## 市外局番号

使用する ISDN 回線の市外局番号を入力します。市外局番号の最初の「0」は入力しないでください。

## 市内番号

使用する ISDN 回線の回線番号 (市内番号) を入力します。

### ご注意

ISDN ユニット PCSA-B768S の場合は「ISDN3」ボタンを選択すると D1 ~ F2 欄が表示されます。使用する回線に応じて D1 ~ F2 欄にも入力してください。



## ヒント

空欄を選択し、リモコンの決定ボタンを押すと、1つ上の欄の項目の設定内容がコピーされます。

ISDN4

## サブアドレス

A1～C2（または A1～F2）入力欄が表示されます。

## サブアドレス

サブアドレスを登録する場合、サブアドレスを入力します。サブアドレスは数字のみ有効です。

## アノテーション設定メニュー

ペンタブレットを使って画面に文字や絵を描くアノテーション機能に関する設定を行います。

アノテーション

## アノテーション

### 利用

アノテーション機能を利用するかどうかを選びます。

**入：**アノテーション機能を利用する場合。

**切：**アノテーション機能を利用しない場合。

### 色

タブレットペンで描く色を選びます。黒、赤、青、緑、黄、橙、紫、白から選択できます。

### 太さ

タブレットペンで描く線の太さを選びます。

太、中、細から選択できます。

## カメラ設定メニュー

カメラ

## カメラ

### 2nd カメラ入力

2台目のカメラを接続するシステム本体の端子を選択します。

**DVI-I 1：**DVI-I 1 IN 端子に2台目のカメラを接続する場合。

**DVI-I 2：**DVI-I 2 (PC) IN 端子に2台目のカメラを接続する場合。

**HDMI：**HDMI IN 端子に2台目のカメラを接続する場合。

### ご注意

PCS-XG77/XG77S では、「HDMI」は選択できません。

## 一般設定メニュー

一般1

## 機器設定

### 端末名

相手に通知する本機の名前を30文字以内で入力します。

### スタンバイモード

一定時間操作しないときにシステムをスタンバイモードにするかどうかを選びます。

**入：**スタンバイモードにする場合。

**切：**スタンバイモードにしない場合。

### スタンバイ時間

スタンバイモードに入るまでの時間を設定します。1～99分の間で設定できます。

- ◆スタンバイモードについて詳しくは、「スタンバイモードについて」(40 ページ)をご覧ください。

## 会議終了後のリスト登録

コミュニケーション終了後に相手をアドレス帳に登録するかどうかを選びます。

**切:** アドレス帳に登録しない場合。

**入:** コミュニケーション終了後、相手がアドレス帳に登録されていなければ、「この相手をリストに登録しますか?」のメッセージが表示され、「OK」を選ぶとリスト編集メニューが表示されます。

## カメラコントロール受信

通信モード設定メニューの「遠隔カメラ制御」が「入」になっているとき、一時的に相手側からのカメラコントロールコマンドを拒否することができます。

**入:** カメラコントロールコマンドを受信する場合。

**切:** カメラコントロールコマンドを拒否する場合。

## 言語設定 /Language

画面に表示されるメッセージの言語を選びます。以下の言語が選べます。

日本語 /Japanese、英語 /English、フランス語 /French、ドイツ語 /German、スペイン語 /Spanish、イタリア語 /Italian、簡体中国語 /Chinese、ポルトガル語 /PORT、繁体中国語 /Chinese、韓国語 /Korean、オランダ語 /Dutch、デンマーク語 /Danish、スウェーデン語 /Swed、フィンランド語 /Finn、ポーランド語 /Polish、ロシア語 /Russian、アラビア語 /Arabic、タ

イ語 /Thai、ノルウェー語 /Norwegian、トルコ語 /Turkish、ウェールズ語 /Welsh、チェコ語 /Czech、ハンガリー語 /Hungarian

一般2

日時設定

## NTP

NTPにより、サーバーから時刻情報を取得する場合は「入」にします。

**入:** サーバーから時刻情報を取得する場合。

**切:** サーバーから時刻情報を取得しない場合。

## プライマリー NTP サーバー

時刻情報を取得するプライマリー NTP サーバーのアドレスを入力します。

## セカンダリー NTP サーバー

時刻情報を取得するセカンダリー NTP サーバーのアドレスを入力します。

## タイムゾーン

システムを使用する国 / 地域を選びます。

## 日時表示形式

モニター画面に表示する日時表示の形式を選びます。

「年 / 月 / 日」、「月 / 日 / 年」、「日 / 月 / 年」、「年 - 月 - 日」、「日 . 月 . 年」のいずれかを選びます。

## 年月日

現在の年月日を入力します。

## 時間

現在の時刻を入力します。

## 時刻更新

「NTP」が「入」のとき、「実行」ボタンを選んで決定ボタンを押すと、現在時刻が更新されます。



ツールメニュー、設定メニューの画面に表示させる項目を設定します。

## 通信中時間表示

**切:** 通信経過時間も現在時刻も表示させない場合。

**経過時間:** 通信中、通信経過時間を表示させる場合。

**現在時刻:** 通信中も現在時刻を表示させる場合。

## 端末名表示

**切:** 端末名を表示しない場合。

**常時表示:** 常に端末名を表示する場合。

**一定時間表示:** 一定時間、接続地点の端末名を表示する場合。

## ガイダンス表示

**入:** ガイダンス（操作説明）を表示する場合。

**切:** ガイダンス（操作説明）を表示しない場合。

## インジケータ表示

**入:** 通信中表示されるインジケータ（プレゼンテーションやカメラコントロールなど）を表示する場合。

**切:** 通信中表示されるインジケータを表示しない場合。

### ご注意

この設定に関わらず、マイクオフのインジケータは常に表示されます。

## 接続時の通信モード表示

**入:** 接続時の通信モードを表示する場合。

**切:** 接続時の通信モードを表示しない場合。

## ソフトキーボード表示

**入:** ソフトキーボードを表示する場合。

**切:** ソフトキーボードを表示しない場合。

◆ソフトキーボードについては、「ソフトキーボードで文字や数字を入力する」(58ページ)をご覧ください。

## メニュー透過度

背景の映像や画像の上に重なるメニューの透過度を設定します。高、中、低から選択できます。



リモコンの各ファンクションボタンに割り当てる機能を設定します。

### ご注意

- ・通信中に「通信中のファンクションキー」を設定することはできません。通信を始める前に設定してください。
- ・ツールメニュー（167ページ）の「インジケータ」を「切」に設定して使用している場合は、通信中にファンクションボタンを押して機能の入/切や設定の変更を行っても、該当するインジケータが表示されません。
- ・PCS-XG77/XG77Sでは、「HDMI」は選択できません。

## F1

F1 ボタンを押したときに使用する機能を選びます。

**相手／自分**：ボタンを押すたびに自分側カメラと相手側カメラを切り換えます。

**カメラ**：自分側の映像をカメラの映像に切り換えます。

**HDMI**：自分側の映像を HDMI IN 端子に接続した機器の映像に切り換えます。

**DVI-I 1**：自分側の映像を DVI-I 1 IN 端子に接続した機器の映像に切り換えます。

**DVI-I 2**：自分側の映像を DVI-I 2 (PC) IN 端子に接続した機器の映像に切り換えます。

**音声入力切替**：音声入力の設定を切り換えます。音声設定メニューの「音声入力」の設定を変更するのと同じ働きをします。

「音声入力」で設定されている選択肢を起点として、ボタンを押すたびに「音声入力」のドロップダウンリストの表示順に音声入力切り替わりします。

#### ご注意

ファンクションボタンで変更した音声入力の設定は会議中のみ有効です。「音声入力」の設定は変更されません。

◆「音声入力」の設定について詳しくは、「音声入力」(72 ページ)をご覧ください。

映像設定メニューの「オーディオ入力とのリンク」が「入」に設定されている場合は、映像設定メニューの「音声入力」の設定を変更するのと同じ働きをします(映像設定メニューでは、会議中に「音声入力」の設定を変更できません)。

◆詳しくは、「音声とのリンク」(79 ページ)をご覧ください。

**レコーディング 実行 / 停止**：ボタンを押すたびにレコーディングの実行 / 停止を行います。

**何もしない**：ボタンに機能を割り当てません。

#### ご注意

「F1」を「相手／自分」以外に設定しても、「ビデオ入力」メニューや「レイアウト」メニューが表示されている間は F1 ボタンの機能は「相手／自分」に固定されます。その他、操作に便利のように F1 ~ F4 ボタンの機能が自動的に固定される場合があります。この場合には、ガイダンス欄に表示されます。

#### F2

F2 ボタンを押したときに使用する機能を選びます。

選択できる内容は F1 と同じです。

#### F3

F3 ボタンを押したときに使用する機能を選びます。

選択できる内容は F1 と同じです。

#### F4

F4 ボタンを押したときに使用する機能を選びます。

選択できる内容は F1 と同じです。

## ホーム画面設定メニュー

### 🏠 ホーム画面1

### ホーム画面 1

ホームメニューに表示させる項目を選びます。

#### 📌 ご注意

通信中は、設定できない項目もあります。

#### 日時表示

**入：**ホームメニューに現在の日時を表示する場合。

**切：**現在の日時を表示しない場合。

#### 自端末名

**入：**ホームメニューに自分側の端末名を表示する場合。

**切：**自分側の端末名を表示しない場合。

#### 番号表示

ホームメニューに表示する、自分側のIPやユーザー番号を選びます。

**SIP：ユーザー名：**SIPサーバーに登録したユーザー名を表示する場合。

**SIP：アドレス：**SIPアドレスを表示する場合。

**GK：ユーザー名：**ゲートキーパー使用時、ゲートキーパーに登録したユーザー名を表示する場合。

**GK：ユーザー番号：**ゲートキーパー使用時、ゲートキーパーに登録したユーザー番号を表示する場合。

**NAT：アドレス：**NATを使用したネットワークに接続しているとき、NATアドレスを表示する場合。

**IP：アドレス：**IPアドレスを表示する場合。

**表示しない：**IPやユーザー番号を何も表示しない場合。

#### 端末状態

**入：**ホームメニューに自分側の端末状態を表示する場合。

**切：**自分側の端末状態を表示しない場合。

#### 異常時メッセージ

**入：**ホームメニューに異常時のメッセージを表示する場合。

**切：**異常時のメッセージを表示しない場合。

### 🏠 ホーム画面2

### ホーム画面 2

ホームメニューに表示させるメニューボタンを選びます。

#### 接続ボタン表示

ホームメニューに表示させる接続用のボタンを選びます。

**かんたん表示：**「接続」ボタンのみを表示する場合。

**個別表示：**「アドレス帳」ボタン、「履歴」ボタン、「詳細接続」ボタンをそれぞれの入/切の設定に応じて表示/非表示する場合。

**切：**接続用のボタンを表示しない場合。

#### アドレス帳ボタン

**入：**「アドレス帳」ボタンを表示する場合。

**切：**「アドレス帳」ボタンを表示しない場合。

#### 履歴ボタン

**入：**「履歴」ボタンを表示する場合。

**切：**「履歴」ボタンを表示しない場合。

### 詳細接続ボタン

入：「詳細接続」ボタンを表示する場合。

切：「詳細接続」ボタンを表示しない場合。

### カメラボタン

入：「カメラ」ボタンを表示する場合。

切：「カメラ」ボタンを表示しない場合。

### ツールボタン

切：「ツール」ボタンを表示しない場合。

入：「ツール」ボタンを表示する場合。

### ワンタッチダイヤル


入：ワンタッチダイヤルボタンを表示する場合。

切：ワンタッチダイヤルボタンを表示しない場合。

### ダイレクトダイヤル

切：ダイレクトダイヤル用の番号入力欄と「発信」ボタンを表示しない場合。

入：ダイレクトダイヤル用の番号入力欄と「発信」ボタンを表示する場合。

 ホーム画面3

## ホーム画面 3

ホームメニューに表示させるインジケータ（状態表示）を選びます。

### ビデオ入力表示

入：現在選択されているビデオ入力名を表示する場合。

切：ビデオ入力名を表示しない場合。

### オーディオ入力表示

入：現在選択されているオーディオ入力を表示する場合。

切：オーディオ入力を表示しない場合。

### オーディオレベルメーター

入：オーディオレベルメーター（現在のオーディオ入力レベル）を表示する場合。

切：オーディオレベルメーターを表示しない場合。

### ボリューム

入：音量調節をしたとき、一定時間、ボリューム（音量）を表示する場合。

切：ボリューム（音量）を表示しない場合。

### LAN 状態表示

入：現在の LAN の状態を表示する場合。

切：LAN の状態を表示しない場合。

### ISDN 状態表示

入：ISDN ユニットのポートの現在の状態を表示する場合。

切：ISDN ユニットのポートの状態を表示しない場合。

### ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。

## 管理者設定メニュー

システムの管理者が使用するメニューです。

 管理者1

## パスワード

このメニューでパスワードを登録することで、システムおよび Web ページから設定メニューやアドレス帳を変更す

るためにアクセスできるユーザーを制限することができます。

#### ご注意

未設定のパスワードがあると、だれでもそのユーザー名でアクセスすることができます。ネットワーク上の意図せぬ第三者からのアクセスを防ぐにはすべてのパスワードを設定してください。

◆ Web ページの認証で各パスワードを使用した場合について詳しくは、「7 章 Web 機能」をご覧ください。

### 管理者用パスワード

管理者用のパスワードを 39 文字以内の半角英数字と記号で登録します。

管理者用パスワードを登録すると、管理者用設定メニューにアクセスするときにパスワードの入力を求められます。また、複数のパスワードが登録されているときは、上位パスワードとして使用できます。例えば、アドレス帳変更パスワード、設定保存パスワード、管理者用パスワードを登録しているときは、アドレス帳や設定の変更をするときに管理者用パスワードを使用することもできます。

#### ご注意

・ 設定またはアドレス帳の変更時に、管理者用パスワードを一度入力すると、設定メニューまたはアドレス帳から別の画面に移動しない限り、パスワードを再入力せずに設定を変更できます。また、設定メニューまたはアドレス帳から HOME 画面に戻っても、約 2 分間は、パスワードを再入力せずに設定を変更できる状態が継続します。管理者用設定メニューにアクセスした場合も同様です。

- ・ 管理者用パスワードを登録しただけでは、設定変更やアドレス帳変更についてはパスワードで保護されません。必ず管理者用パスワードとともにアドレス帳変更パスワードや設定保存パスワードも登録してください。
- ・ ほかのパスワードを登録しても、管理者用パスワードが空白のままだと、パスワードの入力なしで Web ページからの変更や接続ができます。ご注意ください。
- ・ 管理者用パスワードは必ず控えてください。万一、管理者用パスワードを忘れた場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。この場合、本機を初期化して修理することになり、本機に保存されていたアドレス帳や履歴、各種設定データは失われます。

### アドレス帳変更パスワード

アドレス帳を変更するときのパスワードを 39 文字以内の半角英数字と記号で登録します。

#### ご注意

アドレス帳の変更時に、アドレス帳変更パスワードを一度入力すると、アドレス帳から別の画面に移動しない限り、パスワードを再入力せずに設定を変更できます。また、アドレス帳から HOME 画面に戻っても、約 2 分間は、パスワードを再入力せずに設定を変更できる状態が継続します。

### 設定保存パスワード

設定を保存するときのパスワードを 39 文字以内の半角英数字と記号で登録します。

## で注意

設定の変更時に、設定保存パスワードを一度入力すると、設定メニューから別の画面に移動しない限り、パスワードを再入力せずに設定を変更できます。また、設定メニューから HOME 画面に戻っても、約 2 分間は、パスワードを再入力せずに設定を変更できる状態が継続します。

## リモートアクセス・パスワード

Web ページにアクセスするときのパスワードを 39 文字以内の半角英数字と記号で登録します。

### 管理者2

## 設定許可 1

それぞれの設定を保存するときに「設定保存」パスワードが必要かどうかを選びます。

### 通信回線

**有効**：通信回線設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：通信回線設定をパスワードなしで保存する場合。

### 発信

**有効**：発信設定を保存するときに「設定保存パスワード」を要求する場合。

**無効**：発信設定をパスワードなしで保存する場合。

### 着信

**有効**：着信設定を保存するときに「設定保存パスワード」を要求する場合。

**無効**：着信設定をパスワードなしで保存する場合。

## 多地点

**有効**：多地点設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：多地点設定をパスワードなしで保存する場合。

## IP 通信モード

**有効**：IP 通信モード設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：IP 通信モード設定をパスワードなしで保存する場合。

## SIP 通信モード

**有効**：SIP 通信モード設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：SIP 通信モード設定をパスワードなしで保存する場合。

## ISDN 通信モード

**有効**：ISDN 通信モード設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：ISDN 通信モード設定をパスワードなしで保存する場合。

### 管理者3

## 設定許可 2

### 音声

**有効**：音声設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：音声設定をパスワードなしで保存する場合。

### 映像

**有効**：映像設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。



**無効**：映像設定をパスワードなしで保存する場合。

## LAN

**有効**：LAN 設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：LAN 設定をパスワードなしで保存する場合。

## QoS

**有効**：QoS 設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：QoS 設定をパスワードなしで保存する場合。

## TOS

**有効**：TOS 設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：TOS 設定をパスワードなしで保存する場合。

## SIP

**有効**：SIP 設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：SIP 設定をパスワードなしで保存する場合。

## ISDN

**有効**：ISDN 設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：ISDN 設定をパスワードなしで保存する場合。

 管理者4

## 設定許可 3

### 一般

**有効**：一般設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：一般設定をパスワードなしで保存する場合。

## ホーム画面

**有効**：ホーム画面設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：ホーム画面設定をパスワードなしで保存する場合。

## 管理者

**有効**：管理者設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：管理者設定をパスワードなしで保存する場合。

## アノテーション

**有効**：アノテーション設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：アノテーション設定をパスワードなしで保存する場合。

## カメラ

**有効**：カメラ設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：カメラ設定をパスワードなしで保存する場合。

## 暗号化

**有効**：暗号化設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：暗号化設定をパスワードなしで保存する場合。

## 共有アドレス帳

**有効**：共有アドレス帳設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：共有アドレス帳設定をパスワードなしで保存する場合。

管理者5

## レコーディング

### レコーディング

映像・音声の USB メモリーへのレコーディングを許可するかどうかを選びます。

**許可**：レコーディングを許可する場合。

**禁止**：レコーディングを許可しない場合。

### ビデオ

レコーディングのビデオのレートを選びます。

**512Kbps**：512Kbps でレコーディングを行う場合。

**1Mbps**：1Mbps でレコーディングを行う場合。

管理者6

## アクセス許可

### ご注意

使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性があります。「Web モニター」、「Web アクセス」、「Telnet アクセス」、「SSH アクセス」を「入」または「許可」の設定に変更すると、以下の確認画面が表示されます。

外部から本機にアクセスする機能をお使いになる場合には、ネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性がありますので、管理者設定メニューの「パスワード」ページですべてのパスワードを設定してください。

確認

キャンセル

設定を変更するには、「確認」を選択して管理者設定メニューの「パスワード」ページ（94 ページ）ですべてのパスワードを設定してください。「キャンセル」を選択すると、設定は変更されません。

## Web モニター

Web からの通信状態監視機能（JPEG 画像の自動更新）を許可するかどうかを選びます。

**入**：Web からの通信状態監視機能を許可する場合。

**切**：Web からの通信状態監視機能を許可しない場合。

## Web アクセス

Web から本機へのアクセスを許可するかどうかを選びます。

**許可**：Web からのアクセスを許可する場合。

**禁止**：Web からのアクセスを許可しない場合。

## Telnet アクセス

Telnet から本機へのアクセスを許可するかどうかを選びます。

**許可**：Telnet からのアクセスを許可する場合。

**禁止**：Telnet からのアクセスを許可しない場合。

## SSH アクセス

SSH（Secure Shell）から本機へのアクセスを許可するかどうかを選びます。

**許可**：SSH からのアクセスを許可する場合。

**禁止**：SSH からのアクセスを許可しない場合。

管理者7

その他

## 履歴の利用

通信履歴を表示して発信などに利用するかどうかを選びます。

**入**：履歴を表示する場合。

**切**：履歴を表示しない場合。

## 設定の保存

各種設定のデータを USB メモリーに保存します。USB メモリーの各種設定のデータは上書きされます。

### ご注意

アドレス帳、履歴のデータは保存されません。

## 設定のロード

各種設定のデータを USB メモリーからロードします。本体の各種設定のデータは上書きされます。

### ご注意

設定の保存およびロードは、元のデータを保存した端末とバージョンが同じ場合に使用してください。保存した端末とロードした端末のバージョンが異なる場合は、正常に認識されないことがあります。

## 設定の初期化

すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

実行後は、本機が自動的に再起動します。

### ご注意

- ・初期化を実行すると、管理者用パスワードを含むすべてのパスワード、固定 IP アドレスの設定などが消去されます。必要な設定情報は、あらかじめ「設定の保存」を使用してバックアップしておいてください。
  - ・初期化を実行して再起動したあとは、初期設定ウィザードが表示されます。
- ◆初期設定ウィザードについて詳しくは、「設置直後の設定-初期設定ウィザード」(43 ページ)をご覧ください。

## AMX デバイスディスカバリー

AMX デバイスディスカバリー情報を定期的にネットワーク上に送出するかどうかを選びます。

**切**：本機能を無効にする場合。

**入**：本機能を有効にする場合。

なお、AMX が本機とシリアル接続されている場合、AMX デバイスディスカバリー情報はシリアルにて出力されます。

AMX は本システムを管理できる外部コントロールシステムです。本機から送出された AMX デバイスディスカバリー情報を受けると、自動的に本機をシステムの管理下におきます。

## ホップ数

送出するデータのホップ数を 0 ~ 255 の間で入力します。

## 停電後の自動起動

停電からの復旧時に自動的にシステムの電源を入れるかどうかが選びます。

**入**：自動的に電源を入れる場合。

**切**：電源を入れない場合。

## インターネットプロトコル

**IPv4**：現在一般的に使用されているインターネットプロトコル IPv4 (Internet Protocol Version 4) を使用する場合。

**IPv6**：次世代のインターネットプロトコル IPv6 を使用する場合。

**IPv4/IPv6**：IPv4 と IPv6 を併用する場合。

### ご注意

- ・「インターネットプロトコル」の設定は、LAN1 と LAN2 に共通です。
- ・「インターネットプロトコル」を「IPv6」または「IPv4/IPv6」に設定した場合、本機の機能が一部制限されます。また、管理者設定メニューも一部分表示されなくなります。
- ・「インターネットプロトコル」の「IPv4/IPv6」はバージョン 2.0 で対応予定です。

◆詳しくは、「IPv6 使用時の制限」(109 ページ) をご覧ください。

 管理者8

## アドレス帳

### アドレス帳の保存

アドレス帳のデータを USB メモリーに保存します。USB メモリーのデータは上書きされます。

### アドレス帳のロード

アドレス帳のデータを USB メモリーからロードします。本体のアドレス帳のデータは上書きされます。

### ご注意

アドレス帳の保存およびロードは、元のデータを保存した端末とバージョンが同

じ場合に使用してください。保存した端末とロードした端末のバージョンが異なる場合は、正常に認識されないことがあります。

### アドレス帳の消去

本体のアドレス帳を消去します。

### 自動発信

USB メモリーを挿入したときに、USB メモリーに作成したプライベートアドレス帳の指定した相手に自動発信するかどうかを選びます。

**入**：自動発信する場合。

**切**：自動発信しない場合。

◆詳しくは「プライベートアドレス帳の相手の 1 つに自動発信するには」(145 ページ) をご覧ください。

### プライベートアドレス帳の作成

USB メモリーに、空のプライベートアドレス帳のフォルダとファイルを作成します。

◆詳しくは、「プライベートアドレス帳を作成する」(143 ページ) をご覧ください。

### プライベートアドレス帳の削除

USB メモリーの中のプライベートアドレス帳を削除します。

### プライベートアドレス帳への複製

本機に登録してあるアドレス帳のデータを USB メモリーの中のプライベートアドレス帳にコピーします。

## プション画面

追加したいソフトウェアオプションのキーを「ソフトウェアオプション」1～8の入力欄に入力します。

- ◆ソフトウェアオプションの追加のしかたについて詳しくは、「ソフトウェアオプションを追加する」(205 ページ)をご覧ください。

## 暗号化設定メニュー

暗号化機能を使った接続を行うときに設定します。

暗号化機能を使うと、機密性の高い接続を行うことが可能です。

- ◆暗号化接続について詳しくは、5 章をご覧ください。

## ご注意

暗号化接続の場合、最大使用帯域は 6 Mbps に制限されます。

## 暗号化モード

暗号化機能を使用するかどうかを選びます。

**切**：暗号化機能を使用しない場合。

**接続性優先**：標準暗号化接続ができる相手とは暗号化接続します。標準暗号化接続ができない相手、または標準暗号化機能がオフになっている相手とは、暗号化せずに接続します。

**暗号化優先**：標準暗号化接続ができる相手とのみ、接続します。

## 共有アドレス帳設定メニュー

サーバー上にある共有アドレス帳を使用する場合に設定します。

- ◆共有アドレス帳について詳しくは、「共有アドレス帳を使用する」(145 ページ)をご覧ください。

## SPB モード

共有アドレス帳を管理するサーバーを使用するかどうかを選択します。

**入**：共有アドレス帳を管理するサーバーを使用する場合。

**切**：共有アドレス帳を管理するサーバーを使用しない場合。

## SPB サーバ・アドレス

共有アドレス帳を管理するサーバーの IP アドレスを入力します。

## SPB サーバ・パスワード

共有アドレス帳を管理するサーバーのパスワードを入力します。

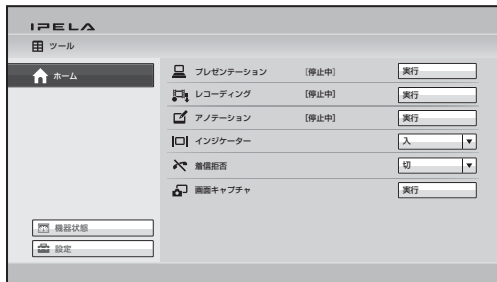
# 機器状態を表示する

機器状態メニューを使って、システムや接続機器のバージョン、通信モード、回線品質などさまざまな情報を表示することができます。

## 機器状態を表示する

- 1 リモコンのツールボタンを押す、または  $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$  ボタンでホームメニューの「ツール」を選び、決定ボタンを押す。

ツールメニューが表示されます。



- 2 リモコンの  $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$  ボタンで「機器状態」を選び、決定ボタンを押す。

機器状態メニューが表示されます。



## 機器状態メニューから表示できる情報画面

- 端末の情報 (104 ページ)
- 周辺機器の状態 (104 ページ)
- 通信モードの状態 (105 ページ)
- LAN 回線の状態 (106 ページ)
- ネットワーク導通確認 (106 ページ)

**3** リモコンの  $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$  ボタンで表示したい情報を選び、決定ボタンを押す。

選んだ情報画面が表示されます。

## 端末の情報

HD ビジュアルコミュニケーションシステムのバージョンや接続されている専用別売機器のバージョン、使用しているソフトウェアオプションなどを表示します。

### ホストバージョン

HD ビジュアルコミュニケーションシステムのソフトウェアバージョンを表示します。

### ソフトウェアオプション

インストールされているオプションのソフトウェアの種類を表示します。

### オプション I/F

接続されている別売機器を表示します。

**なし**：別売機器は接続されていません。

**ISDN (B768)**：ISDN ユニット

PCSA-B768S が接続されています。

**ISDN (B384)**：ISDN ユニット

PCSA-B384S が接続されています。

**タブレット**：アノテーション機能で使用するペンタブレットが接続されています。

### ホストネーム

ホスト名を表示します。

### IP アドレス

LAN1 (PCS-XG77/XG77S では LAN) の IP アドレスを表示します。

#### ご注意

- ・ 管理者設定メニューの「インターネットプロトコル」が「IPv4/IPv6」に設定されている場合は、IPv4、IPv6 それぞれの IP アドレスが表示されます。

- ・ 「インターネットプロトコル」の「IPv4/IPv6」はバージョン 2.0 で対応予定です。

### IP アドレス (LAN2) (PCS-XG100/XG100S のみ)

LAN2 の IP アドレスを表示します。

### MAC アドレス

LAN1 (PCS-XG77/XG77S では LAN) の MAC アドレスを表示します。

### MAC アドレス (LAN2) (PCS-XG100/XG100S のみ)

LAN2 の MAC アドレスを表示します。

### シリアルナンバー

シリアル番号を表示します。

---

## 機器バージョン

「端末の情報」画面で「次へ」を選択すると、コーデックなどのバージョンが表示されます。

## 周辺機器の状態

### ビデオ入力

入力ビデオ名を表示します。

### 音声入力 (MIC 系)

MIC 系の入力オーディオ名を表示します。

### 音声入力 (AUX 系)

AUX 系の入力オーディオ名を表示します。

### ビデオ出力

設定されている解像度と周波数を表示します。



## 音声出力

設定されている音声出力を表示します。

## LAN モード (LAN1)

LAN1 (PCS-XG77/XG77S では LAN) の LAN モードを表示します。

## LAN モード (LAN2) (PCS-XG100/XG100S のみ)

LAN2 の LAN モードを表示します。

## ゲートキーパー

ゲートキーパーの状態を表示します。ゲートキーパー要求、ゲートキーパー確認、ゲートキーパー拒否、登録要求、登録成功、登録失敗、登録拒否、登録タイムアウト、登録解除要求、登録解除確認

## 1st カメラ

1 台目のカメラ名を表示します。

## 2nd カメラ

2 台目のカメラ名を表示します。

## 通信モードの状態

通信中は現在の通信状態、非通信時は前回通信時の通信状態を表示します。使用している回線インターフェースに応じて、ISDN 回線状態、LAN 回線状態、LAN 通信状態も表示されます。

## 通信モードの状態

現在の通信状態を表示します。2 地点以上接続されている場合は、画面下部の「次へ」を選択すると次のページが表示されます。

送信欄と受信欄に分かれている項目では（送信）欄には、自分側が設定している状態が、（受信）欄には自分側が受信している状態が表示されます。

## 相手端末名

相手の端末名を表示します。

## 相手アドレス

相手のアドレスを表示します。

## 音声符号化方式

現在の音声符号化方式を表示します。

## 映像符号化方式

現在の映像符号化方式を表示します。H.264 High Profile での通信時には「H.264 HP」と表示され、H.264 Baseline Profile での通信時には「H.264」と表示されます。

## ご注意

実際の通信に使用される音声符号化方式と映像符号化方式は、接続先のシステムの状態により、本機で設定した方式と異なる場合があります。

## 映像フレームレート

動画のフレームレートをリアルタイムで表示します。

## 回線レート

接続されている回線の数と通信中の伝送レートをリアルタイムで表示します。

## 回線 I/F

使用している回線インターフェースを表示します。

## 遠隔カメラ制御

双方のカメラを操作できる状態になっているかどうかを表示します。

## H239

H.239 プレゼンテーションが使える状態になっているかどうかを表示します。

## チェックコード

暗号化チェックコードを表示します。

## LAN 回線の状態

接続されている地点ごとに1ページずつ、LAN 回線の状態を表示します。接続地点は左上に表示されます。画面下部の「次へ」を選択すると次のページが表示されます。

### ビットレート—送信

送信時の伝送レートが、オーディオ（音声）、ビデオ（映像）、H.239（プレゼンテーション）の種別ごとに表示されます。

### ビットレート—受信

受信時の伝送レートが、オーディオ（音声）、ビデオ（映像）、H.239（プレゼンテーション）の種別ごとに表示されます。

### パケット数—ロスパケット数

相手からの伝送中にネットワーク上で欠落したパケット数が、オーディオ（音声）、ビデオ（映像）、H.239（プレゼンテーション）の種別ごとに表示されます。

### パケット数—復元パケット数

ロスパケット数のうち本機の QoS 機能で復元されたパケット数が、オーディオ（音声）、ビデオ（映像）、H.239（プレゼンテーション）の種別ごとに表示されます。

### パケット数—受信パケット数

通信中に受信したパケット数が、オーディオ（音声）、ビデオ（映像）、H.239（プレゼンテーション）の種別ごとに表示されます。

## ネットワーク導通確認

ネットワークの導通確認を行い、その結果を表示します。画面下部の「測定開始」を選ぶと導通確認を始めます。

◆詳しくは、「ネットワーク導通確認について」（119 ページ）をご覧ください。

### 相手の IP アドレス

ネットワークの導通を確認したい相手の IP アドレスを入力します。

### 回線種別

LAN1：品1 端子（PCS-XG77/XG77S では品2 端子）に接続したネットワークの導通確認をする場合。

LAN2：品2 端子に接続したネットワークの導通確認をする場合。

### ご注意

PCS-XG77/XG77S では、「LAN2」は選択できません。

## ゲートウェイ

デフォルトゲートウェイの確認結果を表示します。

## ping

到達性の確認結果および、パケットロス率、RTT（往復遅延時間）、H.323 通信（H.323 での通信が可能かどうか）の確認結果を表示します。

## トレースルート

ホップ数（相手に到達するまでに経由するルーター数）、Total RTT（往復遅延時間）の確認結果を表示します。

## 測定開始

この項目を選ぶと、ネットワーク導通確認が始まります。

## 戻る

この項目を選ぶと、機器状態メニューへ戻ります。

---

# LAN2 使用時の制限 (PCS-XG100/ XG100S のみ)

本機に2本のLANを接続する場合は、**品1** (LAN1) 端子を社内のネットワーク用、**品2** (LAN2) 端子をインターネットなど社外への接続用にご使用ください。

LAN2 端子を介したネットワークでは、次のように本機の機能が制限されます。

## ご注意

- ・ 本機をインターネットなど社外への接続用にご使用になる場合は以下のように設定してください。
  - － **品1** (LAN1) 端子のみをご使用の場合は、管理者設定メニューの「アクセス許可」(98 ページ) で「Web アクセス」、「Telnet アクセス」、「SSH アクセス」を「禁止」に設定してください。
  - － **品1** (LAN1) 端子、**品2** (LAN2) 端子の両方を使用する場合は、**品2** (LAN2) 端子をインターネットなどの社外への接続にご使用ください。
- ・ **品2** (LAN2) 端子のみを使用することはできません。

---

## LAN2 で設定できない項目

- ・ NAT 設定
- ・ ゲートキーパー
- ・ SNMP
- ・ SIP
- ・ NTP

- ・ 共有アドレス帳
- ・ AMX デバイスディスカバリー
- ・ H.460
- ・ DNS サーバー
- ・ IPv6
- ・ Web アクセス、Telnet アクセス、SSH アクセス

---

## LAN1 または LAN2 のどちらか一方で設定できる項目

- ・ PPPoE

---

## LAN1 と LAN2 に個別に設定する項目

- ・ DHCP モード
- ・ IP アドレス
- ・ ネットワークマスク
- ・ ゲートウェイアドレス
- ・ LAN モード

---

## LAN1 と LAN2 に共通の設定項目

- ・ 使用ポート番号 (TCP、UDP)
- ・ QoS
- ・ TOS
- ・ 自動着信
- ・ 通信中の着信拒否

## ご注意

LAN1 と LAN2 は、同じサブネットには設定しないでください。

---

# IPv6 使用時の制限

インターネットプロトコル IPv6 を使う場合、および IPv4/IPv6 を併用する場合は、次のように本機の機能が制限されます。

## ご注意

「インターネットプロトコル」の「IPv4/IPv6」はバージョン 2.0 で対応予定です。

---

## IPv6 で使えない機能

- ・ SNMP\*
- ・ NTP
- ・ 共有アドレス帳\*
- ・ TOS\*
- ・ ネットワーク導通確認\*
- ・ AMX デバイスディスカバリー\*
- ・ LAN2
- ・ PPPoE
- ・ NAT
- ・ SIP

\* IPv4/IPv6 を併用している場合、IPv4 では使用できます。

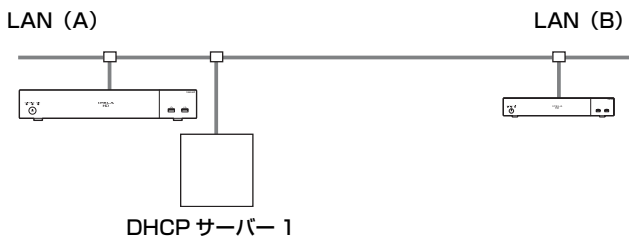
# ネットワーク構成ごとの設定方法

ここでは、さまざまなネットワークで使用する際の本機の設定方法を、使用するネットワーク構成ごとに説明します。

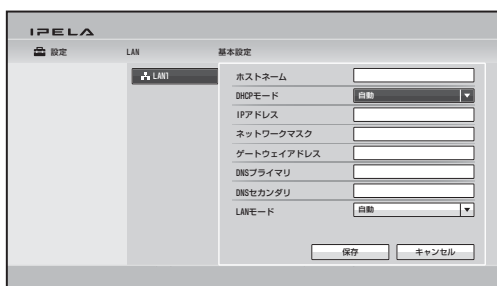
- ◆LAN 設定メニューについて詳しくは、「LAN 設定メニュー」(80 ページ)をご覧ください。
- ◆詳しい設定については、ネットワーク担当者などにご相談ください。

## LAN—DHCP を使用しての接続 (LAN1/LAN2)

### 構成例



LAN 設定メニューの「基本設定」ページで「DHCP モード」を「自動」にします。



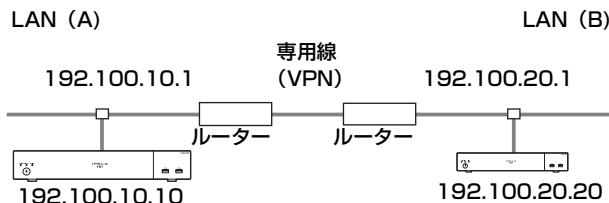
IP アドレスがホームメニューに表示されていれば、正しく設定できています。

### 接続するには

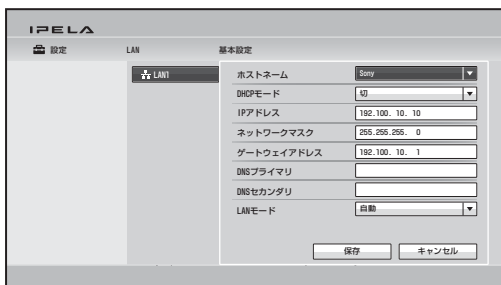
「回線種別」で「IP」を選択し、相手側の IP アドレスを入力して、ダイヤルします。

## LAN—ルーターを介しての接続 (LAN1/LAN2)

### 構成例



LAN 設定メニューの「基本設定」ページで「ホストネーム」に任意の名称を、「IP アドレス」、「ネットワークマスク」、「ゲートウェイアドレス」にそれぞれ適切な値を入力します。



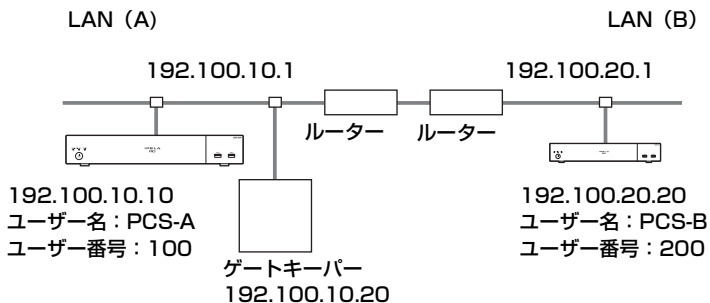
設定した IP アドレスが、ホームメニューに表示されていれば、正しく設定できています。

### 接続するには

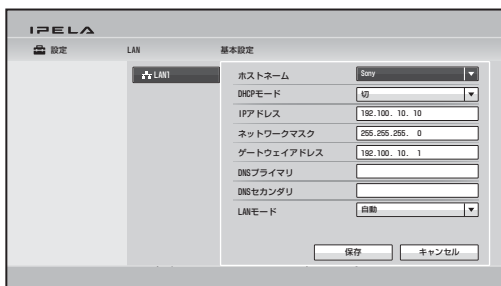
「回線種別」で「IP」を選択し、相手側の IP アドレスを入力して、ダイヤルします。

# LAN—ゲートキーパーを介しての接続 (LAN1 のみ)

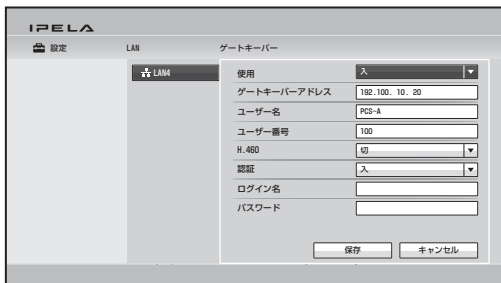
## 構成例



- 1 LAN 設定メニューの「基本設定」ページで「ホストネーム」に任意の名称を、「IP アドレス」、「ネットワークマスク」、「ゲートウェイアドレス」にそれぞれ適切な値を入力する。



- 2 LAN 設定メニューの「ゲートキーパー」ページで「使用」を「入」にし、「ゲートキーパーアドレス」、「ユーザー名」、「ユーザー番号」にそれぞれ適切な値を入力する。「認証」を「入」にした場合は、ゲートキーパー管理者から指定された「ログイン名」、「パスワード」を入力する。





設定した IP アドレスがホームメニューに表示されます。

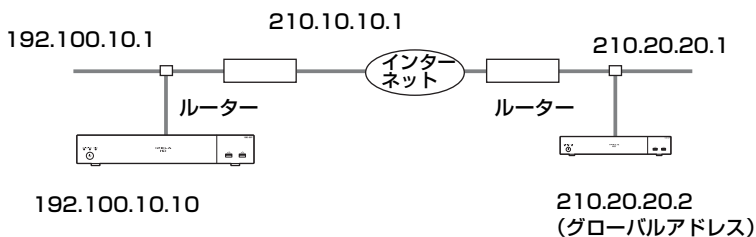
## 接続するには

「回線種別」で「IP」を選択し、相手側で設定した「ユーザー名」または「ユーザー番号」を入力して、ダイヤルします。

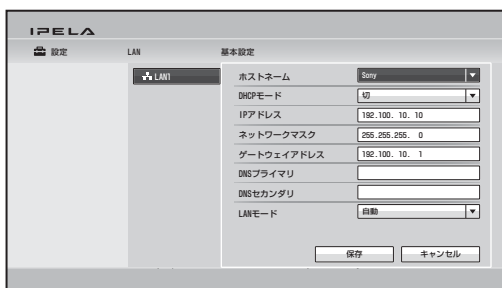
## LAN—NAT 環境での接続 (LAN1 のみ)

NAT を使用すると、LAN 上の複数のコンピューターが 1 つの IP アドレスを共有できます。ここでは、NAT 環境とグローバル IP 環境とのビジュアルコミュニケーションのための設定を説明します。

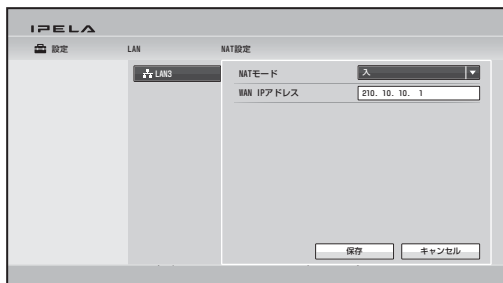
### 構成例



- 1 LAN 設定メニューの「基本設定」ページで「ホストネーム」に任意の名称を、「IP アドレス」、「ネットワークマスク」、「ゲートウェイアドレス」にそれぞれ適切な値を入力する。



- 2 LAN 設定メニューの「NAT 設定」ページで「NAT モード」を「入」、「WAN IP アドレス」に適切な値を入力する。



ホームメニューに設定した WAN IP アドレスが表示されていれば、正しく設定できています。

ホームメニューに NAT アドレスを表示させるには、ホーム画面設定メニューの「ホーム画面 1」ページ（93 ページ）で「番号表示」を「NAT：アドレス」に設定する必要があります。

### 3 相手側で、LAN 設定メニューの「基本設定」ページと同様に設定する。

#### ご注意

相手側は NAT 環境ではないので、LAN 設定メニューの「NAT 設定」ページと同じ設定を行う必要はありません。

---

## 接続するには

「回線種別」で「IP」を選択し、相手側の IP アドレスを入力して、ダイヤルします。

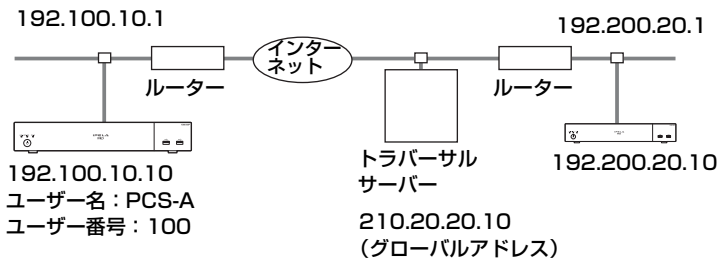
#### ご注意

NAT 環境で本機を使用する場合、本機から相手側（グローバル IP）への発信は可能ですが、相手側から本機への発信はルーターの設定を行う必要があります。ルーターの設定について詳しくは、ネットワーク担当者などにご相談ください。

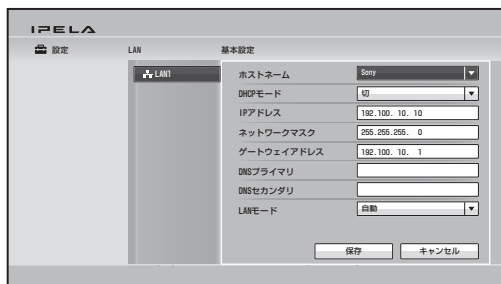
## LAN—H.460 を使用したファイアウォール越えでの接続（LAN1 のみ）

H.460 を使用すると、ファイアウォールを越え、別のネットワーク上にある端末と接続することができます。

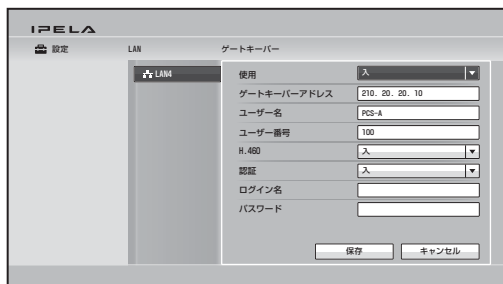
## 構成例



- 1 LAN 設定メニューの「基本設定」ページで「ホストネーム」に任意の名称を、「IP アドレス」、「ネットワークマスク」、「ゲートウェイアドレス」にそれぞれ適切な値を入力する。



- 2 LAN 設定メニューの「ゲートキーパー」ページで「H.460」を「入」に設定する。また、「使用」を「入」にし、「ゲートキーパーアドレス」に適切な値を入力する。「認証」を「入」にした場合は、「ゲートキーパー管理者から指定された「ログイン名」、「パスワード」を入力する。



設定した IP アドレスがホームメニューに表示されます。

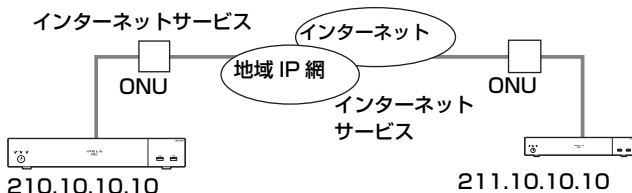
## 接続するには

「回線種別」で「IP」を選択し、相手側の IP アドレスを入力して、ダイヤルします。

## LAN—PPPoE による接続 (LAN1/LAN2)

PPPoE を使用すると、ルーターを使用せずに、インターネットサービスプロバイダーのサービスを利用できます。

### 構成例



- 1 LAN 設定メニューの「PPPoE」ページで「PPPoE」を「LAN1」または「LAN2」にし、「ユーザー名」、「パスワード」にそれぞれプロバイダーから取得したものを入力する。

### ご注意

- ・PCS-XG77/XG77S では、「LAN1」ではなく「入」となります。
- ・PCS-XG77/XG77S では、「LAN2」は選択できません。

- 2 プロバイダーから固定 IP を取得している場合は、「固定 IP」を「入」にし、「固定 IP アドレス」に取得した IP アドレスを入力する。

ホームメニューに設定した IP アドレスが表示されていれば、正しく設定できています。

#### ご注意

プロバイダーによって固定の DNS サーバアドレスが指定されている場合は、「DNS」を「設定する」にし、指定されたアドレスを「DNS プライマリ」、「DNS セカンダリ」に入力してください。

### 3 相手側も同様に設定する。

#### 接続するには

「回線種別」で「IP」を選択し、相手側の IP アドレスを入力して、ダイヤルします。

#### ISDN による接続

#### ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。

### 1 ISDN 設定メニューの「番号」ページで「市外局番号」、「市内局番号」にそれぞれ適切な値を入力する。

#### ご注意

「市外局番号」の冒頭が「0」の場合は、冒頭の「0」は入力しないでください。

- ◆ ISDN 設定メニューについて詳しくは、「ISDN 設定メニュー」（88 ページ）をご覧ください。
- ◆ 詳しい設定については、ネットワーク担当者などにご相談ください。

The screenshot shows the IP-ELA settings interface. The main menu on the left has 'ISDN' selected, and the '番号' (Number) sub-menu is active. The '市外局番号' (Area Code) section contains input fields for A1, A2, B3, B2, C1, and C2. The '市内番号' (Local Number) section has a corresponding input field. Below these is the 'Auto SPID' field with an '実行' (Execute) button. At the bottom of the screen are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

ホームメニューに設定した回線番号が表示されていれば、正しく設定できています。

## 2 相手側も同様に設定する。

### ご注意

ISDN ユニットのポートは、番号が若い順に使用してください。

○：1、2、3・・・

×：1、6、5・・・

---

### 接続するには

「回線種別」で「ISDN」を選択し、相手側の回線番号を入力して、ダイヤルします。

- ◆ビジュアルコミュニケーションの始めかたについて詳しくは、「自分側から接続を始める」(120 ページ)をご覧ください。

# ネットワーク導通確認について

相手と接続する前に、通信がスムーズにできるようにあらかじめネットワークの導通を確認しておくことができます。

- ◆ネットワーク導通確認にはネットワークに関する知識が必要です。ネットワーク担当者またはお買い上げ店にご相談ください。
- ◆確認結果について不明な点は、ネットワーク担当者またはお買い上げ店にご相談ください。

## ネットワーク導通確認を始めるには

本機側（導通確認を行う側）の機器状態メニューの「ネットワーク導通確認」メニューを表示し、各項目を設定します。

「測定開始」を選ぶと、ネットワーク導通確認が始まります。

- ◆「ネットワーク導通確認」メニューの表示のしかたは、「機器状態を表示する」(102 ページ) をご覧ください。

### ご注意

ネットワーク導通確認中は、通信を含む他の機能は使用できません。確認が終わると「ネットワーク導通確認」メニューに結果が表示されます。

# 3章

## 基本的な接続

この章では、管理者が2章のシステムの登録と設定をすませていることを前提に、基本的な接続のしかたを説明します。

この章では、LAN または ISDN 回線（別売の ISDN ユニット PCSA-B384S または PCSA-B768S 使用）、SIP を使って接続する2地点間のコミュニケーションのしかたを説明します。

### ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。

- ◆別売の機器を使った接続を行うには、4章をご覧ください。
- ◆暗号化接続を行うには、5章をご覧ください。
- ◆多地点接続を行うには、6章をご覧ください。

---

## 自分側から接続を始める

自分側から接続するときは、接続する相手にダイヤルします。相手とつながると、通常の電話で音声による会話を行うのと同じように、映像と音声によるコミュニケーションが始まります。

まず、相手呼び出す方法を説明します。

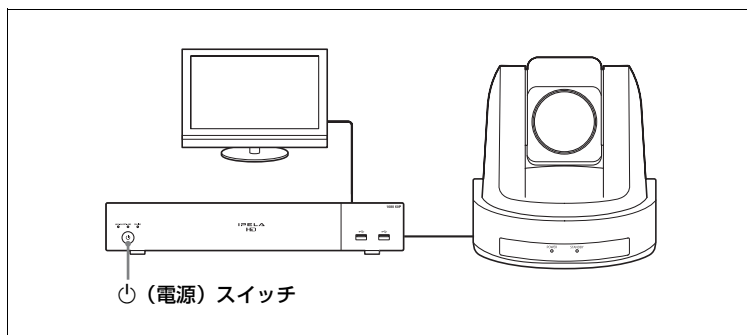
次の方法で相手呼び出すことができます。ホームメニューの設定や接続する状況によって便利な方法をご利用ください。

- ・接続メニューで相手呼び出す（121 ページ）
- ・直接、相手の番号を入力して呼び出す（ダイレクトダイヤル）（123 ページ）
- ・ワンタッチダイヤルボタンから相手呼び出す（124 ページ）
- ・通信履歴から相手呼び出す（125 ページ）
- ・アドレス帳に登録している相手呼び出す（127 ページ）
- ・詳細接続メニューを設定して、アドレス帳に登録していない相手呼び出す（129 ページ）



## 電源を入れる

- 1 モニター用テレビの電源を入れる。
- 2 使用するその他の機器の電源を入れる。
- 3 システム本体の  $\text{\textcircled{I}}$ （電源）スイッチを押して電源を入れる。



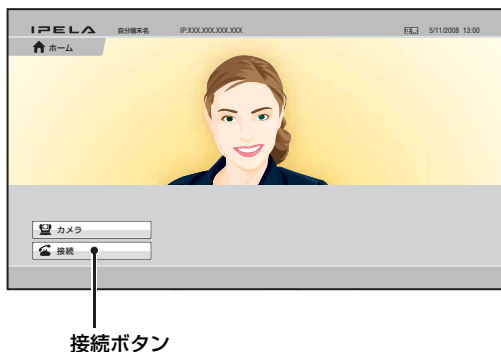
システム本体の  $\text{\textcircled{I}}$ （電源）スイッチ外側のLEDが点滅を始めます。電源が入るとランプの点滅が緑色の点灯に変わります。モニター用テレビにはホームメニューが表示され、自分側のカメラが写している映像も表示されます。

### **ご注意**

電源が入ると、カメラが動作テストを行います。指を挟まないようご注意ください。

## 接続メニューで相手呼び出す

ホームメニューで「接続」ボタンが表示されているときにこの方法が利用できます。



- 1 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンでホームメニューの「**接続**」を選び、**決定ボタン**を押す。

接続メニューが表示されます。



- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで相手の呼び出し方を選び、**決定ボタン**を押す。

選んだ呼び出し方に応じて、画面が切り替わります。

**番号を入力する**：詳細接続メニューが画面に表示されます。

◆引き続き、「アドレス帳に登録していない相手呼び出す」(129 ページ) をご覧ください。

**アドレス帳から選ぶ**：アドレス帳が画面に表示されます。

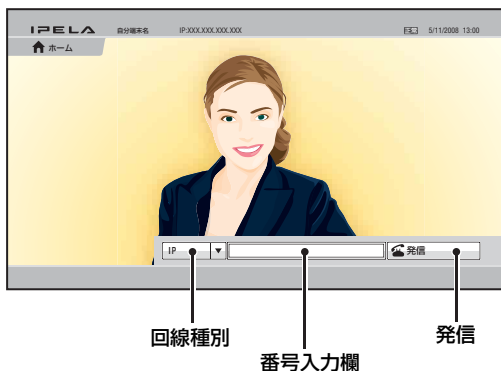
◆引き続き、「アドレス帳に登録している相手呼び出す」(127 ページ) をご覧ください。

**履歴から選ぶ**：通信履歴が画面に表示されます。

◆引き続き、「通信履歴から相手呼び出す」(125 ページ) をご覧ください。

## 直接、相手の番号を入力して呼び出す（ダイレクトダイヤル）

ホーム画面設定メニューの「ダイレクトダイヤル」が「入」に設定してあるとき、ホームメニューにダイレクトダイヤル用の番号入力欄や「発信」ボタンが表示され、ダイレクトダイヤル機能を使うことができます。



1 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンでホームメニューの「回線種別」を選び、決定ボタンを押す。

2 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで回線の種類を選び、決定ボタンを押す。

IP：品1 (LAN1) 端子 (PCS-XG77/XG77S では品 (LAN) 端子) に接続した LAN を介して接続する場合。

ISDN：ISDN 回線で接続する場合。

TEL：ISDN 回線で音声のみの電話と接続する場合に選びます。(ボイスミーティング)。

### ご注意

- ・ 通信回線設定メニューの「通信回線」で「SIP」にチェックマークをつけているときは、回線種別で「SIP」が選択できます。
- ・ 通信回線設定メニューの「LAN2を使用する」が「入」のときは、回線種別で「IP(2)」も選択できます。

3 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで番号入力欄を選び、決定ボタンを押す。

#### 4 リモコンの数字ボタンで相手の IP アドレスまたは回線番号を入力し、決定ボタンを押す。

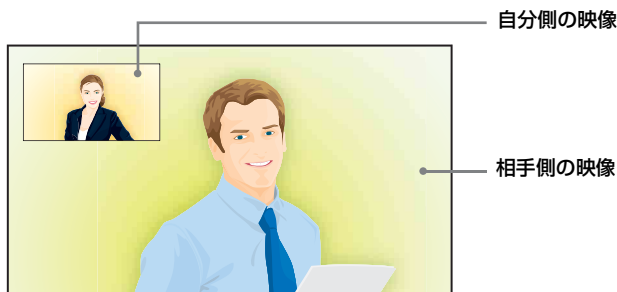
##### ヒント

SIP の場合、相手を指定するときのアドレスには以下のような形式があります。

- ・ 4000 (SIP サーバーから割り当てられた番号)
- ・ 4000@sip.com
- ・ 192.168.1.1 (IP アドレス、SIP サーバーを使用しない場合)

#### 5 リモコンの接続 (☎) ボタンを押す。またはリモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで「発信」を選び、決定ボタンを押す。

手順 4 で入力した IP アドレスまたは回線番号への接続が始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。相手側とつながると「接続しました」と表示され、相手側の映像がモニター画面に表示されます。これで相手とコミュニケーションを始めることができます。



#### 相手につながる前にダイヤルを中止するには

モニター画面に「発信中」と表示されている間に、リモコンの切断 (☎) ボタン、または、リモコンの決定ボタンを押してください。

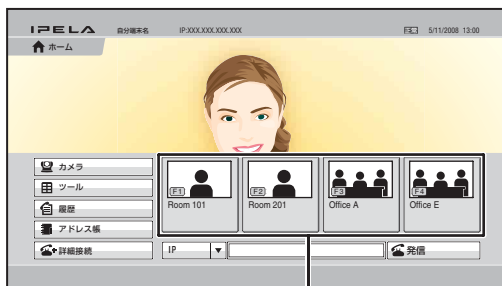
### ワンタッチダイヤルボタンから相手呼び出す

ホーム画面設定メニューの「ワンタッチダイヤル」が「入」に設定してあるとき、ホームメニューにワンタッチダイヤルボタンが表示され、ワンタッチダイヤル機能を使うことができます。

- ◆ワンタッチダイヤルの登録のしかたは、「アドレス帳に相手を登録する」(136 ページ) をご覧ください。

#### 1 ホームメニューを表示する。

- 2 リモコンの F1 ~ F4 ボタン (ファンクションボタン) で、呼び出したい相手が登録されてワンタッチダイヤルボタンの番号を選ぶ。または、リモコンの  $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$  ボタンでホームメニューのワンタッチダイヤルボタンを選択し、決定ボタンを押す。表示されるサブメニューから  $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$  ボタンを使って「接続」を選び、決定ボタンを押す。



ワンタッチダイヤルボタン

選んだ相手にダイヤルが始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。相手側とつながると「接続しました」と表示され、相手側の映像がモニター画面に表示されます。これで相手とコミュニケーションを始めることができます。

### 相手につながる前にダイヤルを中止するには

モニター画面に「発信中」と表示されている間に、リモコンの切断 (  $\text{☎}$  ) ボタン、または、リモコンの決定ボタンを押してください。

## 通信履歴から相手を呼び出す

- 1 リモコンの  $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$  ボタンでホームメニューの「履歴」を選び、決定ボタンを押す。または、 $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$  ボタンと決定ボタンでホームメニューの「接続」ボタンを選び、表示される接続メニューの「履歴から選ぶ」を選ぶ。

履歴メニューが表示されます。



## ヒント

履歴メニューは、アドレス帳や詳細接続メニューの「履歴」を選んで表示することもできます。

- リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「発信」(発信履歴)、「着信」(着信履歴)、「不在着信」(不在時の着信履歴)、「不明着信」(不明着信拒否機能で着信拒否した履歴)のいずれかを選び、決定ボタンまたは  $\rightarrow$  ボタンを押す。

選んだ履歴が表示されます。

## ご注意

「不明着信」から相手を呼び出すことはできません。




- リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで呼び出したい相手を選ぶ。
- リモコンの接続 ( $\hookrightarrow$ ) ボタンを押す。または決定ボタンを押し、表示されるサブメニューから  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンを使って「接続」を選び、決定ボタンを押す。

選んだ相手にダイヤルが始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。相手側とつながると「接続しました」と表示され、相手側の映像がモニター画面に表示されます。これで相手とコミュニケーションを始めることができます。

## で注意

「不明着信」から相手を呼び出すことはできません。

## 相手につながる前にダイヤルを中止するには

モニター画面に「発信中」と表示されている間に、リモコンの切断（) ボタン、または、リモコンの決定ボタンを押してください。

## ヒント

履歴のサブメニューでは次の操作ができます。









「キャンセル」：履歴の選択を中止します。

「編集」：アドレス帳のリスト編集メニューが表示されます。

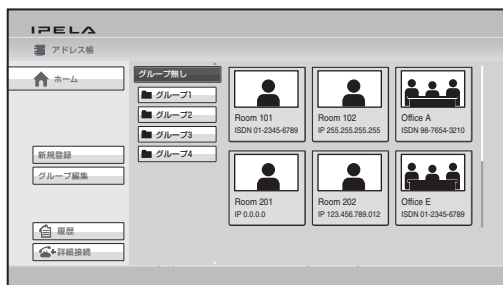
「削除」：選択した履歴を1件、削除します。














## アドレス帳に登録している相手を呼び出す

◆アドレス帳への登録のしかたは、「アドレス帳に相手を登録する」(136 ページ)をご覧ください。

- 1 リモコンの /// ボタンでホームメニューの「アドレス帳」を選び、決定ボタンを押す。または、/// ボタンと決定ボタンでホームメニューの「接続」ボタンを選び、表示される接続メニューの「アドレス帳から選ぶ」を選ぶ。

アドレス帳が表示されます。




- 2 リモコンの /// ボタンで呼び出したい相手が登録されているグループを選び、決定ボタンを押す。
- 3 リモコンの /// ボタンで呼び出したい相手を選ぶ。
- 4 リモコンの接続（) ボタンを押す。または決定ボタンを押し、表示されるサブメニューから /// ボタンで「接続」を選び、決定ボタンを押す。



選んだ相手にダイヤルが始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。相手側とつながると「接続しました」と表示され、相手側の映像がモニター画面に表示されます。これで相手とコミュニケーションを始めることができます。

### 相手につながる前にダイヤルを中止するには

モニター画面に「発信中」と表示されている間に、リモコンの切断（）ボタン、またはリモコンの決定ボタンを押してください。

### アドレス帳の表示方法を切り換えるには

リモコンの F1 ボタンを押すたびに、サムネイル表示と一覧表示に交互に切り替わります。

### アドレス帳の表示順を切り換えるには





リモコンの F2 ボタンを押すたびに、相手の名前がアスキーコード（アルファベット）順と逆順に交互に切り替わります。

### 通信中にアドレス帳を表示するには






通信中にリモコンの # ボタンを押すと、アドレス帳が表示されます。

---

## プライベートアドレス帳から相手呼び出すには

- 1 プライベートアドレス帳が作成されている USB メモリーを USB 端子に差し込む。  
アドレス帳の内容がプライベートアドレス帳に切り換わります。
- 2 ホームメニューの「プライベートアドレス帳」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 リモコンの  /  /  /  ボタンでプライベートアドレス帳から呼び出したい相手を選ぶ。











- 4 リモコンの接続（）ボタンを押す。または決定ボタンを押し、表示されるサブメニューから /// ボタンで「接続」を選び、決定ボタンを押す。

選んだ相手にダイヤルされます。

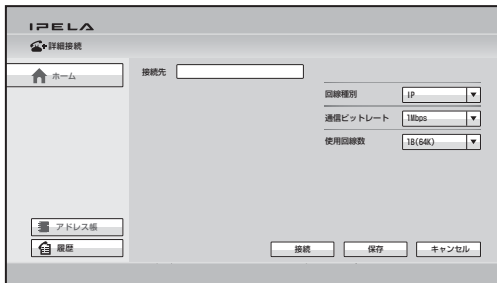
### ヒント

プライベートアドレス帳の自動発信機能が「入」になっているときは、USBメモリーを差し込むだけで自動的にダイヤルが始まります。









## アドレス帳に登録していない相手呼び出す



- 1 リモコンの /// ボタンでホームメニューの「詳細接続」を選び、決定ボタンを押す。または、/// ボタンと決定ボタンでホームメニューの「接続」ボタンを選び、表示される接続メニューの「番号を入力する」を選ぶ。

詳細接続メニューが表示されます。



- 2 使用する回線種別を選ぶ。

リモコンの /// ボタンで「回線種別」ボタンを選び、決定ボタンを押すと、選択項目が表示されます。/// ボタンで使用する回線種別を選び、決定ボタンを押してください。

**IP**：1 (LAN1) 端子 (PCS-XG77/XG77S では  (LAN) 端子) に接続した LAN を介して接続する場合。

**ISDN**：ISDN 回線で接続する場合。

**ISDN (2B)**：ISDN 回線で、H.221 方式のシステムと 2B チャンネルで接続する場合。

**TEL**：ISDN 回線で音声のみの電話と接続する場合。(ボイスミーティング)

## ご注意

- ・ 通信回線設定メニューの「通信回線」で「SIP」にチェックマークをつけているときは、回線種別で「SIP」が選択できます。
- ・ 通信回線設定メニューの「LAN2を使用する」が「入」のときは、回線種別で「IP(2)」も選択できます。

### 3 使用する LAN、または ISDN 回線を設定する。

#### LAN を使用する場合

##### ① IP アドレス入力欄に相手の IP アドレスを入力する。

リモコンの  $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$  ボタンで IP アドレス入力欄を選び、決定ボタンを押します。その後、リモコンの数字ボタンまたはソフトキーボードで IP アドレスを入力し、決定ボタンを押します。  
DNS サーバー使用時はホスト名とドメイン名（例 host.domain）、ゲートキーパー使用時は相手側の LAN 設定メニューに登録してあるユーザー名やユーザー番号を IP アドレス入力欄に入力し、決定ボタンを押します。

#### ヒント

- ・ 管理者設定メニューの「インターネットプロトコル」が「IPv4」に設定されている場合は、 $\blacktriangleright$  ボタンまたはドットボタンで「.」（ドット）が入力できます。
- ・ 管理者設定メニューの「インターネットプロトコル」が「IPv6」または「IPv4/IPv6」に設定されている場合は、 $\blacktriangleright$  ボタンまたはドットボタンで「:」（コロン）が入力できます。  
「IPv4/IPv6」に設定されている場合、 $\blacktriangleright$  ボタンで入力できるのはコロンのみです。「IPv4/IPv6」に設定されていて IPv4 で発信する場合は、ドットを入力する際にドットボタンを 2 回押してください。
- ・ 入力する文字をまちがえたときは、一文字削除ボタンで最後に入力した文字を消します。
- ・ 入力した IP アドレスを消去したいときは、リモコンの戻るボタンを押すか、ソフトキーボードの中止ボタンを選んでリモコンの決定ボタンを押します。
- ・ 「インターネットプロトコル」の「IPv4/IPv6」はバージョン 2.0 で対応予定です。

## ② 通信ビットレートを選択する。

リモコンの ▲/▼/◀/▶ ボタンで「通信ビットレート」を選び、決定ボタンを押すと、選択項目が表示されます。▲/▼/◀/▶ ボタンで選択項目を選び、決定ボタンを押します。

## ISDN 回線を使用する場合

### ① 電話番号入力欄 A に相手の回線番号を入力する。

リモコンの ▲/▼/◀/▶ ボタンで電話番号入力欄を選び、決定ボタンを押します。その後、リモコンの数字ボタンまたはソフトキーボードで回線番号を入力し、決定ボタンを押します。

#### ご注意

プリフィックスが設定してある場合は、電話番号入力欄には、0 発信などの発信番号（プリフィックス）を入力しないでください。「プリフィックス」の設定については、発信設定メニュー（64 ページ）をご覧ください。

#### ヒント

- ・ ISDN を選んだときは、複数（2B（128K）以上）の「使用回線数」を選んでいても、相手側の ISDN 回線番号は 1 つ入力するだけで、使用回線数分を自動的に接続することができます。
- ・ ISDN（2B）を選んだときは、電話番号入力欄 A1 と A2 が表示され、それぞれに別々の ISDN 回線番号を入力することができます。A2 が選ばれている状態でリモコンの決定ボタンを押すと、A1 に入力した電話番号を A2 にコピーすることができます。
- ・ 入力する数字をまちがえたときは、一文字削除ボタンで最後に入力した数字を消します。
- ・ 入力した回線番号を消去したいときは、リモコンの戻るボタンを押すか、ソフトキーボードの中止ボタンを選んでリモコンの決定ボタンを押します。

### ② 発信時に使用する ISDN 回線の回線数を選ぶ。

リモコンの ▲/▼/◀/▶ ボタンで「使用回線数」を選び、決定ボタンを押すと、設定項目が表示されます。▲/▼/◀/▶ ボタンで設定項目を選び、決定ボタンを押します。

## ヒント

### 相手側の ISDN 回線番号をすべて指定して接続するには

相手のシステムがボンディング機能を持っていないとき、相手の ISDN 回線番号を 1 つだけ入力したのでは、複数の使用回線数分を接続することができません。

このような場合など相手の ISDN 回線番号をすべて指定して接続したいときは、「アドレス帳に相手を登録する」(136 ページ)を参照して、アドレス帳に ISDN 回線番号を使用回線数分登録してから、「アドレス帳に登録している相手を呼び出す」(127 ページ)に従って接続してください。

## 4 リモコンの接続 (☎) ボタンを押す。またはリモコンの ▲/▼/◀/▶

### ➡ ボタンでメニュー下部の「接続」を選び、決定ボタンを押す。

手順 3 で入力した IP アドレスまたは回線番号にダイヤルが始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。相手側とつながると「接続しました」と表示され、相手側の映像がモニター画面に表示されます。これで相手とコミュニケーションを始めることができます。

## 相手につながる前にダイヤルを中止するには

モニター画面に「発信中」と表示されている間に、リモコンの切斷 (☎) ボタン、または、リモコンの決定ボタンを押してください。

## 入力した番号をアドレス帳に保存するには

IP アドレスや回線番号を入力すると、メニュー下部に「保存」ボタンが表示されます。リモコンの ▲/▼/◀/▶ ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押してください。リスト編集メニューが表示されるので、入力した番号をアドレス帳に保存してください。

◆リスト編集メニューについて詳しくは、「アドレス帳に相手を登録する」(136 ページ)をご覧ください。

## リダイヤルするには

詳細接続メニューを使用してダイヤルすると、次に詳細接続メニューを表示したときに、前回ダイヤルした番号が IP アドレス入力欄または電話番号入力欄に入力された状態になっています。(リダイヤル機能)

## ご注意

下記の場合は、リダイヤル機能は働きません。

- ・電源を切ったり、スタンバイ状態にしたとき。
- ・IP アドレスや回線番号を入力してもダイヤルしなかったとき。

# 相手から接続される

相手から呼び出しを受けたとき（着信）、手動着信に設定してあるか、自動着信に設定してあるかによって、操作の方法が異なります。

## ご注意

お買い上げ時には、手動着信に設定されています。

## 呼び出しの受け方（手動着信 / 自動着信）

### 手動着信

呼び出しを受けると、呼び出し音が鳴ります。回線をつなぐ操作をすることにより接続が始まります。

接続してよいか確認をしてから相手とつなぐことができます。

### 自動着信

相手からの呼び出しを自動的に受け、接続を始めます。

いちいち操作をする手間が省けますが、自動的につながってしまうので、準備をしていないときでも、自分側の様子がすぐに相手側に伝わってしまいます。





## ご注意

- ・システムの電源が入っていないと、着信できません。
  - ・モニター用テレビの電源が入っていることも確認してください。
- ◆着信方法の設定については、着信設定メニューの「自動着信」（65ページ）をご覧ください。

## 相手から呼び出される

### 手動着信のときは

相手から呼び出しを受けると、呼び出し音が鳴り、モニター画面に「着信があります。応答しますか?」というメッセージが表示されます。

リモコンの  /  /  /  ボタンを押して「OK」を選び、決定ボタンを押してください。

回線の接続が始まります。

接続すると、相手の映像がモニター画面に映り、相手の音声も聞こえるようになります。この時点でこちらの映像と音声相手に送られます。

モニター画面には「接続しました」と表示されます。

これで相手とコミュニケーションを始めることができます。

### ヒント

通信中に音声やカメラを調節する方法は、148～159ページをご覧ください。

### 回線をつなぎたくないときは

リモコンの▲/▼/◀/▶ ボタンで「キャンセル」を選び、決定ボタンを押してください。呼び出し音が止まります。

---

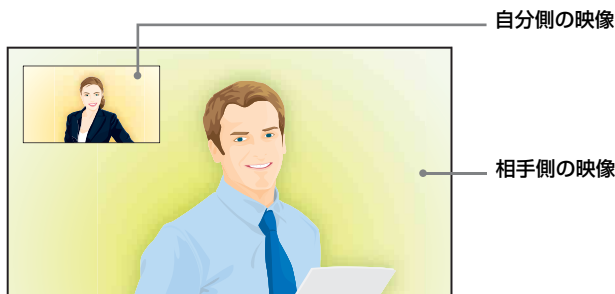
### 自動着信のときは

相手から呼び出しを受けると、呼び出し音が鳴り、モニター画面に「着信中」と表示されます。

自動的に接続すると、相手の映像がモニター画面に映り、相手の音声も聞こえるようになります。この時点でこちらの映像と音声相手に送られます。

モニター画面には「接続しました」と表示されます。

これで相手とコミュニケーションを始めることができます。



### ヒント

通信中に音声やカメラを調節する方法は、148～159ページをご覧ください。

---

### ISDN 回線が接続されなかったときは

何らかの理由で ISDN 回線が繋がらなかったときは、「回線を完全につなぐことができません（ここに ISDN 理由コードとメッセージが現れます。）」と表示されます。

◆ISDN 理由コードとメッセージについては、「メッセージ一覧」（270 ページ）をご覧ください。

---

## 接続を終了する

- 1 リモコンの切断 (⏻) ボタンを押す。

モニター画面に「切断しますか?」と表示されます。

- 2 リモコンの切断 (⏻) ボタンをもう一度押す。またはリモコンの ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンで「OK」を選び、決定ボタンを押す。

これで、回線が切れます。

### ご注意

回線を切っても、システムの電源は入ったままです。

### 回線を切らないときは

リモコンの ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンで「キャンセル」を選び、決定ボタンを押してください。

---

## 接続していた相手をアドレス帳に登録するには

一般設定メニューの「機器設定」ページで「会議終了後のリスト登録」が「入」に設定されていれば、通信終了後に相手がアドレス帳に登録されていない場合、「この相手をリストに登録しますか?」のメッセージが表示されます。「OK」を選ぶとリスト編集メニューが表示されます。

### ご注意

「会議終了後のリスト登録」が「切」になっていると、このメッセージは表示されません。

- ◆詳しくは、一般設定メニューの「会議終了後のリスト登録」(90 ページ)をご覧ください。

# アドレス帳に相手を登録する

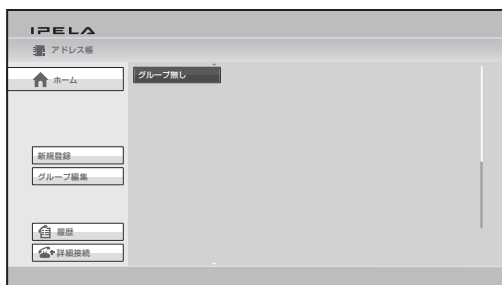
アドレス帳に相手の電話番号や IP アドレスなどを登録しておくことで、簡単にダイヤルすることができます。本機のアドレス帳には 1000 件までの相手を登録できます。各リストに静止画（相手の写真など）を登録しておくこともできます。

また、本機のアドレス帳とは別に、USB メモリーにプライベートアドレス帳を作ることもできます。

## 新しい相手を登録する

- 1 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンでホームメニューの「アドレス帳」を選び、決定ボタンを押す。または、**↑/↓/←/→** ボタンと決定ボタンでホームメニューの「接続」ボタンを選び、表示される接続メニューの「アドレス帳から選ぶ」を選ぶ。

アドレス帳が表示されます。



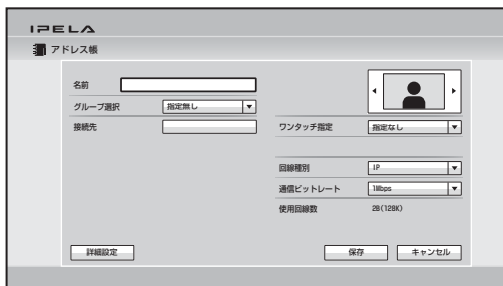
### ヒント

アドレス帳は、履歴メニューや詳細接続メニューから「アドレス帳」を選んで表示することもできます。

- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「新規登録」を選び、決定ボタンを押す。

リスト編集メニューが表示されます。





### 3 リスト編集メニューの各項目を設定する。

リモコンの ▲/▼/◀/▶ ボタンと決定ボタンで設定項目を選びます。入力するときは、リモコンの数字ボタンまたはソフトキーボードを使って入力し、決定ボタンを押します。選択するときは、▲/▼/◀/▶ ボタンで選択項目を選び、決定ボタンを押します。

#### 名前

相手の名前を入力します。

半角 39 文字以内のカナ、英数字、記号で入力できます。

#### グループ選択

アドレス帳のグループを選びます。

#### 接続先

「回線種別」の選択に応じ、相手の IP アドレスや回線番号を入力します。

**回線種別で「IP」を選んだとき：**相手の IP アドレスを入力します。

DNS サーバー使用時はホスト名とドメイン名（例 host.domain）、ゲートキーパー使用時はユーザー名やユーザー番号（83 ページ）を入力してください。

**回線種別で「ISDN」を選んだとき：**相手の回線番号を入力します。

サブアドレスを登録する場合は、回線番号とサブアドレスを「\*（アスタリスク）」で区切って入力します。サブアドレスは、数字のみ有効です。発信設定メニューの「詳細設定」（64 ページ）を「入」に設定しているとき、回線番号欄は A1、A2、B1、B2、C1、C2 の 6 つ現れます。相手の ISDN 回線番号は A1 欄に入力してください。

**回線種別で「TEL」を選んだとき：**相手の音声電話番号を入力します。（例：0390123456）

**回線種別で「SIP」を選んだとき**：相手の IP アドレスや SIP サーバーから割り当てられた番号を入力します。

SIP で相手を指定するときのアドレスには以下のような形式があります。

- ・ 4000 (SIP サーバーから割り当てられた番号)
- ・ 4000@sip.com
- ・ 192.168.1.1 (IP アドレス、SIP サーバーを使用しない場合)

## アイコン／画像

アドレス帳に表示するアイコンまたは USB メモリーの静止画を選びます。

### ご注意

静止画が保存されている USB メモリーが本機に挿入されていないときは、静止画を選ぶことはできません。

## ワンタッチ指定

ホームメニューにワンタッチダイヤルボタンを作成するかどうかを選びます。

ファンクションキーの番号を F1、F2、F3、F4 から選択します。

## 回線種別

相手との接続に使用する回線インターフェースを選びます。IP、ISDN、TEL、SIP から選択します。この設定により、リスト編集画面の設定項目が切り替わります。

### ご注意

- ・ 通信回線設定メニューの「通信回線」で「SIP」にチェックマークをつけているときは、回線種別で「SIP」が選択できます。
- ・ 通信回線設定メニューの「LAN2 を使用する」が「入」のときは、回線種別で「IP(2)」も選択できます。

## 通信ビットレート

「回線種別」で「IP」を選択したとき、通信ビットレートを選びます。

## 使用回線数

「回線種別」で「ISDN」を選択したとき、ISDN 回線のチャンネル数を選びます。

## 自動発信

プライベートアドレス帳（143 ページ）のときのみ設定します。「入」にすると、USB メモリーを入れるだけでこのリストの相手に自動発信します。

## 4 リモコンの $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。

設定した内容が登録されます。

### ご注意

アドレス帳に登録していない相手との接続終了時には、その相手をアドレス帳に登録できます。そのとき、「名前」には IP アドレスまたは回線番号が表示されますので、必要に応じて変更してください。

---

## ボンディング機能を使わないで接続するには

相手のシステムがボンディング機能を持っていないとき、相手の ISDN 回線番号を 1 つだけ入力したのでは、複数の使用回線数分を接続できません。

このような場合など、相手の ISDN 回線番号をすべて指定して接続したいときは、ボンディング機能を使用しないで接続することができます。

発信設定メニューの「詳細設定」（64 ページ）を「入」にすると、リスト編集メニューに回線番号欄 A1、A2、B1、B2、C1、C2 が現れます。「使用回線数」で選んだ回線数分の相手の ISDN 回線番号を入力してください。

### ヒント

使用回線数が 2B のときは、詳細接続メニューから回線種別で「ISDN（2B）」を選んで接続することもできます。

---

## 発信の詳細を設定するには

発信設定メニューの「詳細設定」を「入」に設定しているときは、リスト編集メニュー下部に「詳細設定」ボタンが表示されます。リモコンの  $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$  ボタンで「詳細設定」を選び、決定ボタンを押すと、発信の詳細設定メニューが表示され、他の設定を変更することができます。

### ご注意

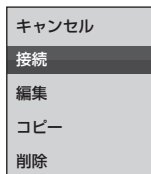
リスト編集メニューの「詳細設定」で設定した内容は発信設定メニューで設定した内容よりも優先されます。

## アドレス帳を編集する

アドレス帳に登録してある電話番号や IP アドレス、名前、設定を編集することができます。

- 1 アドレス帳を表示する。
- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで修正したい相手を選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが表示されます。



- 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「編集」を選び、決定ボタンを押す。

リスト編集メニューが表示されます。

- 4 電話番号や IP アドレス、名前、設定を修正する。

- 5 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。

登録内容の修正が完了します。

## アドレス帳を 1 件コピーする

- 1 アドレス帳を表示する。
- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンでコピーしたい相手を選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが表示されます。

- 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「コピー」を選び、決定ボタンを押す。

選んだ相手がコピーされ、元の名前のうしろに「-2」が追加されます。設定はすでにコピーされているので、変更したい項目だけ修正して使用することができます。

## 登録した相手を削除する

- 1 アドレス帳を表示する。
- 2 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで削除したい相手を選び、決定ボタンを押す。  
サブメニューが表示されます。
- 3 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「削除」を選び、決定ボタンを押す。  
「リストを削除しますか?」という確認のメッセージが表示されます。
- 4 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「OK」を選び、決定ボタンを押す。  
選んだ相手が削除されます。

### 削除を中止するとき

手順4で「キャンセル」を選び、決定ボタンを押す。

## アドレス帳にグループを作る（グループ編集）

アドレス帳にグループを作り、登録した相手をグループ分けすることができます。

---

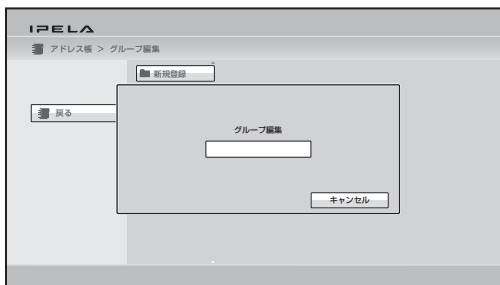
### 新しいグループを登録するには

- 1 アドレス帳を表示する。
- 2 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「グループ編集」を選び、決定ボタンを押す。  
アドレス帳>グループ編集メニューが表示されます。



- 3** リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「新規登録」を選び、決定ボタンを押す。

グループ名入力メニューが表示されます。



- 4** リモコンの数字ボタンまたはソフトキーボードを使ってグループ名を入力し、決定ボタンを押す。

カタカナ、英数字、記号で入力できます。

- 5** リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。

登録したグループのボタンが表示されます。



- 6** リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「戻る」を選び、決定ボタンを押す。

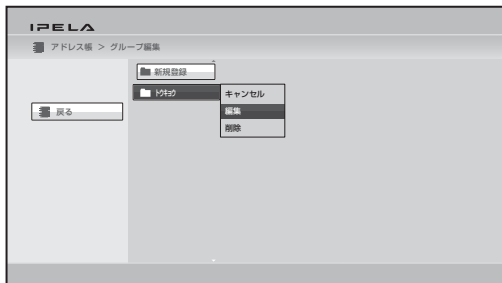
アドレス帳に戻ります。

---

## グループ名を変更するには

- 1** アドレス帳>グループ編集メニューを表示し、リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで名前を変更したいグループボタンを選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが表示されます。



- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンでサブメニューから「**編集**」を選び、**決定ボタン**を押す。

グループ名の入力メニューが表示されます。

- 3 リモコンの**数字ボタン**または**ソフトキーボード**を使って**グループ名**を変更し、**決定ボタン**を押す。

- 4 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「**保存**」を選び、**決定ボタン**を押す。

グループ名が変更されたボタンが**アドレス帳>グループ編集**メニューに表示されます。

### ヒント

グループ編集のサブメニューでは、次の操作もできます。

「**キャンセル**」：グループボタンの選択を中止します。

「**削除**」：グループに1件も登録されていない場合、そのグループを削除します。

### ご注意

相手が登録されているグループボタンは削除できません。

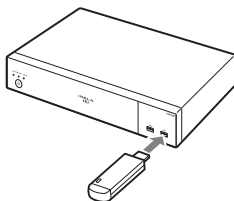
## プライベートアドレス帳を作成する

USB メモリーに自分専用のアドレス帳（プライベートアドレス帳）を作成することができます。一度作成すると、本機にUSBメモリーを入れるだけでプライベートアドレス帳に切り換わります。また、USBメモリーを入れるだけでプライベートアドレス帳に登録した相手の1つに自動発信させることもできます。

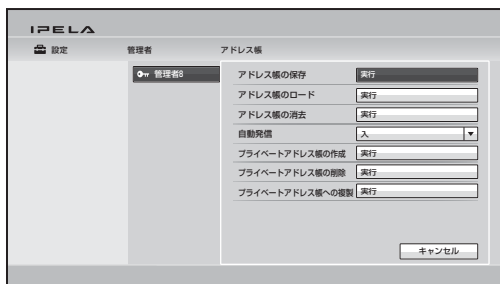
## プライベートアドレス帳に相手を登録するには

### 1 プライベートアドレス帳を記憶させたいUSBメモリーをUSB端子に差し込む。

USBメモリーの上面に書いてある矢印の向きに差し込んでください。



### 2 管理者設定メニューの「アドレス帳」ページを表示する。



◆メニューの表示のしかたは、「設定メニューを表示する」(60ページ)をご覧ください。

### 3 「プライベートアドレス帳の作成」を選ぶ。

USBメモリーに空の「プライベートアドレス帳」フォルダと空のファイルが作成されます。

### 4 相手を新規登録する。

登録のしかたは、本体のアドレス帳の場合と同じです。「新しい相手を登録する」(136ページ)の手順2～4をご覧ください。

プライベートアドレス帳の編集のしかたや、プライベートアドレス帳に登録した相手を削除したり、アドレス帳を1件コピーしたりする方法も、本体のアドレス帳の場合と同じです。プライベートアドレス帳を画面に表示した状態で、140ページの操作をしてください。



---

## 本体のアドレス帳をプライベートアドレス帳として複製するには

プライベートアドレス帳を記憶させたい USB メモリーを USB 端子に差し込み、管理者設定メニューで「プライベートアドレス帳への複製」を選びます。本体に登録されているアドレス帳が USB メモリーに複製されます。

---

## USB メモリーからプライベートアドレス帳を削除するには

削除したいプライベートアドレス帳が登録されている USB メモリーを USB 端子に差し込み、管理者設定メニューで「プライベートアドレス帳の削除」を選びます。プライベートアドレス帳が USB メモリーから削除されます。

---

## プライベートアドレス帳の相手の 1 つに自動発信するには

管理者設定メニューで「自動発信」を「入」にして、リスト編集メニューで以下のように設定しておくことで USB メモリーを入れるだけでプライベートアドレス帳に登録した相手の 1 つに自動的に発信できます。

- 1 プライベートアドレス帳を表示する。
- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで自動発信したい相手を選び、**決定ボタン**を押す。
- 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「編集」を選び、**決定ボタン**を押す。  
リスト編集メニューが表示されます。
- 4 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「自動発信」の「入」を選び、**決定ボタン**を押す。  
設定が登録され、プライベートアドレス帳に「AUTO」と表示されます。

## 共有アドレス帳を使用する

共有アドレス帳機能を使用することで、サーバー上にあるアドレス帳を複数台のソニー製ビジュアルコミュニケーションシステムで使用できるようになります。

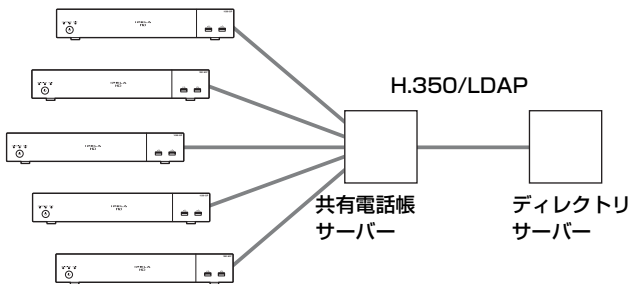
◆詳しい設定については、ネットワーク担当者などにご相談ください。

## ご注意

- 共有アドレス帳に登録された相手には通常のアドレス帳と同様に発信ができますが、登録された相手がマルチポイント接続リストの場合は発信できません。
- 共有アドレス帳へのリスト登録、変更、削除、および画像の貼り付けはできません。また、共有アドレス帳に登録された相手をプライベートアドレス帳にコピーすることはできません。

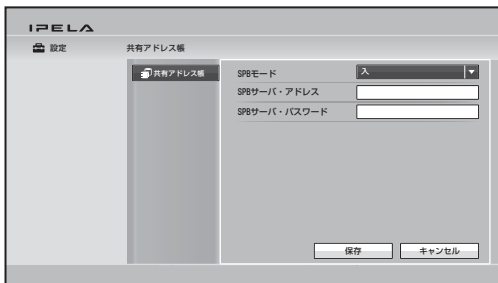
## システム構成例

このシステム構成では、H.350 を使用したアドレス帳共有が可能です。



## 共有アドレス帳を使用するには

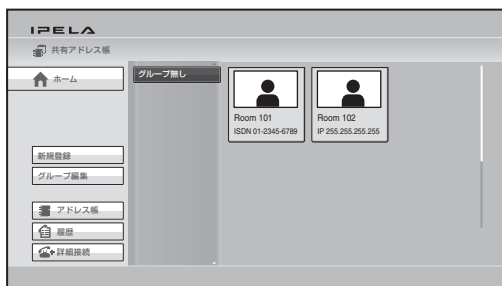
共有アドレス帳設定メニューで、「SPB モード」が「入」になっていることを確認し、「SPB サーバ・アドレス」、「SPB サーバ・パスワード」にそれぞれ適切な値を入力します。



「SPB モード」が「入」になっていると、メニュー画面に「共有アドレス帳」メニューボタンが表示されます。

## 共有アドレス帳を表示するには

共有アドレス帳設定メニューの「SPB モード」が「入」の場合は、アドレス帳を開くと共有アドレス帳が開かれます。



共有アドレス帳からアドレス帳に切り換えるには、メニュー画面の「アドレス帳」を選び、決定ボタンを押します。共有アドレス帳に登録された相手への発信方法は、アドレス帳と同様です。発信方法について詳しくは、「アドレス帳に登録している相手呼び出す」(127 ページ) をご覧ください。

# 音声を調節する

## 受信音量を調節する

相手から送られてくる音声の音量を調節することができます。  
リモコンの音量+ボタンを押すと音量が大きくなり、音量-ボタンを押すと小さくなります。  
音量+/-ボタンを押すと、モニター画面に音量調節バーが表示されます。一定時間操作しないと、音量調節バーはモニター画面から消えます。



### ご注意


- ・あらかじめモニター側の主音量を設定しておいてください。
- ・音量を大きくしすぎると音がはずんだり、ハウリングが起ることがあります。その場合は音量を小さくしてください。

## 音声の送信を一時的にカットするーマイクミュート機能

通信中にこちらから相手に送る音声を一時的にカットすることができます。

リモコンのマイク オン/オフボタンを押します。

マイク オン/オフボタンを1回押すと、相手に送られる音声がかットされ、相手に聞こえなくなります。自分側のモニター画面に

 NEAR インジケーターが表示されます。

相手側のモニター画面には  FAR インジケーターが表示され、音声を送信されていないことを示します。


### 音声の送信を再開するときは

もう1回マイク オン/オフボタンを押します。

自分側のモニター画面から  NEAR インジケーター、相手側のモニター画面から  FAR インジケーターが消えます。

## 着信時の音声の送信をカットする－着信時マイクオフ


相手から呼び出しを受けたとき、こちら側の音声相手に送信されないように設定することができます。

着信設定メニューの「着信時マイク」を「切」に設定しておく、着信時、映像のみ相手に送信されます。モニター画面に  インジケーターが表示されます。

◆設定については、着信設定メニューの「着信時マイク」(66 ページ) をご覧ください。

### 相手に音声を送信するには

リモコンのマイクオン / オフボタンを押します。

モニター画面から  インジケーターが消えます。

## 送信する映像と音声の時間差を調整する－リップシンク機能

コミュニケーションを行う際に、音だけが早く届き、その後で映像が届くことがあります。その結果、映像の口の動きと音声一致せず、対話がスムーズに運ばなくなることがあります。

リップシンク機能を使うと、相手に届く映像と音声ほぼ一致するように自動的に調整されます。ただし、映像に合わせて音声も遅れて届くようになりますことがあります。

音声設定メニューの「基本設定 1」ページで「リップシンク」を「自動」に設定しておく、リップシンク機能が動作します。

◆設定については、音声設定メニューの「リップシンク」(74 ページ) をご覧ください。

### ご注意

相手から送られてくる映像と音声にリップシンク機能による調整が必要な場合は、相手側に、リップシンク機能を使うよう依頼してください。

## エコーを軽減する－エコーキャンセラー

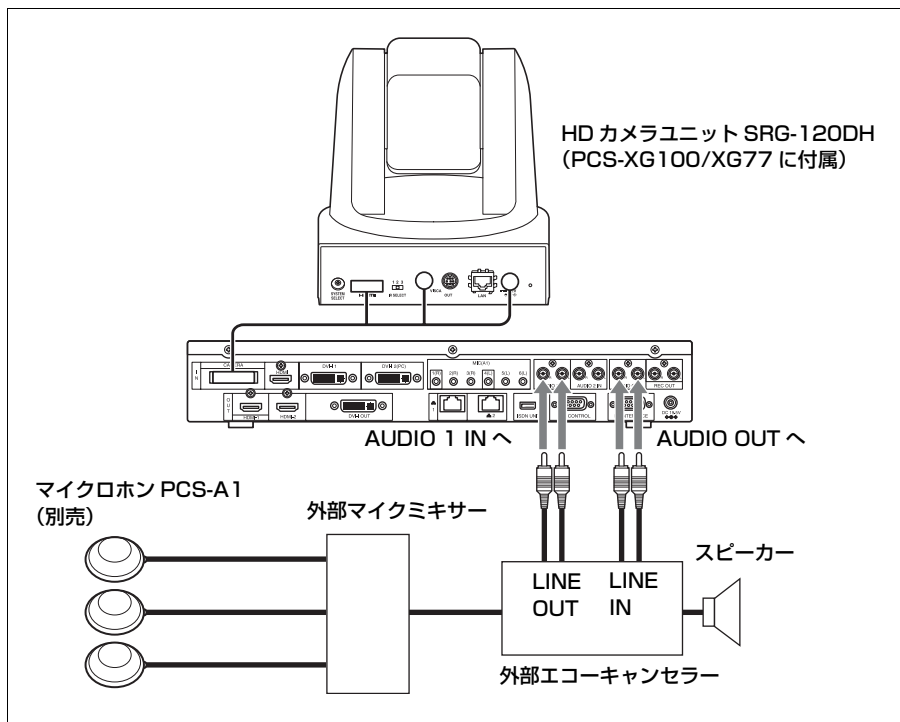
システムには、音声の伝送時に発生するエコーを消すエコーキャンセラー機能があります。

音声設定メニューの「基本設定 1」ページで「エコーキャンセラー」を「入」に設定しておく、内蔵のエコーキャンセラーが動作します。

外部機器のエコーキャンセラーを使用する場合は、「エコーキャンセラー」を「切」に設定してください。

- ◆設定については、音声設定メニューの「エコーキャンセラー」(73 ページ)をご覧ください。

## 外部エコーキャンセラーを使用する場合の接続例



- ◆外部エコーキャンセラーの接続のしかたについては、使用する外部エコーキャンセラーの取扱説明書をご覧ください。

# カメラを調節する

相手に送っている自分側のカメラの映像を希望の状態に調節することができます。

また、通信中に相手側のカメラを操作して、送られてくる映像を調節することもできます。

## アングルとズームを調整する

カメラのアングルとズームを調整して、モニター画面に映す映像を決めます。

- 1 リモコンのカメラボタンを押す、またはリモコンの  $\downarrow/\uparrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンでホームメニューの「カメラ」ボタンを選び、決定ボタンを押す。

カメラメニューが表示されます。



- 2 調整したいカメラを選ぶ。

通信中は、リモコンの F1 ボタンを押すたびに自分側カメラと相手側カメラが切り替わります。

カメラが2台接続されているときは、リモコンの F2 ボタンを押すたびに 1st カメラと 2nd カメラが切り替わります。

選んだカメラは、カメラメニューの最上部に表示されます。

- 3 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「カメラ調整」を選び、決定ボタンを押す。

カメラ調整メニューが表示されます。



パン・チルト表示    ズーム表示

#### 4 リモコンの↑/↓/←/→ボタンで写したい部分がスクリーンに表示されるよう、カメラアングルを調整する。

選んだカメラがパン・チルトし、子画面またはフルスクリーンに調整された画像が映ります。

#### 5 リモコンのズームボタンを押して、ズームを調整する。

T ボタンを押すと画像が大きくなり、W ボタンを押すと小さくなります。

◆デジタルズームの設定について詳しくは、「デジタルズームを設定するには」(157 ページ)をご覧ください。

#### 相手側カメラを操作するには

- ・相手側のカメラを操作するときは、自分側、相手側ともに通信モード設定メニューの「遠隔カメラ制御」(69 ページ)を「入」に設定してください。この設定が違っていると相手側のカメラは操作できません。
- ・通信中のカメラ遠隔操作方式が H.281 でない場合、相手側のカメラを操作することはできません。相手側のカメラを操作できない場合は、相手のカメラの遠隔操作方式をご確認ください。
- ・自分側と相手側から同時に同じカメラを操作すると、正常に動作しない場合があります。

#### 画像の明るさ（輝度）を調整する

通常、画像の明るさ（輝度）は、自動的に調整されますが、手動で調整することもできます。

通常は自動調整にしておいてください。最適な明るさが得られます。



## 輝度を手動調整するには

- 1 リモコンのカメラボタンを押す、またはリモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンでホームメニューの「カメラ」ボタンを選び、決定ボタンを押す。

カメラメニューが表示されます。



- 2 調整したいカメラを選ぶ。

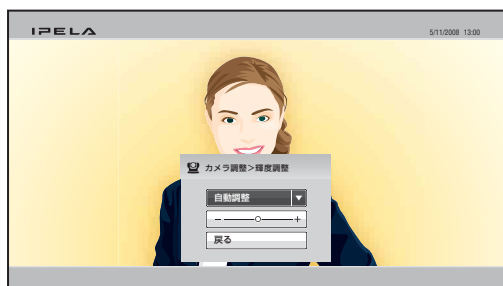
通信中は、リモコンのF1ボタンを押すたびに自分側カメラと相手側カメラが切り替わります。

カメラが2台接続されているときは、リモコンのF2ボタンを押すたびに1stカメラと2ndカメラが切り替わります。

選んだカメラは、カメラメニューの最上部に表示されます。

- 3 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「輝度調整」を選び、決定ボタンを押す。

輝度調整メニューが表示されます。



- 4 決定ボタンを押す。

- 5 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「手動調整」を選び、決定ボタンを押す。

輝度調整バーが選択されます。



輝度調整バー

## 6 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンを押して、画面の明るさを調整する。

- ▶ ボタンを押すと画面が明るくなり、◀ ボタンを押すと画面が暗くなります。

## プリセット機能を使う

自分側カメラまたは相手側カメラのアングルとズームをプリセット登録できます。一度プリセット登録しておくで、その設定を簡単に呼び出してカメラを移動できます。

自分側カメラは100件、相手側カメラは6件までのプリセット登録ができます。

### プリセット登録するには

## 1 リモコンのカメラボタンを押す、またはリモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンでホームメニューの「カメラ」ボタンを選び、決定ボタンを押す。

カメラメニューが表示されます。



## 2 アンブルとズームをプリセットしたいカメラを選ぶ。

通信中は、リモコンのF1 ボタンを押すたびに自分側カメラと相手側カメラが切り替わります。

カメラが2台接続されているときは、リモコンのF2 ボタンを押すたびに1st カメラと2nd カメラが切り替わります。

選んだカメラは、カメラメニューの最上部に表示されます。

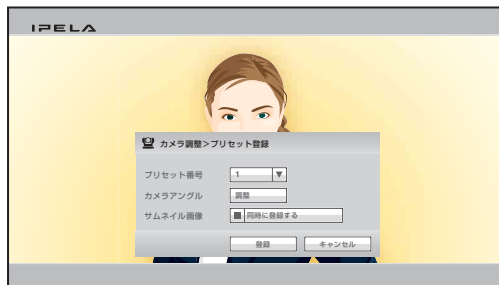
## 3 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンでカメラ調整メニューから「プリセット」を選び、決定ボタンを押す。

プリセット一覧メニューが表示されます。



## 4 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで「新規登録」を選び、決定ボタンを押す。

プリセット登録メニューが表示されます。



## 5 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで「プリセット番号」を選択し、リストから番号を選ぶ。

まだプリセット登録されていない番号だけが選択できます。

## 6 カメラのアンブルとズームを調整したいときは、リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで「カメラアングル」の「調整」を選び、決定ボタンを押す。

カメラ調整メニューが表示されますので、ズームとアングルを調整します。

◆調整のしかたは、「アングルとズームを調整する」(151 ページ)をご覧ください。

## 7 調整が終わったら、リモコンの戻るボタンまたは決定ボタンを押す。

プリセット登録メニューに戻ります。

## 8 サムネイルを登録したいときは、リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで「サムネイル画像」を選び、決定ボタンを押して「同時に登録する」にチェックマークをつける。

現在映っている画像が、サムネイルとして登録されます。

## 9 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで「登録」を選び、決定ボタンを押す。

プリセット登録が完了し、プリセット一覧画面にプリセットした番号が表示されます。

---

### プリセットした位置にカメラを移動するには

## 1 リモコンのカメラボタンを押す、またはリモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンでホームメニューの「カメラ」ボタンを選び、決定ボタンを押す。

カメラメニューが表示されます。

## 2 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンでカメラメニューから「プリセット」を選び、決定ボタンを押す。

プリセット一覧メニューが表示されます。



### 3 リモコンの $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンで呼び出したいプリセット番号を選び、決定ボタンを押す。

プリセット番号1～6を呼び出すときは、リモコンの数字ボタン1～6を押して呼び出すこともできます。

サブメニューが表示されます。

### 4 リモコンの $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンを押して「移動」を選び、決定ボタンを押す。

選んだプリセット位置にカメラが移動します。

#### ヒント

プリセット一覧メニューのサブメニューでは、次の操作もできます。

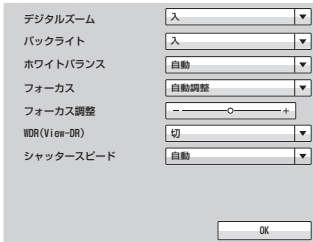
【キャンセル】：プリセット位置の選択を中止します。

【編集】：選択したプリセット位置を変更することができます。

【削除】：選択したプリセット位置を削除します。

## カメラ機能の詳細を設定する

カメラ調整メニューの「詳細」を選択すると、「詳細」メニューが表示されます。ここでは、カメラのさまざまな機能を設定できます。



#### ご注意

「WDR(View-DR)」は、HD カメラユニット SRG-120DH (PCS-XG100/XG77 に付属) 接続時のみ設定できます。ほかのカメラユニット接続時は設定できません。

## デジタルズームを設定するには

デジタルズーム機能を使うときは「デジタルズーム」を「入」にします。

---

## 逆光補正（バックライト）機能を使うには

背景が明るすぎて被写体が暗めになるときは、「バックライト」を「入」にします。逆光補正機能が働き、明るく写ります。

---

## ホワイトバランスを調整するには

「ホワイトバランス」で撮影場所に応じたホワイトバランス調整のしかたを設定します。

**自動**：自動的にホワイトバランスを調整するとき。

**室内モード**：室内撮影に適したホワイトバランスにするとき。

**屋外モード**：屋外で撮影するのに適したホワイトバランスにするとき。

**ONE PUSH（ワン・プッシュ）**：画面中央に白い被写体を置き、ホワイトバランスを調整するとき。

---

## フォーカスを自動調整するには

「フォーカス」で「自動調整」を選択して、決定ボタンを押します。フォーカスが自動調整されます。

---

## フォーカスを手動調整するには

**1 「フォーカス」で「手動調整」を選択する。**

**2 「フォーカス調整」を選び、決定ボタンを押す。**

**3 リモコンの  $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$  ボタンでフォーカスを調整する。**

遠くにフォーカスを合わせるときは、 $\blacktriangleright$  ボタンを押します。

近くにフォーカスを合わせるときは、 $\blacktriangleleft$  ボタンを押します。

---

## ワイドダイナミックレンジ WDR(View-DR) を使用するには

ワイドダイナミックレンジ WDR(View-DR) では、同一撮影シーン内の暗い部分と明るい部分を判別し、暗い部分を明るくし、かつ、明るい部分の白とびを抑えます。

ワイドダイナミックレンジ WDR(View-DR) を使うときは、撮影場所などに応じて「WDR(View-DR)」で「弱」、「中」、「強」のどれかを選択します。ワイドダイナミックレンジ WDR(View-DR) を使わない場合は、「WDR(View-DR)」で「切」を選択します。

## ご注意

- ・「WDR(View-DR)」は、HD カメラユニット SRG-120DH (PCS-XG100/XG77 に付属) 接続時のみ設定できます。
- ・「WDR(View-DR)」を「弱」、「中」、「強」に設定する場合には、「輝度調整」を「自動調整」、「シャッタースピード」を「自動」に設定する必要があります。

---

## シャッタースピードを設定するには

シャッタースピードを自動調整するときは、「シャッタースピード」で「自動」を選択します。シャッタースピードを固定する場合は、「シャッタースピード」で「1/100」を選択します。

# 映像と音声を切り換える

モニター画面に表示する映像や、入力される映像や音声を切り換えることができます。

## 相手側と自分側の映像を切り換える

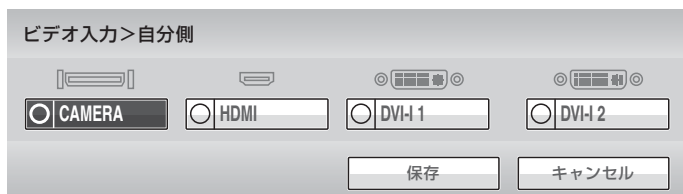
通信中、切り換えが可能なときは、リモコンのレイアウトボタンを押すと、モニター画面下部のガイダンス欄に「F1：相手と自分の画面を切り換える」と表示されます。

リモコンの F1 ボタンを押すたびに自分側と相手側の映像が切り替わります。

## 入力される映像を切り換える

### 1 リモコンの入力切換ボタンを押す。

ビデオ入力>自分側メニューが表示されます。



### 2 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで、切り換えたい自分側システムの入力を選び、決定ボタンを押す。

選んだ機器の映像がモニター画面に映ります。

**CAMERA**：CAMERA 端子に接続したカメラの映像を選ぶとき

**HDMI**：HDMI IN 端子に接続した機器（2台目のカメラなど）の映像を選ぶとき

**DVI-I 1**：DVI-I 1 IN 端子に接続した機器の映像を選ぶとき

**DVI-I 2**：DVI-I 2 (PC) IN 端子に接続した機器の映像を選ぶとき

#### ご注意

PCS-XG77/XG77S では、「HDMI」は選択できません。



### 3 選んだ入力を記憶させたいときは、リモコンの $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。

ビデオ入力メニューが消えます。

保存した入力切替情報は、システムの電源を切っても記憶されており、次に電源を入れたときにも選択されます。

---

#### ビデオ入力メニューに表示する名前を変更するには

映像設定メニューの「ビデオ入力選択名」ページで各入力にお好きな名前を設定することができます。上記の手順2で入力を切り換えるとき、ビデオ入力メニューに設定した名前が表示されます。

例：Camera1、Camera2、None など

◆詳しくは、映像設定メニューの「ビデオ入力選択名」(78 ページ)をご覧ください。

#### リモコンのファンクションボタン (F1 ~ F4) で入力映像を切り換える

一般設定メニューの「通信中のファンクションキー」でリモコンの F1 ~ F4 ボタンに映像入力 (カメラ、HDMI、DVI-I 1 または DVI-I 2) を割り当てておくと、F1 ~ F4 ボタンを押すだけで、すばやく映像入力を切り換えることができます。

##### ご注意

PCS-XG77/XG77S では、「HDMI」は選択できません。

◆詳しくは、一般設定メニューの「通信中のファンクションキー」(91 ページ)をご覧ください。

#### 相手側に送る音声を切り換える

相手に送る音声をマイクか外部機器の音声中に切り換えることができます。音声設定メニューの「音声入力」で設定します。

◆詳しくは、音声設定メニューの「音声入力」(72 ページ)をご覧ください。

#### リモコンのファンクションボタン (F1 ~ F4) で音声入力を切り換える

一般設定メニューの「通信中のファンクションキー」でリモコンの F1 ~ F4 ボタンのひとつに「音声入力切替」を割り当てておくと、そのボタンを押すたびに相手に送る音声を切り換えることができます。

- ◆詳しくは、一般設定メニューの「通信中のファンクションキー」(91 ページ)をご覧ください。

## 映像と音声を同時に切り換える

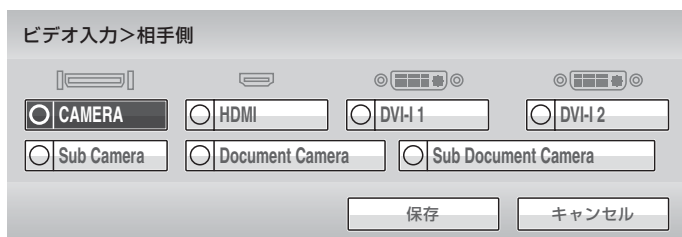
映像設定メニューの「音声とのリンク」ページで「オーディオ入力とのリンク」を「入」にしておくと、映像入力を切り換えたとき、その映像入力にリンクするように設定された音声入力に自動的に切り換えることができます。

- ◆詳しくは、映像設定メニューの「オーディオ入力とのリンク」(79 ページ)をご覧ください。

## 相手側の映像を切り換える

通信中、相手側システムから出力される映像を切り換えることができます。

リモコンの入力切換ボタンを押してから F1 ボタンを押すと、ビデオ入力>相手側メニューが表示されます。



リモコンの **▲/▼/◀/▶** ボタンを押して、相手側システムに接続されている機器の映像を選び、決定ボタンを押します。選んだ映像が自分側システムに入力され、モニター画面に映ります。

### ご注意

自分側システムから切り換えることができるのは、相手側システムから出力可能な映像のみです。

# モニター映像を切り換える

自分側の映像と相手側の映像を同時にモニター画面に表示することができます。自分側の様子が相手のモニターにどのように映っているかを確認するときなどに便利です。

## 1 リモコンのレイアウトボタンを押す。

レイアウトメニューが表示されます。



## 2 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで画面パターンを選び、決定ボタンを押す。

次の8つの画面パターンから選択できます。

**Full**：相手側の映像を全画面表示するとき。

**PandP**：左に相手側の映像を大きく表示し、右に自分側の映像を小さく表示するとき。（本機にコンピューターを接続している場合は、右下にコンピューターの画面が表示されます。）

**Side by Side**：左に相手側の映像、右に自分側の映像を並べて表示するとき。

**PinP**：相手側の映像の中に自分側の映像を子画面で表示するとき。子画面の位置を5種類のパターンから選択できます。

### 3 選んだ画面パターンを記憶させたいときは、リモコンの /// ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。

レイアウトメニューが消えます。

---

#### 相手側の映像と自分側の映像の位置を入れ換えるには

通信中、切り換えが可能なときは、リモコンのレイアウトボタンを押すと、モニター画面下部のガイダンス欄に「F1：相手と自分の画面を切り換える」と表示されます。リモコンの F1 ボタンを押すたびに相手側の映像と自分側の映像の位置が入れ替わります。

---

#### コンピューター画像（HDMI）の受信中に、相手映像に切り換えるには

相手からコンピューター画像（HDMI）を受信中にリモコンのレイアウトボタンを押すと、モニター画面下部のガイダンス欄に「F2：画面を元に戻す」と表示されます。リモコンの F2 ボタンを押すと、相手映像に切り替わります。コンピューター画像（HDMI）に戻すには、もう一度 F2 ボタンを押します。

#### **ご注意**

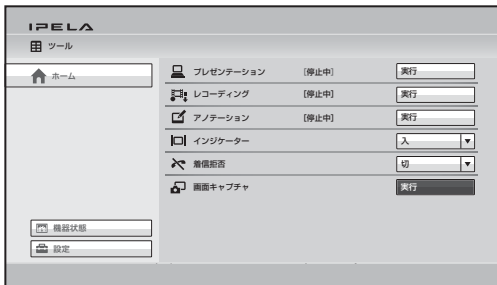
モニターを2台接続して映像設定メニューの「モニター出力」を「HDMI 1 + DVI-I OUT」に設定しているときは、F2 ボタンを使ってコンピューター画像（HDMI）に切り換えることができません。

# 画像をキャプチャーする

ツールメニューの「画面キャプチャ」を使うと、モニター画面に表示されている画像をキャプチャーしてアドレス帳に表示することができます。キャプチャーした画像は USB メモリーに保存されます。

## 自分側の画像をキャプチャーするには

- 1 キャプチャーした画像を保存する USB メモリーを、システム本体の USB 端子に差し込む。
- 2 モニター画面にキャプチャーしたい画像を表示する。
  - ◆カメラを調節する方法については、「カメラを調節する」(151 ページ)をご覧ください。
- 3 リモコンのツールボタンを押す、またはリモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンでホームメニューの「ツール」を選び、決定ボタンを押す。  
ツールメニューが表示されます。
- 4 リモコンの  $\rightarrow$  ボタンを押し、 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「画面キャプチャ」の「実行」を選び、決定ボタンを押す。







モニター画面に表示されている画像が USB メモリーに保存されます。

- ◆キャプチャーした画像をアドレス帳に表示する方法は、「アドレス帳に相手を登録する」(136 ページ)をご覧ください。

## 相手側の画像をキャプチャーするには

- 1 通信中、モニター画面にキャプチャーしたい相手側の画像を表示する。

◆通信中に相手のカメラを調節する方法については、「カメラを調節する」  
(151 ページ) をご覧ください。

- 2 リモコンのツールボタンを押してツールメニューを表示する。**
- 3 リモコンの /// ボタンで「画面キャプチャ」の「実行」を選び、決定ボタンを押す。**

相手側の画像がUSB メモリーに保存されます。

# 4章

## いろいろな機器を使った接続

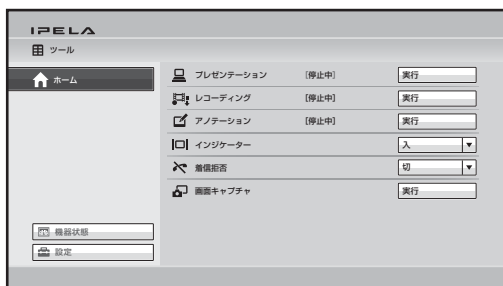
この章では、HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S に付属している構成機器以外に別売の機器をプラスしてできるいろいろな接続のしかたを説明します。

◆多地点接続を行うには、6章をご覧ください。

### ツールメニューを使う

リモコンのツールボタンを押すと、モニター画面にツールメニューが表示されます。

ツールメニューは、よく使う機能をワンタッチで実行できる便利なメニューです。



リモコンの ➡ ボタンを押してから、▲/▼/◀/▶ ボタンでメニューの各項目を選び、決定ボタンを押すと、以下の機能が実行されます。

#### ご注意

「着信拒否」は、別売の HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 がインストールされている場合のみ操作できます。

#### プレゼンテーション

リモコンの決定ボタンを押すと、本機に入力したコンピューターの DVI-I 2 画像を相手に送信します。送信中は「実行中」と表示され、

メニュー項目が「停止」に変わります。「停止」を選んで決定ボタンを押すと、DVI-I 2 画像の送信が終了します。

- ◆プレゼンテーションについて詳しくは、「コンピューターの画像をプレゼンテーションに使う」(170 ページ)をご覧ください。

## レコーディング

リモコンの決定ボタンを押すと、進行中のビジュアルコミュニケーションの映像・音声を USB メモリーに保存します。保存中は「実行中」と表示され、メニュー項目が「停止」に変わります。「停止」を選んで決定ボタンを押すと、レコーディングが終了します。

- ◆レコーディングについて詳しくは、「レコーディングする」(172 ページ)をご覧ください。

## アノテーション

リモコンの決定ボタンを押すと、アノテーション開始メニューが表示され、ペンタブレット（市販）を使って画面上に描いた文字や絵を映像に重ねて送信したり、ポインターを画面に表示したりすることができます（アノテーション機能）。アノテーション実行中は「実行中」と表示され、メニュー項目が「停止」に変わります。「停止」を選んで決定ボタンを押すと、アノテーションが終了します。

- ◆アノテーションについて詳しくは、「アノテーション機能を使う」(174 ページ)をご覧ください。

## インジケーター

リモコンの決定ボタンを押して ▲/▼/◀/▶ ボタンで「入」を選ぶと、モニター画面にプレゼンテーションやカメラコントロールなどのインジケーターが表示されます。「切」を選ぶとインジケーターが消えます。

### ご注意

この設定に関わらず、マイクオフのインジケーターは常に表示されます。

## 着信拒否

リモコンの決定ボタンを押して ▲/▼/◀/▶ ボタンで「入」を選ぶと、通信中に他の端末からの呼び出しを受けたときに、接続を拒否します。「切」を選ぶと、接続を許可します。



## **ご注意**

「着信拒否」は、別売の HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 がインストールされている場合のみ操作できます。

## **画面キャプチャ**

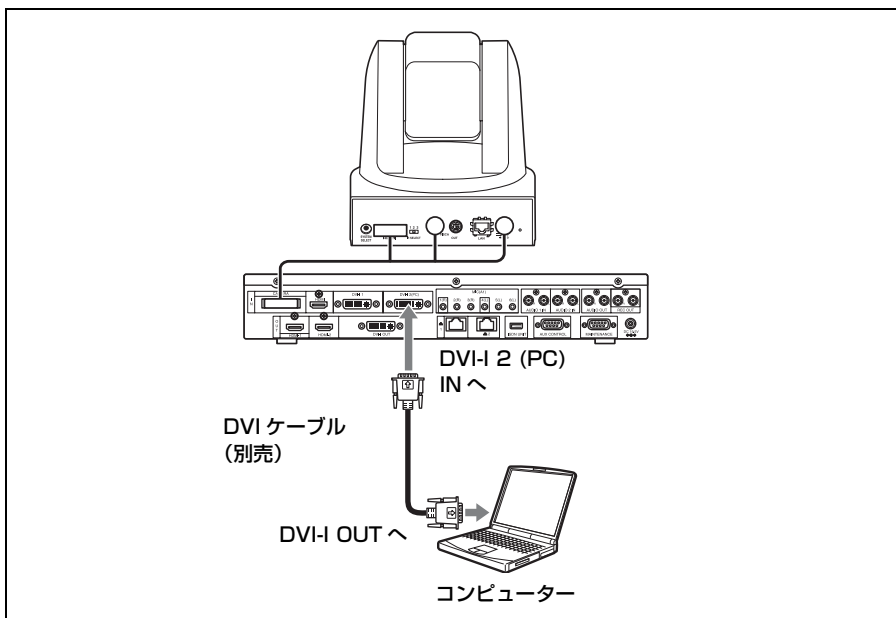
リモコンの決定ボタンを押すと、モニター画面の映像を USB メモリーに静止画として保存します（キャプチャー）。

◆キャプチャーについて詳しくは、「画像をキャプチャーする」（165 ページ）をご覧ください。

# コンピューターの画像をプレゼンテーションに使う

本機に入力したコンピューターなどの DVI-I 2 画像をカメラ映像などと同時に相手に送信できます。

## コンピューターを接続する



## プレゼンテーションを行う

### プレゼンテーションモードを設定するには

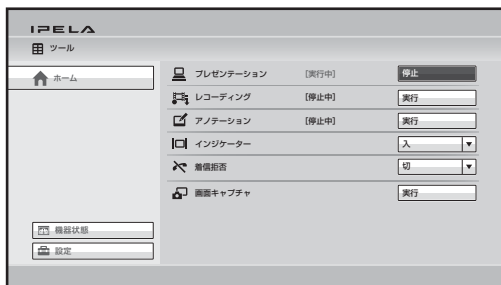
本機に入力したコンピューターなどの DVI-I 2 画像とカメラ映像などを同時に送信し、相手側で送信した画像を同時に見ることを、“H.239 に準拠したプレゼンテーションモード”でプレゼンテーションを行うと言います。このモードを使用すると、カメラ映像とコンピューター画像を同時になめらかに再現できます。“H.239 に準拠したプレゼンテーションモード”でプレゼンテーションを行うには、送信側、受信側ともプレゼンテーションモードを「入」に設定しておく必要があります。

ます。どちらかが「切」に設定してあると、H.239 に準拠したプレゼンテーションを行うことはできません。  
プレゼンテーションモードを設定するには、通信モード設定メニューの「IP：モード」ページの「H.239」（69 ページ）、または「ISDN：モード」ページの「H.239」（70 ページ）を「入」にしてください。

---

## プレゼンテーションを開始するには

- 1 リモコンのツールボタンを押してツールメニューを表示する。
- 2 リモコンの **▶** ボタンを押し、**▲/▼/◀/▶** ボタンで「プレゼンテーション」の「実行」を選ぶ。  
コンピューター画像が相手に送信されます。  
プレゼンテーション中は、ツールメニューに「プレゼンテーション [実行中]」と表示されます。



### ヒント

手順 1、2 の代わりに、リモコンのプレゼンテーションボタンを押しても、コンピューター画像が相手に送信されます。

---

## プレゼンテーションを停止するには

ツールメニューで「プレゼンテーション」の「停止」を選んで決定ボタンを押すと、コンピューター画像の送信が終了します。  
または、リモコンのプレゼンテーションボタンを押しても、コンピューター画像の送信が終了します。

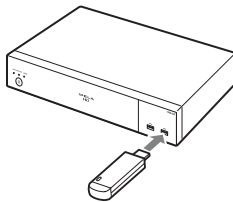
# レコーディングする

ビジュアルコミュニケーションの映像・音声を USB メモリーに保存することができます。保存したデータは、コンピューターで見ることができます。

- ◆レコーディングの設定については、管理者設定メニューの「レコーディング」ページ（98 ページ）をご覧ください。

## レコーディングを開始するには

### 1 USB メモリーを USB 端子に入れる。



### 2 リモコンのツールボタンを押してツールメニューを表示する。

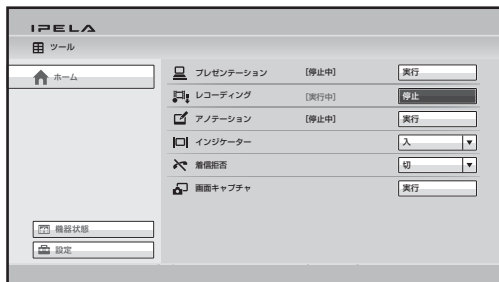
### 3 リモコンの ➡ ボタンを押し、⬆/⬇/⬅/➡ ボタンで「レコーディング」の「実行」を選び、決定ボタンを押す。

「レコーディングを開始しますか?」というメッセージが表示されます。

### 4 リモコンの ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンで「OK」を選び、決定ボタンを押す。

USB メモリーへのレコーディングを開始します。

レコーディング中は、ツールメニューに「レコーディング [実行中]」と表示され、メニュー項目が「停止」に変わります。



---

## レコーディングを停止するには

- 1 ツールメニューで「レコーディング」の「停止」を選び、決定ボタンを押す。

「レコーディングを終了しますか?」というメッセージが表示されます。

- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「OK」を選び、決定ボタンを押す。

USB メモリーへのレコーディングを停止します。

### ご注意

- ・レコーディング中に USB メモリーの残量が少なくなり、保存できなくなった場合、レコーディングは自動的に終了し、メッセージが表示されます。
- ・1回のレコーディングで、最大2ギガバイトまたは12時間まで保存ができます。レコーディング中にファイルが最大サイズまたは最長時間に達した場合は、レコーディングが自動的に終了し、メッセージが表示されます。なお、レコーディング時のビデオレートの設定は512 Kbps または1 Mbps のため、通常は最大サイズの2ギガバイトに先に到達します。このときのレコーディング時間の目安は、ビデオレートの設定が512 Kbps の場合は約8時間、1 Mbps の場合は約4時間です。
- ・レコーディングされたファイルは、USB メモリービデオフォーマット対応製品で再生できるファイルと同じファイル名ですが、これらの製品で認識するディレクトリにファイルを移動しても再生はできません。

---

## リモコンのファンクションボタン (F1 ~ F4) でレコーディングを開始または停止するには

一般設定メニューの「通信中のファンクションキー」でリモコンの F1 ~ F4 ボタンのひとつに「レコーディング 実行 / 停止」を割り当てておくと、そのボタンを押すたびにレコーディングを開始または停止できます。

- ◆詳しくは、一般設定メニューの「通信中のファンクションキー」(91 ページ) をご覧ください。

# アノテーション機能を使う

相手と通信中、ペンタブレットを使って描いた文字や画をリアルタイムで送受信したり、カメラ映像やPC映像をポインターで指し示したりできます。この機能をアノテーションと呼びます。

アノテーション機能には株式会社ワコム製のペンタブレットを使用できます。

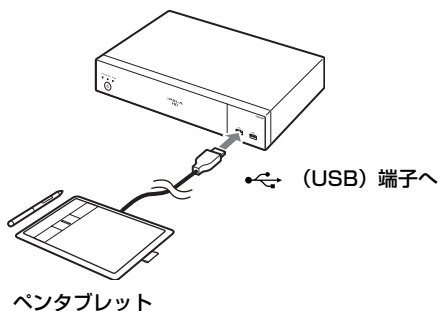
◆対応製品について詳しくは、ソニーのホームページ (<http://www.sony.jp/pcs/>) をご覧ください。

## ご注意

- ・ペンタブレットを使った通信ができるのは、PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55/XL55/G60/G60D/G60DP/XG100/XG77/XG100S/XG77S 同士の場合のみです。  
ソニー製の他のビジュアルコミュニケーションシステムとの通信にはペンタブレットは使用できません。
  - ・アノテーション機能を使用して描画した内容は、レコーディングされた映像には、表示されません。
  - ・使用するペンタブレットにより、操作方法が異なる場合があります。
- ◆詳しくは、ソニーのホームページ (<http://www.sony.jp/pcs/>) をご覧ください。

## ペンタブレットを接続する

- 1 システム本体の電源を切る。
- 2 システム前面の USB 端子にペンタブレットを接続する。

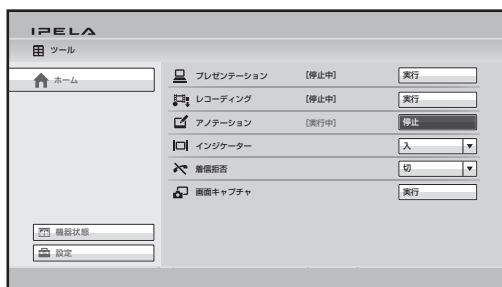


### 3 システム本体の ⏻（電源）スイッチを押して、電源を入れる。

## 通信中にアノテーションを使う

アノテーションを開始するには

- 1 通信を始める。
- 2 リモコンのツールボタンを押して、ツールメニューを表示する。
- 3 リモコンの **▶** ボタンを押し、**▲/▼/◀/▶** ボタンで「アノテーション」の「実行」を選び、決定ボタンを押す。



アノテーション開始メニューが表示されます。

- 4 リモコンの **▲/▼/◀/▶** ボタンでアノテーションの「背景表示画面」を選び、決定ボタンを押す。



**相手映像**：相手側の映像を背景にする場合。

**自分映像**：自分側の映像を背景にする場合。

**受信 PC 画像**：受信した相手側のコンピューター画像を背景にする場合。

**送信 PC 画像**：自分側のコンピューター画像を背景にする場合。

### ご注意


- ・「受信 PC 画像」は、相手側のコンピューター画像を受信中のみ選択できます。
- ・「送信 PC 画像」は、自分側のコンピューター画像を送信中のみ選択できます。



## 5 リモコンの $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ ボタンで「アノテーションモード」を選び、決定ボタンを押す。

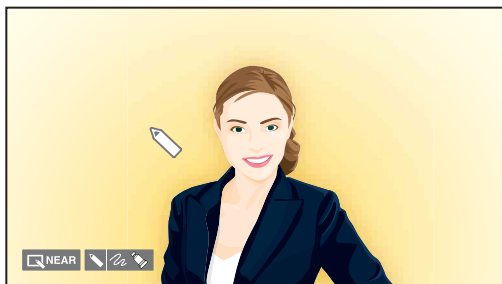
ドローイング：画面上に画や文字を描く場合。

ポインティング：画面上にポインターを表示する場合。

## 6 リモコンの $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ ボタンで「開始」を選び、決定ボタンを押す。

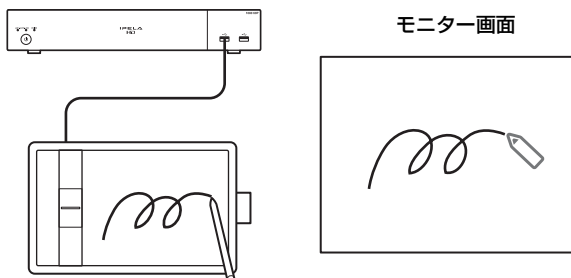
モニター画面の左下にアノテーションインジケータと、 (自分描画中) インジケータが表示されます。

ドローイングモードのときは、 (ペン) が、ポインティングモードのときは  (ポインター) が画面上に現れます。



## 7 タブレットに付属のペンを使って、文字や画を描く、またはポインターを画面上で動かす。

描いた内容がリアルタイムでモニター画面に表示されます。





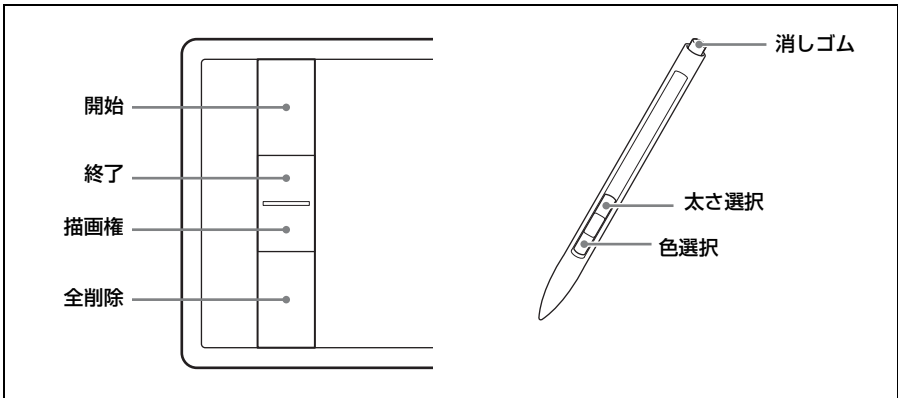
◆タブレットやペンの使いかたについて詳しくは、ペンタブレットに付属の説明書をご覧ください。

## ポインティング中に使える機能

ポインティングモードのときは、ポインターで画面を指し示すことができます。ポインターで画や文字を描くことはできません。

## ドローイング中に使える機能

タブレットのファンクションキーとペンのスイッチを使って操作します。



### ドローイングを開始するには

タブレットの一番上のキーを押します。

### ドローイングを終了するには

タブレットの上から2番目のキーを押します。

### 色を変更するには

ペンのサイドスイッチを押します。スイッチを押すたびに色が変わります。黒、赤、青、緑、黄、橙、紫、白が選択できます。

タッチ操作の場合は、1本目の指を操作面に置き、2本目の指でその右側をタップします。

### 線の太さを変更するには

ペンのセカンドサイドスイッチを押します。押すたびに線の太さが変わります。3種類の線の太さを選択できます。

タッチ操作の場合は、1本目の指を操作面に置き、2本目の指でその左側をタップします。

## 消しゴムで消すには

ペンのテールスイッチ（消しゴム）をタブレットにつけ、消したい文字や画の上で消す動作をします。ペンを動かした部分が消えます。タッチ操作の場合は、2本の指の腹で操作します。


## 描いた文字や画をすべて消すには

タブレットの一番下のキーを押します。

## 描画権を取得するには

通常、アノテーションを開始した側に描画権があります。

相手側からアノテーションを開始した場合、自分側のモニター画面に「描画権取」ボタンが表示され、（相手描画中）アイコンが表示されます。

描画権を自分に移したい場合は、タブレットの下から2番目のキーを押します。（自分描画中）インジケーターが表示され、自分側で文字や画を描くことができますようになります。




---

## アノテーションで描いた内容を保存するには

- 1 アノテーションの内容を保存したいUSBメモリーをシステムに挿入する。
- 2 リモコンのツールボタンを押してツールメニューを表示する。
- 3 ツールメニューで「画面キャプチャ」の「実行」を選ぶ。  
モニター画面に表示されているアノテーション画像が静止画としてUSBメモリーに保存されます。

---

## アノテーションを終了するには

- 1 リモコンのツールボタンを押して、ツールメニューを表示する。
- 2 リモコンの  /  /  ボタンで「アノテーション」の「停止」を選び、決定ボタンを押す。  
アノテーションが終了します。  
アノテーションで描いた文字や画はコミュニケーション終了時に消去されます。

# マイクを使う

マイクロホン PCS-A1 (PCS-XG100/XG100S に 2 個 / PCS-XG77/ XG77S に 1 個付属) を 2 本接続すると、音声をステレオで収録することができます。

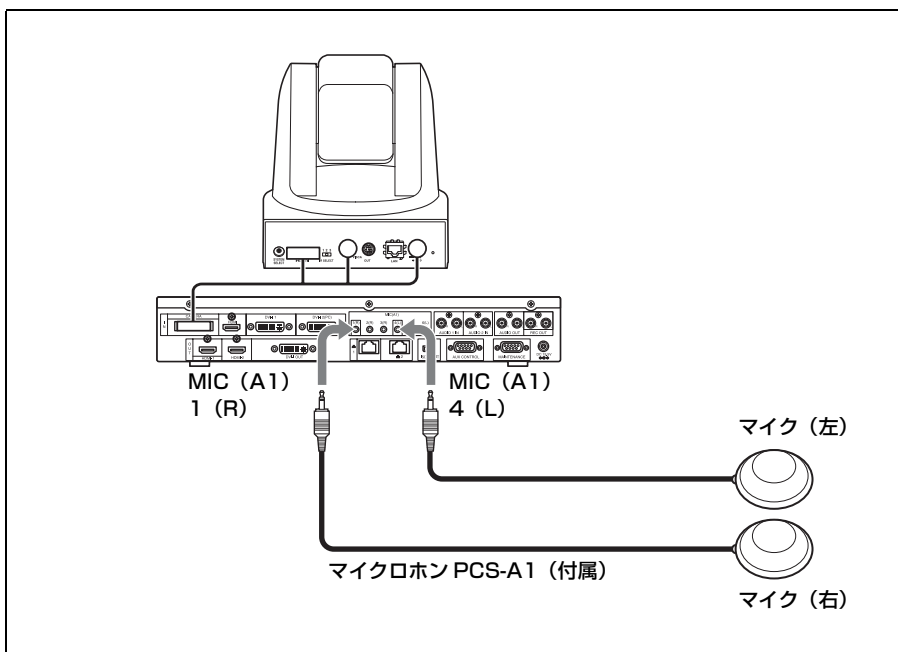
## マイクを接続するには

システム本体の MIC (A1) 端子の 1 (R) 端子と 4 (L) 端子にマイクを接続します。マイクの電源は、システムより供給されます。

### ご注意

マイクを 2 本以上接続する場合は、下記のように接続してください。

- ・ 2 本接続する場合：MIC (A1) 端子の 1 (R) 端子、4 (L) 端子
- ・ 4 本接続する場合：MIC (A1) 端子の 1 (R) 端子、2 (R) 端子、4 (L) 端子、5 (L) 端子
- ・ 6 本接続する場合：MIC (A1) 端子の 1 (R) 端子、2 (R) 端子、3 (R) 端子、4 (L) 端子、5 (L) 端子、6 (L) 端子



---

## 接続したマイクを使うには

音声設定メニューの「基本設定1」ページ、「音声入力」で「MIC」を選択し、「入力選択（MIC系）」で「MIC（A1）」を選択してください。（72 ページ）

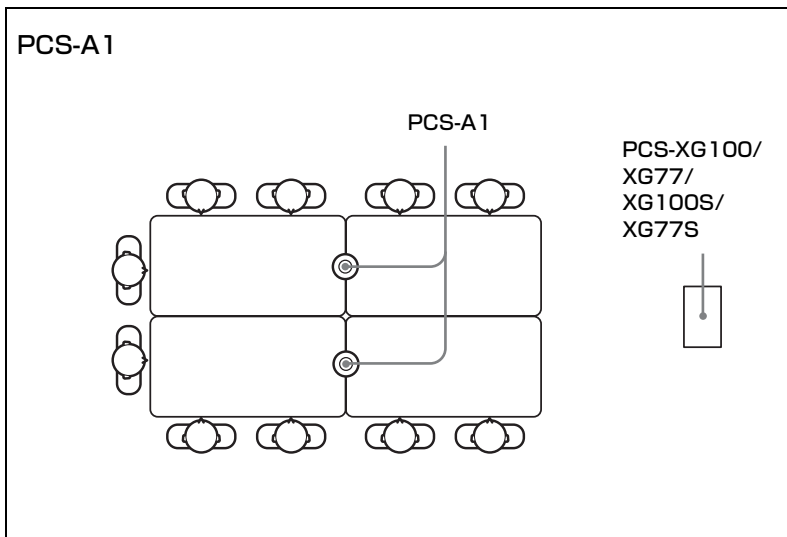
2本のマイクをステレオマイクとして使用するときは、音声設定メニューの「基本設定1」ページで「入力モード」を「ステレオ」に設定してください。（74 ページ）

2本のモノラルマイクとして使用するときは「モノラル」に設定します。

### マイクロホン PCS-A1 を設置するときのご注意

- ・参加者とマイクの間隔が50 cm 程度になるように設置してください。
- ・できるだけ静かで、音が反響しにくい場所に設置してください。
- ・スピーカーは、マイクとの間に人が入らないように設置してください。
- ・ノイズの発生源となるような機器の近くには設置しないでください。
- ・マイクを紙などで覆ったり、マイクを手を持って動かしたりしないでください。ノイズとエコーが相手側へ一時的に大きく伝わる場合があります。その場合は、エコーがおさまるまでしばらくお待ちください。
- ・ステレオの場合は、MIC（A1）端子の1（R）端子へ接続したマイクをカメラ側から見て右側に、4（L）端子へ接続したマイクをカメラ側から見て左側に設置してください。
- ・マイクは、モニター（スピーカー）から一定以上の距離をおいて設置してください。「マイク收音範囲・音質」の設定ごとの推奨距離は以下のとおりです。
  - －近距離・自然：1.5 m 以上
  - －バランス：2.5 m 以上
  - －広範囲・クリア：4.0 m 以上

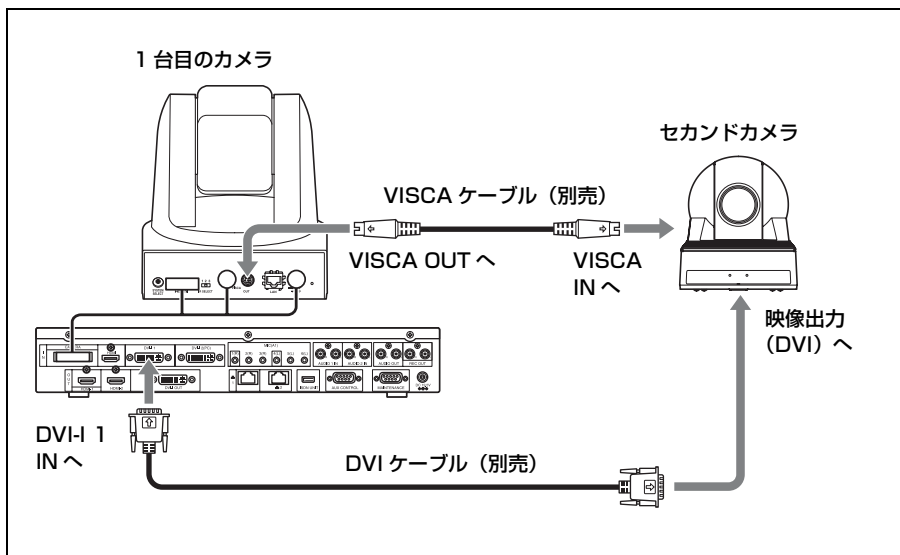
# マイクロホンの配置例



# セカンドカメラを使う

カメラユニットを介して、セカンドカメラを接続できます。

## セカンドカメラの接続例



セカンドカメラの映像出力端子をシステム本体裏面の HDMI IN 端子、DVI-I 1 IN 端子または DVI-I 2 (PC) IN 端子へ接続します。

### ご注意

PCS-XG77/XG77S には、HDMI IN 端子はありません。

カメラ設定メニューの「2nd カメラ入力」で、カメラを接続した端子に合わせて「DVI-I 1」、「DVI-I 2」または「HDMI」を選択します。  
(89 ページ)

### ご注意

PCS-XG77/XG77S では、「HDMI」は選択できません。

## 2 台のカメラの映像を切り換えるには

カメラメニューを表示すると、モニター画面のガイダンス表示部に「F2 : 1st カメラに切り換える」または「F2 : 2nd カメラに切り換え

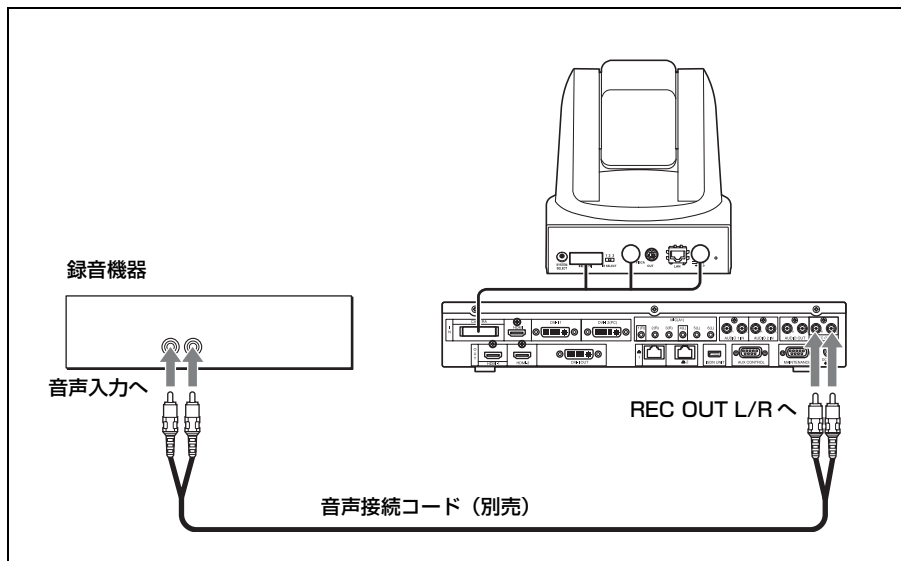
る」と表示されます。リモコンの F2 ボタンを押すたびにカメラの映像が切り替わります。

◆カメラメニューの表示のしかたは、「カメラを調節する」(151 ページ) をご覧ください。

# コミュニケーションを記録する

システム本体の REC OUT 端子に録音機器を接続すると、通信中、自分側と相手側の両方の音声を録音することができます。議事録を作るときに便利です。

## 録音機器を接続するには



## 録音機器で録音するときは

1台の録音機器を AUDIO IN 端子と REC OUT 端子の両方に接続しているときは、相手側にエコーが返るのを防ぐため、音声設定メニューの「基本設定1」ページで「録音ミュート」を「入」に設定してください。(74 ページ)

REC OUT R 端子と L 端子からの出力を2チャンネルのモノラル録音にしたいときは、音声設定メニューの「基本設定2」ページで「REC OUT モード」を「モノラル 2ch」に設定してください。(75 ページ)

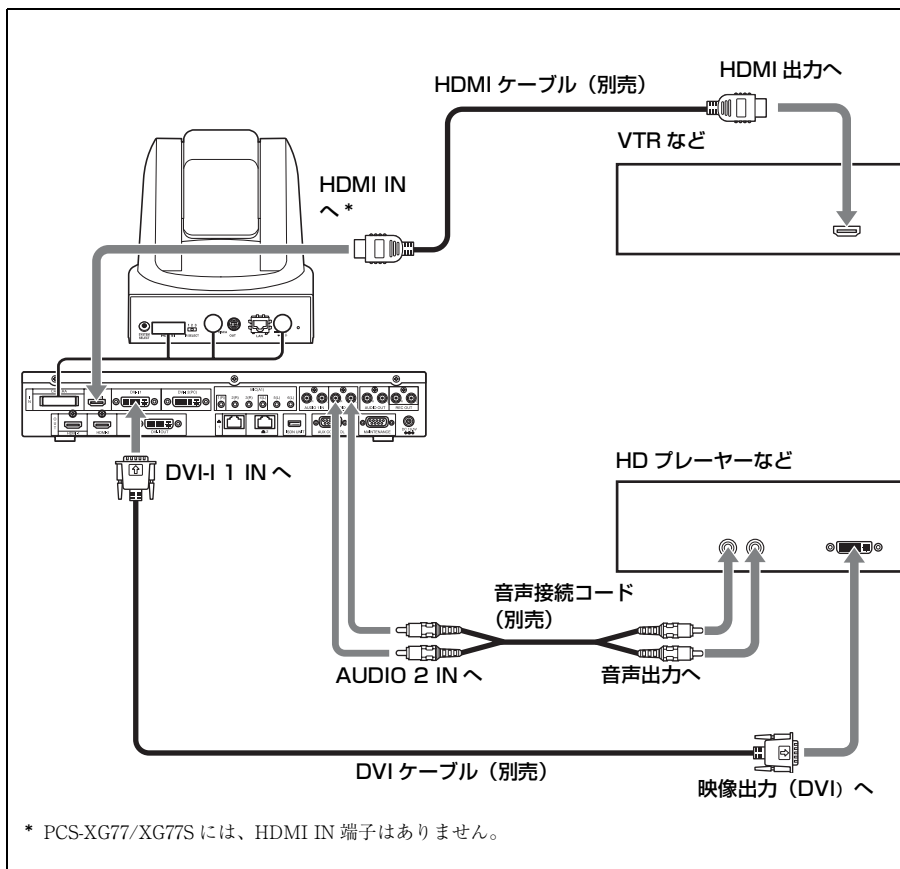


# 外部映像機器からの映像・音声を使う

システム本体に VTR などの外部映像機器を接続して、接続した機器からの映像や音声を相手に送信することができます。

## 入力用の外部映像機器を接続するには

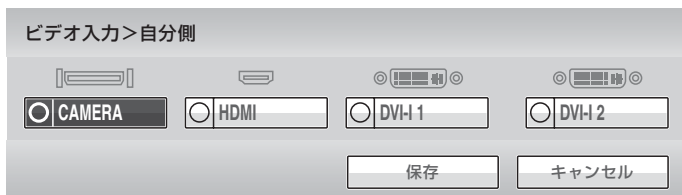
システム本体には 2 系統の映像機器を接続できます。



## 外部映像機器からの映像・音声を入力するには

### 映像を入力するには

リモコンの入力切換ボタンを押してビデオ入力>自分側メニューを表示し、映像を入力したい機器を選びます。



リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンで、各端子に接続した外部機器を選び、決定ボタンを押します。選んだ機器の映像に切り替わります。

**CAMERA**：CAMERA 端子に接続したカメラの映像

**HDMI**：HDMI IN 端子に接続したカメラや映像機器の映像

**DVI-I 1**：DVI-I 1 IN 端子に接続したカメラや映像機器の映像

**DVI-I 2**：DVI-I 2 (PC) IN 端子に接続したコンピューターなどの映像

#### ご注意

PCS-XG77/XG77S では、「HDMI」は選択できません。

選択した入力を保存するときは、リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押します。

### 音声を入力するには

音声設定メニューの「基本設定 1」ページで「音声入力」を「AUX」または「MIC + AUX」に設定してください。(72 ページ)

「AUX」に設定すると、外部機器の音声だけが入力され、マイクは切れます。「MIC + AUX」に設定すると、マイクと外部機器の音声が両方入力されます。

また、AUDIO 1 IN 端子や AUDIO 2 IN 端子に接続した外部機器からの音声を選択するには、音声設定メニューの「基本設定 1」ページで「入力選択 (AUX 系)」を「AUDIO 1」または「AUDIO 2」に設定してください。(72 ページ)

## 入力する映像と音声を同時に切り換えるには

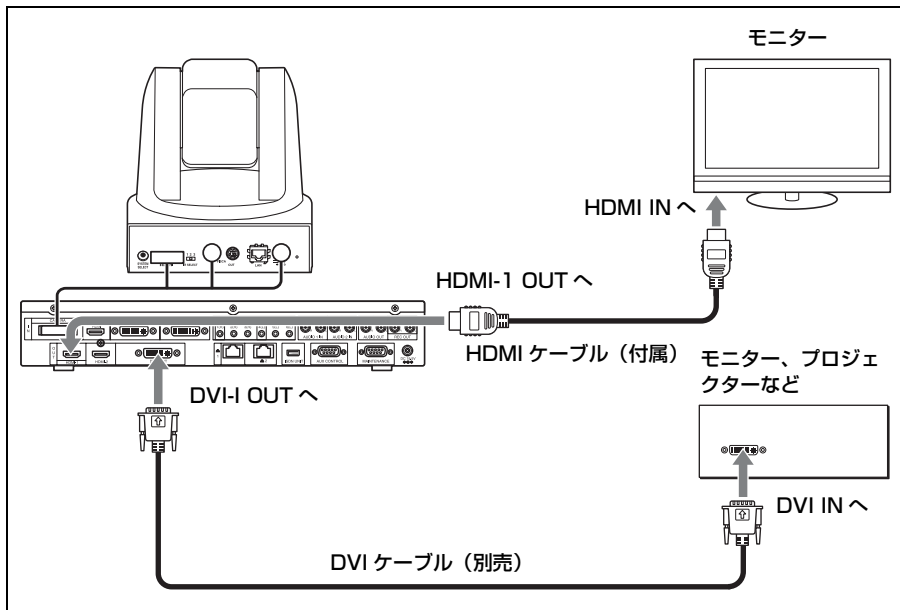
映像設定メニューの「音声とのリンク」ページで「オーディオ入力とのリンク」を「入」に設定し、映像入力と同時に切り換えたい音声をリンクさせておきます。(79 ページ)

映像入力を切り換えると、リンクさせた音声入力に自動的に切り換わります。

# モニターやプロジェクターに映像を出力する

システム本体にモニターやプロジェクターなどのディスプレイ機器を接続して、映像を見ることができます。

## モニターやプロジェクターを接続するには



## 接続したディスプレイ機器を使うには

HDMI-1 OUT 端子へ接続したモニターと DVI-I OUT 端子へ接続したディスプレイ機器の両方に映像を出力する場合は、映像設定メニューの「基本設定」ページで「モニター出力」を「HDMI 1 + DVI-I OUT」に設定します。(77 ページ)

また、「DVI-I モニター出力フォーマット」で出力する映像信号のフォーマットを選択します。(77 ページ)

### で注意

「モニター出力」で「HDMI 1 + DVI-I OUT」、「HDMI 1 + HDMI 2」、「Triple monitors」を選択したとき HDMI モニターが接続されていないと、メニューを見ることができません。必ず HDMI モニターを接続してください。

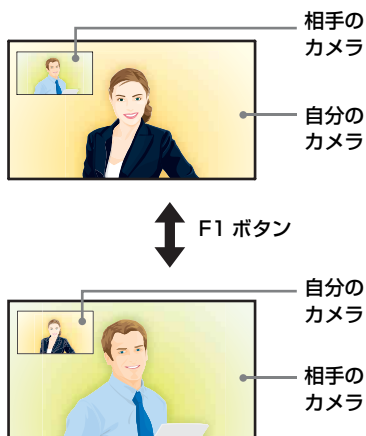
## 2 台のモニターに表示される映像

通信中、2 台のモニター画面には以下の映像が表示できます。

### 1 台目のモニター

HDMI-1 OUT 端子へ接続した 1 台目のモニターには、自分側または相手側のカメラ映像 ( 動画 ) を表示できます。

自分側と相手側の映像を切り換えるには、リモコンのレイアウトボタンを押してから、F1 ボタンを押します。



### 2 台目のモニター

DVI-I OUT 端子へ接続した 2 台目のモニターには、自分側のカメラ映像や相手から受信したコンピューターの DVI 画像を表示できます。

---

# 音声のみのコミュニケーションをするーボイスミーティング

本システムは、ISDN 回線を経由して、通常の電話機と音声のみのコミュニケーションをすることができます。(ボイスミーティング)  
基本的な接続の手順は、映像と音声のコミュニケーションを行うときと同じです。

## ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。

---

## アドレス帳に登録していない相手とボイスミーティングをするとき

詳細接続メニューの「回線種別」を「TEL」に設定してください。  
ボイスミーティング中は、モニター画面に「Voice Only」インジケータが表示されます。

- ◆「回線種別」の設定については、「アドレス帳に登録していない相手を呼び出す」(129 ページ)をご覧ください。

---

## ボイスミーティングをする相手を登録するとき

アドレス帳のリスト編集メニューで「回線種別」を「TEL」に設定してください。

- ◆登録のしかたは、「アドレス帳に相手を登録する」(136 ページ)をご覧ください。

---

## 音声圧縮方式を選ぶには

発信設定メニューの「音声電話」の設定を行ってください。  
自分側からボイスミーティングを開始するときは、「音声電話」を「自動」に設定してください。(64 ページ)  
「自動」を選ぶと、音声圧縮方式が自動的に「G.711  $\mu$ -law」に設定されます。  
相手側からボイスミーティングを開始するときは、自分側の設定は必要ありません。

---

# トーン信号で相手のシステムを制御するー DTMF の送信

ダイヤル発信する際の各数字（0～9、#、\*）に割り当てられているトーン信号（二重トーン多重周波数）を送信することにより、相手側に接続されているシステムを遠隔制御することができます。

## 1 通信中にリモコンのトーン（\*）ボタンを押す。

モニター画面に DTMF メニューが表示されます。

## 2 リモコンの数字ボタン（0～9、#、\*）を押して、送信したい数字を選ぶ。

数字ボタンを押すと、トーン信号が相手に送られます。

## 3 終了するには、リモコンの決定ボタンを押す。

モニター画面の DTMF メニューが消えます。

### **ご注意**

DTMF メニューが出ている間は、マイクが自動的にオフになります。

# 外部から本機にアクセスする

本機は下記のような外部アクセスが可能です。いずれの場合も、詳しい内容については、お買い上げ店にご相談ください。

## ご注意

外部アクセスをご使用になる場合、使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性がありますので、管理者設定メニューの「パスワード」ページ（94 ページ）ですべてのパスワードを設定してください。

## Web ブラウザを使用する

Web ブラウザから本機にアクセスして、本機を操作したり、本機の設定を変更することができます。

Web ブラウザから本機にアクセスするには、管理者設定メニューの「アクセス許可」ページで「Web アクセス」を「許可」に設定してください。（98 ページ）

◆Web 操作について詳しくは、「7 章 Web 機能」（230 ページ）をご覧ください。

## Telnet を使用する

Telnet により、本機にアクセスして、本機を操作したり、本機の設定を変更することができます。

Telnet から本機にアクセスするには、管理者設定メニューの「アクセス許可」ページで「Telnet アクセス」を「許可」に設定してください。（98 ページ）

## SSH を使用する

SSH により、本機にアクセスして、本機を操作したり、本機の設定を変更することができます。

SSH から本機にアクセスするには、管理者設定メニューの「アクセス許可」ページで「SSH アクセス」を「許可」に設定してください。（98 ページ）



# 5 章

## 暗号化接続

機密性の高いコミュニケーションをしたい場合などに、映像や音声を暗号化して接続することができます。この接続のしかたを暗号化接続と呼びます。

この章では、暗号化接続のしかたを説明します。

本機は、ITU-T で規定された H.233、H.234、H.235 に準拠した標準の暗号化方式に対応しています。

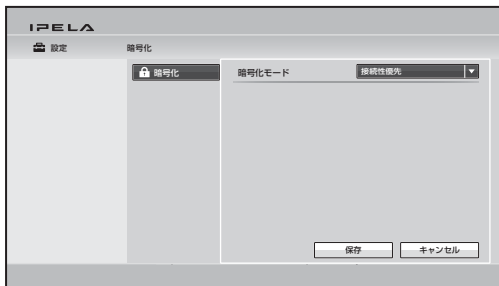
### ご注意

- ・一部の国 / 地域では、暗号化機能を使用できません。
- ・暗号化接続の最大使用帯域は、6 Mbps です。

# 暗号化接続の準備

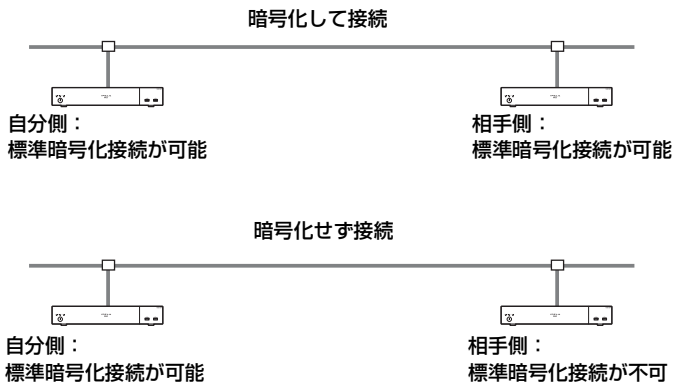
暗号化接続をするには、暗号化設定メニューの「暗号化モード」を設定する必要があります。

暗号化設定メニューの「暗号化モード」を「接続性優先」または「暗号化優先」にする。



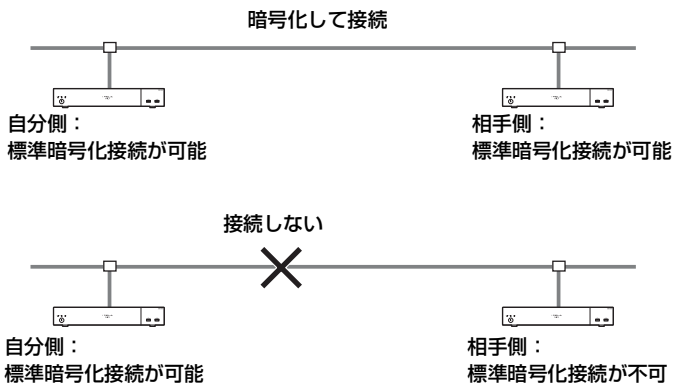
## 接続性優先

標準暗号化接続ができる相手とは暗号化接続します。標準暗号化接続ができない、またはオフになっている相手とは、暗号化せずに接続します。




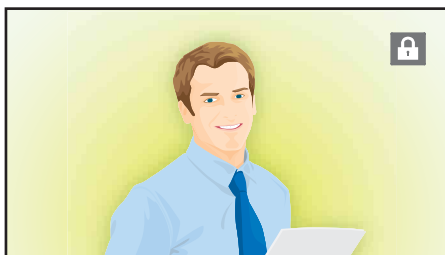
## 暗号化優先

標準暗号化接続ができる相手とのみ、接続します。



# 暗号化接続を始める

通常の接続と同じ方法で、暗号化接続をする相手呼び出します。暗号化接続中、モニター画面には、暗号化接続アイコン  が表示されます。



## ご注意

アイコンが表示されていないときは、送受信データは暗号化されていません。アイコンが表示されていることを確認してから接続を始めてください。

## 暗号化接続ができない場合は

相手呼び出すと、以下のエラーメッセージが表示され、暗号化接続はできません。

エラーメッセージ	原因
「相手側は暗号化に対応していません。」	相手側システムが暗号化機能に対応していない。
「相手側の暗号化機能がオフになっています。」	相手側の暗号化機能がオフになっている。または、相手側と暗号化通信方式の設定が違う。
「相手側の暗号化機能がオンになっています。」	相手側の暗号化機能がオンになっている。
「こちら側の暗号化機能がオフのため会議が開始できませんでした。」	自分側の「暗号化モード」が「切」になっている。
「相手側の暗号化機能がオフのため会議が開始できませんでした。」	相手側の暗号化機能がオフになっている。

エラーメッセージ	原因
「相手側と暗号化通信方式が異なるため会議が開始できませんでした。」	相手側と暗号化方式の設定が違う。
「SIP 接続を含んだ標準方式の暗号化会議はできません。」	相手側と SIP で接続している。

# 6 章

## 多地点接続

この章では、多地点接続を行う方法を説明します。

本機を使って多地点接続を行うには、別売の HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 を本機にインストールする必要があります。LAN を使用する場合は、自分側を含め、最大 16 地点間で多地点接続を行うことができます。

### ご注意

- ・ ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。
- ・ ISDN 接続の場合、2 台以上のコミュニケーションシステムに HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 をインストールしても、カスケード接続はできません。

### MCU ソフトウェア使用時の制限事項

- ・ LAN 接続による多地点接続の場合、本機では、通信モード設定メニューで「全使用帯域」（全地点合計の通信ビットレート）を設定できます。多地点接続時、1 地点あたりの通信ビットレートは全地点の合計ビットレートが「全使用帯域」を超えないように自動調整されるため、実際の通信ビットレートがその地点用に設定した値にならない場合があります。
- ・ PCS-XG100/XG100S を親機とした多地点接続の場合、接続地点数によって通信ビットレートの上限があります。（ただし、「放送モード」が「音声検出（1080P）」に設定されている場合は除きます。）
  - 3～4 地点：送受信とも 4 Mbps まで
  - 5～6 地点：送受信とも 2 Mbps まで
  - 7～9 地点：送受信 1 Mbps まで（1080p 時は送信ビットレートのみ 2 Mbps まで）
- ・ 映像方式は、H.264、H.263+、H.261 のみの対応です。
- ・ 音声方式は、G.711、G.722、G.728、MPEG4 AAC のみの対応です。
- ・ SIP 接続を含む多地点接続はできません。

- ・カスケード接続の親機として使用できるのは、PCS-XG100/XG100S/XG77/XG77S のみです。
- ・本機を親機として PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55/XL55/XG100/XG77/XG100S/XG77S/XC1 以外の子機と接続する場合、最大使用帯域は 4 Mbps に制限されます。また、モバイル端末を子機とした場合も、最大使用帯域が 4 Mbps に制限されます。
- ・PCS-XG77/XG77S を親機とした多地点接続は、バージョン 1.41 以降で対応しました。ただし、PCS-XG77/XG77S にインストールできる HD MCU ソフトウェアは PCSA-MCG106 のみです。

### **ISDN 回線を使用する場合の制限事項**

- ・ISDN 接続ができるのは 1 地点のみです。
- ・IP 接続と ISDN 接続が混在している場合は、最大接続数が 5 地点になります。
- ・IP 接続で 6 地点以上接続したあとに ISDN 接続するには、一度すべての地点との接続を切断した上で ISDN 端末との接続をする必要があります。
- ・ビットレートは、ISDN 接続端末および IP 接続端末ともに同じになります。たとえば、各 IP 端末と 1 地点あたり 2 Mbps で接続してから、ISDN 端末と 2B (128 Kbps) で新たな接続を行った場合のビットレートは、IP 接続端末、ISDN 接続端末ともに 128 Kbps となります。

# 多地点接続の例

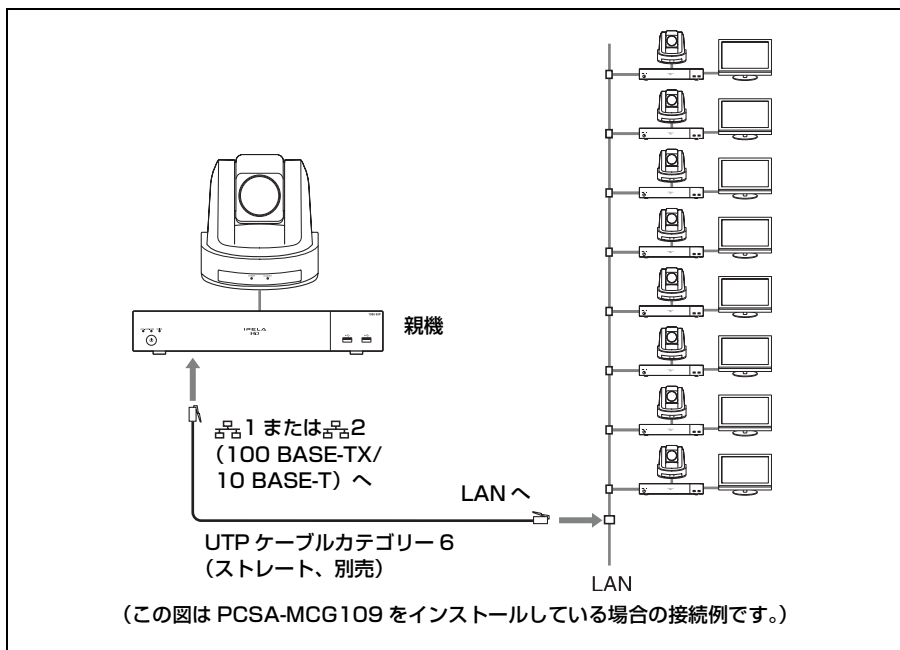
## ご注意

HD MCU ソフトウェアを使用するには、ライセンスキーの購入とインストールが必要です。ライセンスキーの購入方法については、販売店にお問い合わせください。

- ◆ライセンスキーのインストール方法について詳しくは、「ソフトウェアオプションを追加する」(205 ページ) をご覧ください。

## LAN 接続の場合 (最大 9 地点)

- ・1 台の HD ビジュアルコミュニケーションシステムに HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106 (別売) または PCSA-MCG109 (別売) をインストールすると、PCSA-MCG106 では最大 6 地点間、PCSA-MCG109 では最大 9 地点間の多地点接続が可能です。
- ・2 地点間の接続をしているときに別の地点から呼び出しがあった場合、自動的に多地点接続へと移行します。



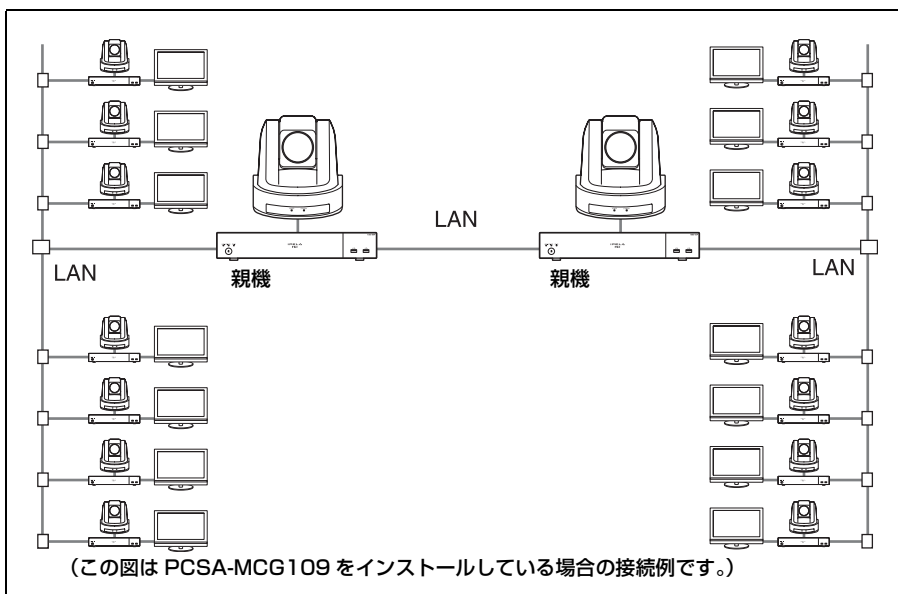


### ご注意

- ・多地点接続を行う場合、HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 をインストールしたコミュニケーションシステムだけが親機として使えます。接続の形態により、複数のコミュニケーションシステムを親機として利用したい場合には、その個数だけ HD MCU ソフトウェアが必要です。
- ・PCS-XG100/XG100S および HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXG77 をインストールした PCS-XG77/XG77S のみを子端末としてシステムを構成した場合、親機から子端末への送信に 1080P60（フルハイディフィニション）プログレッシブ形式の解像度 1920 × 1080 の映像を使用できます。

## LAN カスケード接続の場合（最大 16 地点）

HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 を 2 台の HD ビジュアルコミュニケーションシステムにインストールすることにより、親機を 2 台とするカスケード接続ができます。PCSA-MCG106 では各親機に 4 台ずつの子端末を接続して、最大 10 地点間の多地点接続が可能です。PCSA-MCG109 では、各親機に 7 台ずつの子端末を接続して、最大 16 地点間の多地点接続が可能です。



### ご注意

- ・HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 を 3 台以上のコミュニケーションシステムにインストールしても、カスケード接続はできません。

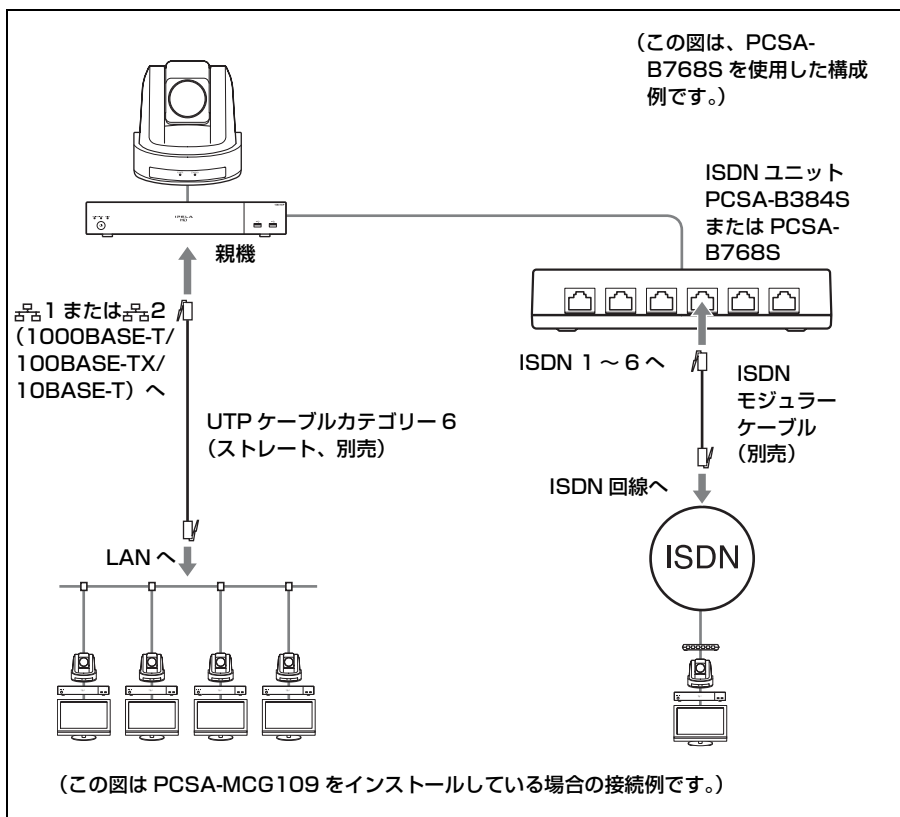
- ・カスケード接続の場合、通信中の放送モードは「音声検出」モードになります。分割モード、分割位置固定モードで表示することはできません。
- ・カスケード接続時には、相手側カメラの制御および相手側画像の入力切り換えはできません。
- ・相手側の親機として使用できるのは、PCS-XG100/XG100S/XG77/XG77Sのみです。

## LAN と ISDN 混在の場合

### ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。

1 台の HD ビジュアルコミュニケーションシステムに HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 をインストールすると、LAN 接続と ISDN 接続が混在した多地点接続が可能です。



## 音声電話の接続について

ISDN 接続の場合、1 地点のみ音声電話を接続できます。ISDN 回線と同時に接続することはできません。

音声電話は 1B (64K) 接続となります。

## ISDN 回線を使用する場合の制限事項

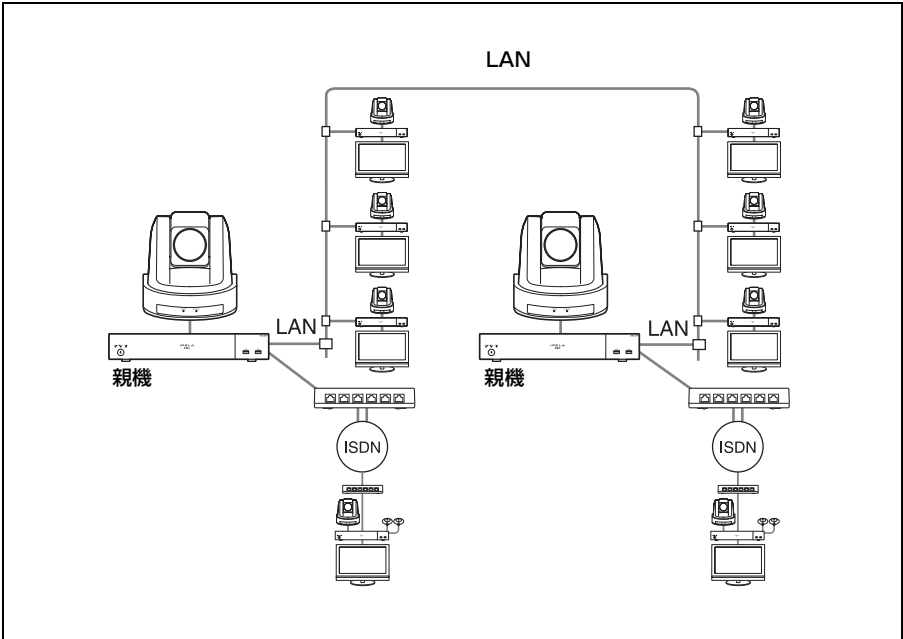
- ・ ISDN 接続ができるのは 1 地点のみです。
- ・ IP 接続と ISDN 接続が混在している場合は、最大接続数が 5 地点になります。
- ・ IP 接続で 6 地点以上接続したあとに ISDN 接続するには、一度すべての地点との接続を切断した上で ISDN 端末との接続をする必要があります。
- ・ ビットレートは、ISDN 接続端末および IP 接続端末ともに同じになります。たとえば、各 IP 端末と 1 地点あたり 2 Mbps で接続してから、ISDN 端末と 2B (128 Kbps) で新たな接続を行った場合のビットレートは、IP 接続端末、ISDN 接続端末ともに 128 Kbps となります。

## LAN カスケードと ISDN 混在の場合

### ご注意

ISDN はバージョン 1.41 以降で対応しました。

2 台の HD ビジュアルコミュニケーションシステムに HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106/MCG109 をインストールすることにより、親機を 2 台とするカスケード接続ができます。各親機に 4 台ずつの子端末を接続して、最大 10 地点間の LAN 接続と ISDN 接続が混在した多地点接続が可能です。



### ご注意

- ・カスケード接続する2台のコミュニケーションシステム間には、必ずLAN接続してください。ISDNによるカスケード接続はできません。
- ・カスケード接続の場合、通信中の放送モードは「音声検出」モードになります。「分割」モード、分割位置固定モードで表示することはできません。
- ・カスケード接続時には、相手側カメラの制御および相手側画像の入力切り換えはできません。
- ・相手側の親機として使用できるのは、PCS-XG100/XG100S/XG77/XG77Sのみです。

# ソフトウェアオプションを追加する

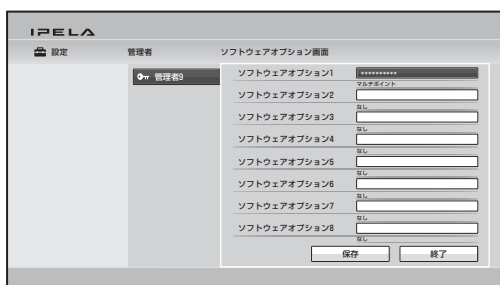
ソフトウェアオプションは、管理者設定メニューまたは Web ページから追加することができます。

## 管理者設定メニューからソフトウェアオプションを追加するには

**1 管理者設定メニューの「ソフトウェアオプション画面 1（管理者 9）」ページを表示する。**

**2 追加したいソフトウェアオプションのキーを入力する。**

入力したキーが正しいものと本機に認識された場合は、入力欄の下にそのソフトウェアオプションの名称が表示されます。また、認識されると、入力したソフトウェアオプションキーは\*の表示に切り替わります。



◆ソフトウェアオプションキーについては販売店にお問い合わせください。

### ご注意

- ・ソフトウェアオプションは最大で8つ登録できます。
- ・ソフトウェアオプションキーが本機に認識された後は、ソフトウェアオプションキーを消すことはできません。
- ・本機のソフトウェアをバージョンアップした場合も、ソフトウェアオプションのインストール記録は保持されます。

## Web ページからソフトウェアオプションを追加するには

**1 PC の Web ブラウザから本機にアクセスします。**

◆本機へのアクセス方法は7章「Web 機能」をご覧ください。

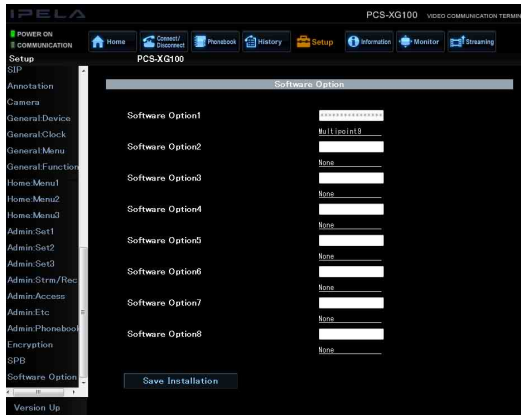
**2 Web ページ上部の「Setup」をクリックする。**

### 3 左側に表示される「Software Option」をクリックする。

Software Option 画面が表示されます。

### 4 追加したいソフトウェアオプションのキーを入力する。

入力したキーが正しいものと本機に認識された場合は、入力欄の下にそのソフトウェアオプションの名称が表示されます。また、認識されると、入力したソフトウェアオプションキーは\*の表示に切り替わります。



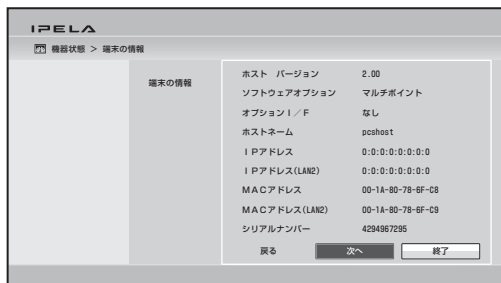
◆ソフトウェアオプションキーについては販売店にお問い合わせください。

#### ご注意

- ・ソフトウェアオプションは最大で8つ登録できます。
- ・ソフトウェアオプションキーが本機に認識された後は、ソフトウェアオプションキーを消すことはできません。
- ・システムログ、設定ファイルにもソフトウェアオプションキーは表示されません。
- ・本機のソフトウェアをバージョンアップした場合も、ソフトウェアオプションのインストール記録は保持されます。

## ソフトウェアオプションが正しくインストールされたことを確認するには

機器状態メニューの「端末の情報」ページ、「ソフトウェアオプション」にインストールされたソフトウェアが表示されます。

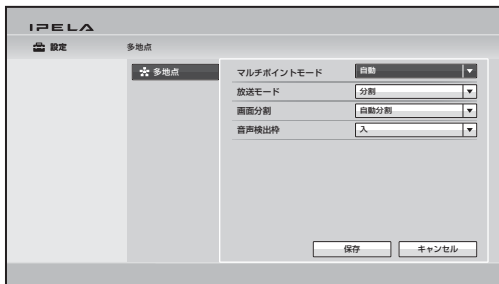


◆詳しくは、「端末の情報」(104 ページ) をご覧ください。

# 多地点接続の設定をする

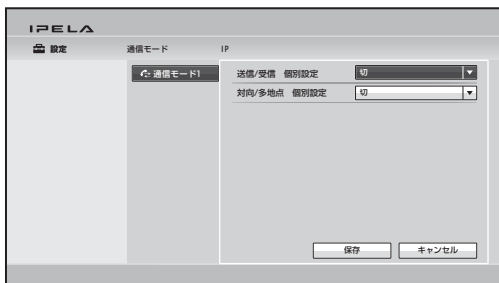
## 多地点接続の設定をする

- 1 多地点設定メニューで「マルチポイントモード」を「自動」にし、各項目を設定する。



- ◆「放送モード」、「画面分割」については、「画面制御を行う」(218 ページ) をご覧ください。

- 2 通信モード設定メニューの各項目を設定する。



- ◆詳しい設定のしかたは「通信モード設定メニュー」(67 ページ) をご覧ください。



## 多地点接続の相手をマルチポイント接続リストに登録する

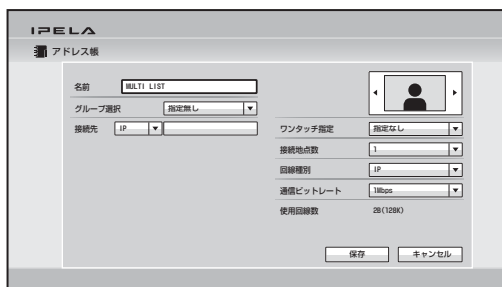
多地点接続の相手をすべて登録したマルチポイント接続リストをアドレス帳に作成しておく、相手に一括してダイヤルできるので便利です。

新たに相手を入力してマルチポイント接続リストを作成したり、すでにアドレス帳に登録されている相手をマルチポイント接続リストに指定することもできます。

### 新たにマルチポイント接続リストに登録するには

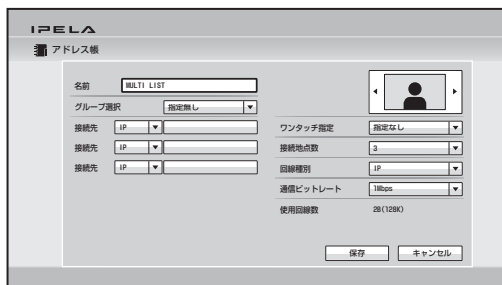
アドレス帳への登録のしかたは、基本的には2地点間の接続の相手の場合と同じです。詳しくは、「新しい相手を登録する」(136ページ)をご覧ください。

- 1 アドレス帳で「新規登録」を選んでリスト編集メニューを表示し、名前の欄にマルチポイント接続リストの名前を入力する。




- 2 「接続地点数」を選び、接続したい地点数を選ぶ。

選んだ数だけ「接続先」の欄が表示されます。



- 3 アドレス帳に表示する回線種別アイコンまたは静止画を選ぶ。

マルチポイント接続リストのアイコンとして「 Multipoint」が準備されています。

#### 4 マルチポイント接続リストに登録したい相手の回線情報を「接続先」に設定する。

左端のドロップダウンリストから接続に使用する回線を選択し、入力欄に相手の番号を入力します。

**LAN 接続の場合：**ドロップダウンリストで「IP」（品番1 端子使用時）を選び、IP アドレスを入力します。

**ISDN 接続の場合：**ドロップダウンリストで「ISDN」を選び、回線番号を入力します。

**音声電話の場合：**ドロップダウンリストで「TEL」を選び、電話番号を入力します。（例：0390123456）

多地点接続を行いたい相手をすべて入力します。

名前	MULTI LIST	
グループ選択	指定無し	
接続先	IP	123.123.123.1
接続先	IP	123.123.123.2
接続先	IP	123.123.123.3
ワンタッチ指定	指定なし	
接続地成数	3	
回線種別	IP	
通信ビットレート	2Mbps	
使用回線数	2K(128K)	
保存		キャンセル

#### 5 その他の項目も設定する。

◆詳しい設定のしかたは、「新しい相手を登録する」（136 ページ）の手順 3 をご覧ください。

#### 6 「保存」を選び、リモコンの決定ボタンを押す。

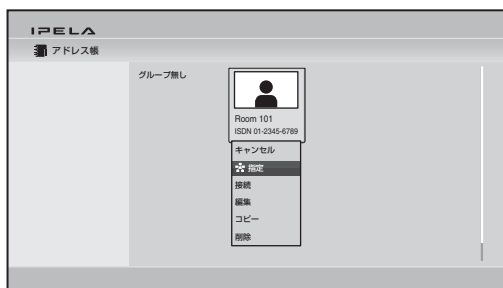
これでマルチポイント接続リストの登録が完了します。

---

アドレス帳に登録されている相手をマルチポイント接続リストに指定するには

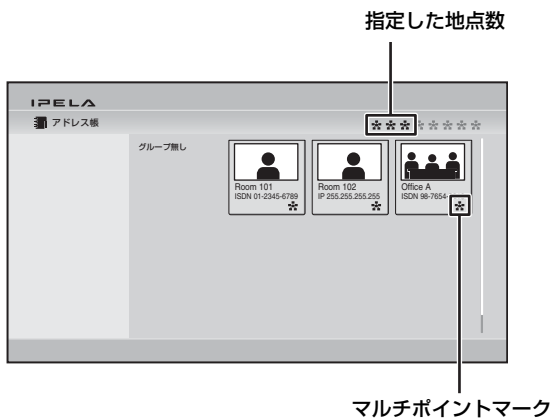
#### 1 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンでアドレス帳の中から多地点接続の相手として指定したい相手を選ぶ。

- 2 リモコンの \* ボタンを押す。または、リモコンの決定ボタンを押してサブメニューを表示し、↑/↓/←/→ ボタンで「❖ 指定」を選んで決定ボタンを押す。



選んだ相手のリスト欄の右下に ❖ (マルチポイント) マークが表示され、多地点接続の相手に指定されます。

同じ手順で8地点までに ❖ マークをつけることができます。メニュー上部に ❖ マークをつけた相手の数だけ ❖ マークが濃く表示されます。



### ヒント

❖ マークを消すには、リモコンの \* ボタンをもう一度押してください。または、リモコンの決定ボタンを押してサブメニューを表示し、↑/↓/←/→ ボタンで「❖ 解除」を選んで決定ボタンを押します。

- 3 ❖ マークをつけた相手の1つを選び、リモコンの決定ボタンを押す。

**4** ↑/↓/←/→ ボタンを押してサブメニューから「編集」を選び、決定ボタンを押す。

リスト編集メニューが表示されます。番号欄には ☒ マークをつけた相手の IP アドレスまたは電話番号がすべて入力されています。

接続先	ワンタッチ指定
ISDN 01-2345-6789	指定なし
IP 255.255.255.255	3
ISDN 88-7654-3210	JP
IP 255.255.255.XXX	通信ビットレート
IP 255.255.255.YYY	28K(128K)
IP 255.255.255.ZZZ	
IP 255.255.255.AAA	
IP 255.255.255.BBB	

**5** 名前の欄にマルチポイント接続リストの名前を入力する。






**6** 「保存」を選び、決定ボタンを押す。

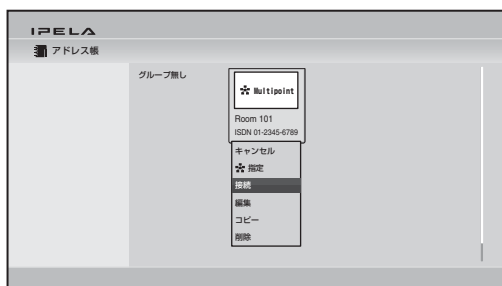
これでマルチポイント接続リストの登録が完了します。

# 多地点接続を始める

## 相手を呼び出す





マルチポイント接続リストに登録している相手を呼び出す

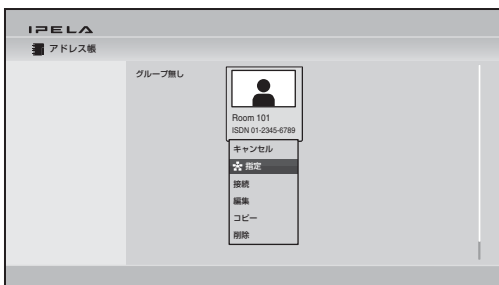
- 1 アドレス帳に登録してあるマルチポイント接続リストを選ぶ。
- 2 リモコンの接続 (  ) ボタンを押す。または、リモコンの決定ボタンを押してサブメニューを表示し、/// ボタンで「接続」を選んで決定ボタンを押す。



マルチポイント接続リストに登録された相手にダイヤルが始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。  
すべての相手とつながると「接続しました」と表示され、相手の映像がモニター画面に表示されます。

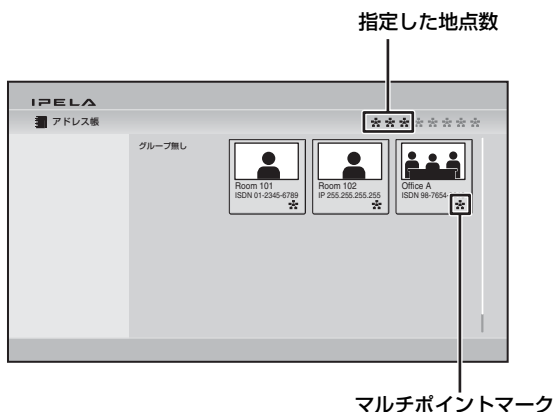
アドレス帳から多地点接続の相手を選択して呼び出す

- 1 アドレス帳で多地点接続を行いたい相手を選ぶ。
- 2 リモコンの \* ボタンを押す。または、リモコンの決定ボタンを押してサブメニューを表示し、/// ボタンで「\* 決定」を選んで決定ボタンを押す。



選んだ相手のリスト欄の右下に **\*** (マルチポイント) マークが表示され、多地点接続の相手に指定されます。

同じ手順で 8 地点までに **\*** マークをつけることができます。メニュー上部に **\*** マークをつけた相手の数だけ **\*** マークが濃く表示されます。



### ヒント

**\*** マークを消すには、リモコンの **\*** ボタンをもう一度押してください。または、リモコンの決定ボタンを押してサブメニューを表示し、**↑/↓/←/→** ボタンで「**\*** 解除」を選んで決定ボタンを押します。


- 3 **\*** マークをつけた相手の 1 つを選ぶ。
- 4 リモコンの接続 (**☎**) ボタンを押す。または、リモコンの決定ボタンを押してサブメニューを表示し、**↑/↓** ボタンで「接続」を選んで決定ボタンを押す。

**\*** マークをつけた相手にダイヤルが始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。

すべての相手とつながると「接続しました」と表示され、相手の映像がモニター画面に表示されます。

## アドレス帳に登録していない相手を呼び出す

登録していない相手の呼び出しかたは、基本的には2地点間の接続の場合と同じです。詳しくは、「アドレス帳に登録していない相手を呼び出す」(129 ページ)をご覧ください。


- 1 ホームメニューで「詳細接続」を選ぶ、またはリモコンの接続 (  ) ボタンを押して詳細接続メニューを表示する。
- 2 「接続地点数」を選び、接続したい地点数を選ぶ。

選んだ数だけ「接続先」の欄が表示されます。



- 3 相手の回線情報を「接続先」に設定する。

左端のドロップダウンリストから接続に使用する回線を選択し、入力欄に相手の番号を入力します。

**LAN 接続の場合:** ドロップダウンリストで「IP」(  ) 1 端子使用時) を選び、IP アドレスを入力します。

**ISDN 接続の場合:** ドロップダウンリストで「ISDN」を選び、回線番号を入力します。

**音声電話の場合:** ドロップダウンリストで「TEL」を選び、電話番号を入力します。(例: 0390123456)

多地点接続を行いたい相手をすべて入力します。

接続先	IP	123.123.123.1	接続地点数	3
接続先	IP	123.123.123.2	回線種別	IP
接続先	IP	123.123.123.3	通信ビットレート	2Mbps
			使用回線数	18(64K)

◆詳しい設定のしかたは、「アドレス帳に登録していない相手を呼び出す」(129 ページ) の手順3をご覧ください。


#### 4 「接続」を選び、リモコンの決定ボタンを押す。またはリモコンの接続 ( ) ボタンを押す。

手順3で入力した相手にダイヤルが始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。


すべての相手とつながると「接続しました」と表示され、相手の映像がモニター画面に表示されます。

---

### 2 地点目以降の相手を個別に呼び出すには

すでにある1地点と通信を始めた後、リモコンの接続 (  ) ボタンを押すと、メニューが表示されます。

- 戻る
- 番号を入力する
- アドレス帳から選ぶ
- 履歴から選ぶ

相手の登録状態にあわせて、「自分側から接続を始める」(120 ページ) のいずれかの方法で相手を選び、接続してください。通信開始後にリモコンの接続 (  ) ボタンを押すと、再び上記のメニューが表示され、次の相手を選ぶことができます。

#### ヒント

- ・ホーム画面設定メニューで「ダイレクトダイヤル」や「ワンタッチダイヤル」を「入」に設定してあるとき、上記のメニューの「戻る」を選ぶと、



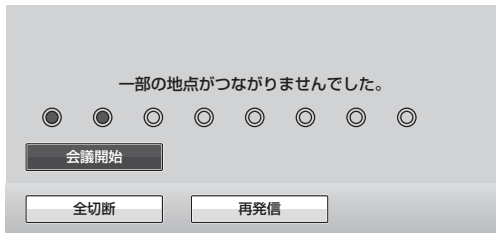
画面にダイレクトダイヤル用の入力欄やワンタッチダイヤルボタンが表示されます。

- ・通信中にリモコンの#ボタンを押すと、アドレス帳が表示されます。登録されている相手呼び出すのに便利です。

---

## マルチポイント接続で一部の地点がつながらなかった場合

以下のような画面が表示され、接続に成功した地点の数だけ、●印が濃く表示されます。希望の操作を選んでください。



**会議開始:** 接続に成功した相手とのコミュニケーションを開始します。

**全切断:** すべての接続を終了し、ホームメニューへ戻ります。

**再発信:** 接続に失敗した地点への発信処理を行います。

## 相手から呼び出しを受ける

2 地点間の接続の操作と同じです。

- ◆詳しくは、「相手から呼び出される」(133 ページ)をご覧ください。

# 画面制御を行う

多地点接続中に自分側から下記のような操作が可能になります。

## 放送モードの種類

放送モードには「分割」モードと「音声検出」モード、分割位置固定モード、放送選択モードがあります。

「分割」モードと「音声検出」モードは多地点設定メニューの「放送モード」であらかじめ設定できます。

分割位置固定モード、放送選択モードは、通信中、レイアウトメニューから切り換えることができます。

### 「分割」モード

接続している端末の映像と自分側の映像が、分割されてモニター画面に表示されます。

端末の数に関わりなく常に6分割される「6分割固定」、常に9分割される「9分割固定」、および端末の数により自動的に4分割や6分割になる「自動分割」を多地点設定メニューの「画面分割」で設定できます。「自動分割」では、接続端末数が2のときは3分割、3のときは4分割、4か5のときは6分割、6～8のときは9分割になります。

映像A～Hには、接続された端末の映像が接続された順番に表示されます。



**ご注意**

- ・ 6分割の「分割」モードのときは、音声が一番大きい端末を検出し、右下の位置に表示します。検出された端末の映像が表示されていた位置には、自分側の映像が表示されます。
- ・ 通信中に「分割」モードから「音声検出」モードに切り換えて特定の地点をフルスクリーンに表示すると、あとで「分割」モードに戻したとき、映像 A ~ E の位置が変わります。

- ・ 端末数が1の場合は、設定にかかわらず、全画面表示になります。
- ・ 放送者が固定されている6分割の「分割」モードのときは、常に放送者を右下の位置に表示します。
- ・ 「分割」モードでは接続している端末のカメラをコントロールすることはできません。

## 「音声検出」モード

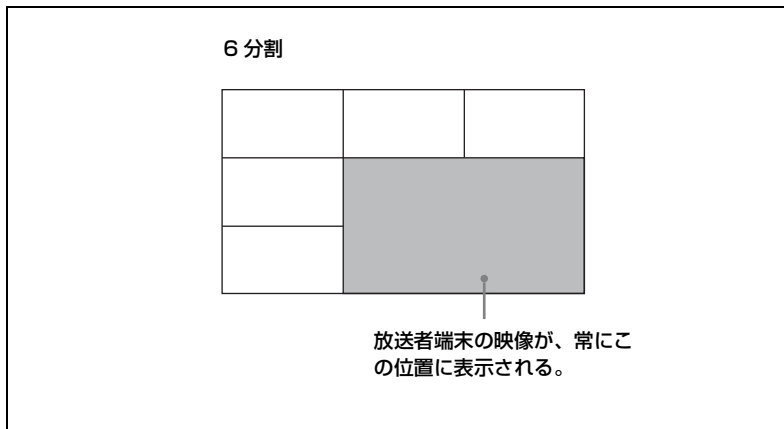
音声が一番大きい端末を検出し、その端末の映像を他のすべての端末にフルスクリーンで表示します。音声検出モードのときは、モニター画面に **V.A.** インジケータが表示されます。また、放送中の端末を表す、A、B、C などアルファベットのついたインジケータ（**K** など）も表示されます。自分側の映像が放送されているときは、モニター画面に **K** が表示されます。

### ご注意



音声検出モード時に、H.264、1080p（1920 × 1080 画素）の映像方式で送信したい場合は、多地点設定メニューの「放送モード」で「音声検出（1080P）」を選択してください。ただし、「音声検出（1080P）」は ISDN 接続や SIP 接続には使用できません。また、IP 接続の場合でも、H.264 映像方式に対応していない相手端末とは接続できません。

## 分割位置固定モード

分割モードと同様に、接続している端末の映像と自分側の映像が分割されてモニター画面に表示されます。さらに、6分割の右下の画面に表示される端末を放送者として固定できます。固定画面以外の分割画面には、接続された端末の映像が接続された順番に表示されます。




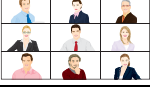



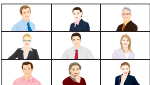




## 放送選択モード

端末を選択し、その端末の映像を他のすべての端末にフルスクリーンで表示します。モニター画面に放送中の端末を表す、A、B、C などアルファベットのついたインジケータ（ など）も表示されます。自分側の映像が放送されているときは、モニター画面に が表示されます。

## 放送モードと画面表示

それぞれの放送モードを選択したときの画面表示は次のようになります。また、接続の状態によっては選択できないモードもあります。下記の表で、画面表示のない接続では選択できません。

接続の状態		カスケード接続でない場合	カスケード接続の場合	
接続図		LAN 接続 (200 ページ) LAN & ISDN 接続 (202 ページ)	LAN カスケード接続 (201 ページ) LAN カスケードと ISDN 接続 (203 ページ)	
最大地点数		9	16	
放送モード	通信前の設定	自動分割モード		
		端末数が 2 のとき	3 分割 	—
		端末数が 3 のとき	4 分割 	—
		端末数が 4、5 のとき	6 分割 	—
		9 分割 	—	

接続の状態		カスケード接続でない場合	カスケード接続の場合	
放送モード	通信前の設定	6分割固定モード	6分割固定 	—
		9分割固定モード	9分割固定 	—
	分割位置 固定モード	端末数が 2、3の とき	—	—
		端末数が 4、5の とき	6分割 	—
	通信中の設定	音声検出モード	フルスクリーン 	フルスクリーン 
放送選択モード	フルスクリーン 	—		

**ご注意**

カスケード接続の場合は、「音声検出」モードのみをサポートします。

## 通信中に放送モードを切り換える

接続を始めるときは多地点設定メニューの「放送モード」と「画面分割」で設定したモードになっています。通信中に以下のように放送モードを切り換えることができます。

## ご注意

多地点設定メニューの「放送モード」が「音声検出 (1080P)」に設定されている場合は、レイアウトメニューに「放送モード」が表示されないため、通信中に放送モードを切り換えることができません。通信を始める前に放送モードを設定してください。

- 1 リモコンのレイアウトボタンを押す。  
レイアウトメニューが表示されます。
- 2 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「放送モード」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「放送モード」から切り換えたいモードを選び、決定ボタンを押す。



**分割**：分割モードを選ぶとき

**分割 (A を固定)**：分割位置固定モードで、1 番目に接続した端末の映像の位置を固定するとき

**分割 (B を固定)**：分割位置固定モードで、2 番目に接続した端末の映像の位置を固定するとき

**分割 (C を固定)**：分割位置固定モードで、3 番目に接続した端末の映像の位置を固定するとき

**分割 (D を固定)**：分割位置固定モードで、4 番目に接続した端末の映像の位置を固定するとき

- 分割 (E を固定)**：分割位置固定モードで、5 番目に接続した端末の映像の位置を固定するとき
- 分割 (F を固定)**：分割位置固定モードで、6 番目に接続した端末の映像の位置を固定するとき
- 分割 (G を固定)**：分割位置固定モードで、7 番目に接続した端末の映像の位置を固定するとき
- 分割 (H を固定)**：分割位置固定モードで、8 番目に接続した端末の映像の位置を固定するとき
- 分割 (自分を固定)**：分割位置固定モードで、自分側の映像の位置を固定するとき
- 音声検出**：音声検出モードを選ぶとき
- 自分を放送**：放送選択モードで、自分側の映像を放送するとき
- A を放送**：放送選択モードで、1 番目に接続した端末の映像を放送するとき
- B を放送**：放送選択モードで、2 番目に接続した端末の映像を放送するとき
- C を放送**：放送選択モードで、3 番目に接続した端末の映像を放送するとき
- D を放送**：放送選択モードで、4 番目に接続した端末の映像を放送するとき
- E を放送**：放送選択モードで、5 番目に接続した端末の映像を放送するとき
- F を放送**：放送選択モードで、6 番目に接続した端末の映像を放送するとき
- G を放送**：放送選択モードで、7 番目に接続した端末の映像を放送するとき
- H を放送**：放送選択モードで、8 番目に接続した端末の映像を放送するとき

---

## 「音声検出」モードのときに自分側の映像を確認するには

「音声検出」モードのときは、自分側の映像を自分側のモニター画面にのみ表示することができます。他の端末は「音声検出」モードの状態になっています。

### 1 リモコンのレイアウトボタンを押す。

モニター画面下部のガイダンス欄に「F1：相手と自分の画面を切り換える」と表示されます。



## 2 リモコンのF1 ボタンを押す。

自分側の映像が自分側のモニター画面に表示されます。

### 「音声検出」モードに戻るには

リモコンのF1 ボタンをもう一度押します。

## 他の端末から送信要求を受ける

接続されている端末から「自分を放送」を受信すると、その端末の映像が他の端末に自動的にフルスクリーンで放送されます。接続されている端末から「放送終了」を受信すると、元のモードに戻ります。

### ご注意

すでに他の端末から「自分を放送」を受信しているときは、上記の動作を行いません。

# 多地点接続を終了する

## 1 リモコンの切断 (☒) ボタンを押す。

下記のメニューが表示されます。



A～H（またはA～C、A～E）は、端末が接続されたときの順番です。

一般設定メニューの「メニュー画面」ページで「端末名表示」を「一定時間表示」または「常時表示」に設定していると、画面に端末名が表示されます。

## 2 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで切断する端末を選び、決定ボタンを押す。

**Aを切断**：1番目に接続した端末を切断するとき

**Bを切断**：2番目に接続した端末を切断するとき

**Cを切断**：3番目に接続した端末を切断するとき

**Dを切断**：4番目に接続した端末を切断するとき

**Eを切断**：5番目に接続した端末を切断するとき

**Fを切断**：6番目に接続した端末を切断するとき

**Gを切断**：7番目に接続した端末を切断するとき

**Hを切断**：8番目に接続した端末を切断するとき

**全切断**：すべての端末を切断するとき

選択した端末の接続が切れます。

すべての端末を切断する場合は、リモコンの切断 (☒) ボタンを押しても切断されます。

### 切断を中止するときは

手順2で「キャンセル」を選び、決定ボタンを押してください。

## 二次端末の取り扱い

本機で設定している能力に満たない端末が接続された場合には、その端末を二次端末と呼びます。

本機と二次端末間の通信は以下のようになります。

- ・音声の送 / 受信を行う。
- ・二次端末からの映像を受信する。
- ・二次端末への映像の送信は行わない。

◆二次端末について詳しくは「用語解説」(293 ページ)をご覧ください。

### 音声電話が接続されたとき

音声電話が接続されても、ビジュアルコミュニケーション端末の音声モードには影響がありません。

また、音声電話がコミュニケーションを終了してもビジュアルコミュニケーション端末に影響はありません。

### 接続されている端末間で共通の映像モードがないとき

音声の送 / 受信と映像の受信は行いますが、映像の送信は行いません。

# マルチポイントの属性表

番号	属性	H.323MCU の値
1	単体のマルチポイントに接続可能な最大端末数	8 (自分も含めると 9)
2	単体のマルチポイントでサポート可能な並行開催 (独立) の最大接続数	1
3	他のマルチポイントに接続可能なポートの最大数	1
4.1	各ポートにおける網インターフェース	LAN
4.2	制約網能力	-
5	各ポートで利用可能な転送レート	全地点合計の最大ビットレートに制限あり
6	音声プロセッサ	あり
6.1	ミクスト / 切替 「沈黙」ポートの雑音 / エコー抑制	ミクスト なし
6.2	各ポートでの音声アルゴリズム	G.711、G.728、G.722、MPEG4 AAC (モノラルのみ)
7	映像プロセッサ (動画)	あり
7.1	切替 / ミクスト	音声切替 / 3 分割 / 4 分割 / 6 分割 / 9 分割 / ユーザー制御
7.2	各ポートでの映像アルゴリズム	H.261、H.263、H.264
8	データプロセッサ	あり
8.1	データ同報送信機能、LSD	-
	データ同報送信機能、HSD	-
8.2	MLP プロセッサ	-
9	暗号化	サポートする
10	選択された通信モード—SCM の選択方法	ユーザーによる設定： 回線レート (全地点合計の最大ビットレートに制限あり) 音声アルゴリズム (G.711/G.728/G.722/MPEG4 AAC) 自動：映像フレーム レート (7.5/10/15/30fps) 映像エンコードモード (CIF/QCIF) ユーザーによる固定と自動の選択：映像アルゴリズム (H.261 固定 / H.261、H.263 と H.264 の自動判定)

番号	属性	H.323MCU の値
11	二次端末の取り扱い	音声の送 / 受信はするが、映像は受信のみ。 音声電話とは音声の送 / 受信のみ。
12	着信設定規定	予約発 / 着信機能なし
13	制御能力	－
13.1	端末の番号付け BAS を使用する簡易議事制御	あり なし
13.2	MLP 機能 (T.120)	なし
13.3	H.224 (シンプレックスデータ)	あり
14	カスケードイング	あり
14.1	固定レート (「シンプル」)	なし
14.2	マスター / スレーブ	あり
15	端末識別	あり
16	MBE 能力	－

# 7 章

## Web 機能

この章は、PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S 上で動作する Web 機能をまとめたものです。

Web 機能とは、PC 上の Web ブラウザ(Internet Explorer)から PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S にアクセスし、PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S のコントロール、設定変更を行う機能です。

Internet Explorer は Microsoft 社の製品です。バージョン 7.0 以上を使用してください。

# Web ページへのアクセス方法

Web ブラウザのアドレス欄に PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S に設定されている IP アドレスを入力します。

例 IPv4 アドレスの場合

`http://xxx.xxx.xxx.xxx/`

(xxx.xxx.xxx.xxx は IPv4 アドレスを示す)

例 IPv6 アドレスの場合

`http://[xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx]/`

(xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx は IPv6 アドレスを示す)

## ご注意

ネットワークセグメント外部の Proxy が設定されている時は、PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S の LAN 設定のゲートウェイアドレスを指定する必要があります。もしくは、Web ブラウザの Proxy 設定で NoProxy に指定してください。

# 認証ページの入力方法

Web ページにアクセスすると以下のような認証ページが表示されます。



ユーザー名入力欄からアクセスに必要なユーザー名を選び、パスワード入力欄にパスワードを入力し、OK ボタンをクリックします。

パスワードは、“\*”で表示されます。

ユーザー名、パスワードを正しく入力すると、Home メニュー画面が表示されます。

誤ったユーザー名、パスワードを入力すると、再度ユーザー名、パスワードをきいてきます。

3回誤った入力を行うと、エラーメッセージが画面に表示されます。

ユーザー名入力欄では下記のユーザー名を選ぶことができます。それぞれのパスワードを入力してください。

## [remote]

管理者設定のリモートアクセス・パスワードを入力します。

Phonebook、Setup の内容確認を行うことができます。

## [address]

管理者設定のアドレス帳変更パスワードを入力します。Phonebook の内容確認と変更・新規登録、Setup の内容確認を行うことができます。



## [sonypcs]

管理者設定の管理者用パスワードを入力します。Phonebook の内容確認と変更・新規登録、Setup の内容確認と変更を行うことができます。

## [setting]

管理者設定の設定保存パスワードを入力します。

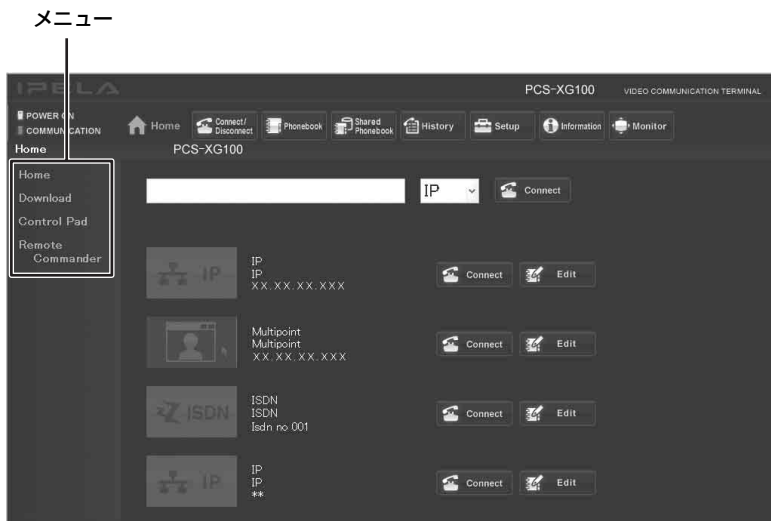
Phonebook の内容確認と変更・新規登録、Setup の内容確認と管理者設定以外の Setup 変更を行うことができます。

### **ご注意**

- ・パスワードが登録されていない時は、パスワード入力欄を空白で OK ボタンをクリックします。
- ・管理者用パスワード、アドレス帳変更パスワード、設定保存パスワード、リモートアクセス・パスワードは管理者設定メニューのパスワードページで登録します。
- ・Web ページにアクセスしパスワードを入力すると、Web ブラウザ自体を終了するまでその認証は有効です。つまり Web ページを閉じて Web ブラウザを終了しなければ、再度 Web ページにアクセスしたときに、認証なしでアクセスできます。
- ・使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性があります。セキュリティの面からすべてのパスワードを設定することを強く推奨します。管理者設定メニューの「パスワード」ページ（94 ページ）ですべてのパスワードを設定してください。

# メニューの選択

各画面の左側に表示されるメニューをクリックすると、それぞれのメニュー画面が表示されます。



## [Home]

相手の回線種別を選択し、番号入力欄にアドレスを入力して発信できます。また、この機器についての情報がアイコンで表示されます。

## [Download]

各種ログをダウンロードできます。

## [Control Pad]

制御卓が画面に表示され、各種操作ができます。

## [Remote Commander]

システムに付属のリモートコマンダー（PCS-RFZ1）の画像が表示され、同様の操作ができます。

# Home メニューの使いかた

左側のメニューの [Home] をクリックすると表示されます。また、認証ページで正しいパスワードを入力すると表示されます。

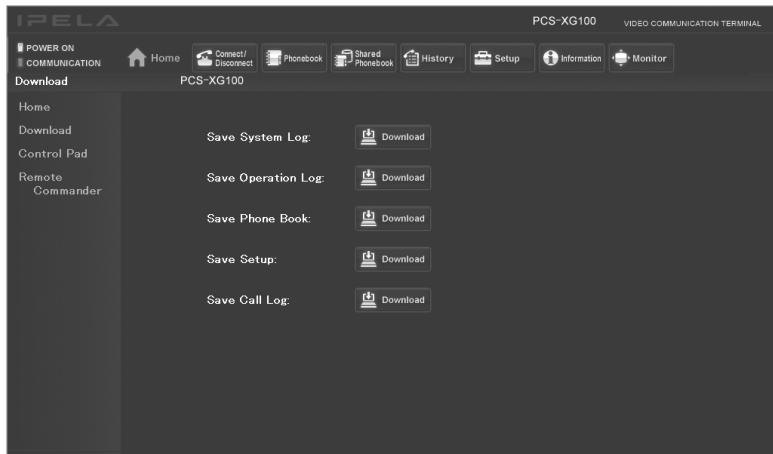


## 番号を入力して発信するには

- ① 回線種別（IP、ISDN、SIP）を選ぶ。
- ② 番号入力欄に相手の回線番号またはアドレスを入力する。
- ③ [Connect] ボタンをクリックする。

# Download メニューの使いかた

左側のメニューの [Download] をクリックすると表示されます。各種 Log ファイルが表示できます。



表示したいログファイルを選び、[Download] ボタンをクリックすると別画面でログファイルが確認できます。

# Remote Commander メニューの使いかた

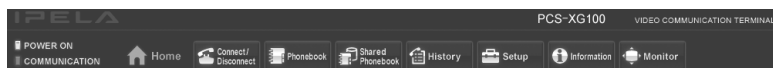
左側のメニューの[Remote Commander]をクリックするとリモートコマンダーの画像が表示されます。



それぞれのボタンをクリックすることにより、実際のリモコン (PCS-RFZ1) と同様にカメラコントロール、ダイヤルなどの操作を行うことができます。

# 機能ボタンの選択

各画面上部に表示される機能ボタンをクリックすることで、それぞれのページを表示します。



## [Connect/Disconnect]

ダイレクトダイヤル発信と切断を行うことができます。

## [Phonebook]

アドレス帳の一覧表示を行うことができます。

アドレス帳から発信を行うことができます。

アドレス帳の新規登録、内容確認、編集を行うことができます。

プライベートアドレス帳の場合は、Phonebook ボタンが Private Phonebook ボタンに変わります。

## [Shared Phonebook]

共有アドレス帳が使用できます。

## [History]

発信、着信、不在着信履歴を表示できます。

表示した履歴から発信することができます。

不要になった履歴を削除できます。

## [Setup]

Setup の内容確認と変更を行うことができます。

## [Information]

端末の情報、周辺機器の状態、通信モードの状態を確認することができます。

また、ネットワーク導通確認や USB メモリーにあるレコーディングデータファイルを表示することもできます。

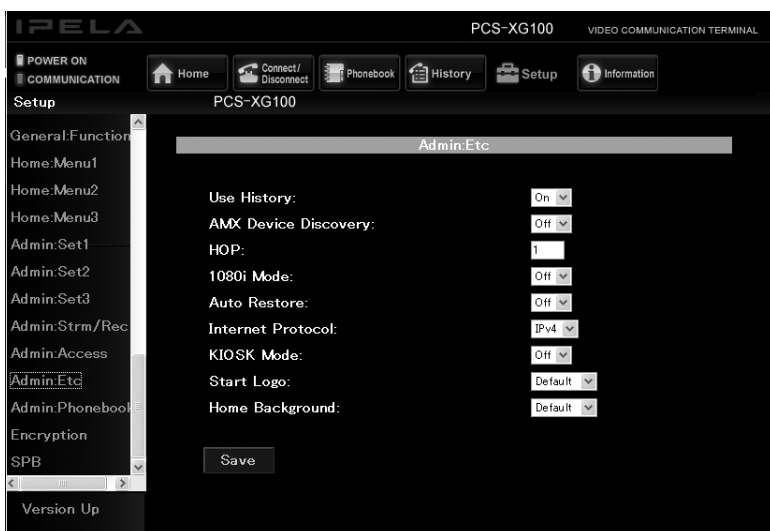
## [Monitor]

本機の映像をモニターすることができます。

## ご注意

- システム本体がスタンバイ状態（ブラウザ画面左上の「POWER ON」ランプが消灯）のときは、操作ができません。機能ボタンをクリックしてもエラーメッセージが表示されます。各機能ボタンを押したときに表示されるエラーメッセージは次の通りです。
    - Home、Connect/Disconnect、Phonebook、Shared Phonebook（「共有アドレス帳」を「入」に設定時のみ表示）、History：「Status error! Standby」
    - Setup：「Setup error.(5)」
- システム本体を起動するためには、画面上部の [Home]、画面左側の [Remote Commander] の順にクリックし、表示されたりモートコマンドーのいずれかのボタンをクリックしてください。システム本体が起動し、ブラウザ画面左上の「POWER ON」ランプが緑色に点灯すると、操作ができます。
- 会議中は設定を変更できません。設定変更は会議終了後に設定変更を行ってください。会議中に [Setup] から設定を変更しようとする時、「Setup error.(5)」というエラーメッセージが表示されます。
  - 管理者設定メニューの「アクセス許可」ページで「Web モニター」が「切」になっていると、映像のモニターはできません。また、スタンバイ状態ではモニター画像は表示されません。

## KIOSK Mode の設定方法




ホームの背景画面、および起動中ロゴが選択できます。

#### ご注意

- ・ KIOSK Mode の設定は、Web 機能から管理者用パスワードを入力してアクセスしたときのみ設定および変更が可能です。
- ・ KIOSK Mode の設定について詳しくは、本機の販売会社へご確認ください。

- ① 画面上部の Setup をクリックする。
- ② 左側に表示される Admin:Etc をクリックする。  
Admin:Etc 画面が表示されます。  
(ユーザー名：sonypcs で認証したときのみ設定変更ができます。)
- ③ KIOSK Mode を On にする。
- ④ Save ボタンをクリックする。  
SAVE 完了後、ページが再表示されます。

#### ご注意

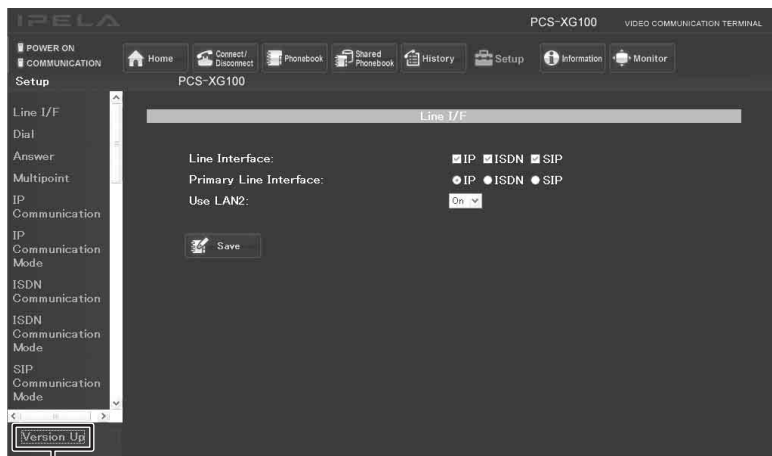
KIOSK Mode 時に電源を切るには、システム本体の  (電源) スイッチを2回押してください。



# Version Up ページの使いかた

画面上部の [Setup] をクリックすると、左下に [Version Up] が表示されます。

[Version Up] をクリックすると Version Up ページが表示されます。



## Version Up

[参照...] をクリックして、バージョンアップを行いたいソフトウェアを選び、[Upload] ボタンをクリックします。

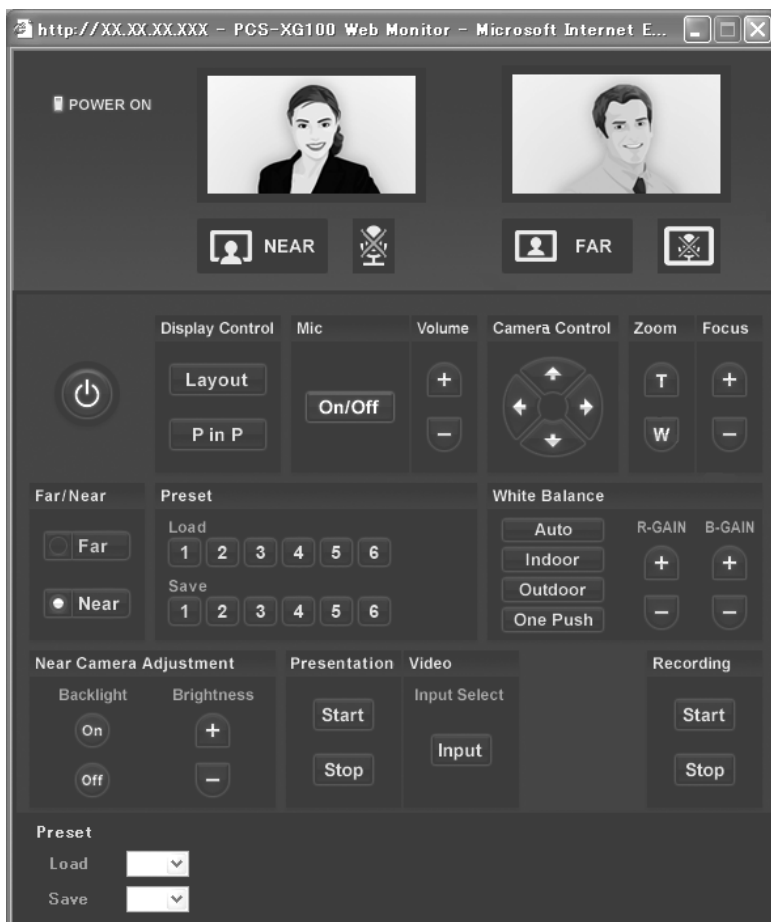
アップロードが完了すると、メッセージが表示され、バージョンアップが開始されます。バージョンアップが完了すると、システムが再起動します。再起動が完了するまでは本機の電源を切らないでください。

[参照...] でアドレス帳や設定ファイルを選択すると、アドレス帳や設定をアップロードすることができます。

### ご注意

[Version Up] のボタンは、Web ページにアクセスした際、認証ページで管理者ユーザー [sonypcs] としてログインした場合のみ表示されます。

# Monitor ページの使いかた



機能ボタンの [Monitor] をクリックすると Monitor ページが別ウィンドウで表示され、本機の映像をモニターできます。

## ご注意

管理者設定メニューの「アクセス許可」ページで「Web モニター」が「切」になっているときは、映像のモニターはできません。

# 8章

## カメラユニット について

PCS-XG100/XG77 には、HD カメラユニット SRG-120DH が同梱されています。

PCS-XG100S/XG77S には、カメラユニットは同梱されていません。本システムでは、PCS-XG100/XG77 に同梱されている HD カメラユニット SRG-120DH、および別売の HD カメラユニット

PCSA-CXG100、EVI-H100V、EVI-HD7V、EVI-HD3V、SRG-300H の使用を推奨します。そのほかのカメラを使用した場合の動作は保証しません。

◆カメラの設置時には、ケーブルの自重や外力でケーブルが抜けないように、市販の抜け止めパーツを使用するかケーブルを固定することをおすすめします。

別売のカメラユニットの操作や設置については、カメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

SRG-300H の詳細な仕様については、SRG-300H に付属の取扱説明書をご覧ください。

### ご注意

この取扱説明書のシステム接続図などでは、カメラユニットとして SRG-120DH のイラストを使用しています。

# HD カメラユニットの特長

## SRG-120DH

- ・1/2.8 型 Exmor CMOS（有効画素約 200 万画素）を採用し、高感度、高精細の HD 映像が得られます。
- ・光学倍率 12 倍、水平画角 71 度の広い範囲を撮影できるズームレンズを搭載しています。
- ・ワイドダイナミックレンジ機能の搭載により、明るい被写体と暗い被写体を同時に有している画面にて最適映像が可能となります。
- ・外部通信で業界標準である VISCA カメラプロトコルの RS-232 インターフェースを搭載しています。
- ・高速、静音性に優れたパンチルト機能により、多目的に使えます。
- ・多彩な HD ビデオフォーマットの設定が可能で、広く普及している HDMI インターフェース端子を備えています。

## PCSA-CXG100

- ・1/2.8 型 Exmor CMOS（有効画素約 200 万画素）を採用し、高感度、高精細の HD 映像が得られます。
- ・光学倍率 20 倍、F1.6 の高倍率、明るいズームレンズを搭載しています。
- ・多彩な HD ビデオフォーマット選択とデジタルとアナログのインターフェース端子を備えています。DVI-I 端子でデジタル、アナログ両方の出力に対応しています。

## EVI-H100V

- ・1/2.8 型 Exmor CMOS（有効画素約 200 万画素）を採用し、高感度、高精細の HD 映像が得られます。
- ・光学倍率 20 倍、F1.6 の高倍率、明るいズームレンズを搭載しています。
- ・ワイドダイナミックレンジ機能の搭載により、明るい被写体と暗い被写体を同時に有している画面にて最適映像が可能となります。

- ・多彩な HD ビデオフォーマット選択とデジタルとアナログのインターフェース端子を備えています。DVI-I 端子でデジタル、アナログ両方の出力に対応しています。
- ・外部通信で業界標準である VISCA カメラプロトコルの RS-232C インターフェースを搭載。RS-422 も加えて、長距離でのコントロールが可能です。
- ・高速、広範囲駆動のパンチルト機能と Image flip（上下反転）機能により、天井への設置にも対応が可能となります。
- ・赤外線リモコンで、Pan、Tilt、Zoom に加えてメニュー表示からカメラ設定が可能です。
- ・カメラの向きや状態を 6 種類まで記憶できます。

## EVI-HD7V/HD3V

### CMOS による高画質

CMOS の採用により、高精細なハイビジョン映像を撮影できます。

### 静音、高速パン/チルト駆動

DD モーターの採用による、静音性と高速駆動を可能にしたパン・チルトメカニズムにより、多目的に使用できます。

### 60/50Hz プログレッシブスキャンに対応したビデオフォーマット

動きのある被写体も高解像度映像で出力する Full HD プログレッシブスキャンでの撮影が可能です（EVI-HD7V）。

さらに、ハイビジョン放送で使用されているインターレース方式の出力も可能です（EVI-HD7V）。

周波数が 59.94 Hz、50 Hz の場合をあわせて EVI-HD7V は 11 通り、EVI-HD3V は 5 通りのビデオフォーマットに対応しています。

### DVI-I による映像出力

DVI-I 端子（VIDEO OUT 端子）はデジタル、アナログ両方の出力に対応しています。

### VISCA カメラプロトコルの採用

業界標準である VISCA カメラプロトコルの RS-232C インターフェースを搭載し、カメラの機能を外部からコントロールできます。速度は 9,600 bps、38,400 bps の切り換えが可能です、高速通信に対応します。

# HD カメラユニット SRG-120DH を設 置する

## 警告



指示

### 設置は確実に

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

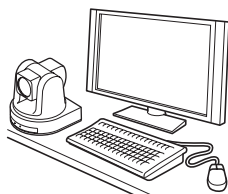
設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。

また、一年に一度は、取り付けがゆるんでいないかを点検してください。

## デスクトップへ設置する

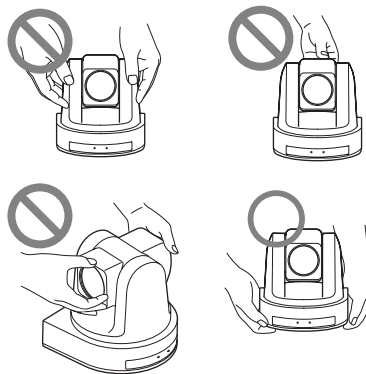
カメラ本体は、平らなところに置きます。

やむを得ず傾いたところに設置するときは、水平に対して $\pm 15^\circ$ 以内のところに設置し、落下防止処置を施してください。



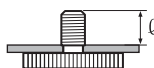
## ご注意

- ・持ち運ぶときは、カメラヘッド部を持たないでください。
- ・カメラヘッド部をパン方向やチルト方向へ手で回さないでください。故障の原因となります。



## 三脚に取り付ける

三脚取り付け部のネジは、取り付け面から飛び出し量 ( $\ell$ ) が下記のものを使用し、ハンドドライバーで締めこんでください。



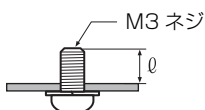
$\ell = 4.5 \text{ mm} \sim 7 \text{ mm}$

## 警告

三脚用ネジによる固定は、高所への設置には使用しないでください。

## 固定用ネジを使って取り付ける

底面の取り付け用ネジ穴（M3）3箇所を使って固定します。M3 ネジは、次の規格のものを使用してください。ネジは、金具などの段差のない平面に取り付け、しっかり締めてください。

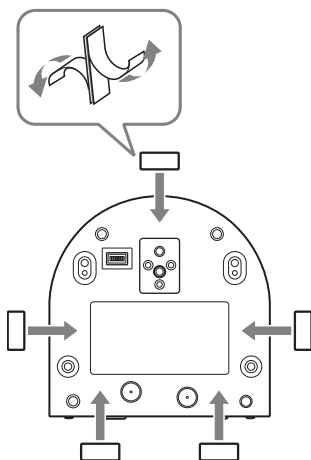


$\ell = 3 \text{ mm} \sim 8 \text{ mm}$

## 付属の固定テープで固定する

付属の固定テープを使用してカメラを固定することができます。

カメラ底面5箇所と設置場所に固定テープを貼り、パチッと音がするまで上から押し付けて両方を固定します。



## ご注意

付属の固定テープは棚などからの落下防止および転倒防止のためのものです。接続している HD ビジュアルコミュニケーションシステムとの固定には使用しないでください。コミュニケーションシステムと固定した場合、カメラのみを持ち上げるとコミュニケーションシステムが落下したり、接続ケーブルの損傷につながるおそれがあります。

# HD カメラユニット の各部の名称と働き

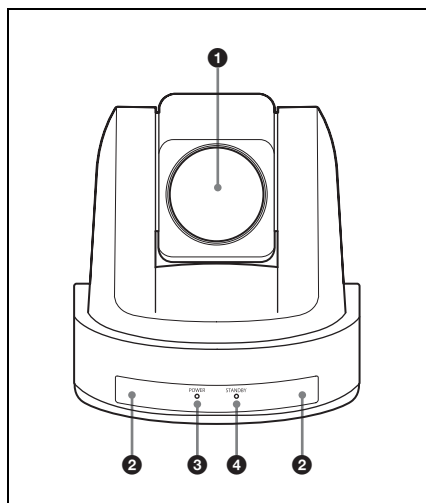
SRG-120DH

## ご注意

本カメラユニットは PCS-XG100/XG77 に同梱されています。

## カメラ本体

### 前面



### ① レンズ

光学 12 倍ズームレンズです。

### ② 赤外線リモコン受光部

サービス専用です。

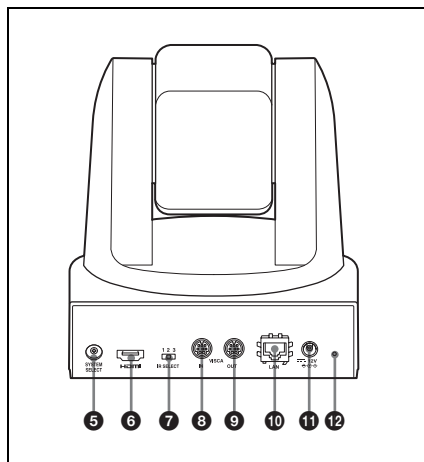
### ③ POWER ランプ

システム本体の電源を入れると、緑色のランプが点灯します。

### ④ STANDBY ランプ

リモコンで電源をスタンバイにすると、オレンジ色のランプが点灯します。

### 背面



### ⑤ SYSTEM SELECT スイッチ

#### ご注意

出荷時のポジションは「6」です。そのほかはサービス専用となりますので、変更せずに使用してください。

### ⑥ HDMI ビデオ端子

本機からの映像を HDMI ビデオ信号、または DVI ビデオ信号として出力します。

### ⑦ IR SELECT スイッチ

サービス専用スイッチです。

### ⑧ VISCA IN 端子

RS-232 で通信する場合に接続します。複数のカメラを接続するとき



は、前のカメラの VISCA OUT 端子と接続します。

### 9 VISCA OUT 端子

複数のカメラを接続するとき、次のカメラの VISCA IN 端子と接続します。

### 10 LAN 端子 (RJ-45 8 ピン)

サービス専用です。

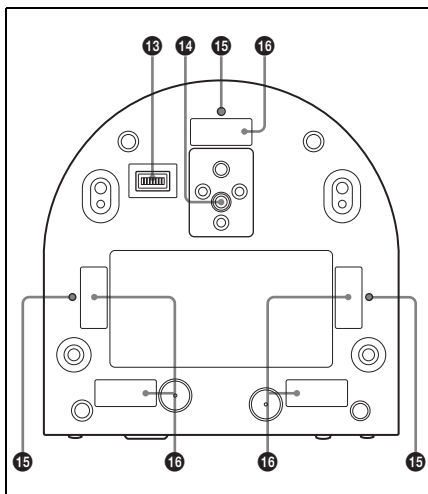
### 11 DC 12V 端子

付属のカメラケーブルを接続します。

### 12 リセットスイッチ

サービス専用スイッチです。

## 底面



### 13 BOTTOM スイッチ

サービス専用スイッチです。

#### ご注意

本機底面に表示されている出荷時設定から変更せずに使用してください。

### 14 三脚取り付け部 (1/4-20UNC)

三脚を使用するとき、このネジ穴を使って固定します。

### 15 取り付け用ネジ穴 (M3)

金具などに安全に固定する場合にこのネジ穴を使用します。

### 16 固定テープ貼り付け位置

付属の固定テープを使用する場合は、指定の位置付近に貼り付けます。

#### 重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

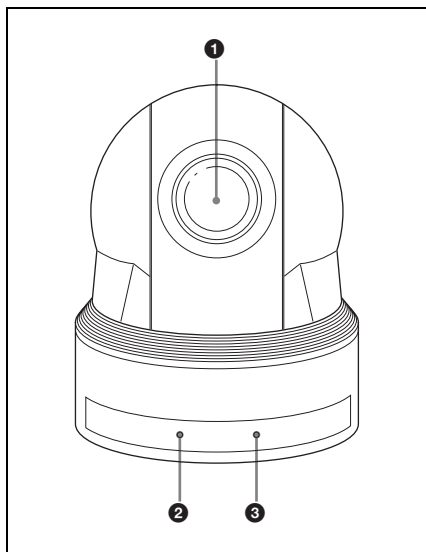
## PCSA-CXG100

#### ご注意

本カメラユニットは PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S には付属されていません。

## カメラ本体

### 前面



#### ① レンズ

光学 20 倍ズームレンズです。

#### ② POWER ランプ

AC 電源アダプターと電源コードを使ってカメラをコンセントにつなぐと、点灯します。

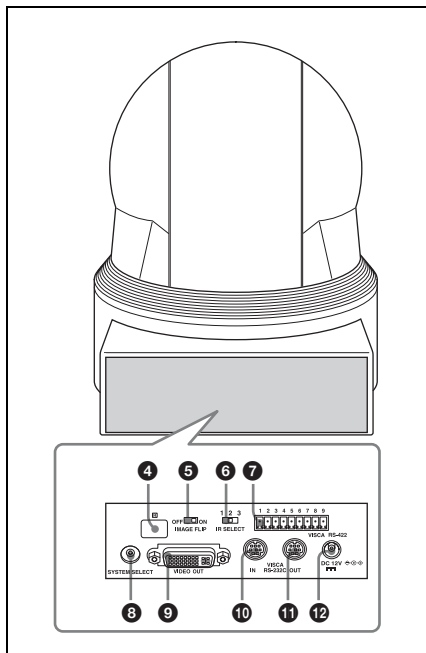
付属リモコンからの操作を受信すると、緑色が点滅してお知らせします。

このランプが点灯してから、映像が出力されるまでに約 7～16 秒ほどかかります。

#### ③ STANDBY ランプ

リモコンで電源を切ると、点灯します。

### 背面



#### ④ リモコン受光部

サービス専用です。

#### ⑤ IMAGE FLIP スイッチ

映像の上下反転を行います。通常は OFF で使用します。天井に設置するときは ON で使用します。

IMAGE FLIP を切り換えるには、カメラの電源が切れている状態（スタンバイ状態も含む）で、その後 DC 電源、VISCA 通信、リモコンのいずれかで電源を入れてください。切り換えた際、プリセットされていた設定が初期設定に戻ります。

#### ⑥ IR SELECT スイッチ

サービス専用です。

## 7 VISCA RS-422 端子

サービス専用です。

## 8 SYSTEM SELECT スイッチ

### ご注意

出荷時のポジションは「1」です。そのほかはサービス専用となりますので、変更せずに使用してください。

## 9 VIDEO OUT 端子

カメラから映像をデジタル信号として出力します。アナログコンポーネント信号も、この端子から出力します。

## 10 VISCA IN 端子

RS-232C で通信する場合に接続します。複数のカメラを接続するときは、前のカメラの VISCA OUT 端子と接続します。

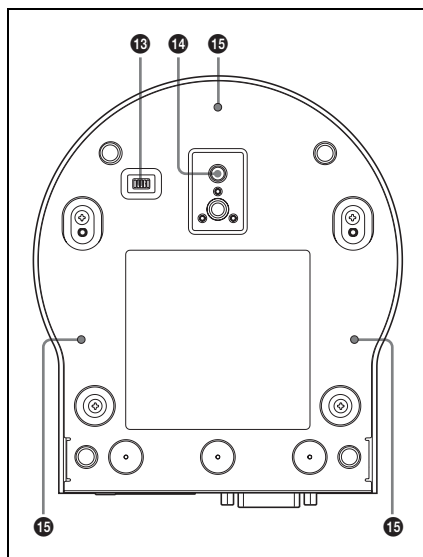
## 11 VISCA OUT 端子

複数のカメラを接続するとき、次のカメラの VISCA IN 端子と接続します。

## 12 DC 12V 端子

付属のカメラケーブルを接続します。

## 底面



## 13 BOTTOM スイッチ

サービス専用スイッチです。

### ご注意

本機底面に表示されている出荷時設定から変更せずに使用してください。

## 14 三脚取り付け部

## 15 天井設置用ブラケット取り付けネジ穴

### 重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

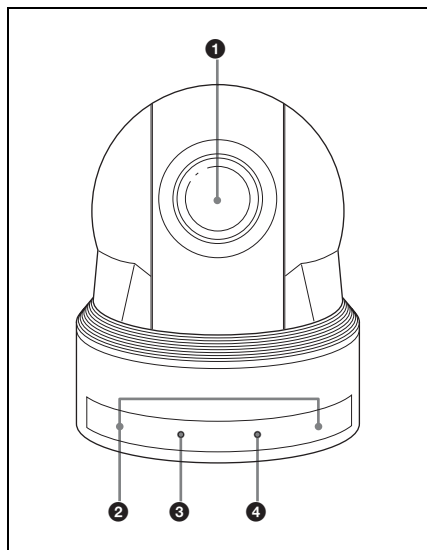
# EVI-H100V

## ご注意

本カメラユニットは PCS-XG100/XG77/  
XG100S/XG77S には付属されていませ  
ん。

## カメラ本体

### 前面



#### ① レンズ

光学 20 倍ズームレンズです。

#### ② リモコン受光部

付属のリモコンの受光部です。

#### ③ POWER ランプ

AC 電源アダプターと電源コードを  
使ってカメラをコンセントにつなぐ  
と、点灯します。

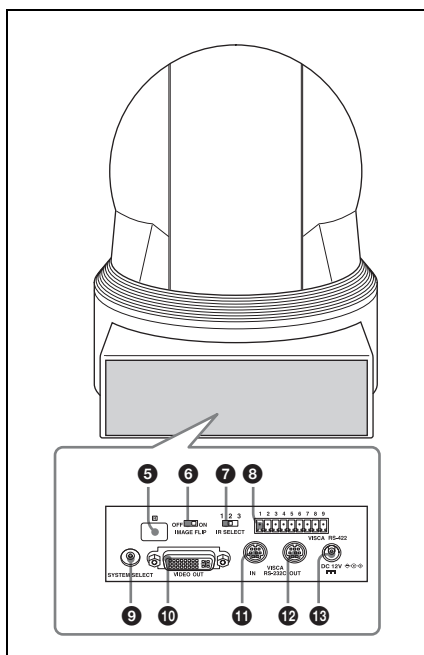
付属リモコンからの操作を受信する  
と、緑色が点滅してお知らせしま  
す。

このランプが点灯してから、映像が  
出力されるまでに約 7 ~ 16 秒ほど  
かかります。

#### ④ STANDBY ランプ

リモコンで電源を切ると、点灯しま  
す。

### 背面



#### ⑤ リモコン受光部

付属のリモコンの受光部です。

#### ⑥ IMAGE FLIP スイッチ

映像の上下反転を行います。通常は  
OFF で使用します。天井に設置す  
るときは ON で使用します。  
IMAGE FLIP を切り換えるには、

カメラの電源が切れている状態（スタンバイ状態も含む）で、その後 DC 電源、VISCA 通信、リモコンのいずれかで電源を入れてください。切り換えた際、プリセットされていた設定が初期設定に戻ります。

## 7 IR SELECT スイッチ

複数のカメラを 1 台のリモコンで操作するとき、カメラ番号を決めます。

### ご注意

PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S では使用できません。

## 8 VISCA RS-422 端子

RS-422 で通信する場合に接続します。同梱されている VISCA RS-422 コネクタープラグをご利用ください。

### ご注意

PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S では使用できません。

## 9 SYSTEM SELECT スイッチ

VIDEO OUT 端子から出力する映像信号の出力方式の設定に使用します。詳しくは、「SYSTEM SELECT スイッチの設定」(254 ページ)をご覧ください。

## 10 VIDEO OUT 端子

カメラから映像をデジタル信号として出力します。アナログコンポーネント信号も、この端子から出力します。

## 11 VISCA IN 端子

RS-232C で通信する場合に接続します。複数のカメラを接続するときには、前のカメラの VISCA OUT 端子と接続します。

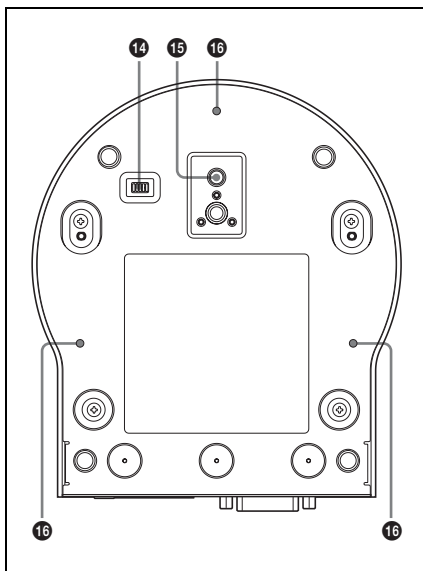
## 12 VISCA OUT 端子

複数のカメラを接続するとき、次のカメラの VISCA IN 端子と接続します。

## 13 DC 12V 端子

付属のカメラケーブルを接続します。

## 底面



## 14 BOTTOM スイッチ

RS-232C と RS-422 の切り換え、ボーレート 9,600 bps と 38,400 bps の切り換え、D70 モードへの切り換え、IR OUT 出力設定に使用します。

す。詳しくはカメラユニットのテクニカルマニュアルをご覧ください。

**ご注意**

PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S では使用できません。

**15 三脚取り付け部**

**16 天井設置用ブラケット取り付けネジ穴**

**重要**

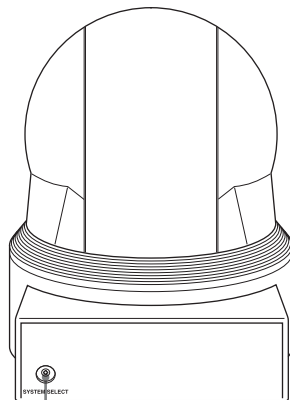
機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

**SYSTEM SELECT スイッチの設定**

本スイッチを使用して、VIDEO OUT 端子から出力する映像出力方式（ビデオフォーマット）を設定できます。

**ご注意**

- ・スイッチの設定は PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S との接続前に行ってください。
- ・スイッチ切り換えの際は、必ずプラスドライバーをご使用ください。  
指定された工具以外で切り換え操作を行うと十字溝がつぶれる場合があります。
- ・ハイビジョン映像信号出力は、アスペクト比 16:9 のモニターで歪みのない画像となります。



希望の映像出力方式に合わせる。

スイッチ位置	映像出力形式 (ビデオフォーマット)	対応	
0	1080i/59.94(29.97PsF)	—	59.94 Hz 系
1	1080p/29.97	○	
2	720p/59.94	○	
3	720p/29.97	○	
4	NTSC(LB)	×	
5	出力なし	—	—
6	出力なし	—	—
7	VISCA Control	○	—
8	1080i/50(25PsF)	○	50 Hz 系
9	1080p/25	○	
A	720p/50	○	
B	720p/25	○	
C	PAL(LB)	×	
D	出力なし	—	—
E	出力なし	—	—
F	出力なし	—	—

○：映像信号が出力される。

×：映像信号が出力されない。

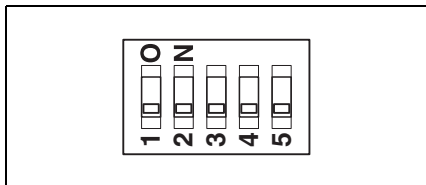
LB：Letter Box の略。アスペクト比 4:3 のモニターで歪みのない画像となるよう

に上下に無信号〈黒〉領域を設け、アスペクト比が 16:9 の画像として出力する。

#### ご注意

スイッチの位置が「出力なし」の場合は、使用できません。

### BOTTOM スイッチの設定



#### ご注意

BOTTOM スイッチの設定は、出荷時の状態のまま、変更しないで使用してください。

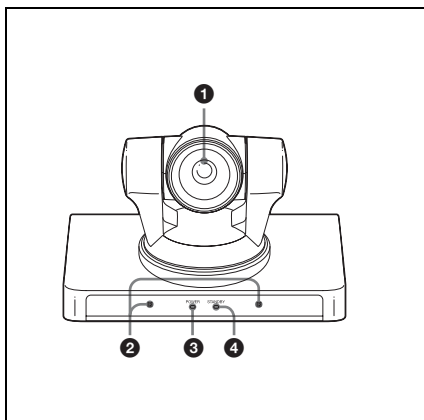
## EVI-HD7V/HD3V

#### ご注意

本カメラユニットは PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S には付属されていません。

## カメラ本体

### 前面



#### ① レンズ

光学 10 倍ズームレンズです。

#### ② リモコン受光部（カメラ調整用）

付属のリモコンの受光部です。

#### ご注意

PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S では使用できません。

#### ③ POWER ランプ

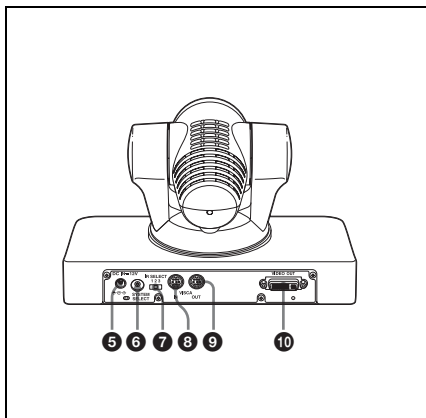
AC 電源アダプターと電源コードを使ってカメラをコンセントにつなぐと、点灯します。

付属リモコンからの操作を受信すると、緑色が点滅してお知らせします。

#### ④ STANDBY ランプ

リモコンで電源を切ると、点灯しません。

## 背面



### 5 DC IN 12V 端子

付属のカメラケーブルを接続します。

### 6 SYSTEM SELECT スイッチ

VIDEO OUT 端子から出力する映像信号の出力方式の設定に使用します。

詳しくは、「SYSTEM SELECT スイッチの設定」(257 ページ)をご覧ください。

### 7 IR SELECT スイッチ

複数のカメラを1台のリモコンで操作するとき、カメラ番号を決めます。

#### ご注意

PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S では使用できません。

### 8 VISCA IN 端子

RS-232C で通信する場合に接続します。複数のカメラを接続するとき

は、前のカメラの VISCA OUT 端子と接続します。

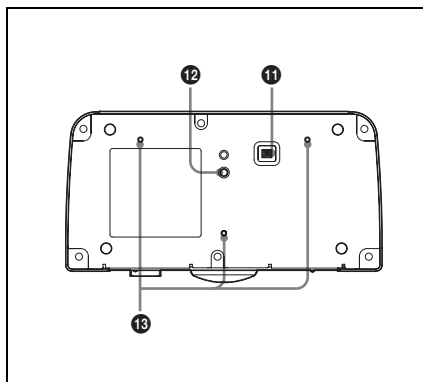
### 9 VISCA OUT 端子

複数のカメラを接続するとき、次のカメラの VISCA IN 端子と接続します。

### 10 VIDEO OUT 端子

カメラからの映像をアナログコンポーネント信号として出力します。デジタル信号も、この端子から出力します。

## 底面



### 11 BOTTOM スイッチ

RS-232C のボーレートの切り換え、リモコン信号出力のオン/オフの設定、Sync を付加する/しないの設定に使用します。

#### ご注意

PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S では使用できません。



## 12 三脚取り付け用ネジ穴 (1/4-20UNC)

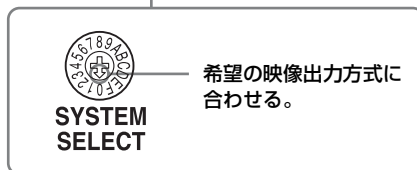
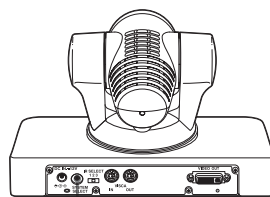
三脚を使用するとき、このネジ穴を使って固定します。

## 13 取り付け用ネジ穴 (M3)

金具などに安全に固定する場合にこのネジ穴を使用します。

### 重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。



## SYSTEM SELECT スイッチの設定

本スイッチを使用して、VIDEO OUT 端子から出力する映像出力方式（ビデオフォーマット）を設定できます。

### ご注意

- ・スイッチの設定は PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S との接続前に行ってください。
- ・スイッチ切り換えの際は、必ずプラスドライバーをご使用ください。指定された工具以外で切り換え操作を行うと十字溝がつぶれる場合があります。
- ・ハイビジョン映像信号出力は、アスペクト比 16.9 のモニターで歪みのない画像となります。

スイッチ位置	映像出力形式 (ビデオフォーマット)	EVI-HD7V 対応	EVI-HD3V 対応	
0	1920 × 1080p/ 59.94	○	×	59.94 Hz 系
1	1920 × 1080p/ 29.97	○	×	
2	1920 × 1080i/ 59.94	○	×	
3	1280 × 720p/ 59.94	○	○	
4	1280 × 720p/ 29.97	○	○	
5	640 × 480p/ 59.94 (LB)	○	○	
6	出力なし	—	—	—
7	VISCA CONTROL	○	○	—
8	1920 × 1080p/ 50	○	×	50 Hz 系
9	1920 × 1080p/ 25	○	×	
A	1920 × 1080i/ 50	○	×	
B	1280 × 720p/ 50	○	○	
C	1280 × 720p/ 25	○	○	

スイッチ位置	映像出力形式 (ビデオフォーマット)	EVI-HD7V 対応	EVI-HD3V 対応	
D	出力なし	—	—	—
E	出力なし	—	—	—
F	出力なし	—	—	—

○：映像信号が出力される。

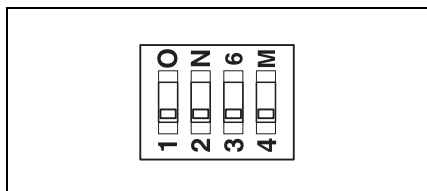
×：映像信号が出力されない。

LB：Letter Box の略。アスペクト比 4:3 のモニターで歪みのない画像となるように上下に無信号〈黒〉領域を設け、アスペクト比が 16:9 の画像として出力する。

### ご注意

スイッチの位置が「出力なし」の場合は、使用できません。

### BOTTOM スイッチの設定



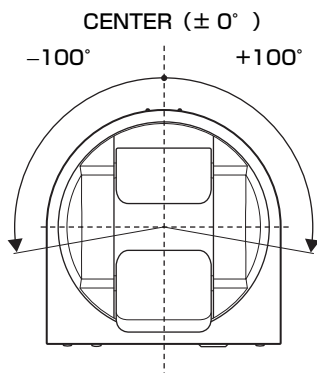
### ご注意

BOTTOM スイッチの設定は、出荷時の状態のまま、変更しないで使用してください。

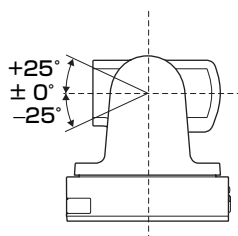
## パン・チルト範囲

### SRG-120DH

#### LEFT/RIGHT の設定範囲

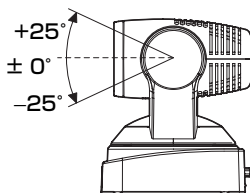
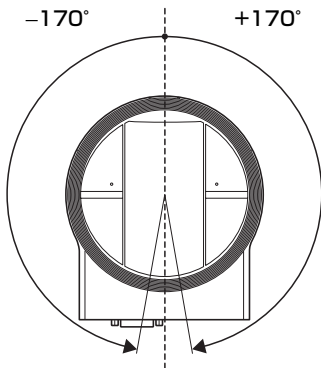


#### UP/DOWN の設定範囲



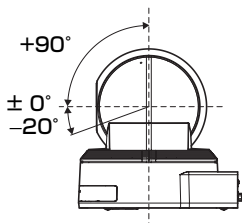
LEFT/RIGHT の設定範囲

(IMAGE FLIP : OFF の場合)  
CENTER ( ± 0° )  
-170°                      +170°



UP/DOWN の設定範囲

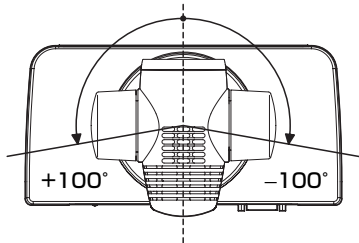
(IMAGE FLIP : OFF の場合)



EVI-HD7V/HD3V

LEFT/RIGHT の設定範囲

CENTER ( ± 0° )



---

# CMOS 特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor) 特有の現象で、故障ではありません。

## 白点

CMOS 撮像素子は非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。

これは CMOS 撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- ・高温の環境で使用する時
- ・ゲイン（感度）を上げた時

本機においては、システムの電源を切り、再び電源を入れることで現象が改善することがあります。

## 折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。



## ② HDMI IN (HDMI 入力) 端子 (PCS-XG100S のみ)

別売の 2 台目のカメラや映像機器の HDMI 出力端子と接続します。

### ご注意

ソニー製 HDMI ケーブルの使用を推奨します。

## ③ DVI-I 1 IN (DVI-I 入力 1) 端子

別売のカメラユニットや映像機器の DVI 出力端子と接続します。

## ④ DVI-I 2 (PC) IN (DVI-I 入力 2 (PC)) 端子

コンピューターなどの DVI 出力端子と接続します。

## ⑤ MIC (A1) (マイク 1 (R)) / 2 (R) / 3 (R) / 4 (L) / 5 (L) / 6 (L) 端子 (ミニジャック)

マイクロホン PCS-A1 (付属) を接続します。マイクにはシステム本体から電源が供給されます。

## ⑥ AUDIO 1 IN (音声入力 1) L/R / AUDIO 2 IN (音声入力 2) L/R 端子 (ピンジャック)

別売の VTR やオーディオ機器の音声出力端子と接続します。

## ⑦ AUDIO OUT (音声出力) L/R 端子 (ピンジャック)

モニター用テレビの音声入力端子と接続します。

## ⑧ REC OUT (録音出力) L/R 端子 (ピンジャック)

議事録として音声を録音するときに使用します。この端子からは、自分

側と相手側の音声がミックスして出力されます。

## ⑨ HDMI-1 OUT (HDMI 出力 1) 端子

HDMI 入力端子付きのモニター用テレビと接続します。

### ご注意

HDMI ケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、同梱のケーブルを使用してください。

## ⑩ HDMI-2 OUT (HDMI 出力 2) 端子 (PCS-XG100S のみ)

HDMI 入力端子付きのモニター用テレビと接続します。

### ご注意

ソニー製 HDMI ケーブルの使用を推奨します。

## ⑪ DVI-I OUT (DVI 出力) 端子

別売のプロジェクターやディスプレイ機器の DVI 入力端子と接続します。

## ⑫ 品 1 (LAN1) 端子 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、8 ピンモジュラー)

LAN または SIP を介して接続するときに使用します。カテゴリ 6 のケーブルを使ってハブまたは SIP サーバーなどに接続します。

### ご注意

PCS-XG77S では、品 (LAN) 端子になります。

**13** 品 2 (LAN2) 端子  
(100BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、8ピンモジュ  
ラー)  
(PCS-XG100Sのみ)

LANを介して接続するときには使用  
します。カテゴリ6のケーブルを  
使ってハブなどに接続します。

**で注意**

安全のために、周辺機器を接続する際  
は、過大電圧を持つ可能性があるコネ  
クターを以下のポートに接続しない  
でください。

: 品 (LAN) 1 コネクター

: 品 (LAN) 2 コネクター

上記のポートについては本書の指示に  
従ってください。

**14** ISDN UNIT (ISDN ユニット)  
端子

別売の ISDN ユニット PCSA-B384S  
または PCSA-B768S の  
TERMINAL 端子と接続します。

**15** AUX CONTROL (補助制御) 端  
子 (D-sub 9 ピン)

サービス用です。

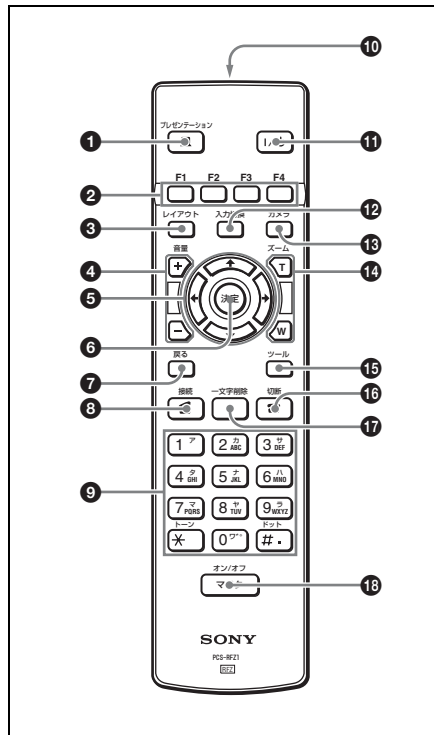
**16** MAINTENANCE (メンテナ  
ンス) 端子 (D-sub 9 ピン)

サービス用です。

**17** DC 19.5V ジャック

付属の AC アダプターを接続しま  
す。

RF リモコン PCS-RFZ1 (付  
属)



リモコンのボタンを押したときのビー  
プ音の大きさを、メニューで設定する  
ことができます。また音が出ないよう  
にすることもできます。

◆詳しくは、音声設定メニューの「ビー  
プ音」(76 ページ) をご覧ください。

**1** プレゼンテーションボタン

プレゼンテーションデータを送信/  
停止します。

**2** F1 ~ F4 (ファンクション) ボタ  
ン

状況によってさまざまな機能のボタ  
ンとして使用します。

各ボタンの機能は、メニュー画面下にガイダンスとして表示されます。

### ③ レイアウトボタン

レイアウトメニューを表示します。  
画面表示パターンを切り換えます。

### ④ 音量 (+ / -) ボタン

相手から送られてくる音声の音量を調整します。

＋：音量が大きくなります。

－：音量が小さくなります。

### ⑤ ↑/↓/←/→ (矢印) ボタン

メニューを選んだり、項目を設定するのに使います。

### ⑥ 決定ボタン

選んだメニューや設定した内容を確認して次の手順に進みます。

### ⑦ 戻るボタン

ひとつ前の手順に戻ります。

### ⑧ 接続 (☎) ボタン

相手と接続するときに使用します。

### ⑨ 数字 (0 ~ 9、#、\*) ボタン

回線番号などの数字や名前などを入力するときに使用します。

### ⑩ 電池入れ (後面)

単3形乾電池を2本入れます。

### ⑪ I / ⏻ (電源) ボタン

システム本体の電源が入っているときは、押すとスタンバイ状態になります。スタンバイ状態のときは、押すと電源が入ります。

### ⑫ 入力切換ボタン

ビデオ入力メニューを表示します。  
モニターに表示する映像入力を切り換えます。

### ⑬ カメラボタン

カメラメニューを表示します。カメラのアンゲルや、画像の明るさなどの調整を行います。

### ⑭ ズーム (T/W) ボタン

カメラのズームを操作します。

T：画像が大きくなります。

W：画像が小さくなります。

### ⑮ ツールボタン

ツールメニューを表示するときに押します。

### ⑯ 切断 (☎) ボタン

相手との回線を切断するとき使用します。

### ⑰ 一文字削除ボタン

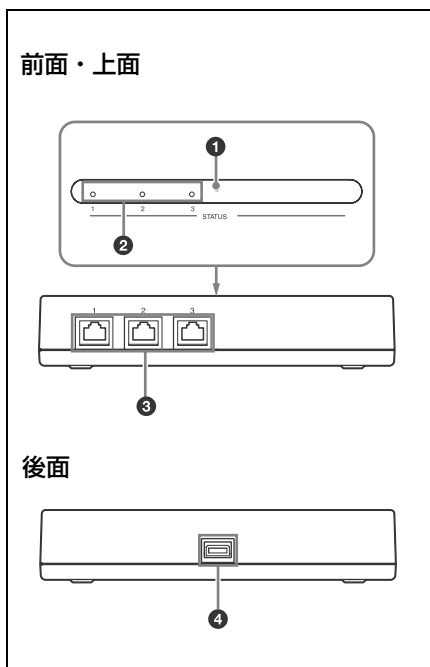
最後に入力した文字を削除します。

### ⑱ マイクオン / オフボタン

自分側からの音声を相手に送るのを中断するときに押します。再び音声を相手に送るときは、もう一度押します。



## ISDN ユニット PCSA-B384S (別売)



### ① POWER ランプ

ISDN ユニットに電源が供給されるとオレンジ色に点灯します。初期化が完了すると緑色に点滅します。

### ② STATUS 1 ~ 3 ランプ

各 ISDN 端子の同期が確立するとオレンジ色に点灯します。呼が接続されると黄色に点灯します。

### ③ ISDN 1 ~ 3 端子 (8 ピンモジュラー)

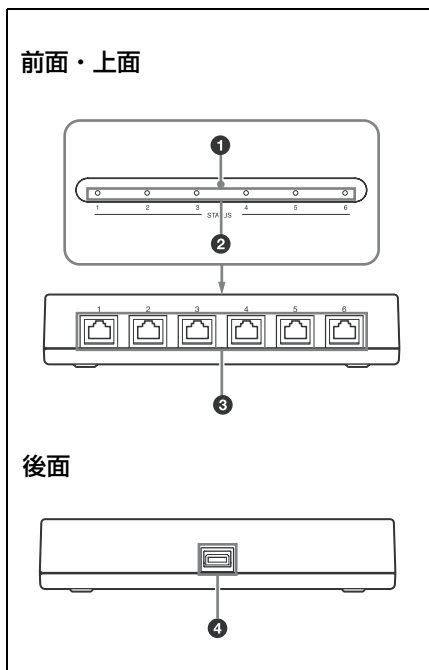
ISDN モジュラーケーブルを使って ISDN 回線に接続します。

### ④ TERMINAL (ターミナル) 端子

ISDN ユニットに付属のインターフェースケーブルを使って、システ

ム本体の ISDN UNIT 端子と接続します。

## ISDN ユニット PCSA-B768S (別売)



### ① POWER ランプ

ISDN ユニットに電源が供給されるとオレンジ色に点灯します。初期化が完了すると緑色に点滅します。

### ② STATUS 1 ~ 6 ランプ

各 ISDN 端子の同期が確立するとオレンジ色に点灯します。呼が接続されると黄色に点灯します。

### ③ ISDN 1 ~ 6 端子 (8 ピンモジュラー)

ISDN モジュラーケーブルを使って ISDN 回線に接続します。








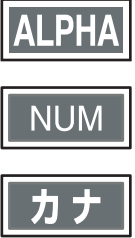


#### ④ TERMINAL (ターミナル) 端子














ISDN ユニットに付属のインターフェースケーブルを使って、システム本体の ISDN UNIT 端子と接続します。










# インジケータ一覧

機能の使用状況によって、モニター用テレビの画面に以下のアイコンが表示されます。

\*のインジケータは、PCS-XG77/XG77S では表示されません。

インジケータ	名称	説明
	自分カメラコントロール	自分側のカメラをコントロール中
	相手カメラコントロール	相手側のカメラをコントロール中
	マイクオフ（自分）	通信中、非通信中ともに自分側のマイクがオフの場合
	マイクオフ（相手）	通信中、非通信中ともに相手側のマイクがオフの場合
	ボリューム	相手から送られてくる音声の音量を調節中
	音量レベル（ステレオ）	ステレオ音声入力レベル
	音量レベル（モノラル）	モノラル音声の入力レベル
	文字入力モード	文字入力モード
	LAN 状態（LAN1）	品1 端子（PCS-XG77/XG77S では品2 端子）経由、IPv4（インターネットプロトコル IPv4）で LAN ケーブル接続中
	LAN 状態（LAN2）	品2 端子経由、IPv4 で LAN ケーブル接続中

インジケータ	名称	説明
	LAN 状態 (LAN1、IPv6)	品1 端子 (PCS-XG77/XG77S では品端子) 経由、IPv6 で LAN ケーブル接続中
	ISDN 状態	ISDN ポートの使用状況
	オーディオ入力	選択されている音声入力 (MIC (A1) 端子からの入力の例)
	ビデオ入力	選択されている映像入力 (DVI-I 1 IN 端子からの入力の例)
	音声電話	音声のみのコミュニケーション中
	USB メモリー	USB メモリー挿入中
	プリセットロード	カメラのプリセット登録(1～6)を呼び出し
	プレゼンテーション (送信中)	プレゼンテーション実行中 (相手へ送信中)
	プレゼンテーション (受信中)	相手からのプレゼンテーションを受信中
	レコーディング	レコーディング中
	タブレット	ペントラレット接続中
	ドローイング (自分)	自分側に描画権あり
	ドローイング (相手)	相手側に描画権あり

インジケータ	名称	説明
	ポインター（自分）	自分側のポインター
	ポインター（相手）	相手側のポインター
	暗号化	暗号化接続中
<b>Packet Loss</b>	パケットロス	パケットロスが発生中
<b>V.A.</b>	音声検出中	多地点接続時、放送モードで「音声検出」モードを使用中
	放送中（自分）	多地点接続で自分側の映像を放送中
 ~ 	放送中（A～H）	多地点接続で1番目（～8番目）に接続した端末A（～H）の映像を放送中
  	USB 音声機器	USB 音声機器を接続中

# メッセージ一覧

システムを操作中、モニター用テレビの画面にメッセージが現れたら、下記の表で確認してください。

## エラーコード付きメッセージ

メッセージ	
回線を完全につなぐことができません (下記の理由コードとメッセージが表示されます。)	
0	理由なし もう一度ダイヤルしなおしてください。
1	該当番号なし 相手側の電話番号を確認してください。
2	回線渋滞。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
3	しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
16	正常切断 (通常の回線切断です)
17	通話中。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
18、19	相手側応答なし。相手側 TV 会議装置が接続されているかどうかを確認してください。
20	加入者不在。相手側の電話番号を確認してください。
21	通信拒否。相手側 TV 会議装置の接続を確認してください。
22	相手側番号変更。相手側の電話番号を確認してください。
26	接続復旧要求。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
27	相手側故障中。相手側 TV 会議装置の動作を確認してください。
28	無効な番号。相手側の電話番号を確認してください。
31、41 ~ 43、47	回線不通。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
33、34	回線が混雑しています。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
44	回線がビジーです。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
50	未契約 相手側回線の契約内容を確認してください。
57、58	伝達能力不許可 [制御網] の設定を確認してください。
70	能力制限 [制御網] を [56K] に設定してダイヤルしてください。
88	端末属性不一致。相手側 TV 会議装置の接続を確認してください。
91、95 ~ 102、111	手順誤り システムの電源を入れ直してもう一度ダイヤルしてください。
128	H.221 同期取得失敗。システムの電源を入れ直してもう一度ダイヤルしてください。
131	基板不一致 オプションの回線 I/F ボードを確認してください。

メッセージ	
132	無効 SPID : SPID が正しく設定されていません。
134	物理的同期取得失敗 ISDN ケーブルの接続を確認してください。
144、145	相手側端末がボンディング接続未対応の可能性がります。
177	LAN 接続タイムアウト。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
178	LAN 接続拒否。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
179	DNS エラー。
180	自分にはダイヤルできません。
181	ゲートキーパーエラー。
192	PPPoE のサーバー認証に失敗しました。PPPoE ユーザー名と PPPoE パスワードを確認してください。
195	DHCP で IP アドレスを取得中です。
196	DNS アドレスを設定するか、IP アドレスで発信してください。
202、203、204	H.245 エラー
205	発信するユーザー名、もしくはユーザー番号が正しいか確認してください。
207	相手端末がゲートキーパーへ登録されていない可能性があります。ゲートキーパー管理者へ連絡してください。
209 ~ 212	ゲートキーパーが応答しません。ゲートキーパー管理者へ連絡してください。もしくは相手の IP アドレスで発信してください。
201、217	相手呼び出ししましたが、応答がありません。
218	ISDN 設定の電話番号が正しく設定されていません。正しく設定してください。1B で接続されました。
219	相手端末の ISDN 設定の電話番号が正しく設定されていない可能性があります。1B で接続されました。
230、231	PPPoE の認証に失敗しています。PPPoE の設定を確認のうえ、もう一度ダイヤルしてください。
232	DNS サーバーにアクセスできませんでした。PPPoE の DNS 設定を確認してください。
233	DNS での名前解決ができません。IP アドレスで発信してください。
234	同じアドレスに発信できません。
235	回線数が異なるため、2次端末として扱われます。
236	カメラ制御 OFF のため、2次端末として扱われます。
237	回線種別もしくは IP アドレスが正しいか確認してください。

メッセージ	
238	こちら側の暗号化機能がオフのため、会議が開始できませんでした。
239	相手側の暗号化機能がオフのため会議が開始できませんでした。
240	相手側と暗号化通信方式が異なるため会議が開始できませんでした。
241	SIP 接続を含んだ標準方式の暗号化会議はできません。
242	ISDN 接続を含んだ独自方式の暗号化会議はできません。
243	指定された回線種別では、現在の通信モードでの接続はできません。
244	相手からのパケットが来なくなったため切断しました。



## 故障かな？

システムが正しく動作しないときは、故障とお考えになる前に以下の項目を確認してください。

症状	原因	対策
システム本体の電源が入らない。	電源スイッチがオンになっていない。	⓪（電源）スイッチを押して電源を入れてください。（39 ページ）
	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池と交換してください。（35 ページ）
HD カメラユニット SRG-120DH の電源が入らない。	付属のカメラケーブルの DC 12V 端子が、しっかりと接続されていない。	奥までしっかりと差し込んでください。
リモコンが働かない	ペアリングができていない。	リモコンをシステム本体とペアリングしてください。（37 ページ）
音声が聞こえない・小さい。	本機の音量が小さすぎる、または最小になっている。	リモコンの音量ボタンを押して音量を調節してください。（42 ページ）
	モニター用テレビの音量が小さすぎる、または最小になっている。	モニター用テレビのリモコンの音量ボタンを押して音量を調節してください。
	相手のマイクがオフになっている。	相手に、音声が聞こえないことを伝え、マイクをオンにするよう依頼してください。
	音声入力が正しく選択されていない。	・音声設定メニューの「基本設定 1」ページで「入力選択（MIC 系）」、「入力選択（AUX 系）」を正しく設定してください。（72 ページ） ・音声設定メニューの「基本設定 1」ページで「音声入力」を正しく設定してください。（72 ページ）
	マイクまたは入力用の外部機器が正しく接続されていない。	接続を確かめてください。（179、185 ページ）
映像がぼやける。	フォーカスを手動で調節しているとき、フォーカスが合っていない。	フォーカスを調整してください。（158 ページ）

症状	原因	対策
映像がぼやける。	オートフォーカスにしてあるとき、背景が明るすぎたり、明暗がはっきりしすぎている、または参加者の衣服や背景が横じまなど細かい模様になっている。	マニュアルフォーカスに切り換え、調節してください。(158 ページ)
映像が映らない。	映像信号入力用外部機器の電源が入っていない。	電源を入れてください。
	入力が正しく選ばれていない。	入力を正しく切り換えてください。(160 ページ)
	入力用の外部機器が正しく接続されていない。	接続を確かめてください。(185 ページ)
	ボイスミーティングを行っている。	故障ではありません。
	カメラの動きをさえぎった。	システム本体の電源を入れ直してください。
相手とつながらない。	違う番号にダイヤルした。	入力した番号をよく確かめてください。
	回線種別の選択がまちがっている。(ダイレクトダイヤルするとき)	「3 章 基本的な接続」の「直接、相手の番号を入力して呼び出す(ダイレクトダイヤル)」(123 ページ)を参照して正しく選択してください。
	アドレス帳の登録内容がまちがっている。	「アドレス帳に相手を登録する」(136 ページ)を参照して正しく登録してください。
	システム設定の設定内容がまちがっている。	「2 章 登録と設定-管理者用」の「システムを設定する」を参照して正しく設定してください。(60 ページ)

症状	原因	対策
相手とつながらない。	IP アドレス、ネットワークマスクの設定がまちがっている。(LAN 通信のとき)	ネットワーク 担当者などに問い合わせ、正しく設定してください。(80 ページ)
	LAN ケーブルを品 2 端子に接続している。	通信回線設定メニューで「LAN2 を使用する」を [入] に設定してください。(64 ページ) 品 2 端子経由では本機の機能が制限されます。SIP 接続やゲートキーパー、SNMP の使用、Web アクセス、Telnet アクセスは品 2 端子経由ではできません。
	LAN または ISDN の接続ケーブルが抜けている。	正しく接続してください。(31、32、33 ページ)
	LAN または ISDN の接続ケーブルの接続端子をまちがえている。	正しく接続してください。(31、32、33 ページ)
	LAN または ISDN の接続ケーブルが断線している。	ケーブルを交換してください。
	ISDN 専用のケーブルを LAN 用に使っている。(LAN 通信のとき)	ISDN で使えても LAN には使えないケーブルがあります。LAN 用のケーブルを使ってください。
	LAN または ISDN の接続にタイプ (クロスまたはストレート) の違う接続ケーブルを使っている。	正しいケーブルに交換してください。
	DSU の電源が入っていない。(ISDN 通信のとき)	DSU の電源を入れてください。

症状	原因	対策
相手とつながらない。	通信中に ISDN 接続ケーブルを抜いたり、電源を切るなど通常の手順によらないで通信を終了すると、しばらくつながらなくなることがある。(ISDN 通信のとき)	電源を切り、数分待ってから使ってください。
	LAN ケーブルの抜き差しや電源の入り切りを繰り返していると、しばらく使えなくなることがある。(LAN 通信のとき)	電源を切り、数分待ってから使ってください。
	LAN の一時的な障害 (LAN 通信のとき)	一時的な障害がおさまってから使ってください。
	ご使用の LAN 環境ではシステムのパケットを通せない。(LAN 通信のとき)	ネットワーク担当者に相談して、コミュニケーションシステムのパケットを通せるように LAN 環境を整えてください。
	相手端末の電源が入っていない。	相手端末の電源を入れてもらってください。
	相手端末がスタンバイ (スリープ) 状態から着信可能になるまでに時間がかかる。	相手端末をスタンバイ (スリープ) 状態から復帰させてもらってください。
	相手端末が他の端末と通信中である。	相手端末が通信を終えてからダイヤルし直してください。
	相手端末が設定変更などの操作中で、着信を許可しない。	相手端末に着信を受け付けてもらってください。
	相手端末が自動着信になっていない。	相手端末の設定を自動着信に変更する、または、相手端末に手動で着信を受け付けてもらってください。

症状	原因	対策
相手とつながらない。	相手端末の ISDN 回線番号が設定されていない。(ボンディング接続のとき)	相手端末の ISDN 設定メニューの市外局番号、市内番号を正しく設定してもらってください。
	相手端末の使用している複数の ISDN 回線番号の、下から 8 桁目以上の番号が共通になっていない。(ボンディング接続で、相手端末が PCS-1600 など旧機種 のとき。)	ボンディングを使用しないで接続する、または下から 8 桁目以上の番号が共通になっている ISDN 回線番号を使用してください。
	相手端末側に問題がある。	他の端末にダイヤルして確かめてください。
	画面にメッセージが表示される。	「メッセージ一覧」をご覧ください。(270 ページ)
USB メモリーに静止画やアドレス帳を保存できない。	USB メモリーの容量がいっぱいになっている。	他の USB メモリーに保存してください。

# 仕様

## HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG77/ XG100S/XG77S

本機は ITU-T 勧告 H.320 と H.323 に準拠しています。

### 動画

動作帯域	64 Kbps ~ 16 Mbps (標準、LAN による接続) (PCS-XG77/XG77S は最大 4 Mbps。ただし、HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106 および HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXG77 のインストール時は最大 5 Mbps)
	56 Kbps ~ 768 Kbps (PCSA-B768S 取り付け時、ISDN による接続)
	56 Kbps ~ 384 Kbps (PCSA-B384S 取り付け時、ISDN による接続)
コーディング方式	H.261/H.263/H.263+/H.263++/H.264 Baseline Profile/ H.264 High Profile MPEG4 Simple Profile (SIP 接続のみ)
画素	CIF : 352 ピクセル × 288 ライン QCIF : 176 ピクセル × 144 ライン 4CIF : 704 ピクセル × 576 ライン

WCIF (W288p) : 512 ピクセル × 288 ライン
W432p : 768 ピクセル × 432 ライン
W4CIF : 1024 ピクセル × 576 ライン
720p : 1280 ピクセル × 720 ライン
1080p : 1920 ピクセル × 1080 ライン (PCS-XG77/XG77S は HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXG77 のインストール時のみ)

### 音声

周波数帯域	22 kHz (MPEG4 AAC) 14 kHz (MPEG4 AAC) 7 kHz (G.722 ITU-T 勧告準拠) 3.4 kHz (G.711/G.728 ITU-T 勧告準拠)
伝送レート	56 Kbps、64 Kbps (G.711 ITU-T 勧告準拠) 48 Kbps、56 Kbps、64 Kbps (G.722 ITU-T 勧告準拠) 64 Kbps、96 Kbps (MPEG4 AAC) (LAN による接続) 16 Kbps (G.728 ITU-T 勧告準拠) 48 Kbps (MPEG4 AAC) (ISDN による接続)

### ネットワーク

多重分離化	映像信号、音声信号、データを多重分離化
フレームフォーマット	H.221 (ITU-T 勧告準拠)
回線	LAN (標準)、64 Kbps ~ 16 Mbps (PCS-XG77/

<p>XG77S は最大 4 Mbps。ただし、HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106 および HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXG77 のインストール時は最大 5 Mbps)</p> <p>ISDN (BRI)、6 回線接続可能 (PCSA-B768S 取り付け時)、3 回線接続可能 (PCSA-B384S 取り付け時)</p> <p>データ伝送レート</p> <p>LSD 1.2 Kbps、4.8 Kbps、6.4 Kbps</p> <p>MLP 6.4 Kbps、24 Kbps、32 Kbps</p> <p>HMLP 62.4 Kbps、64 Kbps、128 Kbps</p> <p>サポート LAN プロトコル</p> <p>HTTP</p> <p>Telnet</p> <p>RTP/RTCP</p> <p>TCP/UDP</p> <p>SNMP</p> <p>SSH</p>	<p>外形寸法 370 mm × 60 mm × 244 mm (幅 / 高さ / 奥行き) (突起部含まず / 脚含む)</p> <p>質量 約 2.3 kg</p> <p>付属品 リモコン PCS-RFZ1 (1) 単 3 形マンガン乾電池 (2) (日本国内のみ) マイクロホン PCS-A1 (PCS-XG100/XG100S : 2 / PCS-XG77/XG77S : 1) HD カメラユニット SRG-120DH (1) (PCS-XG100/XG77 のみ) カメラケーブル (1) HDMI ケーブル (3 m) (1) AC アダプター (1) 電源コード (1) (日本国内のみ) 固定テープ (5) (PCS-XG100/XG77 のみ) CD-ROM (1) ご使用になる前に (1) 設置ガイド (1) 簡単接続ガイド (1) B&amp;P ワランティブックレット (1) ユーザー登録シート (1) (日本国内のみ)</p>
--	---

---

## リモートコントロール

相手カメラコントロール  
H.281 (ITU-T 勧告準拠)

---

## その他

電源電圧 DC 19.5 V

消費電流 5 A

動作温度 5 °C ~ 35 °C

動作湿度 20% ~ 80%

保存温度 -20 °C ~ +60 °C

保存湿度 20% ~ 80%  
(結露しないこと)

## HD カメラユニット

### SRG-120DH

(PCS-XG100/XG77 に付属)

映像信号 EDID

同期方式 内部同期方式

映像素子 1/2.8 型 Exmor CMOS

レンズ 光学 12 倍、デジタル 12 倍  
f = 3.9 mm (wide) ~  
46.8 mm (tele)

F1.8 ~ 2.0  
水平画角 71° (WIDE 端)

最至近撮影距離

10 mm (WIDE 端) ~  
1500 mm (TELE 端)

最低被写体照度

3.6 Lux (F1.8) 50 IRE にて

パン・チルト機能

水平 ± 100°  
垂直 ± 25°

入力電圧 DC 12 V

消費電力 16.8 W

動作温度 5 °C ~ 35 °C

保存温度 -20 °C ~ +60 °C

外形寸法 153 mm × 156 mm × 153 mm  
(幅 / 高さ / 奥行き)

質量 約 1.45 kg

### リモコン PCS-RFZ1 (付属)

信号方式 IEEE802.15.4 に準拠

制御 DC 3 V

単 3 形乾電池 2 本使用

### マイクロホン PCS-A1 (PCS-XG100/XG100S に 2 個 / PCS-XG77/XG77S に 1 個付属)

周波数帯域 13 kHz

指向特性 無指向性

外形寸法 74 mm × 16 mm × 93 mm  
(幅 / 高さ / 奥行き)

質量 約 170 g

電源 プラグインパワータイプ

ケーブル長 8 m

### ISDN ユニット PCSA-B384S (別売)

電源電圧 DC 19.5 V

消費電流 0.3 A

動作温度 5 °C ~ 35 °C

動作湿度 20% ~ 80%

保存温度 -20 °C ~ +60 °C

保存湿度 20% ~ 80%  
(結露しないこと)

外形寸法 166 mm × 34 mm × 128 mm  
(幅 / 高さ / 奥行き)  
(突起部含まず / 脚含む)

質量 約 400 g

付属品 インターフェースケーブル  
(5 m) (1)

取扱説明書 (1)

B&P ワランティブックレット  
(1)

### ISDN ユニット PCSA-B768S (別売)

電源電圧 DC 19.5 V

消費電流 0.5 A

動作温度 5 °C ~ 35 °C

動作湿度 20% ~ 80%

保存温度 -20 °C ~ +60 °C

保存湿度 20% ~ 80%  
(結露しないこと)

外形寸法 166 mm × 34 mm × 128 mm  
(幅 / 高さ / 奥行き)  
(突起部含まず / 脚含む)

質量 約 400 g

付属品 インターフェースケーブル  
(5 m) (1)

取扱説明書 (1)

B&P ワランティブックレット  
(1)



HD MCU ソフトウェア  
PCSA-MCG106 (別売)

HD MCU ソフトウェア  
PCSA-MCG109 (別売)

HD アップグレードソフトウェ  
ア PCSA-RXG77 (別売)

モバイルアクセスソフトウェア  
PCSA-SAG8 (別売)

モバイルアクセスソフトウェア  
PCSA-SAG1 (別売)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

## HDMI

- ・必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- ・お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

## MPEG-4 Visual エンコーダ／デ コード製品の販売・頒布

本製品は、MPEG LA, LLC. がライセンス活動を行っている MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE の下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual 規格に合致したビデオ信号 (以下、MPEG 4 VIDEO といいます) にエンコードすること。
- (ii) MPEG-4 VIDEO (消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくは MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます) をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC. のホームページ ([HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)) をご参照下さい。

MPEG LA は、(i) MPEG-4 Visual ビデオ情報を記録した媒体 (PACKAGED MEDIA) を製造し、販売する行為、(ii) MPEG-4 Visual ビデオ情報を何らかの方法 (オンラインビデオ配信サービス、インターネット放送、TV 放送など) で配信・放送する行為について、ライセンスを提供しています。その他の使用方法につきましても、MPEG LA からのライセンス取得が必要な場合があります。詳しくは、MPEG LA にお問い合わせください。

MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206

ホームページ : <http://www.mpegla.com>

## MPEG-4 AVC (3-1) エンコーダ

### ／デコーダ製品の販売・頒布

本製品は、MPEG LA, LLC. がライセンス活動を行っている AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE の下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 AVC 規格に合致したビデオ信号 (以下、AVC VIDEO といいます) にエンコードすること。
- (ii) AVC Video (消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくは MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます) をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC. のホームページをご参照下さい。

## DVI-I 出力仕様

### HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG77/XG100S/ XG77S DVI-I OUT 信号仕様 (DVI/ アナログ RGB)

表示画素数	伝送方式	備考	水平同期周波数 fH (kHz)	垂直同期周波数 fV (Hz)
1024 × 768	プログレッシブ	XGA VESA 60 Hz	48.4	60
	プログレッシブ	XGA VESA 70 Hz	56.5	70
	プログレッシブ	XGA VESA 75 Hz	60	75
	プログレッシブ	XGA VESA 85 Hz	68.7	85
1280 × 720	プログレッシブ	720p 50 Hz	37.5	50
	プログレッシブ	720p 60 Hz	45	60
1280 × 768	プログレッシブ	WXGA VESA 60 Hz	47.4	60
	プログレッシブ	WXGA VESA 60 Hz	47.8	60
	プログレッシブ	WXGA VESA 75 Hz	60.3	75
1280 × 1024	プログレッシブ	SXGA VESA 60 Hz	63.98	60
	プログレッシブ	SXGA VESA 75 Hz	79.98	75
1920 × 1080	プログレッシブ	FHD VESA 60 Hz	67.5	60
	プログレッシブ	FHD 59.94 Hz*	67.43	59.94
	プログレッシブ	FHD 29.97 Hz*	67.43	29.97
	インターレース	FHD 59.94 Hz*	33.75	59.94
	プログレッシブ	FHD 50 Hz*	56.25	50
	プログレッシブ	FHD 25 Hz*	56.25	25
	インターレース	FHD 50 Hz*	28.13	50

\* DVI 時のみ対応

## CAMERA/DVI-I 入力仕様

### HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG77/XG100S/ XG77S CAMERA IN 信号仕様

表示画素数	伝送方式	備考	水平同期周波数 fH (kHz)	垂直同期周波数 fV (Hz)
1920 × 1080	プログレッシブ	FHD 59.94 Hz	67.43	59.94
	プログレッシブ	FHD 29.97 Hz	67.43	29.97
	インターレース	FHD 59.94 Hz	33.75	59.94
	プログレッシブ	FHD 50 Hz	56.25	50
	プログレッシブ	FHD 25 Hz	56.25	25
	インターレース	FHD 50 Hz	28.13	50

### HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG77/XG100S/ XG77S DVI-I 1 IN 信号仕様 (DVI/ アナログコンポーネント (YPbPr))

表示画素数	伝送方式	備考	水平同期周波数 fH (kHz)	垂直同期周波数 fV (Hz)
1920 × 1080	プログレッシブ	FHD 59.94 Hz	67.43	59.94
	プログレッシブ	FHD 29.97 Hz	67.43	29.97
	インターレース	FHD 59.94 Hz	33.75	59.94
	プログレッシブ	FHD 50 Hz	56.25	50
	プログレッシブ	FHD 25 Hz	56.25	25
	インターレース	FHD 50 Hz	28.13	50

### HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG77/XG100S/ XG77S DVI-I 2 (PC) IN 信号仕様 (DVI/ アナログ RGB)

表示画素数	伝送方式	備考	水平同期周波数 fH (kHz)	垂直同期周波数 fV (Hz)
1024 × 768	プログレッシブ	XGA VESA 60 Hz	48.4	60
	プログレッシブ	XGA VESA 70 Hz	56.5	70
	プログレッシブ	XGA VESA 75 Hz	60	75
	プログレッシブ	XGA VESA 85 Hz	68.7	85
1280 × 768	プログレッシブ	WXGA VESA 60 Hz	47.4	60
	プログレッシブ	WXGA VESA 60 Hz	47.8	60
	プログレッシブ	WXGA VESA 75 Hz	60.3	75

表示画素数	伝送方式	備考	水平同期周波数 fH (kHz)	垂直同期周波数 fV (Hz)
1280 × 1024	プログレッシブ	SXGA VESA 60 Hz	63.98	60
	プログレッシブ	SXGA VESA 75 Hz	79.98	75
1920 × 1080	プログレッシブ	FHD VESA 60 Hz	67.5	60
	プログレッシブ	FHD 59.94 Hz*	67.43	59.94
	プログレッシブ	FHD 29.97 Hz*	67.43	29.97
	プログレッシブ	FHD 50 Hz*	56.25	50
	プログレッシブ	FHD 25 Hz*	56.25	25

\* DVI 時のみ対応

## HDMI 出力仕様

### HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG77/XG100S/ XG77S HDMI-1/2 OUT 信号仕様

表示画素数	伝送方式	備考	水平同期周波数 fH (kHz)	垂直同期周波数 fV (Hz)
1024 × 768	プログレッシブ	XGA VESA 60 Hz*	48.4	60
1280 × 720	プログレッシブ	720p 50 Hz*	37.5	50
	プログレッシブ	720p 60 Hz*	45	60
1280 × 1024	プログレッシブ	SXGA VESA 60 Hz*	63.98	60
1920 × 1080	プログレッシブ	FHD 59.94 Hz	67.43	59.94
	インターレース	FHD 59.94 Hz	33.75	59.94
	プログレッシブ	FHD 50 Hz	56.25	50
	インターレース	FHD 50 Hz	28.13	50
	プログレッシブ	FHD 29.97 Hz*	67.43	29.97
	プログレッシブ	FHD 25 Hz*	56.25	25

\* HDMI-2 OUT のみ

## HDMI 入力仕様

### HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XG100/XG100S HDMI IN 信号仕様

表示画素数	伝送方式	備考	水平同期周波数 fH (kHz)	垂直同期周波数 fV (Hz)
1920 × 1080	プログレッシブ	FHD 59.94 Hz	67.43	59.94
	プログレッシブ	FHD 29.97 Hz	67.43	29.97
	インターレース	FHD 59.94 Hz	33.75	59.94
	プログレッシブ	FHD 50 Hz	56.25	50
	プログレッシブ	FHD 25 Hz	56.25	25
	インターレース	FHD 50 Hz	28.13	50

## 端子のピン配列

### 1000BASE-T/100BASE-TX/ 10BASE-T 端子



モジュラー端子

ピン番号	10BASE-T/ 100BASE-TX	1000BASE-T
1	TD+	TP0+
2	TD-	TP0-
3	RD+	TP1+
4	-	TP2+
5	-	TP2-
6	RD-	TP1-
7	-	TP3+
8	-	TP3-

## ISDN UNIT 端子



ピン番号	信号名	意味
1	GND	接地
2	19.5V	19.5V
3	DCLK+	クロック+
4	DCLK-	クロック-
5	DR+	受信データ+
6	DR-	受信データ-
7	FS+	フレーム同期+
8	FS-	フレーム同期-
9	DX+	送信データ+
10	DX-	送信データ-
11	RX	シリアル受信データ
12	TX	シリアル送信データ
13	19.5V	19.5V
14	GND	接地

## CAMERA 端子



D-Sub 36 ピン (アンフェノールタイプ) (凹)

ピン番号	信号名	意味
1	RX0+	Data_0+
2	GND	接地
3	RX1+	Data_1+
4	RX2+	Data_2+
5	GND	接地
6	RXC+	Clock+
7	GND	接地
8	5V	5V
9	DDC_SCL	DDC_CLOCK
10	VISCA_DSR	VISCA_DSR
11	GND	接地
12	VISCA_RXD	VISCA_RXD
13	GND	接地
14	GND	接地
15	GND	接地
16	VISCA 12V	12V
17	VISCA 12V	12V
18	VISCA 12V	12V
19	RX0 -	Data_0 -
20	GND	接地
21	RX1 -	Data_1 -
22	RX2 -	Data_2 -
23	GND	接地
24	RXC -	Clock -
25	GND	接地
26	IN_HPD	Hot Plug Detect
27	DDC_SDA	DDC_DATA
28	VISCA_DTR	VISCA_DTR
29	GND	接地

ピン番号	信号名	意味
30	VISCA_TXD	VISCA_TXD
31	GND	接地
32	GND	接地
33	GND	接地
34	VISCA 12V	12V
35	VISCA 12V	12V
36	VISCA 12V	12V

## 別売機器の端子のピン配列

ISDN1 ~ 3 端子 (PCSA-B384S)

ISDN 1 ~ 6 端子 (PCSA-B768S)



モジュラー端子

ピン番号	信号名	意味
1	NC	—
2	NC	—
3	TA	送信 +
4	RA	受信 +
5	RB	受信 -
6	TB	送信 -
7	NC	—
8	NC	—

## TERMINAL 端子 (PCSA-B384S/ PCSA-B768S)



ピン番号	信号名	意味
1	GND	接地
2	19.5V	19.5V
3	DCLK+	クロック+
4	DCLK -	クロック-
5	DR+	送信データ+
6	DR -	送信データ-
7	FS+	フレーム同期+
8	FS -	フレーム同期-
9	DX+	受信データ+
10	DX -	受信データ-
11	TX	シリアル送信データ
12	RX	シリアル受信データ
13	19.5V	19.5V
14	GND	接地



# PCS-XG100/XG77/XG100S/XG77S 使用ポート一覧

## 対向接続時

機能	ポート番号	タイプ
RAS	1719	UDP
ゲートキーパー Discovery	224.0.1.41 : 1718	UDP マルチキャスト
Q.931 (発信)	2253-2269	TCP
Q.931 (着信)	1720	TCP
H.245	2253-2269	TCP
オーディオ RTP	49152-49159	UDP
オーディオ RTCP	49152-49159	UDP
ビデオ RTP	49152-49159	UDP
ビデオ RTCP	49152-49159	UDP
FECC RTP	49152-49159	UDP
FECC RTCP	49152-49159	UDP
2nd ビデオ RTP	49152-49159	UDP
2nd ビデオ RTCP	49152-49159	UDP
SIP	5060	UDP/TCP
自動帯域検出	51234-51235	UDP/TCP

## 多地点接続時

機能	ポート番号 (1 地点目)	ポート番号 (2 ~ 8 地点目)	タイプ
RAS	1719		UDP
ゲートキーパー Discovery	224.0.1.41 : 1718		UDP マルチ キャスト
Q.931 (発信)	2253-2269		TCP
Q.931 (着信)	1720		TCP
H.245	2253-2269		TCP
オーディオ RTP	49152-49159	2 地点目 : 49172 ~ 49179	UDP
オーディオ RTCP		3 地点目 : 49192 ~ 49199	
ビデオ RTP		4 地点目 : 49212 ~ 49219	
ビデオ RTCP		5 地点目 : 49232 ~ 49239	
FECC RTP		6 地点目 : 49252 ~ 49259	
FECC RTCP		7 地点目 : 49272 ~ 49279	
2nd ビデオ RTP		8 地点目 : 49292 ~ 49299	
2nd ビデオ RTCP			
SIP	5060		UDP/TCP
自動帯域検出	51234-51235		UDP/TCP

**ご注意**

RTCP の設定可能範囲は、49152 ～ 65535 です。

---

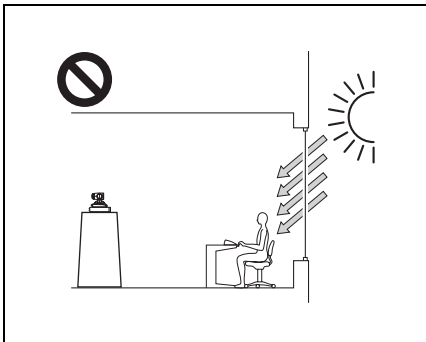
**その他のポート**

機能	ポート番号	タイプ
Telnet	23	TCP
	50000	TCP
SSH	22	TCP
Web	80	TCP
DHCP	68	UDP
NTP	123	UDP
SNMP	161	UDP
AMX デバイスディスカバリー	239.255.250.250:9131	UDP マルチキャスト

# ミーティングスペースのレイアウト

## 照明について

外から光が入る窓の正面にカメラを設置しないでください。カメラの写りが悪くなります。どうしてもカメラの正面に窓がくる場合は、厚手のカーテンなどで窓を覆ってください。



ミーティング参加者に光が当たり、モニター用テレビの画面に直接光が当たらないように照明器具の位置や明るさを調節してください。

参加者の顔の明るさは 300 ルクス以上が目安です。

# USB メモリーについてのご注意

本機では、USB2.0 に対応した USB メモリーを使用してください。ソニー製 USB メモリー “ポケットビット” の USM32GM/USM32GR の使用を推奨します。

## 取り付け

システム本体の USB 端子に直接接続して、使用してください。

## アクセスランプの状態

消灯：待機中

点灯：データ転送中

## 取り外し

ポケットビットを取り外す場合は、必ず待機中（インジケーターが消灯）であることを確認してから取り外してください。

## 使用上のご注意

- ・ポケットビットを接続した状態で大きな力を加えないようご注意ください。USB 端子が破損すると、ポケットビットの故障の原因になるだけではなく、機器の故障の原因となることがあります。
- ・長時間の使用やアクセスの状況により、本体の表面が熱くなる場合がありますので、ご注意ください。
- ・ポケットビットを接続したまま機器を起動または再起動したりスリープモードから復帰させると、正常に動作しないことがあります。これらの操作

は、ポケットビットを取り外してから行ってください。

- ・大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。

お客様の記録したデータの破壊（消滅）、および付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害や損失について、当社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。

POCKET BIT、ポケットビットはソニー株式会社の商標です。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？」(273 ページ) をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店にお問い合わせください。

# 用語解説

## エコーキャンセラー

音声の伝送時に発生するエコーを消去し、違和感なく聞こえるようにする装置。

## 基本インターフェース (BRI)

ITU-T で規定された標準的なインターフェース。2B + D のインターフェース構造になります。

## ゲートキーパー

ネットワーク上での H.323 ビジュアルコミュニケーションのアクセスをコントロールする装置。ゾーン管理や許可制限、帯域制限、エイリアスなどの機能を使用することができる。

## コーデック

CODer-DECoder の略。音声や映像のアナログ信号をデジタル信号に変換、圧縮するコーダーと、圧縮されたデジタル信号を元のアナログ信号に戻すデコーダーが一体になった装置。

## サブアドレス

ISDN にはバス配線で複数の機器を接続することができます。これらの機器の回線番号は同一になるので、同一回線にバス接続された機器にそれぞれ違うサブアドレスを付けて区別します。

## 自動帯域検出

通信開始前にネットワーク帯域幅などを測定します。この測定値を QoS 機能に用いることによって、通信開始時から最適な QoS 制御が可能となります。

## 二次端末

多地点接続を行う際には、すべての地点のビジュアルコミュニケーションシステムの映像方式や音声方式、伝送レートなどが同一でなければ、通常は接続できません\*1。多地点接続を行うとき、共通の方式で接続できる地点の端末を一次端末と言います。一方、共通の方式で接続できないため、機能を制限して接続する地点の端末のことを二次端末と言います。機能の制限方法は、多地点コミュニケーションシステムの「二次端末の取り扱い」に依存します。たとえば、共通の方式に移行できない地点のコミュニケーションシステムには映像を送信しませんが、音声通話を可能にして接続します。この場合、映像を見ることのできない端末を二次端末と言います\*2。また音声電話で多地点接続に加わるとき、音声しか接続できませんので、この場合の音声電話端末も二次端末と呼びます。様々な接続の場合の二次端末の取り扱いについては、「二次端末の取り扱い」(227 ページ)をご覧ください。

\*1 NTSC と PAL の違いは許されます。

\*2 このとき二次端末には映像を送信しませんが、二次端末からの映像は受信できる場合があります。

## フレームレート

1 秒間にエンコード / デコードできるフレーム数。

## ホップ数

相手にたどりつくまでに経由するルーターの数。

## ボンディング\*

複数の ISDN 回線を使用してコミュニケーションシステムを接続できるようにする方法 (Inverse Multiplexing) の 1 つです。最初の 1 つの ISDN 回線番号にダイヤルするだけで他の残りの回線も接続できます。2 つ目以降の ISDN 回線番号は、コミュニケーションシステム同士のやりとりで発信側に知らせ、接続します。ボンディングで接続するには、両方のコミュニケーションシステムがボンディング機能を持っていないければなりません。また着信側コミュニケーションシステムの ISDN 設定メニューの市外局番号、市内番号を正しく設定しておく必要があります。ボンディングで接続するときコミュニケーションシステム同士がやりとりして知らせるのは着信側の ISDN 回線番号なので、発信側の ISDN 設定メニューの市外局番号、市内番号は設定してなくても接続できます。

\* BONDING (Bandwidth on Demand Interoperability Group) は THE BONDING CONSORTIUM の登録商標です。

## リップシンク

コミュニケーションシステムで、発言者の唇の動きと音声とを同期させるために音声を遅延させて同期させること。

## ARC

Adaptive Rate Control の略。ネットワーク輻輳時に、Video のビットレートを自動的に下げるための技術。

## ARQ

Automatic Repeat Request の略。パケットロスが起こった場合に、再送してエラー訂正をするための技術。

## DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

動的ホスト構成プロトコル。ネットワーク内の IP アドレスを管理します。

## DNS (Domain Name System)

ドメインネームシステムを規定します。

## FEC

Forward Error Correction の略。送信元に再送要求を行うことなく、エラー訂正をするための技術。

## G.711

ITU-T で勧告化された、音声符号化に関する規格。電話帯域の音声を 64 kbps のデータレートのデジタル信号に変換します。56 kbps で伝送する場合もあります。

## G.722

ITU-T で勧告化された、音声符号化に関する規格。7 kHz 帯域の音声を 48 kbps、56 kbps、または 64 kbps のデジタル信号に変換します。

## G.728

ITU-T で勧告化された、音声符号化に関する規格。電話帯域の音声を 16 kbps のデータレートのデジタル信号に変換します。

## H.221

オーディオビジュアル情報の個々のフレームをデジタルチャネルに多重化するためのフレーミングに関する勧告。

## H.239

ITU-T で勧告化されたデュアルビデオ機能（プレゼンテーションモード）対応の規格。カメラ映像とコンピューターのデータを同時に送受信できます。

## H.261

$p \times 64$  としても知られており、異なるメーカーのビデオコーデックが互いに通信するためのビデオコーディングアルゴリズム、ピクチャーフォーマットおよびエラー訂正技法を記述した標準。

## H.263

H.261 を基本として、より低いビットレートの回線で通信するためのビデオコーディングアルゴリズムです。

## H.263+

H.263 を基本として、画質、エラー耐性の向上などを目的とする Annex I ~ T (I, J, K, ..., T) を追加した映像符号化方式。通常、H.263/H.263+ の Annex のいくつかを用いたプロファイルと呼ばれる組み合わせで用いられます。

## H.264

2003 年 5 月に ITU-T で標準化されたビデオコーディングアルゴリズムです。低いビットレートでも高画質を実現でき、H.263 と比べて約半分のビットレートで同等の画質を実現することが可能です。ISO では MPEG-4 Part10

Advanced Video Coding (AVC) としても標準化されています。

## H.320

互いに異なるコミュニケーションシステムが互いに通信するための標準。

## H.323

QoS 非保証 LAN 上で通信可能なコミュニケーションシステムの標準。

## HD

High Definition（ハイディフィニション）の略。テレビなどにおける高解像度（高精細・高画質）のこと。1080i、1080p、720p がこれに相当する。

## I-Mux

Inverse Multiplexer の略。384 Kbps での伝送を ISDN の 6B に分けて伝送することを可能にします。

## ISDN

Integrated Services Digital Network の略。電話のみならずデータ、画像、ファックスなどの異なるサービスの情報をデジタル信号によって統一し、標準化したインターフェースを介して総合的なサービスを提供するネットワーク。

## ITU-T

International Telecommunication Union, Telecommunications. の略。

## MCU (マルチポイント)

Multipoint Control Unit の略。マルチポイント機能を持った端末と接続すると、多地点間通信が可能になります。

## QoS

Quality of Service (サービスの品質) の略。ネットワーク上で、ある特定の通信のための帯域を予約し、一定の通信速度を保証する技術。

## SIP

Session Initiation Protocol の略。インターネット電話、インスタントメッセージなどに使われる通話制御プロトコルです。

## SNMP

Simple Network Management Protocol の略。管理ステーションと管理対象システムの間での管理情報の交換プロトコルです。これにより、ソニー製コミュニケーションシステムの監視が可能になります。

## TOS (Type of Service)

IP ヘッダ内の TOS フィールド。サービスタイプに情報を組み込むことにより、パケットの優先順位などを、通信機器が適切に判断できるようになります。

また、サービスの種類 (遅延や容量) によって経路を変更することなども可能になります。

## WDR (View-DR)

高速信号読み出しが可能な “Exmor” CMOS イメージセンサーの特徴を生かして、1 フレーム内でシャッタースピードが異なる 4 枚の画像を合成し、同時に、明暗部コントラスト補正機能 (VE: ビジビリティエンハンサー) を組み合わせることで、明部/暗部の視認性を飛躍的に向上させることができる機能。



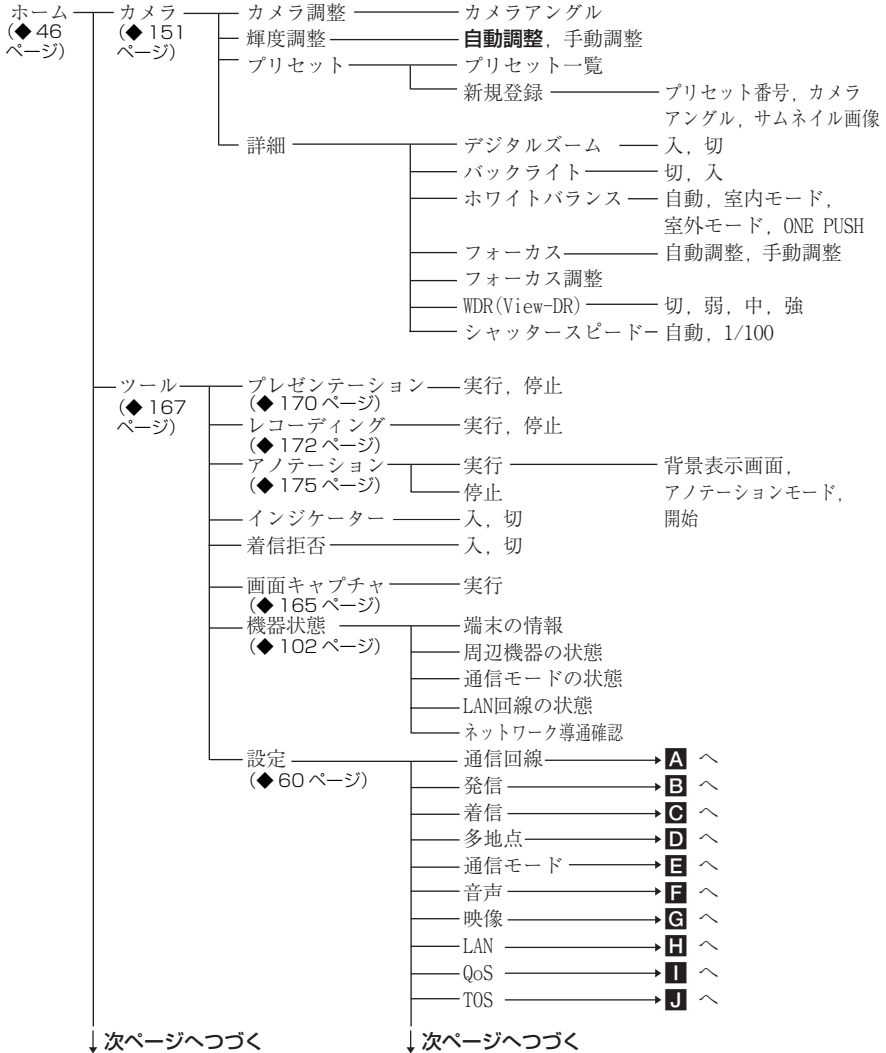
# メニューの構成

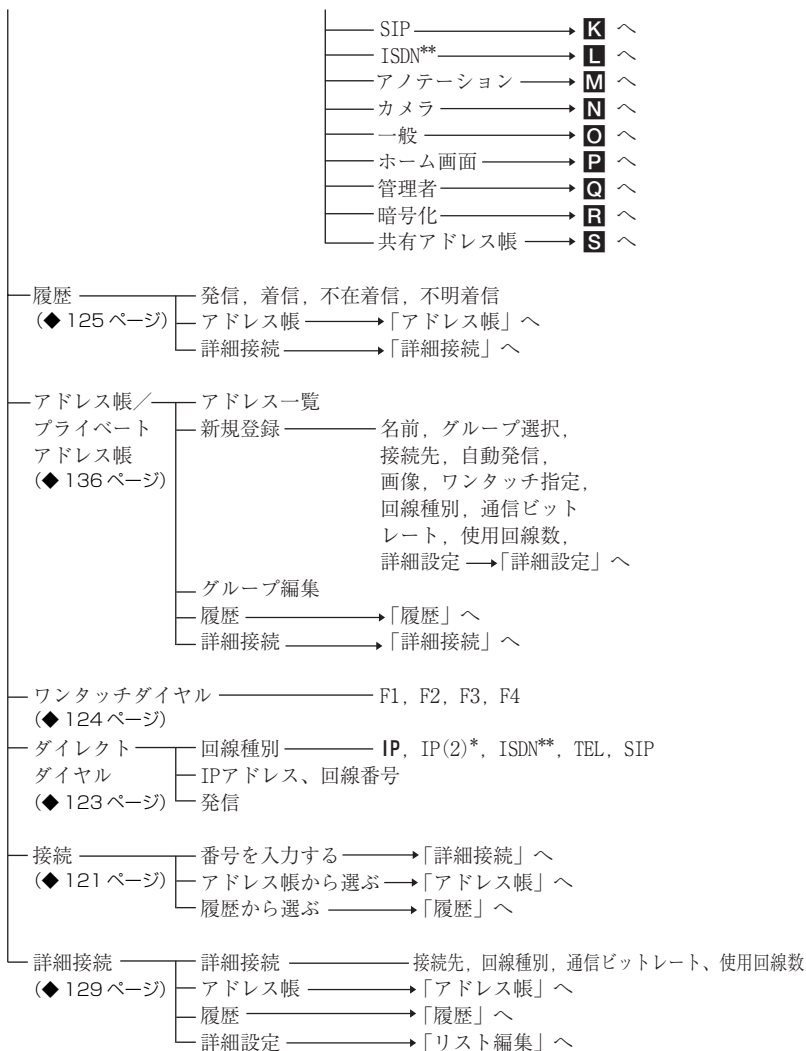
本機のメニューは次のように構成されています。詳しい内容は、( )内のページをご覧ください。太字は初期設定です。

\*のメニュー、設定項目および選択肢は、PCS-XG77/XG77S では表示されません。

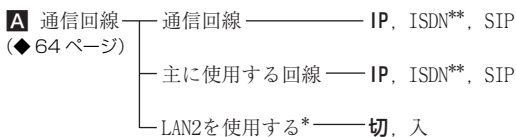
\*\*のメニュー、設定項目および選択肢は、バージョン 1.41 以降で対応しました。

\*\*\*のメニュー、設定項目および選択肢は、バージョン 2.0 で対応予定です。





1) HD カメラユニット SRG-120DH (PCS-XG100/XG77 に付属) 接続時のみ設定できます。



<b>B</b> 発信 (◆ 64 ページ)	音声電話	自動, G.711 $\mu$ -law, G711A-law
	詳細設定	切, 入
	名前の入力	切, 入
	プリフィックス選択	なし, プリフィックス-A, プリフィックス-B, プリフィックス-C
	プリフィックス-A	
	プリフィックス-B	
	プリフィックス-C	
	LANプリフィックス選択	無効, 有効
LANプリフィックス		

<b>C</b> 着信 (◆ 65 ページ)	自動着信	入, 切
	ISDNダイヤルイン**	切, 入
	着信時マイク	入, 切
	通信中の着信拒否	入, 切
	不明着信拒否	切, LAN1 <sup>1)</sup> , LAN2*, LAN1+LAN2*

1) PCS-XG77/XG77S では、「LAN」となります。

<b>D</b> 多地点 (◆ 66 ページ)	マルチポイントモード	自動, 入
	放送モード	分割, 音声検出, 音声検出(1080P)
	画面分割	自動分割, 6分割固定, 9分割固定
	音声検出枠	入, 切

<b>E</b> 通信モード (◆ 67 ページ)	IP	送信/受信 個別設定	切, 入
	(通信モード1)	対向/多地点 個別設定	切, 入
	IP: モード (通信モード) <sup>4)</sup>	全使用帯域	128Kbps, 384Kbps, 512Kbps, 768Kbps, 1Mbps, 2Mbps, 3Mbps, <b>4Mbps</b> , 5Mbps* <sup>5)</sup> , 6Mbps*, 7Mbps*, 8Mbps*, 9Mbps*, 10Mbps*, 11Mbps*, 12Mbps*, 13Mbps*, 14Mbps*, 15Mbps*, 16Mbps*, その他
		通信ビットレート <sup>1)</sup>	128Kbps, 384Kbps, 512Kbps, 768Kbps, 1Mbps, <b>2Mbps</b> , 3Mbps, 4Mbps, 5Mbps*, 6Mbps*, 7Mbps*, 8Mbps*, 9Mbps*, 10Mbps*, 11Mbps*, 12Mbps*, 13Mbps*, 14Mbps*, 15Mbps*, 16Mbps*, その他
		音声方式 <sup>1)</sup>	<b>G.711, G.722, G.728, MPEG4</b>
		遠隔カメラ制御 <sup>2)</sup>	入, 切
		H.239	入, 切
		H.239レート割合	<b>2/3</b> , 1/2, 1/3
		映像サイズ <sup>1)</sup>	1080* <sup>3)</sup> , 720, W4CIF, W432P, WCIF, 4CIF, CIF, QCIF, <b>自動</b>
		映像方式 <sup>1)</sup>	<b>H.261***, H.263+, H.264</b>
		映像フレーム数 <sup>1)</sup>	15fps, 30fps, 60fps, <b>自動</b>

次ページへつづく

ISDN：モード (通信 モード)** <sup>4)</sup>	ISDN使用帯域 (発信)	1B(64K), <b>2B(128K)</b> , 3B(192K), 4B(256K), 5B(320K), 6B(384K), 8B(512K), 12B(768K)
	ISDN使用帯域 (着信)	1B(64K), <b>2B(128K)</b> , 3B(192K), 4B(256K), 5B(320K), 6B(384K), 8B(512K), 12B(768K)
	音声方式	<b>G.711, G.722, G.728, MPEG4</b>
	遠隔カメラ制御	<b>入, 切</b>
	H.239	<b>入, 切</b>
	H.239レート割合	<b>2/3, 1/2, 1/3</b>
	制限網	<b>自動, 56K</b>
	映像サイズ	W4CIF, W432P, WCIF, 4CIF, CIF, <b>自動</b>
	映像方式	<b>H.263+, H.264</b>
	映像フレーム数	15fps, 30fps, <b>自動</b>
SIP：モード (通信モード) <sup>4)</sup>	通信ビットレート	128Kbps, 384Kbps, 512Kbps, 768Kbps, 1Mbps, <b>2Mbps</b> , 3Mbps, 4Mbps, その他
	音声方式	<b>G.728, G.722, G.711</b>
	遠隔カメラ制御	<b>入, 切</b>
	映像サイズ	720, W4CIF, W432P, WCIF, 4CIF, CIF, QCIF, <b>自動</b>
	映像方式	<b>H.261***, H.263+, H.264, MPEG4</b>
	映像フレーム数	15fps, 30fps, 60fps, <b>自動</b>

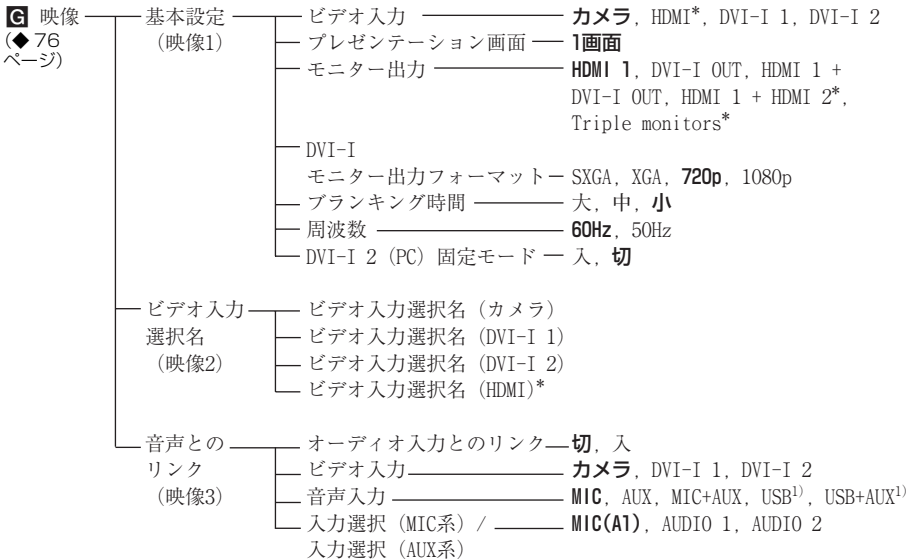
- 1) 「IP」ページの「送信/受信 個別設定」や「対向/多地点 個別設定」が「入」のときは、送信、受信、対向、多地点のそれぞれに設定できます。
- 2) 「IP」ページの「対向/多地点 個別設定」が「入」のときは、対向、多地点のそれぞれに設定できます。
- 3) HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXG77 をインストールしている場合は、PCSA-XG77/XG77S でも表示されます。
- 4) 「通信モード2」ページ以降のページ数は、「送信/受信 個別設定」や「対向/多地点 個別設定」の「入」「切」によって変わります。
- 5) HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106 および HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXG77 をインストールしている場合は、PCSA-XG77/XG77S でも表示されます。

**F** 音声  
(◆72  
ページ)

基本設定 1 (音声1)	音声入力	MIC, AUX, MIC+AUX, USB <sup>1)</sup> , USB+AUX <sup>1)</sup>	
	入力選択 (MIC系) / 入力選択 (AUX系)	MIC(A1), AUDIO 1, AUDIO 2	
	エコーキャンセラー	入, 切	
	音声出力	HDMI, AUDIO, USB <sup>1)</sup>	
	リップシンク	自動, 切	
	録音ミュート	切, 入	
	入力モード	ステレオ, モノラル <sup>2)</sup>	
	出力モード	ステレオ, モノラル	
	基本設定 2 (音声2)	AUX入力のローカル	入, 切
		モニター出力	
		MIC入力左右反転	切, 入
		音声入力遅延設定	既定値-100ms, 既定値-50ms, 既定値, 既定値+50ms, 既定値 +100ms, ユーザー設定
		音声入力遅延量	
		音声出力遅延設定	既定値-100ms, 既定値-50ms, 既定値, 既定値+50ms, 既定値 +100ms, ユーザー設定
		音声出力遅延量	
		REC OUTモード	ステレオ, モノラル2ch
		マイク収音範囲・音質	近距離・自然, バランス, 広範囲・クリア, 手動設定
		マイクノイズ抑圧	強, 中, 弱
	マイクゲイン自動調整	強, 中, 弱	
	効果音 (音声3)	ビープ音	大, 中, 小, 切
		効果音	大, 中, 小, 切
		発信音	大, 中, 小, 切
		着信音	大, 中, 小, 切

1) USB 音声機器が接続されているときのみ選択できます。

2) PCS-XG77/XG7S の初期設定は、「モノラル」です。



1) USB 音声機器が接続されているときのみ選択できます。

基本設定 <sup>1)</sup> (LAN)	ホストネーム	
	DHCPモード	自動, 切
	プリフィックス長	
	IPアドレス	
	ネットワークマスク	
	ゲートウェイアドレス	
	DNSプライマリ	
	DNSセカンダリ	
	LANモード	自動, 1000Mbps, 100Mbps Full Duplex, 100Mbps Half Duplex, 10Mbps Full Duplex, 10Mbps Half Duplex
	PPPoE (LAN)	PPPoE
ユーザー名		
パスワード		
固定IP		切, 入
固定IPアドレス		
DNS		自動取得, 設定する
DNSプライマリ DNSセカンダリ		
NAT設定 (LAN)	NATモード	自動, 入, 切
	WAN IPアドレス	
ゲートキーパー (LAN)	使用	自動, 入, 切
	ゲートキーパーアドレス	
	ユーザー名	
	ユーザー番号	
	H.460	入, 切
	認証	入, 切
	ログイン名 パスワード	
使用ポート番号, RTP/RTCP設定 (LAN)	Q.931	
	H.245	
	RTP/RTCP	
	MTUサイズ	
SNMP (LAN)	SNMPサービス	入, 切
	トラップ送信先	
	コミュニティ名	
	機器の説明	
	設置場所	
	管理者名	

1) 通信回線設定メニューの「LAN2を使用する」が「入」のときは、LAN1、LAN2のそれぞれに「基本設定」ページが表示され、設定できます。

2) PCS-XG77/XG77Sでは、「LAN」となります。

**I** QoS  
(◆85  
ページ)

- 基本設定 (QoS1)
  - 最適レート制御 (ARC) ———— 入, 切
  - 自動帯域検出 ———— 入, 切
  - TCPポート番号
  - UDPポート番号
  - パケット再送要求 (ARQ) ———— 入, 切
  - ARQバッファリング時間 ———— 300ms, 150ms, 80ms, 自動  
指定値
  - ARQバッファリング時間
  - 前方誤り訂正 (FEC) ———— 入, 切, 自動
  - 前方誤り訂正冗長度 ———— 8, 4, 2, 自動
  - 音声2重送信 ———— 入, 切
- リオーダー・シェーピング (QoS2)
  - リオーダー ———— 入, 切
  - リオーダー・バッファ ———— 自動, 1, 2, 指定値
  - リオーダーバッファ値
  - シェーピング ———— 入, 切

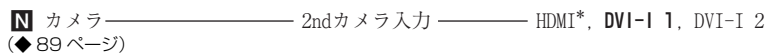
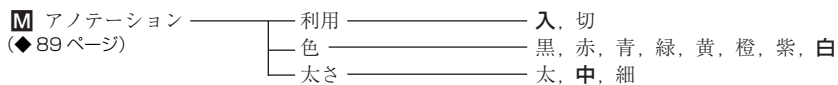
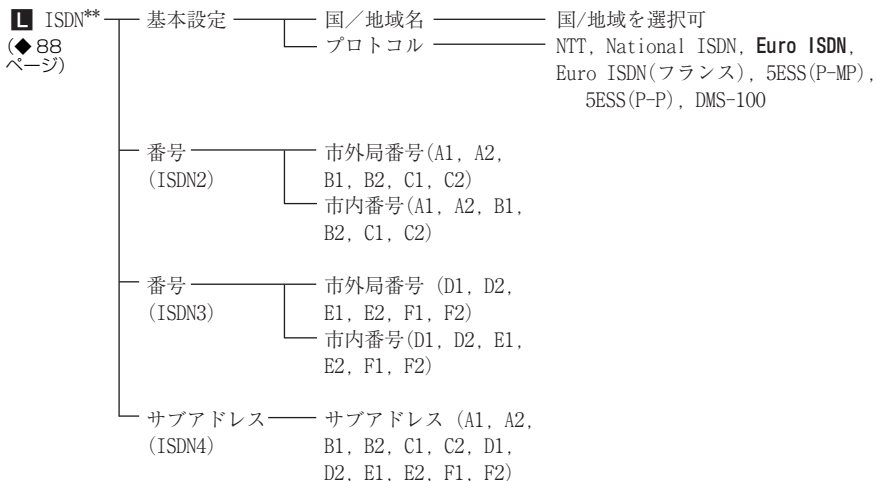
**J** TOS  
(◆86  
ページ)

- TOS種別 ———— **ビデオ**, オーディオ, データ, プレゼンテーション
- TOS Precedence ———— **切**, IP Precedence, DSCP
- 遅延 ———— 入, 切
- スループット ———— 入, 切
- 信頼性 ———— 入, 切
- コスト ———— 入, 切
- DSCP

**K** SIP  
(◆87  
ページ)

- 基本設定 (SIP)
  - SIPサーバー使用 ———— 入, 切
  - トランスポートプロトコル ———— TCP, UDP
  - ポート番号
  - SIPドメイン
  - 登録ユーザー名
  - パスワード
  - SIPサーバーアドレス
  - SIPサーバーポート





O 一般  
 (◆89  
 ページ)

- 機器設定 (一般1)
  - 端末名
  - スタンバイモード ——— 入, 切
  - スタンバイ時間 ——— 1~99分
  - 会議終了後のリスト登録 ——— 切, 入
  - カメラコントロール ——— 入, 切
  - 受信
  - 言語設定/Language ——— 日本語/Japanese, 英語/English, フランス語/French, ドイツ語/German, スペイン語/Spanish, イタリア語/Italian, 簡体中国語/Chinese, ポルトガル語/PORT, 繁体中国語/Chinese, 韓国語/Korean, オランダ語/Dutch, デンマーク語/Danish, スウェーデン語/Swed, フィンランド語/Finn, ポーランド語/Polish, ロシア語/Russian, アラビア語/Arabic, タイ語/Thai, ノルウェー語/Norwegian, トルコ語/Turkish, ウェールズ語/Welsh, チェコ語/Czech, ハンガリー語/Hungarian
  
- 日時設定 (一般2)
  - NTP ——— 入, 切
  - プライマリーNTPサーバー
  - セカンダリーNTPサーバー
  - タイムゾーン
  - 日時表示形式 ——— 年/月/日, 月/日/年, 日/月/年, 年-月-日, 日.月.年
  - 年月日
  - 時間
  - 時刻更新 ——— 実行
  
- メニュー画面 (一般3)
  - 通信中時間表示 ——— 切, **経過時間**, 現在時刻
  - 端末名表示 ——— 切, 常時表示, **一定時間表示**
  - ガイダンス表示 ——— 入, 切
  - インジケータ表示 ——— 入, 切
  - 接続時の通信 ——— 入, 切
  - モード表示
  - ソフトキーボード表示 ——— 入, 切
  - メニュー透過度 ——— 高, 中, 低

↓  
 次ページへつづく

通信中の ファンクション キー (一般4)	F1	相手/自分, カメラ, HDMI*, DVI-I 1, DVI-I 2, 音声入力切替, レコーディング 実行/停止, 何もしない
	F2	相手/自分, カメラ, HDMI*, DVI-I 1, DVI-I 2, 音声入力切替, レコーディング 実行/停止, <b>何もしない</b>
	F3	相手/自分, カメラ, HDMI*, DVI-I 1, DVI-I 2, 音声入力切替, レコーディング 実行/停止, <b>何もしない</b>
	F4	相手/自分, カメラ, HDMI*, DVI-I 1, DVI-I 2, 音声入力切替, レコーディング 実行/停止, <b>何もしない</b>

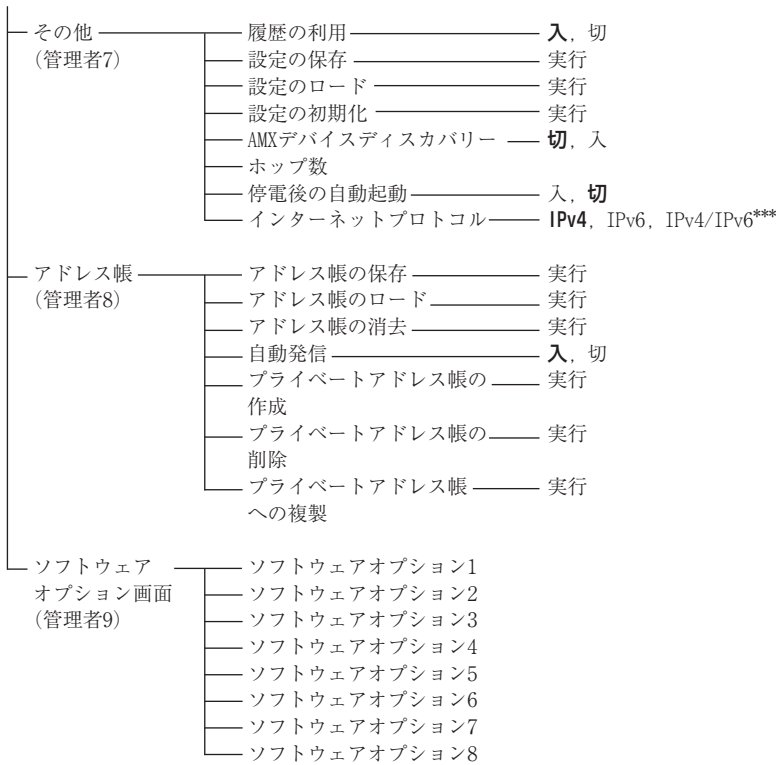
P ホーム画面 (◆ 93 ページ)	ホーム画面1 (ホーム画面1)	日時表示	入, 切
		自端末名	入, 切
		番号表示	IP: アドレス, SIP: ユーザー名, SIP: アドレス, GK: ユーザー名, GK: ユーザー番号, NAT: アドレス, 表示しない
		端末状態	入, 切
		異常時メッセージ	入, 切
	ホーム画面2 (ホーム画面2)	接続ボタン表示	かんたん表示, 個別表示, 切
		アドレス帳ボタン	入, 切
		履歴ボタン	入, 切
		詳細接続ボタン	入, 切
		カメラボタン	入, 切
		ツールボタン	切, 入
		ワンタッチダイヤル	入, 切
		ダイレクトダイヤル	切, 入
	ホーム画面3 (ホーム画面3)	ビデオ入力表示	入, 切
		オーディオ入力表示	入, 切
		オーディオレベル メーター	入, 切
		ボリューム	入, 切
		LAN状態表示	入, 切
		ISDN状態表示	入, 切

Q 管理者  
(◆94 ページ)

パスワード (管理者1)	管理者用パスワード	
	アドレス帳変更パスワード	
	設定保存パスワード	
	リモートアクセス・パスワード	
設定許可1 (管理者2)	通信回線	有効, 無効
	発信	有効, 無効
	着信	有効, 無効
	多地点	有効, 無効
	IP通信モード	有効, 無効
	SIP通信モード	有効, 無効
	ISDN通信モード	有効, 無効
設定許可2 (管理者3)	音声	有効, 無効
	映像	有効, 無効
	LAN	有効, 無効
	QoS	有効, 無効
	TOS	有効, 無効
	SIP	有効, 無効
	ISDN	有効, 無効
設定許可3 (管理者4)	一般	有効, 無効
	ホーム画面	有効, 無効
	管理者	有効, 無効
	アノテーション	有効, 無効
	カメラ	有効, 無効
	暗号化	有効, 無効
	共有アドレス帳	有効, 無効
レコーディング (管理者5)	レコーディング	許可, 禁止
	ビデオ	512Kbps, 1Mbps
アクセス許可 <sup>1)</sup> (管理者6)	Webモニター	入, 切
	Webアクセス	許可, 禁止
	Telnetアクセス	許可, 禁止
	SSHアクセス	許可, 禁止

次ページへつづく

1) 「アクセス許可」 ページは、「インターネットプロトコル」が「IPv4」のときのみ表示され、設定できます。



**R** 暗号化 ————— 暗号化モード — 切, 接続性優先, 暗号化優先  
(◆ 101 ページ)

**S** 共有アドレス帳 ————— SPBモード ————— 入, 切  
(◆ 101 ページ)

SPBサーバ・アドレス	
SPBサーバ・パスワード	

# 索引

## 五十音順

### 記号・数字

1st カメラ.....	105
2nd カメラ.....	105
2nd カメラ入力.....	89
2本のLANを使った接続.....	25
6分割固定.....	218
9分割固定.....	218

### A行

相手アドレス.....	105
相手側に送る音声を切り換える.....	161
相手側の映像を切り換える.....	162
相手/自分.....	92
相手端末名.....	105
相手のIPアドレス.....	106
アクセス許可.....	98
アドレス帳..... 50, 95, 100, 127, 135, 136, 140, .....	141, 213, 238
アドレス帳の消去.....	100
アドレス帳の保存.....	100
アドレス帳のロード.....	100
アドレス帳変更パスワード.....	95
アドレス帳ボタン.....	49, 93
アノテーション..... 14, 89, 97, 168, 174, 261	
アノテーション設定メニュー.....	89
アノテーションモード.....	176
暗号化.....	97, 101
暗号化接続.....	15, 193, 194, 196
暗号化設定メニュー.....	101
暗号化モード.....	101, 194
暗号化優先.....	195
異常時メッセージ.....	93
一般.....	97
一般設定メニュー.....	89
色.....	89

インジケータ.....	168, 267
インジケータ表示.....	52, 91
インターネットプロトコル.....	100
映像.....	96
映像サイズ.....	69, 71, 72
映像設定メニュー.....	76
映像と音声を切り換える.....	160
映像と音声を同時に切り換える.....	162
映像符号化方式.....	105
映像フレーム数.....	70, 71, 72
映像フレームレート.....	105
映像方式.....	69, 71, 72
映像を切り換える.....	160
エコークャンセラー.....	73, 149
遠隔カメラ制御.....	69, 70, 72, 106
オーディオ.....	79
オーディオ入力とのリンク.....	79
オーディオ入力表示.....	94
オーディオレベルメーター.....	52, 94
オプション I/F.....	104
主に使用する回線.....	64
音声.....	96
音声 2重送信.....	86
「音声検出」モード.....	220
音声出力.....	105
音声出力遅延設定.....	75
音声出力遅延量.....	75
音声設定メニュー.....	72
音声電話.....	64
音声とのリンク.....	79
音声入力.....	72, 79
音声入力切替.....	92
音声入力遅延設定.....	75
音声入力遅延量.....	75
音声入力 (AUX 系).....	104
音声入力 (MIC 系).....	104
音声符号化方式.....	105
音声方式.....	69, 70, 71

音量調節 ..... 42, 53

---

## 力行

会議終了後のリスト登録	90
回線種別	106
回線種別選択ボタン	51
回線レート	105
回線 I/F	105
ガイダンス	51
ガイダンス表示	91
カメラ	34, 89, 92, 97, 151, 182, 243, 261
カメラコントロール受信	90
カメラ設定メニュー	89
カメラ調整	151
カメラボタン	48, 94
カメラメニュー	48
画面キャプチャ	165, 169
画面制御	218
画面分割	67
管理者	97
管理者設定メニュー	94
管理者名	85
管理者用パスワード	95
機器状態	102
機器状態メニュー	102
機器設定	89
機器の説明	85
機器バージョン	104
輝度調整	153
基本的な接続	120
逆光補正 (バックライト)	158
共有アドレス帳	98, 101, 145, 238
共有アドレス帳設定メニュー	101
国 / 地域名	88
グループ編集	141
ゲートウェイ	107
ゲートウェイアドレス	80, 81
ゲートキーパー	83, 105, 112
ゲートキーパーアドレス	83, 84
言語設定 / Language	90
効果音	76

コスト	87
固定 IP	82
固定 IP アドレス	82
コミュニティ名	85
コンピューターを接続する	170

---

## 力行

最適レート制御 (ARC)	85
サブアドレス	89
シェーピング	86
市外局番号	88
時間	90
時刻更新	91
システムの構成例	22
システムの準備	35
システムの接続	30
自端未名	47, 93
自動帯域検出	85
自動着信	65, 133
自動調整	158
自動発信	100
自動分割	218
市内番号	88
周波数	77
周辺機器の状態	104
出力モード	74
手動着信	133
手動調整	158
使用	83, 84
詳細接続	129
詳細接続ボタン	50, 94
詳細接続メニュー	51
詳細設定	64
使用ポート番号	84
初期設定ウィザード	43
シリアルナンバー	104
新規登録	136
信頼性	87
スタンバイ時間	89
スタンバイモード	40, 89
スループット	87

制限網.....	71
セカンダリー NTP サーバー.....	90
セカンドカメラ.....	182
接続.....	120, 133
接続時の通信モード表示.....	91
接続性優先.....	194
接続ボタン.....	50
接続ボタン表示.....	93
接続メニュー.....	50, 121
切断.....	135, 226
設置場所.....	85
設定許可.....	96, 97
設定の初期化.....	99
設定の保存.....	99
設定のロード.....	99
設定保存パスワード.....	95
設定メニュー.....	60
全使用帯域.....	68
前方誤り訂正冗長度.....	86
前方誤り訂正 (FEC).....	86
送信/受信 個別設定.....	67
測定開始.....	107
ソフトウェアオプション.....	104, 205
ソフトウェアオプション画面.....	101
ソフトキーボード.....	14, 58
ソフトキーボード表示.....	91

---

## タ行

対向/多地点 個別設定.....	68
タイムゾーン.....	90
ダイレクトダイヤル.....	94, 123, 238
多地点.....	66, 96
多地点接続.....	15, 26, 28, 198, 200, 208, 213
多地点設定メニュー.....	66
タブレット.....	268
端末状態.....	48, 93
端末の情報.....	104
端末名.....	89
端末名表示.....	91
チェックコード.....	106
遅延.....	87

着信.....	65, 96, 133
着信音.....	76
着信拒否.....	168
着信時マイク.....	66
着信時マイクオフ.....	149
着信設定メニュー.....	65
通信回線.....	45, 64, 96
通信回線設定メニュー.....	64
通信中時間表示.....	91
通信中の着信拒否.....	66
通信中のファンクションキー.....	91
通信ビットレート.....	68, 71
通信モード設定メニュー.....	67
通信モードの状態.....	105
通信履歴.....	125
ツールボタン.....	48, 94
ツールメニュー.....	49, 167
停電後の自動起動.....	99
デジタルズーム.....	157
電源.....	39, 121, 261
登録ユーザー名.....	88
トラップ送信先.....	85
トラバーサルサーバー.....	115
トランスポートプロトコル.....	88
トレースルート.....	107

---

## ナ行

何もしない.....	92
名前の入力.....	64
二次端末.....	227
日時設定.....	90
日時表示.....	93
日時表示形式.....	90
入力選択 (AUX 系).....	72, 79
入力選択 (MIC 系).....	72, 79
入力モード.....	74
認証.....	83, 84
ネットワーク導通確認.....	106, 119
ネットワークマスク.....	80
年月日.....	90



---

## 八行

背景表示画面	175
パケット再送要求 (ARQ)	85
パケット数—受信パケット数	106
パケット数—復元パケット数	106
パケット数—ロスパケット数	106
パスワード	82, 83, 84, 88, 94
発信	64, 96
発信音	76
発信設定メニュー	64
発信ボタン	51
番号	88
番号入力欄	51
番号表示	93
ビーブ音	76
ビットレート—受信	106
ビットレート—送信	106
ビデオ	98
ビデオ出力	104
ビデオ入力	76, 79, 104
ビデオ入力選択名	78
ビデオ入力選択名 (カメラ)	78
ビデオ入力選択名 (DVI-I 1)	78
ビデオ入力選択名 (DVI-I 2)	78
ビデオ入力選択名 (HDMI)	78
ビデオ入力表示	94
ファイアウォール	114
ファンクションボタン	161
フォーカス	158
太さ	89
プライベートアドレス帳	128, 143, 238
プライベートアドレス帳の削除	100
プライベートアドレス帳の作成	100
プライベートアドレス帳への複製	100
プライマリー NTP サーバー	90
ブランキング時間	77
プリセット	14
プリセット機能	154
プリフィックス選択	65
プリフィックス長	80, 81

プリフィックス -A	65
プリフィックス -B	65
プリフィックス -C	65
プレゼンテーション	167, 170, 268
プレゼンテーション画面	76
プレゼンテーションモード	170
プロジェクター	188
プロトコル	88
分割位置固定モード	220
「分割」モード	218
ペアリング	37
ペンタブレット	174, 261
ボイスミーティング	190
放送選択モード	221
放送モード	66, 218
ポート番号	88
ホーム画面	93, 94, 97
ホーム画面設定メニュー	93
ホームメニュー	46, 53, 93
ホストネーム	80, 104
ホストバージョン	104
ホップ数	99
ボリューム	94
ホワイトバランス	158

---

## マ行

マイク	179
マイクミュート機能	148
マイクロホン PCS-A1	17, 18, 19, 20, 179, 280
マルチポイント接続リスト	209, 213
マルチポイントの属性表	228
マルチポイントモード	66, 208
メニュー	53, 61, 297
メニュー画面	91
メニュー透過度	91
メニューの構成	297
モニター	188
モニター映像を切り換える	163
モニター出力	77

---

## ヤ行

ユーザー番号.....	83, 84
ユーザー名.....	82, 83, 84

---

## ラ行

リオーダー.....	86
リオーダー・バッファ.....	86
リオーダー・バッファ値.....	86
リダイヤル.....	132
リップシンク.....	74
リップシンク機能.....	149
リモートアクセス・パスワード.....	96
リモコン .....	35, 37, 56, 91, 161, 163, 237, 263, 280
利用.....	89
履歴.....	238
履歴の利用.....	99
履歴ボタン.....	49, 93
履歴メニュー.....	49
ルーター.....	111
レイアウトボタン.....	163
レイアウトメニュー.....	163
レコーディング.....	14, 98, 168, 172, 268
レコーディング 実行/停止.....	92
ログイン名.....	83, 84
録音.....	184
録音ミュート.....	74

---

## ワ行

ワンタッチダイヤル.....	94, 124
ワンタッチダイヤルボタン.....	51

---

## アルファベット順

---

### A

AMX デバイスディスカバリー.....	99
ARQ バッファリング時間.....	86
AUX 入力のローカルモニター出力.....	74

---

### D

DHCP.....	110
DHCP モード.....	80, 81
DNS.....	82
DNS セカンダリ.....	80, 81, 82
DNS プライマリ.....	80, 81, 82
DSCP.....	87
DTMF の送信.....	191
DVI-I 1.....	92
DVI-I 2.....	92
DVI-I 2 (PC) 固定モード.....	78
DVI-I モニター出力フォーマット.....	77

---

### F

F1.....	91
F2.....	92
F3.....	92
F4.....	92

---

### H

H.239.....	69, 70
H.239 レート割合.....	69, 71
H.245.....	84
H.460.....	83, 114
H239.....	106
HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG106.....	20, 198
HD MCU ソフトウェア PCSA-MCG109.....	20, 198
HD ビジュアルコミュニケーション システム PCS-XG100.....	278

HD ビジュアルコミュニケーション システム PCS-XG100S .....	16, 18, 261, 278
HD ビジュアルコミュニケーション システム PCS-XG77.....	278
HD ビジュアルコミュニケーション システム PCS-XG77S.....	17, 19, 261, 278
HDMI.....	92

## I

IP.....	67
IP アドレス.....	47, 80, 81, 104
IP アドレス (LAN2).....	104
IP 通信モード.....	96
IPv4/IPv6.....	109
IPv6.....	81, 83, 109
IPv6 使用時の制限.....	109
IP : モード.....	68
ISDN.....	45, 88, 97, 117
ISDN 回線番号.....	47
ISDN 使用帯域 (着信).....	70
ISDN 使用帯域 (発信).....	70
ISDN 状態表示.....	94
ISDN 接続.....	23, 32
ISDN 設定メニュー.....	88
ISDN ダイヤルイン.....	65
ISDN 通信モード.....	96
ISDN ユニット PCSA-B384S.....	20
ISDN ユニット PCSA-B768S.....	20
ISDN : モード.....	70

## K

KIOSK Mode.....	15, 239
-----------------	---------

## L

LAN.....	45, 80, 97
LAN1.....	81
LAN2.....	108
LAN2 使用時の制限.....	108
LAN2 を使用する.....	64

LAN 回線の状態.....	106
LAN カスケード接続.....	201
LAN カスケードと ISDN 混在.....	203
LAN—ゲートキーパーを 介しての接続.....	112
LAN 状態表示.....	94
LAN 接続.....	22, 26, 31, 200
LAN 設定メニュー.....	80
LAN と ISDN 混在.....	202
LAN と ISDN の混在接続.....	28
LAN プリフィックス.....	65
LAN プリフィックス選択.....	65
LAN モード.....	81
LAN モード (LAN1).....	105
LAN モード (LAN2).....	105
LAN—ルーターを介しての接続.....	111
LAN—DHCP を使用しての接続.....	110
LAN—H.460 を使用した ファイアウォール越えでの接続.....	114
LAN—NAT 環境での接続.....	113
LAN—PPPoE による接続.....	116

## M

MAC アドレス.....	104
MAC アドレス (LAN2).....	104
MIC 入力左右反転.....	74
MTU サイズ.....	84

## N

NAT.....	113
NAT 設定.....	82
NAT モード.....	82
NTP.....	90

## P

PCS-XG100.....	16
PCS-XG100S.....	18
PCS-XG77.....	17
PCS-XG77S.....	19
PPPoE.....	82, 116

Precedence.....	87
-----------------	----

---

## Q

Q.931.....	84
QoS.....	14, 85, 97
QoS 設定メニュー.....	85

---

## R

REC OUT (録音出力) モード.....	75
RTP/RTCP.....	84
RTP/RTCP 設定.....	84

---

## S

Session Initiation Protocol.....	87
SIP.....	14, 45, 87, 97
SIP サーバーアドレス.....	88
SIP サーバー使用.....	87
SIP サーバーポート.....	88
SIP 接続.....	24, 33
SIP 設定メニュー.....	87
SIP 通信モード.....	96
SIP ドメイン.....	88
SIP : モード.....	71
SNMP.....	84
SNMP サービス.....	84
SPB サーバ・アドレス.....	101
SPB サーバ・パスワード.....	101
SPB モード.....	101
SSH アクセス.....	98

---

## T

TCP ポート番号.....	85
Telnet.....	192
Telnet アクセス.....	98
TOS.....	86, 87, 97
TOS 種別.....	86
TOS 設定メニュー.....	86

---

## U

UDP ポート番号.....	85
USB メモリー.....	14, 144, 165, 172, 261, 268, 291

---

## W

WAN IP アドレス.....	82
Web アクセス.....	98, 192
Web 機能.....	230
Web ブラウザ.....	192, 230
Web モニター.....	98, 239, 242

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>